地域おこし協力隊事例集

くらしの中に
総務省
MIC Ministry of Internal Affairs and Communications

令和８年１０月
総務省　地域力創造グループ
地域自立応援課

地域おこし協力隊事例集について

○　地域おこし協力隊の活動内容を活動分野別にまとめた「地域おこし協力隊事例集」を令和８年１０月に作成・公表。

＜掲載イメージ＞

●●県●●市　●●　●●

～　○○○○○○○○○○○○　～

●●

基本情報

隊員本人の顔が分かる写真

【年　齢】
○歳
【出身地】
●●県●●市
【転出元】
●●県●●市
【前　職】
○○○○
【活動時期】
R○.○～R○.○

協力隊に応募したきっかけ

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

今後の抱負・任期後の目標

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

活動内容

●活動内容タイトル１

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

活動内容が分かる写真など

●活動内容タイトル２

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

活動内容が分かる写真など

●活動内容タイトル３

○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○
○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○

活動内容が分かる写真など

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人or職場））XXXXX@XXXX.XX.XX
（電話番号（個人or職場））XXX-XXXX-XXXX

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（あああああ）https://　　ＱＲコードも可

＜活動分野＞

1 移住・定住促進
2 不動産利活用
3 観光・情報発信
4 商品開発・販売
5 地域コミュニティ活動
6 漁業・水産業
7 農業・林業
8 環境保全・自然保護
9 医療・保健
10 デジタル
11 教育・文化
12 スポーツ
13 事業承継

01 移住・定住促進

北海道士別市　杉浦　諒

移住・定住促進

～ 関係人口の創出や地域内外の交流を図る「コミュニティデザイナー」 ～

基本情報



【年　齢】
24歳
【出身地】
群馬県館林市
【転出元】
神奈川県川崎市
【前　職】
大学生
【活動時期】
R7.4～R10.3.31（予定）

協力隊に応募したきっかけ

令和6年に、士別市にふるさとワーキングホリデーで約２ヶ月滞在し、ゲストハウスでの業務やオーナー夫婦をはじめ多くの地域の方たちとの出会いにより、この町で働き、暮らしていきたいなと思うようになりました。また、ゲストハウスのオーナーをはじめ、地域の方が取り組む課題解決に向けた様々な活動に、自分も参加させてもらうことで、自分が関心のある分野と地域の課題解決は、概ね一致していると実感しました。そうしたなかで、地域おこし協力隊として活動することを提案いただき、是非、隊員として活動してみたいと思い、応募を決めました。

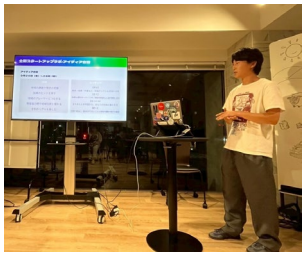
今後の抱負・任期後の目標

市内の方も市外の方も、気軽に集える居場所を創出したいと思います。また、みんなに面白そうだなと思ってもらえるような取り組みを進めて、多くの方に士別市に関わってもらえるよう精力的に活動していきたいです。

活動内容

●士別市移住定住交流促進協議会Mazaru事務局業務

・定例開催のポットラックパーティの企画、運営
・公式LINEやSNSなどの発信、管理・運営
・交流人口の創出や関係人口の創出に向けたイベントの企画、運営　　ほか



●士別市地域おこし協力隊ネットワーク事務局業務

・ネットワーク会議の進行、資料作成
・SNSなどの発信、管理・運営
・起業家（起業型隊員）育成の取り組みの企画・運営　　ほか



●ゲストハウスでの研修

・ゲストハウスにおける市内外の方を繋ぐ取り組みの企画・運営
・　〃　交流イベントの企画・運営
・ゲストハウス来客者との交流　　ほか



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（職場））
mazaru.shibetsu.ijuteiju@gmail.com
（電話番号（職場））050-6882-2097
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】⇒⇒⇒⇒

OKOSHIBETSU_CHIIKIOKOSHI
↑協力隊Instagram

LINE
↑Mazaru公式LINE・Instagram↑

MAZARU.SHIBETSU.IJUTEIJU

北海道長沼町　江藤　誠洋

移住・定住促進

～　同世代の移住者を増やしたい！　～

基本情報



【年　齢】
27歳
【出身地】
神奈川県平塚市
【転出元】
神奈川県横浜市
【前　職】
住宅メーカー　設計職
【活動時期】
R5.11～R8.11

協力隊に応募したきっかけ

東京で行われた長沼町単独の地域おこし協力隊募集相談会に参加したことがきっかけ。
知り合いも誰もいない地への移住だったため、協力隊活動を通して、自己実現のための仲間づくりや暮らしの基盤づくりをしていきたいと思ったから。また、私自身が移住に踏み切るまでに様々な悩みや不安があったため、自身の経験を踏まえて、これから地方でチャレンジしたい方の力になりたいと思ったから。

今後の抱負・任期後の目標

SNS等を活用して道外の同世代の方に長沼町の魅力を広域で伝えていきたい。また、移住検討者と町のつなぎ役として、地域の方と協力しながら町案内や空き家課題解決、イベント企画等に取り組んでいきたい。
任期終了後は「長沼町で暮らす」という選択肢を自然と感じてもらえるような場づくり、地域への関心やつながりを生むきっかけとして、町内で宿の開業を目指す。

活動内容

●移住定住促進活動

移住イベントの出展、移住相談、町案内、お試し暮らし住宅の受け入れ、「北海道移住のすゝめ」での活動、暮らしの情報発信など。
写真は移住検討者の方とワイナリーのテラスで移住相談した時の様子。



●協力隊居酒屋

町民と地域おこし協力隊、町民同士、最近移住してきた人、移住検討者などが、気軽にお話ししたり交流できる場づくりとして、協力隊の仲間と定期開催している「協力隊居酒屋」。地元食材を使ったグルメや協力隊それぞれの出身地のグルメを提供し、回を重ねるごとに老若男女が集う場になってきている。



●町内での宿開業準備

起業未経験だが、地域で活躍する先輩移住者に影響を受け、宿開業の準備中。創業塾で事業計画書の書き方を学んだり、地域の方にもアドバイスをいただきながら来年度の開業を目指す。
写真は同じ町内の宿泊事業者から譲ってもらったアンティークの扉。私の宿で受け継がせてもらう予定。



【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人））m.eto.4110@gmail.com
（電話番号（職場））0123-76-8015

Instagram（個人）　MAOI_ETO

Instagram（宿）　OTSUGOMORI_

青森県十和田市　渡邊　ゆうみ

移住・定住促進

～　十和田市移住コンシェルジュ　～

基本情報



【年　齢】
27歳
【出身地】
埼玉県春日部市
【転出元】
埼玉県春日部市
【前　職】
美容業
【活動時期】
R5.8～R8.7

協力隊に応募したきっかけ

Iターンで移住をし、このまちで自分の仕事を作りたいと思っていました。
そのときに地域おこし協力隊の募集を知り、地域の方々と関わりながら魅力を発信できる活動に興味を持ちました。
少しでも地域の力になれたらと思い、応募を決意しました。

今後の抱負・任期後の目標

協力隊退任後も十和田市の地域おこし協力隊に関わり続けていけたらと考えています。
また、仲間と共に十和田市で起業（IT関連、飲食業など）しているので、会社も継続しつつ、地域に根差した活動を続けていきたいと思っています。

活動内容

●十和田市高校生魅力発信プロジェクト「TowaPro」



高校生が中心となり、十和田市の魅力を「ショート動画」で発信する移住・定住プロジェクトです。
取材から撮影、編集までを高校生自身が手がけ、市の公式SNSを通じて発信しています。
この活動を通して、十和田市の魅力を地域外に伝えるとともに、高校生自身が地元に愛着を持ち、十和田市と関わり続けてくれるきっかけになればと考えています。

●SNS企画運営



移住・定住向けの市公式InstagramとTikTokを開設し、運用しています。
地域で暮らす人やお店、イベントなどを紹介しながら、十和田市の「人のあたたかさ」や「くらしのリアル」を発信しています。
また、高校生が制作したTowaProの動画もあわせて紹介しています。

●圏域地域おこし協力隊　情報交換会・合同活動報告会



定住自立圏域の地域おこし協力隊による情報交換会を企画・運営しています。
活動内容や課題、不安、取り組み事例などを共有しながら、協力隊同士のつながりを深められるよう取り組んでいます。
また、合同活動報告会も開催し、お互いの経験を活かし合いながら、圏域全体の活動の広がりにつなげています。
この活動がきっかけで、圏域協力隊コラボ企画も生まれました。

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）yuutumugi.design@gmail.com（個人）
citypromotion@city.towada.lg.jp（市役所）
（電話番号）080-8810-2130（個人）　/　0170-51-6712（市役所）

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
・Instagram→日々コレ十和田ナリ（十和田市公式アカウント）
・TikTok→日々コレ十和田ナリ（十和田市公式アカウント）

@TOWADA.HIBICOLLECTION

秋田県秋田市　平石　かなた

移住・定住促進

～　「あきた市暮らし」移住定住コーディネーター　～

基本情報



【年　齢】
31歳
【出身地】
兵庫県明石市
【転出元】
兵庫県神戸市
【前　職】
株式会社フェリシモ
【活動時期】
R5.5～R８.4
（３年目）

協力隊に応募したきっかけ

秋田市にある秋田公立美術大学へ進学し、卒業後はそのまま秋田市内のテレビ局に就職したことで７年間秋田市で暮らした経験がある。コロナ禍で都会での生活が苦しいと感じてもう一度秋田市に住んでみることに。ある程度の土地勘や事前の知識もあり、移住コーディネーターとしてのベースがあることと、会社員ではない働き方をしてステップアップのきっかけにもしたいと思い応募。

今後の抱負・任期後の目標

任期は残り6カ月。3年目は秋田市の協力隊が私1人なのでほぼすべての県外の移住イベントへの出張や移住ツアーを実施してきた。この2年半でフリーペーパーは11回の発行、広報誌のイラストの連載は7回、自主企画の交流会も開催したりとたくさんの経験をさせていただいている。秋田市内でのつながりを協力隊任期中に作る事ができ、今まで想像していなかった広がり方にわくわくしている。退任後はデザイナー兼自分の雑貨ブランドを立ち上げる予定。

活動内容

●移住者相談ツアー

移住を考えている方へオーダーメイドでツアーをプランニングしてご案内する。幼稚園や小学校、暮らしやすそうなエリア、素敵なお店などお客様が移住において気になっていることや希望をヒアリングし、アポを取って組み立てる。移住者としてどれだけ秋田市での暮らしをイメージできるかがポイント。



●SNS発信やデザイン業務

強みである発信力とデザインを生かしてインスタグラムを主なベースとして活動の発信をしている。市役所主催のイベントなどの告知もチラシや、リール動画などを作る。地元の人も県外の人も両方楽しめるかを大事にして制作活動をしている。



●ラジオコメンテーター

ABSラジオ番組「協力隊のシン・チカラジオ」のコメンテーターを務める。秋田県内の協力隊と県外からの移住者さんをゲストに、どんな活動をしているのかお話をする番組。昨年から2年間継続しており、今までに約60回の放送に出演し、多くの協力隊と繋がり、人に伝えることができている。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人））04kanata10@gmail.com
（電話番号（個人））080-4242-7018

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://lit.link/kanatananoka

KANATA_AKITA

群馬県みどり市　髙野　通宏

移住・定住促進

～　クラフトビールとサウナで関係人口を創出　～

基本情報



【年　齢】
56歳
【出身地】
郡馬県みどり市
【転出元】
神奈川県川崎市
【前　職】
アパレル企業会社員
【活動時期】
R6.8～R7.11

協力隊に応募したきっかけ

クラフトビールが好きで、サラリーマンをしながら、3年ほど前より、茨城県結城市のブルワリーにボランティアで通っていたところ、稲敷市の地域おこし協力隊がビールを作りに来て、地域おこし協力隊の制度を知りました。役職定年で親の介護で帰省を考えていた時、みどり市での募集を知り応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

任期後は引き続き、クラフトビールの開発・販売を行って、いつか自分の醸造所を持ちたいと思います。また、わたらせ渓谷を「ととのう渓谷」にする活動も継続。わたらせ渓谷鐵道沿線に点在する薪サウナ施設や自然施設をつなぎ、引退車両を利用した「列車サウナ」をサウナタウンのシンボルとして「サウナ×鉄道×観光」の新しい地域ブランディングを進めてゆきたいと思います。

活動内容

●移住・定住支援

わたらせ渓谷鐵道大間々駅前の観光・移住ステーションにて、移住相談、移住希望者へお試し移住ツアーなどの案内をしております。また東京のふるさと回帰支援センターなどでの移住関連イベントに参加し、移住相談を行っております。市の移住関連インスタグラム「@みどり暮らし」も運営中です。



●みどり市産の副原料を使用したクラフトビールの開発

みどり市の農産物を利用したクラフトビールの企画・開発をしております。これまでに柚子や山椒、杉のチップを使ったビールを作り、週1日、自分で運営している「Mugi toGyoza]というビアバーで販売しております。ビアバーは地元の人と観光客・他市の方の交流の交差点になればと思っております。



●サウナ関連のイベント

サウナをフックに関係人口の創出を目指したイベントを開催しています。これまでにお寺やひまわりの花畑でのサウナ体験などを開催。「サウナで地域を元気にする」を合言葉にみどり市サウナクラブを結成し、将来的には、わたらせ渓谷をサウナタウンとして「ととのう渓谷」にしたいと考えております。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人））michihiro42195@gmail.com
（電話番号（個人 ）090-3437-9455
【SNS】Instagram

@IJYU_JIN　@MUGI_TO_GYOZA　@MIDORI_SAUNA_CLUB

東京都檜原村　中澤　大樹

移住・定住促進

～　東京都にある”村”、檜原村で空き家対策　～

基本情報



【年　齢】
33歳
【出身地】
東京都八王子市
【転出元】
東京都八王子市
【前　職】
作業療法士
【活動時期】
R５.４～R８.３

協力隊に応募したきっかけ

もともと祖父の実家が檜原村にあったことで、幼少期から遊びに来ていました。作業療法士として働いている中で、自分の経験を生かすことと自分のやりたいことを考えたときに、檜原村への移住と起業を思い立ち、応募しました。事前に檜原村の総合計画などの書類を読み、事業計画を立ててから着任したため、その後の活動や行動は比較的スムーズに進むことができました。

今後の抱負・任期後の目標

任期中に起業し、不動産業、空き家相談、生活支援業、体操教室、身体調整（疼痛緩和の施術）、学習塾、移住体験住宅の指定管理などを行っているので、まずはそれぞれを軌道に乗せていきたいです。高校の同級生2人と檜原村の方1名で仕事をしているので、「檜原村のために何ができるか」をみんなで念頭に置きながら、村民の皆さんに頼られる存在になっていけたらと考えています。

活動内容

●地域を知るための活動と人脈づくり

地域を周り、住民や村内事業者との交流をする中で、地域の歴史背景やこれまでの地域の取り組みを学び、現状、課題を把握する活動。
また、交流の中で人間関係を構築し、活動のバックアップをしてくれる応援者をつくる活動。



●高齢者の支援

各地域で行われている高齢者の集会に赴き、前職の作業療法士の経験を活かし、健康体操などを行う。高齢者の支援を行うことで、空き家や相続などの相談を気軽にできる存在として認知してもらう活動。



●空き家対策

宅地建物取引士の資格と免許を取得し、空き家相談士の資格も取得。役場の空き家相談窓口の職員と連携して、空き家や相続の相談業務を行う。今後は、委託業務として行い、宅地建物取引士を生かして、ワンストップで行える空き家相談窓口を行っていきたい。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）muradukuri@vill.hinohara.tokyo.jp
（電話番号）042-519-9556
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（檜原村地域おこし協力隊Facebook）
https://www.facebook.com/hinohara.chioko.tokyo/

新潟県加茂市　阿部　駿

移住・定住促進

～　加茂市の魅力を移住コンシェルジュがご案内　～

基本情報



【年　齢】
31歳
【出身地】
新潟県加茂市
【転出元】
東京都東久留米市
【前　職】
旅行代理店
【活動時期】
R5.4～R8.3

協力隊に応募したきっかけ

前職の旅行会社で全国の自治体の担当者と話すと、「わが町にはこれがある！」と自信をもってお話されている姿がかっこよく映った。自分自身の故郷を考えた時に、何が良さなのか自信をもってPRできない自分が恥ずかしくなり、もう一度故郷について良く知る機会をつくろうと思って協力隊に応募した。

今後の抱負・任期後の目標

加茂市は新潟県の中でも観光地が少なく、知名度も高くない。一人でも多くの方に加茂市を知っていただき、加茂市を訪れてもらいたい。そのために魅力発信は今後積極的にやっていく。

任期後は、前職の経験を活かした職として加茂市の観光に携わりたく、加茂市観光協会の事務局で働く予定。

活動内容

●移住フェアへの加茂市ブース出展

東京で開催される移住フェアに加茂市ブースを出展。来場者に対して加茂市の紹介と魅力発信、移住についての相談に応じた。
移住体験ツアーを積極的に案内し、実際に加茂市に来てもらえるように工夫をしている。



●移住定住ポータルサイトの管理・運営

移住定住ポータルサイトの管理・運営を担当し、サイト内容の見やすさや利便性を向上させました。また、先輩移住者へのインタビュー記事を新たに掲載するなど、移住者の声を充実させ、より実感の伝わる情報発信を行いました。



●移住体験ツアーの実施

加茂市への移住を検討している方に対し、オーダーメイド型の移住体験ツアーを実施した。
その方の興味・関心に応じて見学する場所を変えながら、加茂市での暮らしが良く分かるように工夫している。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）kanko.kamo.abe@gmail.com
（電話番号）0256-53-0234
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（X（旧twitter））https://twitter.com/hayabe0714

長野県安曇野市　山崎　大輝

～　明科地域活性化　～

移住・定住促進

基本情報



【年　齢】
30歳
【出身地】
愛知県岩倉市
【転出元】
愛知県岩倉市
【前　職】
アウトドアガイド
【活動時期】
R6.4～R9.3

協力隊に応募したきっかけ

地元愛知にいたときに地域おこしに興味を持ち、旅行などを通して移住を考えたときにこの「地域おこし協力隊」を知りました。
自分の活動でどれだけ地域が盛り上げられるか試してみたいと思い、協力隊になりました。

今後の抱負・任期後の目標

まずは明科地域の方との関りを広く持って、地域のことをよく理解していきたいです。
その後は西表島でネイチャーガイドや地元でのイベント運営活動の経験を生かして、アクティビティを中心とした観光資源を広く発信していきたいです。

活動内容

●地域活動の実情把握

安曇野市明科地域で地域活動をしている団体等の活動に参加し、地域の方との関係を築く。
・あかしな農業塾
・森倶楽部21
・清水里山整備協議会　等



●地域活動を通じた交流の場の仕組みづくり

観光やアウトドアのガイドツアー等で安曇野を訪れた方と地域の方が地域活動を通じて交流できる仕組みをつくり、実践する。



●明科地域の魅力発信

・インスタグラム投稿
・明科MAPの製作
・ずくだせ！協力隊（あづみのFM出演）　等



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（電話番号（職場）　）0263-71-2401
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（安曇野市地域おこし協力隊公式インスタグラム）
@azumino_akashina
https://www.instagram.com/azumino_akashina

@AZUMINO_AKASHINA

長野県安曇野市　瀬戸　康弘

～　明科地域活性化　～

移住・定住促進

基本情報



【年　齢】
37歳
【出身地】
群馬県前橋市
【転出元】
神奈川県横浜市
【前　職】
自動車会社 開発職
(セールスエンジニア)
【活動時期】
R6.1～R8.12

協力隊に応募したきっかけ

2023年5月に安曇野を訪れた際に、水や緑、自然の豊かさにとても驚かされました。
こんな自然豊かな場所で子育てをしたいと、夫婦で話をしていました。
また、前職では海外駐在や出張が多く、母国の日本をもっと元気にしたい、という気持ちがありました。

今後の抱負・任期後の目標

一番大事なのは地域の方との信頼関係だと思っています。
何事も一人で出来ることは限られているので、地域の皆さんと一緒に明科を元気にしていく、そんな活動をしていきたいと思います。

活動内容

●地域活動の実情把握

安曇野市明科地域で地域活動をしている団体等の活動に参加し、地域の方との関係を築く。
・えべや
・清水里山整備協議会　等



●地域活動を通じた交流の場の仕組みづくり

観光やアウトドアのガイドツアー等で安曇野を訪れた方と地域の方が地域活動を通じて交流できる仕組みをつくり、実践する。



●明科地域の魅力発信

・インスタグラム投稿
・明科MAPの製作
・ずくだせ！協力隊（あづみのFM出演）　等



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（電話番号（職場）） 0263-71-2401

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（安曇野市地域おこし協力隊公式インスタグラム）
@azumino_akashina
https://www.instagram.com/azumino_akashina

@AZUMINO_AKASHINA

長野県宮田村　尾野　喬祐

移住・定住促進

～　10万人フォロワーが語る　リアルな長野移住　～

基本情報



【年　齢】
32歳
【出身地】
兵庫県西宮市
【転出元】
東京都板橋区
【前　職】
航空エンジニア
【活動時期】
R7.7～R10.6

協力隊に応募したきっかけ

宮田村の大自然に囲まれ山や川、空気がきれいな所と温かい人柄に惹かれました。生活圏が半径２キロとコンパクトながらコンビニやドラッグストアなどが豊富で、意外と便利。「村っぽくない村」としての魅力は唯一無二であり、私の発信力がお役に立てるのではないかと感じました。

今後の抱負･任期後の目標

SNSなどを駆使して観光や移住に関する情報発信に力を入れたいです。同世代の子育て世代にはSNSでリアルな声を届けることで、移住定住に対する悩みや不安の解消につながればと思っています。

活動内容

●移住定住の促進

移住フェアで「先輩移住者」として参加し、移住希望者への相談対応や情報発信を中心に、移住相談会の企画運営・個別相談・ポータルサイトやSNSでの発信を行っています。



●宮田村の情報発信

InstagramやYoutubeを活用した情報発信を継続中。
発信内容は移住定住や観光に関するものがメイン。
良い面だけではなく、「虫」や「寒さ」といったマイナス面も正直に発信することで信頼が高まります。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人or職場））kono23nag@gmail.com（個人）

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（instagram）https://www.instagram.com/_saecam_/

長野県安曇野市　松尾　大

移住・定住促進

～　人と地域をつなぐ　空き家活用の架け橋へのチャレンジ　～

基本情報



【年　齢】
43歳
【出身地】
千葉県市川市
【転出元】
東京都杉並区
【前　職】
ジュエリースクール講師
【活動時期】
R6.4～R9.3

協力隊に応募したきっかけ

20代から地方移住には憧れがあり、移住をする時には、地域おこし協力隊は良い制度だと感じていました。長年移住地を探してきた中でも、田んぼと北アルプスがある安曇野の景色は自分にとって一番心が落ち着く場所でした。この景色の中で家族と暮らしていきたい！そう考えた時に、ようやく募集を見つけたので迷わず応募しました。同時に移住の意思も固まりました。

今後の抱負・任期後の目標

所有者さん達から相談を聞いたり携わってきた中で、空き家は様々な要因が絡み合った結果が形として表れているという事がわかってきました。まちの魅力が伝えられなくなってきた事も空き家になる要因の一つです。

空き家を使ったまちづくりに取り組む事は、関連した様々な問題解決の糸口になると感じています。文化や芸術が発信できるまちになるようにものづくりを中心にした事業を計画中です。

活動内容

過疎化した明科地域の空き家掘起し

・令和４年に過疎認定の指定を受けた明科地区の空き家物件の整理と訴求促進をするため、市で把握している情報の整理・調査・掘起し。
・空き家を利用したい人へのマッチング。



明科まちあるきイベントの運営・ガイド

・民間団体の明科駅周辺まちづくり委員会と協力し、駅周辺の空き家から所有者・利用希望者とのマッチングにまつわる事前調査や、イベント企画・運営・ガイドを行います。



空き家活用・促進

・県外イベントや市内での区長会、出前講座などの空き家情報の訴求活動。
　HP、SNSの活用するため、物件の動画撮影・編集も行います。
・窓口業務や空き家移住相談も行っています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人））azumino.akiya@gmail.com
（電話番号（職場））0263-71-2011
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

インスタグラム @azumino_akashina
https://www.instagram.com/azumino_akashina

@AZUMINO_AKASHINA

三重県尾鷲市　永田　健将

移住・定住促進

～　海・山・人が近いまちで、新しい暮らしを。定住移住サポーター　～

基本情報



【年　齢】
26歳
【出身地】
愛知県春日井市
【転出元】
愛知県春日井市
【前　職】
食品メーカー営業
【活動時期】
R7.4～

協力隊に応募したきっかけ

釣りが大好きで、中でも筏（いかだ）釣りと呼ばれる釣りをやる為に、愛知県から片道約2時間半かけて毎週末尾鷲に遊びに来ていました。海の上に浮かべられた筏から見る尾鷲の景観が本当に綺麗で且つ、大好きな釣りをもっと身近にできるような生活を送りたいと思ったことがきっかけでした。そんな中、三重県主催の移住フェアに訪れた際にたまたま尾鷲出身だった職員さんと出会い、仲良くなり、個人的に尾鷲を案内して下さったおかげで尾鷲への移住を本格的に考え始めました。

今後の抱負・任期後の目標

大好きな“釣り”に引き続き関わっていきたいと考えています。具体的な方法についてはまだまだ模索中ですが、
この貴重な3年間でいろいろな経験をしながら、釣りが身近にある生活を楽しみつつ、まだ釣りの楽しさを経験したことがない方には一度体験してもらうなど、尾鷲の海の素晴らしさをお伝えしていければいいなと考えています。

活動内容

●空き家バンクの運営

空き家を手放したい・貸し出したい所有者様と、買いたい・借りたい利用者様をマッチングするサービスとして運営しています。基本的には登記簿の確認、現地での写真撮影や図面の作成、HP掲載など一連の業務を行っており、利用希望者様が現れた場合には物件への案内や街の紹介などもしています。案内時には、所有者様が大切にしている思いや当時の暮らしををなるべくお伝えするように心がけております。



●都市部での尾鷲市PRイベントへの出展

尾鷲や尾鷲市地域おこし協力隊のPRとして、都市部で開催される移住フェアや移住相談会に出展しています。実際に自分が移住した経緯や体験談をお話することで、“移住に興味はあるがなかなか一歩が踏み出せない”方々の背中を押してあげられるような存在になるよう努めております。



●尾鷲の釣り好き交流インベントを開催

尾鷲には数多くの魚が住み、透き通って底まで見えるほど綺麗で素晴らしい海があります。そんな海がある尾鷲は県内外から、多くの釣り人が訪れる場所でもあります。尾鷲に来る釣り人を集めて交流して、より尾鷲の良さを知っていただきながら、移住者・2拠点居住者を創出していきたいと考えております。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人））nagata.owase@gmail.com
（電話番号（職場））0597-37-4010

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
ブログ→https://nagaken23.com

YouTube　Instagram

三重県度会町　木崎　高志

移住・定住促進

～　わたらいふ（移住促進や空き家利活用）の提案　～

基本情報



【年　齢】
４４歳
【出身地】
高知県香南市
【転出元】
大阪府豊中市
【前　職】
機器メンテナンス
【活動時期】
R５.４～R８.３

協力隊に応募したきっかけ

大阪府で会社員として約２０年間勤め、環境を変えたいと思っていた折、幼少期のころ三重県伊勢市に住んでいたこともあり、お隣の度会町での移住体験会が目にとまりました。参加したところ、自然豊かな環境や地域の方が温かい度会町に惹かれ、そして協力隊ミッションに惹かれ応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

町内の方向けに空き家対策として、空き家管理や活用方法、空き家バンクを知っていただく活動をしています。
度会町に一軒家の賃貸住宅がほぼ無く、移住を勧めてはいるが、移住が住宅購入となると移住ハードルが高く、移住に踏み切れない方が多いと感じるので、一軒家の賃貸住宅を作って移住者の仲間を増やしていきたい。

活動内容

●空き家調査・空き家バンク運営作業

町内を回り、空き家の可能性のある家に空き家バンクチラシ投函実施。
空き家バンク登録に関わる内覧調査や内覧希望者の案内を行っています。



●空き家利活用リノベーションスキル向上

近隣町の同じようなミッション協力隊の改修現場で教えてもらいつつ、自身でも購入した空き家を素人ながらリノベDIYしています。
畑作業なども初めてながら行っています。



●移住イベントや広報活動

テレビやセミナーに登壇し、移住者として感じた事などを発信しています。



連絡先

三重県度会町みらい安心課　まで
電話：0596-62-2423
Mail:mirai@town.watarai.lg.lp

京都府与謝野町　郭　珍秀（かく　じんすー）

移住・定住促進

～　１００周年を契機に与謝野駅周辺活性化　～

基本情報



【年　齢】
３８歳
【出身地】
韓国　清州市
【転出元】
大阪府吹田市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R6.9～

協力隊に応募したきっかけ

義理の両親たちが丹後地域出身で何回も与謝野町に訪れていました。僕は都会よりも田舎の自然が好きで、自然で出来るアクティビティ（サイクリング・スイミング・スノーボード）が大好きです。与謝野町に訪問した時に、豊かな自然に囲まれて海や山、美しい平野がある与謝野町に魅力を感じました。特に与謝野町の方々の優しさに惹かれて与謝野町へ移住したいと思い、協力隊に応募しました。

今後の抱負･任期後の目標

３か国語（日本語・韓国語・英語）ができますので、それを活用して皆さんが泊まれる宿屋を運営したいです。
与謝野町や丹後地域は、豊かな自然に囲まれており、自然を活かした体験もできる場所なので、泊まる方達が丹後地域をしっかりと楽しめる場所を提供したいです。

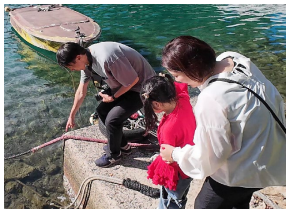
活動内容

●SNSを活用した情報発信

韓国出身の移住者から見た与謝野町や丹後地域の魅力をInstagramやYoutubeで発信しています。
地域行事や観光地などを撮影し自身が感じた事をコメントしながら魅力を伝えられるように動画を作成しています。一週間に一回の動画投稿をしています。
今後は外国人旅行者達に対して与謝野町を案内し、観光・体験の様子を撮影し発信していく予定です。

●移住･定住促進活動

移住希望者を連れて与謝野町と丹後地域の魅力を紹介する地域案内をしています。また、案内と合わせて移住希望者が地域の方と交流できる機会をつくり、移住後の生活をイメージしやすくしています。



●地域行事への参加･与謝野駅周辺活性化活動

地域の運動会や祭りなど色々な行事に参加し、地域の方と交流しながら日本文化を体験しています。
また、与謝野駅周辺の活性化を目的に活動する地域団体と協力してイベントを実施し、駅の活性化に取り組んでいます。地域の方を対象とした韓国語講座も駅で開催し、多くの人で賑わう場所にするための活動を進めています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人or職場））kakujinsoo@gmail.com

大阪府能勢町　小川　繁樹

移住・定住促進

～空き家から始まる、つながる暮らしづくり～

基本情報



【年　齢】
40歳
【出身地】
大阪府交野市
【転出元】
大阪府豊中市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R5.6～R8.3

協力隊に応募したきっかけ

前職時代に地域との関わりがある事業をしていた際に興味を持ったことがきっかけでした。
自分にとっても、相手にとっても会社というフィルターをなくした上で少子高齢化の課題の世界でも最先端である日本の地方の実情を知りたいと考えた為に応募しました。

今後の抱負･任期後の目標

これまでの活動を通じて、地域の現状や課題を多面的に理解し、住民や行政との協働の重要性を実感しました。
任期後は、これまで培った知識と経験を生かし、地域の資源を活かした新しい仕組みづくりや、人が関わり続ける場づくりに取り組みたいと考えています。
協力隊活動で得た経験を基盤に、地域の魅力を発信し、持続可能な形で次世代へつなげていくことを目標とします。

活動内容

●空き家事業（移住促進）

- 移住希望者相談業務
- 定期的な移住定住イベントへの参画
- 空き家の調査や相談体制の整備、他地域事例の 研究を通じて、移住希望者と地域をつなぐ基盤づくりに取り組みました。



●観光事業

- けやき資料館にてイベントやワークショップのサポート・屋台業務や物販のサポートを行い、来訪者との交流を通じて地域の魅力発信と観光誘客に取り組みました。



●地域連携支援

- けやき資料館を中心に環境整備実施。ガーデンや紫陽花ロードなどのメンテナンスに参画しました。ボランティアスタッフの拡充やボランティア内容の企画に従事。無理なく継続できる仕組みへと取り組んできました。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
メールアドレス（個人）shigekio.local@gmail.com

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（instagram）https://www.instagram.com/nose.chiikiokoshi/
（facebook）https://www.facebook.com/nose.chiikiokoshi/

和歌山県東牟婁郡串本町　石山 靖子

移住・定住促進

～イベントの運営立案を行い、移住者増加に取り組むためのコア人材～

基本情報



【年　齢】
38歳
【出身地】
千葉県佐倉市
【転出元】
千葉県千葉市
【前　職】
会社員、フリーランス
【活動時期】
R6.7～R9.6

協力隊に応募したきっかけ

前職での経験から、地方創生（農業・空き家等の課題）への取り組みに興味を持ちました。串本町に曾祖母の空き家を相続し、夏休み等の長期休暇を利用し、手入れに通っている中で、海や川の豊かさを感じた小学生の息子が串本に住みたい！と言ってくれたことがきっかけで移住を考えはじめました。会社員、フリーランスを経験し、行政と連携するというあたらしいキャリアに、先祖代々お世話になった土地でチャレンジしたいと思い、応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

自分の経験を生かして、空き家の利活用と移住支援について、人口減少の現状がよくなるようコツコツ取り組みます。住まい・仕事・人間関係など、すべてがつながっていると思うので、自分が関わることで少しでも、今住んでいる人ひとりひとりが幸せだったり、地域への関わりにやりがいを持てるような元気なまちづくりに貢献したいです。自分も相手も地域も嬉しいwin-win-winを意識して、公私ともに楽しんで過ごしていきます。

活動内容

●空き家バンク運営・移住相談

住宅協力員や県の地域おこし協力隊等と連携し、空き家バンクの運営と、主に県外からの移住希望者に向けた移住案内を実施しています。自身が空き家を所有・管理していた経験や、関東から移住してきた経験を生かして、所有者・移住者双方の気持ちに寄り添いつつ、背中を押すようにしています。



●観光SNS発信・観光動態調査

串本町産業課の公式Instagramでのイベント情報等の取材・発信を行ったり、町内への宿泊・日帰り客の観光動態調査を観光協会さん等と連携して実施して、町内の観光の振興に貢献できるよう活動しています。



●まちづくり交流会や地域食堂の実施

協力隊活動を知ってもらいつつ、地域の方の声を拾うべく、地域の方との交流会を実施しました。そこで集めたニーズを元に、防災や子育て、食育等複数目的を持たせた『地域食堂』を提案し、公民館を活用し、地域の関係者の協力を得て、みんなでごはんを食べて交流するイベントを開催しました。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（職場））yasuko.ishiyama@town.kushimoto.lg.jp
（電話番号（職場））0735-62-0558

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）https://www.instagram.com/kushimoto_life/

岡山県玉野市　金子　美穂

移住・定住促進

～玉野の知名度を全国に！ふるさと回帰支援センター卒業生の挑戦！～

基本情報



【年　齢】
43歳
【出身地】
特定の出身なし(転勤族)
【転出元】
埼玉県和光市
【前　職】
ふるさと回帰支援センター(岡山県専属相談員)
【活動時期】
R6年.1月～

協力隊に応募したきっかけ

前職在籍中、玉野市へ出張へ出向いた際、移住支援団体に市内案内をしてもらい「受入側の移住支援」に関心を持ちました。玉野市のオープンな雰囲気と瀬戸内海の景観に心惹かれ移住候補地としました。
前職の繋がりや経験を活かし、既に関係を構築していた市職員や支援団体と共に、自身の強みややりたいことが実現できると確信し応募しました。

今後の抱負･任期後の目標

宇野港や王子が岳などの個々のスポットに知名度はあるが、玉野市全体としての知名度や発信不足が課題と考えています。
首都圏での対面型移住セミナーを企画したり、地域住民や移住者と協力し形に残るZINE作りを実施します。任期後は玉野市に定住し、顔の見える仲間から業務委託を受ける「複業家」を目指しています。

活動内容

●移住先地域が漠然とした方へ、他市とのコラボセミナー

他市とのコラボセミナーにて玉野市先輩移住者として移住体験をスピーチしています。今年度は先輩移住者に声をかけ、移住体験談のスピーチを依頼しました。県内の同業者に協力を仰ぎ移住イベントの共同主催を企画しました。今年度は真庭市・備前市・総社市と実施します。



●前職ふるさと回帰支援センターでの定期出張相談会

前職ふるさと回帰支援センター岡山県ブースを利用し、出張相談会を企画、実施しています。前職で担当していた方からの再相談、前職のコネクションを活用しました。
移住先が漠然としていた方に個別相談を実施して、オーダーメイドの市内案内、移住に繋げました。



●地域住民、移住者と共にZINE作り

移住支援団体が発足した宇野港ラジオ体操という活動があります。運営の補佐をつとめながら、ラジオ体操のメンバーとZINE作りを企画しました。実行委員として情報発信、広報を担当しながら自らも玉野の暮らしの四季を執筆。移住相談会ではサンプル品を持参し、「玉野の人物図鑑」として活用しています。



連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Instagram(左)
note(右)

TAMANO.CHIIKIOKOSHI.IJU

岡山県西粟倉村　田村　伶

～　移住コーディネーター　～

移住・定住促進

基本情報



【年　齢】
３９歳
【出身地】
京都府宇治市
【転出元】
大阪府大阪市
【前　職】
人材派遣会社の支店長
【活動時期】
R７.５～R９.４

協力隊に応募したきっかけ

地域おこし協力隊の存在を知ったのは、3年ほど前でした。知り合いの経営者が大阪から北海道に移住し、うに丼屋兼宿泊施設を立上げ、経営されていると聞き、実際に何度か伺いました。
そこで、地域おこし協力隊の制度の素晴らしさと、地方創世の意義と時代的優位性、必要性を知り、いつか自身も日本のどこかで地域おこし協力隊になりたいと思い始め、情報収集を始め、西粟倉村と出会い、応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

今後の抱負は、移住者を受け入れ続け、関係人口を増やし続ける仕組みを、人口減少のトレンドを踏まえながら、省力化しつつ継続可能な形で構築すること。

任期後の目標は、地方創生のカテゴリーの中で特に需要のある人材になり、得たスキルと経験を求められる場所で還元しながらお金を稼ぐこと。

活動内容

●村内事業者17社による合同採用イベント

西粟倉事業協同組合と協力し企画、運営しました。村内の協力隊受入事業者17社とともに大阪で合同採用イベントを開催し、協力隊の採用、インターン、村への視察へ繋げました。よく知る大阪に新しい村の仲間たちと行くことはとても新鮮でした。



●1年目協力隊研修の企画・実施

「森林事業者視察研修」を西粟倉百年の森林協同組合と協力し、地域おこし協力隊1年目の隊員を対象に、実施しました。「百年の森林構想」の背景、現状と事業者活動を学び、西粟倉村の魅力や歴史を知ることを主要目的として行い、協力隊の地域理解を深めることができました。



●移住体験ツアーの実施

産業観光課と協力し、潜在的移住希望者向けに1泊2日で移住体験ツアーのお試し版を実施しました。テントサウナを初めて体験したのですが、この時の川の水の冷たさは一生忘れないと思います。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（職場））r-tamura@vill.nishiawakura.lg.jp
（電話番号（職場））0868-79-2111

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（インスタグラム）

@TAMTAM_NISHIAWAKURA

広島県廿日市市　田崎　裕司

移住・定住促進

～　暮らし相談のスタート地点をつくる　～

基本情報



【年　齢】
36歳
【出身地】
広島県広島市生まれ
大阪府高石市育ち
【転出元】
東京都新宿区
【前　職】
アパレルEC経営
【活動時期】
R5.9～R7.8

協力隊に応募したきっかけ

ビジネススクール時代の友人が地域おこし協力隊になったことをきっかけに地域おこし協力隊に興味を抱き、廿日市市の地域おこし活動の存在を知りました。
私の実家がある広島市に隣接し、世界遺産の宮島があり、自然も街も両方楽しめる廿日市市の暮らしに魅力を感じました。また、個人事業主として活動しているので、兼業できることも応募の決め手になりました。

今後の抱負・任期後の目標

【今後の抱負】
空き家バンクの運営に携わっており不動産を扱うため、様々な専門知識が関わってきます。暮らしに関わることの知識を深め、地域への移住・定住をトータルでサポートできる人材になりたいです。
【任期後の目標】
不動産売買や相続・登記関係など専門性の高い分野においても相談に乗ることができる存在になりたいです。

活動内容

●空き家バンクの運営サポート

「空き家バンク制度」は、主に一般の不動産業者の介入がない中山間地域などの空き家を、市を通じて紹介し、市に移住したい人に空き家の情報を提供するシステムです。
宅地建物取引業者と連携しながら、売りたい人と買いたい人をマッチングできるように活動しています。



●地域セミナー・勉強会への参加

空き家を把握するためには、地域の方の協力が必要不可欠です。地域の方にも空き家に関する理解を深めてもらい、地域全体で取り組めるように空き家に関する勉強会を開催しています。令和５年度に宅地建物取引士資格を取得したので、資格の知識を活かして相談者の役に立つ情報提供に努めます。



●移住定住イベントへの参加

広島県主催「オールひろしま移住フェア(有楽町)」に参加し、県外の方に広島と廿日市市の魅力を伝えました。私自身も大阪や東京といった都市部で暮らしていた経験があるため、自身の経験談を交えながら地域移住に関するアドバイスができればと心がけています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（職場））h.chiikishienin@gmail.com
（電話番号（職場））0829-72-1112
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（はつかいち空き家バンクHP）https://hatsukaichi-akiyabank.com/
（廿日市地域支援員ブログ）https://201community-supporters.com/

山口県阿武町　松島　眞由美

移住・定住促進

～　農を援(たす)ける援農コーディネーター　～

基本情報



【年　齢】
54歳
【出身地】
東京都日野市
【転出元】
東京都日野市
【前　職】
フリーランス（援農）
【活動時期】
R７.４～R10.３

協力隊に応募したきっかけ

以前に紀州梅の農家とワーカーを繋ぐ「梅のコーディネーター」をしており、任務である「1/4worksコーディネーター」は活動内容が似ていたため応募した。

阿武町への移住を考え、空き家バンクで内見した物件からの、窓枠からの絶景«農村の銀世界»がまるで絵画のようだった。この風景に一目ぼれし、住むことに決めた。

今後の抱負･任期後の目標

プロジェクトでの援農などで阿武町に来られた人たちがまた阿武町にまた戻ってきたくなるような環境作りをしていきたいです。後に移住に繋がっていければと考えています。

活動内容

●1/4works援農プロジェクトコーディネート

「農林漁業体験」「就業体験」ができ、町の基幹産業「一次産業」の現場で繁忙期の人手を確保するため『1/4works（ヨンブンノイチワークス）援農プロジェクト』で、ワーカーの受入れや滞在中のサポートを行っている。



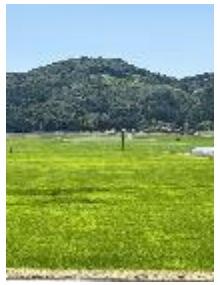
●関係人口づくり

プロジェクトのワーカー等が滞在する福賀シェアハウスの管理や利活用を行い、農家やワーカー、地域の人たちが交流できる場所づくりを実践している。









連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（職場））machisui04@town.abu.lg.jp
（電話番号（阿武町役場まちづくり推進課））08388-2-3111

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（阿武町地域おこし協力隊Facebook）https://www.facebook.com/abuokoshi

香川県坂出市　竹内　賢寛

移住・定住促進

～ワンストップ移住対応を推進！必要なものをゼロから構築～

基本情報



【年　齢】
35歳
【出身地】
長野県中野市
【転出元】
東京都目黒区
【前　職】
デジタルマーケティング
【活動時期】
R6.12～R9.12

協力隊に応募したきっかけ

結婚を機に、仕事中心の生活から「夫婦の時間」を重視したいと考え、東京からの移住を検討するようになりました。私が海のない雪国の出身のため、温暖で海の美しい地域を希望し、お互いの実家から遠すぎない四国の香川県・愛媛県に候補を絞りました。そうした中、東京で開催された移住フェアで坂出市の地域おこし協力隊について知り、これまでの経験を活かしながら移住先の課題解決に取り組める協力隊の仕事に魅力を感じ、応募いたしました。

今後の抱負・任期後の目標

活動開始から約1年半が経過しました。坂出市の移住サイトや移住冊子を作成して基盤を整えながら、移住フェアでの相談対応や現地視察の案内を中心に活動してまいりました。今後もこうした業務を継続するとともに、協力隊のさらなる拡充に向けた「組織化」にも取り組んでいきたいと考えています。また、任期後の目標である「夫婦での起業・自走」を実現するため、3年という限られた期間を最大限に活かし、日々全力で取り組んでまいります。

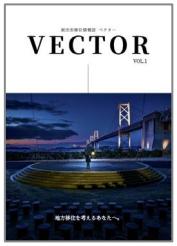
活動内容

●坂出市移住ポータルサイトの作成



リソースなどの問題もあり、坂出市には他の自治体にある移住特化型のポータルサイトがありませんでした。そこで、まずは基盤となる情報窓口を整備するため、自らサイト構築を行い、必要な情報を集約して3ヶ月でオープンさせました。今後はさらにコンテンツの拡充を進めてまいります。

●坂出市移住情報誌「vector（ベクター）」作成





同様に、他の自治体によくある移住情報誌などもありませんでした。そこで、写真撮影と印刷をかがわごとのOB隊員に依頼しつつ、デザイン・執筆・編集は自ら行い、坂出市の移住情報誌を刊行いたしました。今後はさらなる内容と品質のアップデートを進めつつ、シリーズ化できたらと考えています。

●移住相談の対応



上記のハード面を整備しつつ、メインとなる移住フェアや現地視察の対応を日々行っています。特に「現地視察対応(個別相談対応)」では、一人ひとりの状況に応じ、内容をカスタマイズし、現地での暮らしが実感できる案内に注力しています。また、必要に応じ生活コスト算出や物件選定まで柔軟に対応しています。

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人or職場））cok.t.takeuchi@gmail.com
（電話番号（坂出市 政策課））0877 - 44 - 5001

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（坂出市移住ポータルサイト）https://iju-sakaide.jp

高知県四万十町　岩﨑　姫無

移住・定住促進

～移住者目線で地域と人をつなぐ“橋渡し役”～

基本情報



【年　齢】
22歳
【出身地】
東京都板橋区
【転出元】
東京都板橋区
【前　職】
フリーター
【活動時期】
R5.4～R8.3

協力隊に応募したきっかけ

高校時代から「自分が本当にやりたいこと」を模索し、会員制のサロンを通じて外部の大人たちと出会い、思考が広がる中、環境を一転させることで自分の“好きなこと”と“仕事”を重ねられる暮らし方に興味を持ちました。移住先を探す中で、四万十町で高級オーガニック卵「神果卵」事業を継承した方との出会いをきっかけに「地域おこし協力隊」という制度を知り、移住を決意。

今後の抱負・任期後の目標

最後の一年は移住促進を目的としたイベントの開催や移住相談対応、四万十町の魅力発信業務を引き続き、実施したいと考えています。
任期後の目標としては、現在行っている餃子「Tangled」の営業日を増やしながら、餃子のオンライン販売をしていくことで、四万十町の魅力を町内にとどまらず全国に発信していきたいです。

活動内容

●移住相談対応

四万十町に移住を検討している方の不安の解消や四万十町の魅力を伝えて、同じ移住者目線で移住相談を受けます。制度説明だけでなく、実際の暮らし方や地域との関わり方などリアルなところもお伝えすることで、移住後の定着にもつながるサポートを意識しています。



●移住者交流会の企画・主催

移住後の孤立を防ぎ、町内で自然なつながりを形成できるよう、横の繋がりづくりを目的とした交流会を定期的に開催。農業体験や季節イベント、など幅広いテーマで企画し、移住者同士だけでなく、地域住民も交えた横のネットワークづくりを促進しています。



●四万十町の魅力発信

四万十町公式noteやFacebook、Instagram、YouTubeなどのSNSを活用して、四万十町での暮らしや人、地域で育つ食材や文化などを取材・編集し、移住希望者にも伝わる形で発信を行っています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
メールアドレス（職場）iju-40010@town.shimanto.lg.jp
電話番号（職場）0880-22-3281
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
四万十町協力隊Facebook（ https://x.gd/slisD）
餃子屋「Tangled」Instagram→

福岡県香春町　原田　野々花

移住・定住促進

～　空き家を活かし繋げる移住・定住の輪　～

基本情報



【年　齢】
24歳
【出身地】
福岡県北九州市
【転出元】
大阪府守口市
【前　職】
店舗デザイン会社
設計職
【活動時期】
R7.4～R10.3

協力隊に応募したきっかけ

大学時代に地域づくりに関心を持ち、卒業制作では「商店街の再生」をテーマに研究を行いました。研究を進める中で、次第に商店街を構成する“店舗そのもの”に興味を抱くようになり、卒業後は大阪の店舗デザイン会社に就職しました。店舗デザインの仕事を通じて、培った知識やスキルを活かしながら、地元・福岡で地域に根ざした活動がしたいという思いが強くなり、そんな折に地域おこし協力隊の募集を知り、応募を決意しました。

協力隊の制度については詳しく知りませんでしたが、香春町はサポート体制がしっかりしているのだなと感じたことが、応募を後押しする大きなきっかけとなりました。

今後の抱負・任期後の目標

今年は「地域に慣れること」を目標に、移住・空き家相談室の業務を中心に活動しました。地域をまわったり、イベントに参加・企画したりする中で、多くの方と関わる機会がありました。そのおかげで、香春町が自分にとって“帰る場所”のように感じられるようになり、人とのつながりや居心地の良さを実感しています。

来年からは、これまでの経験やスキルを活かして、空き家の活用やデザインの面から町の動きに関わっていけたらと思っています。

任期後は、これまでの経験をもとに、自分の仕事や暮らしの軸を香春町に置きながら、継続的に地域の活動にも関わっていきたいと考えています。

活動内容

●地域まわり、空き家バンク

移住・空き家相談室を運営している(一社)カワラカケルと共に、香春町空き家・空き地情報バンクの運営や相談室への空き家相談者からの相談に応じたり、自らの足で町内の空き家調査を行ったりしています。実際に現場をまわりながら学ぶことで、空き家に関わる実務の流れを理解できました。



●イベント企画

活動の一環としてイベントの企画を担当し、7月には陶芸のイベントを開催しました。自分の好きな陶芸をテーマにできたこと、参加者の方々と直接お話しできたことが印象的でした。

町外からの参加も多く、香春町を知ってもらうきっかけになったのが嬉しかったです。準備から運営までを通して、イベントづくりの難しさと楽しさを実感しました。



●陶芸

香春町に来る前から趣味として学んでいた陶芸を、より本格的に学んでいます。

町の陶芸教室に通ったり、地域の陶芸家の方に教えていただいたりしながら、制作の幅を広げています。素材や釉薬についての理解も深まり、少しずつ自分らしい表現を模索しています。

今後は、陶芸を自分の軸のひとつとして確立できるよう努力していきたいです。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（個人メールアドレス）nonokaharada24@gmail.com
（移住・空き家相談室）0947-32-8408
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（移住・空き家相談室）https://kakeru.town.kawara.fukuoka.jp/
https://www.facebook.com/iheartkawara/

長崎県諫早市　黄　治豪(コウ チゴウ)

移住・定住促進

～　森山から你好！森山の魅力を世界へ発信～

基本情報



【年　齢】
31歳
【出身地】
中華人民共和国 北京市
【転出元】
千葉県 野田市
【前　職】
ホテル勤務
【活動時期】
R7.3～R10.2

協力隊に応募したきっかけ

もともと田舎で暮らしながら民泊などの起業をしたいという思いがあり、偶然、協力隊をしている友人から、諫早市の協力隊を紹介してもらったことがきっかけです。
採用前に諫早市内を訪れた際、美しい自然や温かく迎えてくださる地域の皆さんに触れ、「ここなら自分らしい暮らしができる」と強く感じ、これまでの自分の経験を活かせる場としてもぴったりだと思い、協力隊に応募しました。

今後の抱負･任期後の目標

協力隊活動では、森山地域の歴史や文化、ルール、人のつながりを理解し、尊重することが何より大切だと考えています。それを踏まえ、新しい取組を行うときには、まず今ある地域資源や、施設の有効活用が大切だと感じています。今あるものを活かしながら、自分の経験だけでなく、様々な視点を取り入れることで、訪れる人々が何度も足を運びたくなるような魅力的な森山町になるよう、地域の皆さんと一緒に取り組んでいきたいです。

活動内容

●森山地域の魅力発信

インスタグラムを活用して森山地域の情報発信を行っています。
森山地域の魅力を再発見し、地域の方だけでなく、地域外の人にも森山の魅力を伝えています。まだまだ知られていない森山の魅力を地域の方々と一緒に探して世界へ発信していきます。



●移住相談者への支援

移住相談会等へ参加して、移住に対する理想と現実、そしてその先にある本当の楽しさや魅力、価値などについて、相談者に伝えることで、移住に対する不安の解消や暮らしのイメージをし易くするお手伝いをしています。



●森山地域の活性化

森山地域の祭りなど色々な行事に参加し、地域の方と交流しながら日本文化を体験しています。
また、中国語講座を開催し、中国語とともに文化や人のことを知ってもらい、日本と中国の相互理解の促進に繋げていきたいです。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（職場））iju_teiju@city.isahaya.nagasaki.jp
（電話番号（職場））0957-22-1500

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（インスタグラム）moriyama.saiko

鹿児島県屋久島町　坂井　直利

移住・定住促進

～　空き家の利用促進（移住推進及び情報発信）　～

基本情報



【年　齢】
３８歳
【出身地】
神奈川県横浜市
【転出元】
奈良県奈良市
【前　職】
工務店
【活動時期】
Ｒ７.４～

協力隊に応募したきっかけ

屋久島の自然やそこに生息する動植物に以前から強い関心を持っており、知人から地域おこし協力隊の制度と屋久島町の募集について教えてもらったことをきっかけに応募いたしました。

今後の抱負･任期後の目標

元々工務店で仕事をしておりましたので、空き家利用促進にその時の経験を活かしながら取り組んでいけたらと考えております。
また、任期後は屋久島町に残り続けたいと考えておりますが、経験が浅く先が見えていない状況ですので、活動をしながら住み続けていける生業を考え活動をしてきたいと思います。

活動内容

●空き家利用促進に関する業務

・屋久島町空き家バンクの運営業務
・各集落を回り、空き家バンク制度の説明
・各集落を回り、空き家の情報収集
・移住希望者に対する空き家情報の提供



●移住推進に関する業務

・移住希望者からの相談対応
・移住体験ツアー等の企画実施
・移住関係インターネットページの情報更新
・移住者へのインタビュー等による移住体験談の収集



●情報発信に関する業務

・ＳＮＳ等を活用した日常的な情報発信



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（職場））ijyu@town.yakushima.kagoshima.jp
（電話番号（職場））0997-43-5900
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（facebook）https://www.facebook.com/145370406258663

02 不動産利活用

山形県大江町　小角　さくら

不動産利活用

～　写真と文章で空き家を生かす仕事　～

基本情報



【年　齢】
37歳
【出身地】
山形県寒河江市
【転出元】
神奈川県厚木市
【前　職】
スタジオカメラマン
【活動時期】
R6.12～現在

協力隊に応募したきっかけ

大学を卒業後「面白い仕事がしたい」という理由で13年ほど首都圏で生活をしていました。コロナ禍以降は、山形に帰省する回数も増え、その度に空の広さと山々の美しさを再認識し、四季で変わる自然の景色に心を動かされ、いつの間にか「地元に帰りたい」という願望ができました。
そんなとき、偶然訪れた大江町役場で紹介いただいた「写真と文章で空き家を生かす仕事」というミッション内容に魅力を感じ、即時応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

【今後の抱負】
空き家バンクの登録数を増やすための、更なる創意工夫！危険空き家になる前に、空き家バンクに登録していただき、町民の皆さんの安全な生活と、大切な財産を守るお手伝いをしていきたいです。
【任期後の目標】
興味があることが多いので、まだ手探り状態です！移住・定住促進に繋がるような仕事をしたいと思っています。

活動内容

●空き家バンク運営

町のホームページで、空き家物件をわかりやすく紹介。自分の目で見て文章を考え、撮影した写真をレタッチし、記事を作成しています。



バンク登録促進チラシの配布。道の駅や温泉施設など人が集まる場所にポスターを設置、空き家バンクの認知度アップに日々取り組んでいます。



●移住・定住促進

首都圏の移住セミナーに参加、自身のUターン経験を活かし、移住を考えている方に、大江町のくらしを紹介しています。

●町内の記録・撮影

町のくらしやイベントを撮影するという“裏ミッション”も担当。撮影した写真や動画は「おおえぐらし」ホームページやSNSのほか、パンフレットなどで町のPRに活かしています。他のミッションの協力隊員からも撮影を依頼されるので、仲間の隊員とのコミュニケーションのきっかけにもなっています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス） iju@town.oe.yamagata.jp （地域振興課　地域交流係）
（電話番号）0237-84-1503 （地域振興課　地域交流係）

「おおえぐらし」ホームページ　おおえぐらし - 大江町移住情報サイト
（Instagram）oe_life_yamagata

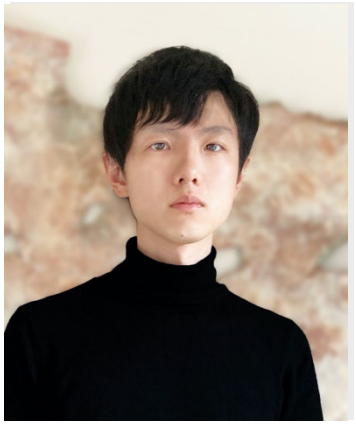
OE_LIFE_YAMAGATA

長野県諏訪市　藤森　慧

不動産利活用

～　空き家の掘り起こしと利活用　～

基本情報



【年　齢】
33歳
【出身地】
東京都東久留米市
【転出元】
兵庫県宝塚市
【前　職】
建築設計業
【活動時期】
R６.５～
（２年目）

協力隊に応募したきっかけ

諏訪地域出身の父を持ち、これまで何度も諏訪地域に訪れる機会がありました。その中で諏訪の美しい風景や、縄文時代に端を発する歴史文化に幼少の頃から関心を持ってきました。特に諏訪市は諏訪大社本宮や片倉館などをはじめとした建築的魅力とあふれるまちであると感じています。

「空き家の掘り起こしと利活用」というミッションではこれまで培った建築の専門的な能力が十分に活かせる点や、地域おこし協力隊として諏訪に住む方々に積極的に関わる機会を得られる点にメリットを感じ、応募に至りました。

今後の抱負・任期後の目標

〇今後の抱負

諏訪地域には細い小路が入り組む独特のまちの風景や、建てぐるみなどの独自に発展した建築文化が今も残されています。空き家の活用を通してそれらの文化の一端を継承していくことこそが、諏訪でしかできないチャレンジだと思っています。

〇任期後の目標

歴史意匠、特にアニミズム的な建築に深い関心があります。任期後は諏訪地域に根ざした設計事務所を開業することが目標です。

活動内容

●空き家の掘り起こし・空き家見学会　ーみなに伝える方法

諏訪市は約５軒に１軒が空き家であり、統計上は年間約60戸の空き家が増え続けています。 中でも特に空き家が密集する上諏訪駅周辺エリア（約700件）を対象に掘り起こしを行っています。空き家オーナーと利活用希望者をつなげる「空き家マッチングサービス」や、まちの雰囲気を感じながら空き家をのぞいてみる「空き家見学会・相談会」などによって、空き家を知り活用につなげる機会を創出します。



●DIYイベントを介した改修　ーみなでつくる方法

地域おこし協力隊が掘り起こした空き家のリノベーションを進めています。DIYイベントを介することで市内外から広く参加者を募り、地域に開いた改修工事を行っています。

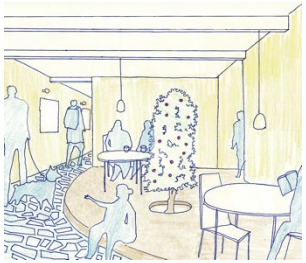
片付けからはじまり、活用方法を考え、解体し、補強し、塗装までをDIYで行う改修のメニューは、「諏訪式」空き家活用術としてオープンソース化し、みなが参照・実践できるデータベースとしていきます。



●空き家をつくりながらつかう　ーみなでつかう方法

ゆっくり進む空き家のリノベーションと並行しながら、改修の段階から現場を開いてチャレンジショップや、イベントスペース等に活用していきます。

所有者には地域で空き家を活用する具体的なイメージを、活用希望者には試しに使ってみるきっかけを提供することで、まちの中から空き家活用の機運を育んでいきます。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）tokei@city.suwa.lg.jp（代表）
kei-fujimori@city.suwa.lg.jp（個人）
（電話番号）0266-52-4141（内線267）

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Facebook：https://www.facebook.com/suwachiikiokoshi/
Instagram：https://www.instagram.com/suwachiikiokoshi/

Facebook　Instagram

長野県中野市　近藤　真由

不動産利活用

～　空き家が再び「誰かの場所」になるまで、人・場所・地域を繋ぐ架け橋に～

基本情報



【年　齢】
３０歳
【出身地】
神奈川県相模原市
【転出元】
神奈川県相模原市
【前　職】
建築設計
【活動時期】
R６.４～

協力隊に応募したきっかけ

建設業で店舗設計に携わるうちに、自らのお店を持ち、運営から行い、人に空間提供をしたいと考えるようになりました。
また、新築ではなく既存建物で開業したいと思っていたところ、友人からの提案で地域おこし協力隊空き家対策というミッションを知り、応募にいたりました。

今後の抱負・任期後の目標

空き家はすぐに解消できるような問題ではありません。
誰かが先陣を切るのではなくひとりひとりが自分事とすることで空き家予防になり、空き家対策になると思います。
そのために相談しやすい信頼関係を築いていくことは協力隊としてできる空き家対策になると思うのでキーパーソンになっていきたいです。
将来的には空き家を活用して自分のお店を持ち地域へ空間提供することが目標です。自身が空き家活用事例になることで空き家活用促進に繋がればと思います。

活動内容

●空き家相談窓口

空き家の流通、活用などに係るフォロー。
お問い合わせフォーム、対面、またはメール、電話で相談を受け付けています。
空き家相談所を市役所とは別の場所に設けることでエリアリノベーションの拠点を目指します。
土日も相談できる地域の集まる場所になっています。



●現地調査、物件案内

空き家所有者の方からのご相談は必ず現地での対面相談のご提案をしています。
建物状況の確認と活用希望の場合は早期決断が必須の為です。建物は使わないと傷み続けます。
個人間マッチングを希望の場合は内覧案内もします。



●イベント企画、開催

空き家に関するイベントやDIYワークショップ、セミナーなどを開催しています。
イベント開催における主なテーマは
“空き家利活用の促進”と
“空き家所有者の早期決断を応援する”



その他活動やイベント告知はSNSにて随時発信中です！

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）nakanocity.akiya@gmail.com

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（空き家と暮らし）https://akiya-and-kurashi.com/
（Instagram）akiya_nakano
（Facebook）中野市地域おこし協力隊

京都府京丹後市　髙木　つらら

不動産利活用

～　空き家利活用の促進　～

基本情報



【年　齢】
31歳
【出身地】
奈良県五條市
【転出元】
兵庫県丹波篠山市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R6.2～R9.1

協力隊に応募したきっかけ

2年間の海外経験などを通して、地方には都市にはない「力強さ」「温かさ」「懐かしさ」があると感じるようになり、そんな地方で暮らしを営みたいと思うようになった。そんな中、友人と会うため訪れた京丹後で出会った人たちと「一緒に働きたい」と強く感じたからです。

今後の抱負・任期後の目標

業務で空き家に携わる中で、自身でも空き家を活用し、人が集まる拠点をつくりたいと思うようになり、自身でも物件を取得し利活用を推進中。今後、どんな魅力・コンテンツを提供できるか、いろんなトライアルを重ねながら、自分らしく楽しんでいきたい。

活動内容

●空き家の調査・相談

受入先である「丹後暮らし探求舎」の雇用のもと、京丹後市内でも大きな課題となっている空き家問題の解決に取り組んでいる。まずは各地域と連携し、状況・情報の収集・整理をしながら、所有者・利用者双方の相談を受け付けている。



●空き家の活用に向けた体験型イベントの企画・実施

空き家を利活用するまでの工程を、様々な角度から見て知って感じてもらえるイベントを企画・実施。今後も、こういったイベントやプロジェクトを仕掛け、空き家保有者や空き家活用検討者がはじめの一歩を踏み出すお手伝いをしている。

●空き家の利活用の実践

自らも空き家を改修して、想いと共にものが巡る、リユースショップ「まるり商店」のオープンに向けて準備中。空き家からレスキューした心がほっこりするような様々なものを販売していく予定。使い方のヒントになるような仕掛けもいろいろと。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
丹後暮らし探求舎
（メールアドレス）info@tankura.com
（電話番号）070-1399-5433
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）まるり商店　maruri_tsurara

和歌山県湯浅町　布施　和樹

不動産利活用

～　空き家リノベでまちを豊かに　～

基本情報



【年　齢】
27歳
【出身地】
大阪府高槻市
【転出元】
大阪府河南町
【前　職】
大工
【活動時期】
R6.10～現在

協力隊に応募したきっかけ

自身のストレスから不眠となり前職を退職後個人で活動。次のステップに進みたいと建築関係の働き口を探していたところ空き家部門での地域おこし協力隊の募集をしていることを知り応募した。

大学で建築学を専攻しており空き家活用やリノベーションに関する研究も行っていた。自身が経験してきたことを活かすことができ、地域創生への興味関心もあったため最適であると判断した。

今後の抱負・任期後の目標

「挑戦できるまち湯浅」を目指して活動する。まだ使える空き家の情報を整理し、空き家の活用希望者と大家さんをマッチングすることで町内に「おもしろい場所」を増やしていく。まち全体として魅力を向上させこの地で挑戦してみようと思ってもらえるようなまちにしていきたい。

湯浅町は商業の町として栄え昔は映画館があったりボーリング場があったりと人々が集まる町だった。しかし、衰退の経過を見ているからか町民はどこか諦めムードだ。まだまだこの地域もできると地域住民に思ってもらいたい。

活動内容

●空き家相談窓口地業務

空き家の大家さんと空き家の活用希望者さんをマッチングする。定期的にイベントを開催し空き家に関する情報を集め整理する。実測調査、家財整理、補助金の案内などもおこない使える空き家を増やしていくことも目的としている。



●空き家再生

空き家を再生し地域に「おもしろい場所」を増やす。リノベーションは参加型で行い、地域住民や外部の方々につくる過程で参加してもらいながらその場所を発展させていく。ワークショップも定期的に行いながら空き家を再生する。



●地域活動の可視化

地域の魅力を外に発信しなければ移住希望者の増加は見込めない。湯浅の「人」のおもしろさを伝えられるようなメディアを制作する。動画制作、ホームページ運営、ラジオなどまだ方法は模索中だが様々な方法で魅力を発信する。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人））fussan.12.01@gmail.com
（電話番号（個人））080-5704-9712

【活動の様子を発信しているSNS】
https://www.instagram.com/fussanosakana63/

和歌山県新宮市　岩瀬　多恵

不動産利活用

～　空き家の利活用及び移住促進を一緒に手伝ってください！　～

基本情報



【年　齢】
29歳
【出身地】
千葉県東庄町
【転出元】
千葉県習志野市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R7.10～
（0年1ヶ月）

協力隊に応募したきっかけ

新宮市出身の作家である中上健次さんのファンイベントに参加するために毎年訪れたことで、世界遺産と伝統あるお祭りが身近にあり自然豊かな市に移住したいという思いが強くなりました。協力隊への応募を考え始めたのは、マイカーや持ち家など、東京ではコストが高すぎて諦めないといけないことも地方や空き家という選択なら現実的に考えられるし、何より大好きな場所での暮らしを叶えたいという思いがあったからです。

今後の抱負・任期後の目標

世帯数も人口も減る一方の新宮が発展するためには人を呼び込むのが一番だと思います。まずは市を好きになり何度も訪れてくれる人たち（関係人口）を増やしたいです。
SNSでの観光情報の発信や、移住希望者のためのツアーも開催してみたいです。同時に空き家バンクの登録を進め、VRで空き家の状況をわかりやすく管理・発信し、移住への敷居を低くしたいと考えています。

活動内容

●空き家の調査

市全域の空き家の場所、状態を調査し、Googleマイマップ上に写真と位置を登録しています。
市の職員さんや近隣市町村の協力隊員の人たちと連携を取りながら進めています。



●SNSでの観光情報等の発信

Instagram、Youtube、noteのSNSアカウントを開設しました。



●新聞の取材

読売新聞、朝日新聞、熊野新聞社さんの取材を受けました。活動が本格的に始まっていない段階での取材ということもあり、緊張しましたが、活動を知っていただく上での第一歩となりました。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）shingu.akiyabank@gmail.com
（電話番号）0735-23-3339（新宮市役所企画調整課）

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）https://www.instagram.com/shingu_chiikiokoshi

岡山県津山市　彭　思思

不動産利活用

～ 城西地区空き家コーディネート事業 ～

基本情報



【年　齢】
42歳
【出身地】
中国貴州省
【転出元】
大阪市
【前　職】
大学院生
【活動時期】
R7.7～

協力隊に応募したきっかけ

大学院での勉強を通して、地域活性化という課題に興味をもち、もともと農的な暮らしをしたいと思っていたので、地方で仕事を探しました。ゼミ室の同級生が地域おこし協力隊隊員だったこともあり、やりがいがあると思い、応募しました。

今後の抱負･任期後の目標

城西地区に住むことの良さを外に発信しながら、同地域で起業したいと思います。２年目となる来年には受入団体の協力をいただいて、地域の空き家をお借りし、野菜や地元の加工品を集めて販路を広がる事業を立ち上げたいと思います。

活動内容

●城西地区空き家の活用

地域の空き家に住み込み、空き家の利活用について身をもって体験しています。
今後は城西地区空き家マッチング制度の構築や地域の人と協力した空き家の掘り起こしにも力を入れていきます。



●城西まちづくり協議会事業サポート

城西浪漫館・作州民芸館の売店やカフェでの手伝いを通して、さまざまなお客様と接する中で多くのことを学び、地域とのつながりを勉強しています。地域住民との信頼関係を築くことが活動に必要不可欠だと思っています。



●地域で起業したい！

地域のために、なにかできたらいいと思い、起業したいと思っています。「重伝建」地区である城西で、空き家を活用して、人を集め、地域を活性化させたいと思います。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】

（メールアドレス(個人))pennylovess3@gmail.com

鹿児島県指宿市　長山　智寛

不動産利活用

～　空き家活用コーディネーター　～

基本情報



【年　齢】
37歳
【出身地】
神奈川県川崎市
【転出元】
神奈川県川崎市
【前　職】
自営業（パン屋）
【活動時期】
R5.4.24～R8.4.23

協力隊に応募したきっかけ

指宿市開聞が祖父の生まれ育った場所で，今までも何度か訪れたことがありました。指宿市は環境に恵まれ，山や海，湖，そして温泉など，魅力的な観光地であり，地方都市らしい自然の豊富さもあり，程よく便利な町です。実際にお試し滞在で訪れた際，そんな指宿の良さをもっと知りたい，多くの方に知って欲しいと考えました。
都市部でお店を経営していましたが，物も人もあふれる都会で，代替がいくらでも存在する中，「必要とされている」と感じられなくなっていました。地方移住を通し多くの方の助けになりたい，そして移住者だからこそ分かる視点で指宿の良さを伝えることで，移住者を増やし，市の未来につなぎ，自分自身を含め若い世代が「必要とされている」と感じる環境作りをしたくて応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

かき氷をメインとして茶屋を小さい規模で行いたい。
またカードゲームの販売をしているため、そちらの認知度アップも進めていきたい。
合わせてWebやSNS運用などのお仕事をいただいているので少しずつ拡大したい。

活動内容

●空き家活用

空き家バンクの開設・管理運用
空き家所有者，地域住民への「空き家活用」啓発活動
空き家活用に取り組む地域団体等への支援
活用可能な空き家の掘り起こし・データベース化
空き家活用の各種制度の実施
移住希望者と地域のマッチング支援

●移住・定住や観光・特産品など市外への情報発信業務

SNSを活用した情報発信
◯Instagram
会社で行う事業
@yubiyado.games
古民家と飲食に関わる事業
@ibusuki.hetekiki



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（職場））kikaku@city.ibusuki.jp
（電話番号（職場））0993-22-2111（内線127）

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram(個人)）　@chihiro_nagayama

鹿児島県奄美市　鈴木　厚誌

不動産利活用

～地域マーケティングの視点から関係人口を増やし、関係性を深め、
その結果として移住・定住や地域活性化につなげる～

基本情報



【年　齢】
61歳
【出身地】
大阪府高槻市
【転出元】
神奈川県横浜市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R7.2月～R9.1月

協力隊に応募したきっかけ

60歳を迎え、これまで培ってきた民間企業での事業企画や地域マーケティングの経験を、会社の利益だけでなく、地域や社会の課題解決に生かしたいと考えるようになり、地域に深く関わりながら移住を実現できる地域おこし協力隊に応募しました。
特に、空き家問題は移住・定住、地域コミュニティ、産業の担い手不足など、さまざまな地域課題につながるテーマです。

今後の抱負･任期後の目標

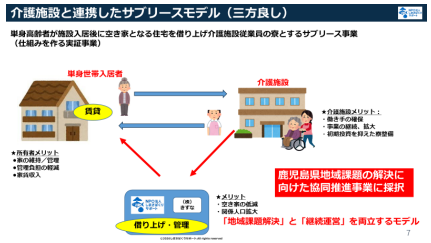
奄美に関心を持つ人や継続的に訪れる人を「関係人口」として育成する仕組みづくりを進めます。
任期後は、地域PMとして、行政・地域・民間事業者をつなぎ、関係人口の創出・育成から移住・定住、地域の担い手確保までを一体的に推進することを目指します。また、設立したNPO法人「しまさばくりサポート」を通じて、空き家の利活用や移住者支援を継続し、行政だけでは対応が難しい地域課題を解決できる持続可能な仕組みを構築します。

活動内容

●空き家利活用福祉人材定着事業

介護人材の住まい不足と空き家問題の解決を目的として、空き家を借り上げ、介護事業者の職員住宅として転貸する仕組みを構築。
空き家所有者、介護事業者等との調整や事業スキームの検証を実施。
鹿児島県地域課題の解決に向けた協働推進事業に採択

■事業スキーム図



■奄美市職員向け関係人口セミナー開催

●関係人口・ふるさと住民登録制度の推進支援

奄美市に関心を持つ人との継続的な関係をつくり、地域活動や産業の担い手、移住・定住につなげる仕組みを検討。
ふるさと住民登録制度の制度設計、対象者・会員要件の整理、登録促進、CRMを活用した関係人口の育成・可視化などを支援。



●空き家の相談・利活用支援体制の仕組化

空き家の現地調査や所有者意向調査を行い、相談対応から利活用までを支援。行政、地域、専門家、民間事業者をつなぐ体制を整備するとともに、NPO法人「しまさばくりサポート」を設立し、任期後も継続できる空き家対策の仕組みづくりを推進。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人））atsushi38@gmail.com
（電話番号（個人））080-5475-5639

鹿児島県奄美市　村上　孝輔

不動産利活用

～　空き家の課題を、地域のチャンスへ　～

基本情報



【年　齢】
42歳
【出身地】
神奈川県相模原市
【転出元】
東京都渋谷区
【前　職】
会社員(MD)
【活動時期】
R7.２月～R１０.１月

協力隊に応募したきっかけ

前職では奄美の水産物流(空輸)の改善に携わり、鮮魚の定期便化や流通の見える化を通じて、生産者と都市部の消費者をつなぐ役割を担ってきました。そのご縁から宿泊事業を共同運営する中で、笠利の人・自然・文化に日常的に触れ、地域の魅力と同時に“空き家の増加”という課題の現場感を得ました。空き家の単なるマッチングではなく、基礎データづくりや合意形成、関係人口の回路整備まで踏み込む伴走者が必要だと考え、協力隊への応募を決意しました。

今後の抱負･任期後の目標

空き家の実態把握や所有者との対話を進め、賃貸・売買・改修など、活用の選択肢を広げる橋渡し役となる。地域の魅力発信や交流を通じて関係人口を増やし、空き家の活用を移住・定住につなげたい。任期後は、活動で培った経験と地域のつながりを生かし、空き家活用に限らず、地域資源を生かした事業での起業を目指す。

活動内容

●空き家の実態把握と情報整理

・駐在員と全棟調査を行い、目視判定の結果を空き家カルテに登録。情報をシステムで一元管理し、随時更新する。
・登記情報等と現地での聞き取りにより所有者を把握。手紙・QRで意向を確認し、適正管理や活用方法も案内する。
・個別相談や地域への啓発を通じ、空き家の管理・活用を促す。
・指標：回答率、面談数、賃貸・売買につながった件数、危険空き家の解消件数。



●地域への啓発と情報発信

・説明会や意見交換会で、相続登記の義務化、改修補助、家財処分への助成などを周知。
・広報物、公民館ポスター、ホームページ、SNS、ラジオを通じて、空き家の適正管理と活用を啓発。
・継続性：駐在員から空き家の新規発生・解消の情報が随時届くよう調整し、笠利総合支所で空き家カルテを更新。資料のひな形も共通化する。



●関係人口の創出と移住･定住への橋渡し

・魅力発信：Instagramで行事・人・景観・暮らしを紹介し、地域と関わるきっかけをつくる。
・29各集落ガイドマップ：暮らし方や地域のルールを伝え、移住後のミスマッチを軽減。
・住まいの相談：空き家バンクへの登録促進、民泊から賃貸への転換相談、各種補助制度の案内。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（職場））ksomu@city.amami.lg.jp
（電話番号（職場））0997-63-1111

03 観光・情報発信

北海道　せたな町　樋口　恭子

～北海道本土最西端の魅力を発信～

観光・情報発信

基本情報



【年　齢】
５２歳
【出身地】
北海道札幌市
【転出元】
北海道札幌市
【前　職】
広告営業など
【活動時期】
Ｒ５.10～
３年目

協力隊に応募したきっかけ

知人を訪ねて昨年の春に初めてせたな町に来ました。風車と夕日の風景に魅せられ、夏に1ヶ月お試し暮らし住宅の体験をしました。縁あって、三本杉海水浴場の海の家や、タマネギ農家さんでのバイトを経験し、町の皆さまとの交流を持つことができました。自然の魅力以外に、町民の方々の優しさにも触れ、すっかり、せたな町が好きになりました。
そして、地域おこし協力隊の募集を知り、思い切って募集したところ、採用して頂くことになりました。

今後の抱負・任期後の目標

参加した全ての人が楽しめる三大祭りやイベントの成功。
せたな町の魅力、イベントやグルメ、観光などの情報をSNSやせたな観光協会のHPを活用して配信し、せたな町への集客に繋げていきたい。物産展などのせたな町PRの為の催事要員として活躍していきたい。
飲食店や商店など、地域活性化を目的とした営業支援（販促のお手伝い）等を展開していきたい。町民の皆さまと交流を持ちながら、任期満了後はこの経験を活かし、せたな町でお店を出し、町内の魅力を発信していきたい。

せたな町三大祭り実行委員活動

●「せたな町三大まつり」の実行委員としての運営業務

・玉川公園水仙まつり(北檜山区)　開催日４/26
・わっためがして大成(大成区)　開催日7/26
・せたな漁火まつり(瀬棚区)　開催日8/2
企画発案から運営準備、当日の進行、後片付け等
※PR活動：ポスター作成(立案、制作、配布まで)
SNS、SETAnavi(せたな観光協会HP)配信

多くの来場者が来て下さり、町内のイベントは大盛況に終わりました！





作成したポスター

観光協会発信のイベント開催・運営

●せたフォトコンテスト
・立案から準備、開催、PR活動など
ポスター作成(立案、制作、配布まで)
SNS、SETAnavi(せたな観光協会HP)でPR
・イベント終了後は審査会を開き入選者選出
特産品手配、配送など

●セタウマぃ店グルメスタンプラリー
・立案から準備、開催、PR活動など
ポスター作成(立案、制作、配布)
SNS、SETAnavi(せたな観光協会HP)でPR





作成したポスター

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（職場））higuchi@setanavi.jp
（電話番号（職場））0137-84-5111

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
◇観光協会HP　　http://setanavi.jp/
◇観光協会Twitter https://twitter.com/matasetana_0901

北海道蘭越町　森脇　大

観光・情報発信

～　蘭越ブランドを、世界へ。　～

基本情報



【年　齢】
５５歳
【出身地】
山口県周南市
【転出元】
広島県広島市
【前　職】
㈱広島ホームテレビ
【活動時期】
R5．4～活動中（３年目）

協力隊に応募したきっかけ

主業務の「地域ブランディングや付随するストーリー構築、情報発信などを通じて商店街を盛り上げること」は、前職（民放局）での知見が生かせる業務内容であったことと、エゾ鹿革を使った高級レザージャケットブランドの起業という自身の目的が果たせる地域環境であり、出向先母体が商工会であったために、起業に際してのサポートや情報の入手、商工経済分野でのネットワーキングに最適な環境と考えた為です。

今後の抱負･任期後の目標

ファンマーケティングの切り口で蘭越町の商工観光のスモールウィンを獲得することです。個人では、着任後に興したエゾシカレザージャケットブランド“Yuku Deer Leather Wears”の事業を前進させ、域内最高の日本ブランドになることです。
https://www.ydlw.jp/?srsltid=AfmBOopua1XTo9lPPnm4Iow23PGeSIQl1JJsZw8seADH6bSGXpABdpl6

活動内容

●活動内容【商工を中心とした情報発信業務】

インスタグラムフォロワー1600（１１/4現在・着任時比190%）とフェイスブックに、週に２回以上、商工にかかわる様々な動画発信をしています。フォロワー拡大と同時にフォロー外からの接触を増やすため、FMラジオでレギュラー番組を開始し、発信メディアの拡大も図っています！



●活動内容【ファンイベントを起点とした来町動機の創出】

域内にコアなファンの多い水平対向エンジン車オーナーに着目しファンミーティングを企画実施、聖地化を狙い、側面から中心市街地への誘客導線を設計しています。
小イベントの複数開催を起点に、来町動機を創出し、参加賞ポイントによって中心市街地で消費を促し、活性化を設計実施中です。



●活動内容【並行進行中のエゾシカレザーブランド起業】

私の興したYuku Deer Leather Wearsは、北海道で駆除されたエゾシカから国内最高峰の鹿革を産み出し、魅力的なレザージャケットとして製造販売し、鹿革の廃棄を限りなくゼロに近づけることを目指しています。ターゲットは、ニセコへのインバウンド旅行者で、主に富裕層をターゲティングしています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（公式無し・個人）dmoriwaki@shokokai.hokkaido.jp
yuku.dmoriwaki@ydlw.jp
（電話番号（職場）　）0136-55-6814
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://www.instagram.com/rankoshi_chiikiokoshi/#
https://www.instagram.com/yuku_deer_leather_wears/#

北海道浦河町　小室　祐紀

観光・情報発信

～　浦河の観光資源の掘り起こし、新たな価値を創出する人材　～

基本情報



【年　齢】
50歳
【出身地】
宮城県仙台市
【転出元】
北海道帯広市
【前　職】
介護
【活動時期】
R6.9～R9.8

協力隊に応募したきっかけ

地域の人たちと一緒に地域貢献したい気持ちがあり、浦河町ではやりたいことができるのではないかと感じ応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

退任後は浦河町でゲストハウスを開業する予定で活動を展開しており、ユニバーサルツーリズムの普及や新しいお土産の開発にも取り組んでいます。

活動内容

●交流スペース・ゲストハウスの開業

浦河町の大通地区に交流スペース兼ゲストハウスを作りたいと思い、これから具体的に活動を行っていく予定です。



●ユニバーサルツーリズムの普及

今年の6月にセミナーを開催し、10月には浦河町の優駿ビレッジAERUにて、観光介助士資格取得講習を開催しました。どちらも大勢の方に参加していただきました。



●新しいお土産の開発

現在「ちょこうーま」という名前でペン立て・カード立て・置物を１つ１つ手作りで作成し、優駿ビレッジAERUと観光協会での販売や、イベント時にはワークショップなどを行っています。機会がありましたら手に取って頂けたら嬉しく思います。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人））urakawahonpo@gmail.com
（電話番号（個人））080-2512-1185

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（浦河町地域おこし協力隊Facebook）https://www.facebook.com/urakawa.chiikiokoshi

岩手県軽米町　安達　隆行

観光・情報発信

～ 町の魅力を世界へ！ 繋がり広がる町おこし ～

基本情報



【年齢】
42歳
【出身地】
東京都世田谷区
【転出元】
神奈川県相模原市
【前　職】
会社役員
【活動時期】
R6.5～

協力隊に応募したきっかけ

小さな頃から岩手県が好きで頻繁に訪れており、いつか移住したいとずっと考えていました。転職のタイミングで協力隊の制度を知り、岩手県移住の夢に挑むチャンスだと思い、募集を探しました。活動を行うなら、土地の魅力を多くの人に知ってもらえる発信がしたいと思っていたところ、軽米町の「魅力発見・発信者の募集」を見つけました。軽米町は何度か旅行で訪れたことがあり、素朴な魅力に溢れる素敵な町だと感じていたので、この町の魅力を多くの人に知ってもらいたいと思い、応募に至りました。

今後の抱負・任期後の目標

着任２年目となる本年は、町の商工会青年部への加入をきっかけに、地域との繋がりが更に深くなりました。
祭りや商工会行事に参加することで、町内だけでなく近隣地域との交流も盛んになり、仕事のお声がけをいただく機会も増えています。

今後も、今まで以上に人と人の繋がりを大切にし、任期満了後も町に残って生活がしていけるよう、地域の一員として受け入れていただける存在になることを目指してがんばりたいと思います。

活動内容

●特産品を使った新商品の開発・流通

特産品「さるなし」を使った新商品開発として、花巻市に本店を構える(株)岩手阿部製粉「芽吹き屋」と連携し、さるなし味の新作お菓子を販売しました。町内だけでなく県内数店舗での販売やオンラインショップでの販売を開始し、次年度には生協にて全国販売を展開する予定です。



●イベント企画運営・販促物製作

地域活性化と町外集客による関係人口増加を図るべく、町の内外から事業者を集めたフードイベント「KARUMAI TOWN Sweets Festa!」や「のど自慢大会」等を企画・開催しました。また、イベント販促物のデザイン制作や、SNSを使ったPRや、地域ラジオに出演してのPRにも取り組みました。



●町の公式キャラクターPR活動

町の知名度向上のため、町の公式キャラクター「ヒエポン」の着ぐるみを来てイベント出演する機会を増やし、積極的にPRに取り組んでいます。姉妹町である北海道音更町のイベントや、隣接市で開催された地域キャラを集めたイベント等に参加し、参加者と一緒に写真撮影をしてのPRに努めました。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
軽米町役場政策推進課　019-546-2115
（メールアドレス(個人)）karumai.adachi@gmail.com
（電話番号(個人)）090-2118-6425

※顔写真のSNS媒体掲載時は必ずご一報ください

岩手県一戸町　ロペス・ルアン＝セバスチャン

観光・情報発信

～　世界と岩手を結ぶ、文化と人の架け橋　～

基本情報



【年　齢】
31歳
【出身地】
コロンビア・ボゴタ市
【転出元】
岩手県盛岡市
【前　職】
Meta (Facebook)技術サポート（ポルトガル語・英語・スペイン語）
【活動時期】
R7.4月～

協力隊に応募したきっかけ

日本で盛岡に日本語を学び・暮らすなかで、岩手の自然美や山の文化、人々の温かさに深く感銘を受けました。出身地（ボゴタ）と通じる山の風景や暮らしに親近感を覚え、こうした魅力を国内外へ伝え、観光や国際交流を通して地域活性化に貢献したいと考え、地域おこし協力隊に応募しました。多言語の経験を活かし、英語・スペイン語・ポルトガル語・日本語の4言語で情報発信や交流支援を行うことで、地域の魅力を海外にも届く形で発信したいです。

今後の抱負･任期後の目標

任期中は日本語能力をさらに高めながら、特に「県北いわて／山のいわて」の魅力を掘り起こして発信します。持続可能なエコツーリズムや地域ブランドの構築に寄与したいと考えています。また、音楽や祭り、若者向けイベントの企画・運営を通じて、地域に新しい交流の場を作り、移住や観光のきっかけを増やすことを目指します。将来的には、北いわてエリアの魅力発信や、若者・クリエイターを呼び込むイベント運営にも携わりたいと考えています。

活動内容

●地域の魅力発信と観光プロモーション

四季の風景や文化はブログ・動画・ポッドキャストなどを通じて国内外へ情報を発信し、地域の魅力を国際的な視点で紹介。観光資源の可能性を探り、将来的には英語・スペイン語・ポルトガル語対応の外国人向けガイドツアー企画を目指しています。



●多文化交流とインバウンド支援

祭りや地域イベントに参加し、商工観光課のスタッフとして地域活動をサポート。外国人と地域住民のつながりを広げるため、文化紹介や多言語発信を行い、国際交流のきっかけづくりに努めています。外国人対応の観光案内資料や情報発信の多言語化にも引き続き協力しています。



●地域資源を活かしたプロジェクト企画

消防団や三味線グループに参加し、地域の一員として活動。音楽や文化を通して人とのつながりを深め、将来的には若者や外国人も楽しめるイベントづくりを目指しています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
メールアドレス（職場）　machi@town.ichinohe.iwate.jp
電話番号（職場）　0195-33-4851
HP/ブログ　https://www.Luaninjapan.com
Facebook　https://www.facebook.com/Luaninjapan
Instagram　https://www.instagram.com/Luaninjapan/

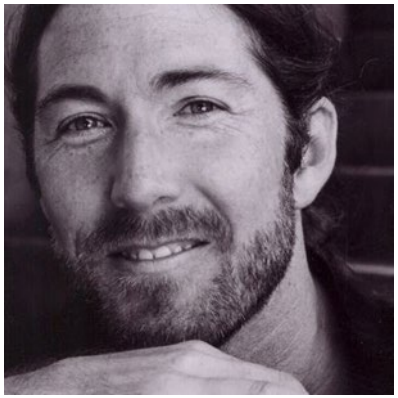
YouTube　Homepage

岩手県遠野市　Ty　Burhoe（タイ　バーホー）

観光・情報発信

～　遠野の宝　発信　～

基本情報



【年　齢】
61歳
【出身地】
アメリカ
マサチューセッツ州
【転出元】
アメリカ
【前　職】
音楽家
【活動時期】
R6.4～R9.3

協力隊に応募したきっかけ

家族と共に暮らしてみたいと思った。
遠野で、何かのお役に立てたらと思い応募した。
また、外国から来たアーティストとして協力隊に加わることで、これまでにない視点で地域や人々と関わることができるとも考えた。
遠野に暮らす芸術や伝統に携わる人々に光を当て、より多くの関心を集められるようミニドキュメンタリーを制作していきたい。

今後の抱負･任期後の目標

勇気を与える
緻密と洗練を重ねることで一つの道を極め、伝統や芸術を生き方として体現する人のいる遠野。忍耐力、精神力が試さる中でもその道や芸術に惹かれ、献身的に向き合う人々がいる遠野。視聴者の中に響くものがあったなら、その背中を押すようなきっかけになるような動画制作・情報発信を継続していきたい。

活動内容

●プロジェクトの概要

遠野在住のアーティストや宝を記録し、世界中の人々に共有するために情報発信に取組んでいる。



●人類の宝がここにある

思慮深く地に足の着いた職人たちを記録に残したいと思っています。古い歴史を受け継ぐ職人もいれば、新しいインスピレーションを生み出す職人もいますが、遠野の自然と歴史に深く関わっている点で彼らは皆共通しています。そんな人たちの姿を記録し、ミニドキュメンタリーとしてホームページや動画配信サイトで世界へ発信している。



●どんな人なのかを知ろう

プロジェクトの核心は、一緒に仕事をするアーティストがどんな人物であるかのかを知ることです。アートと人間関係に関しては、量よりも質を重視します。そのため人と人としての絆を育み、アートだけでなく人物も取り上げることを重要視しています。活動ではアーティスを記録するだけではなく、一緒にアート制作を行いながら、人間関係を構築している。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人））tyburhoe@me.com
（電話番号（個人））080 7930 9580
【活動の様子を発信しているSNS･ブログなど】
http://TyBurhoe <http://tyburhoe/>.com
https://www.youtube.com/@TreasuresofTono-wv4gy
https://www.youtube.com/@tyburhoe Ty Burhoeyoutube.com

宮城県仙台市　小松　愛

観光・情報発信

～　秋保エリアの交流人口の拡大　～

基本情報



【年　齢】
29歳
【出身地】
宮城県仙台市
【転出元】
千葉県袖ケ浦
【前　職】
作業療法士
【活動時期】
R４.11～

協力隊に応募したきっかけ

私は、宮城県仙台市で生まれ育ちました。東日本大震災に遭いライフラインが断たれた時、近所の方々と支えあうことが必要不可欠でした。過去の経験を通して、将来は宮城の土地で人と人の繋がりを作る仕事がしたいと考えました。

また、前職での作業療法士の仕事を通して、人が健康に暮らせる環境やまちづくりに関わりたいと思い、地域おこし協力隊へ応募しました。

今後の抱負･任期後の目標

地域おこし協力隊への就任後は、地域の方とのネットワークをつくり、地域特性を活かしたイベントの企画、、SNSで公開することなどで地域に貢献できる活動を行っていきたいと考えています。

また、任期終了後は秋保の土地を利用した地域住民や観光客の交流や関係人口が生まれる場を作り、観光客と仙台西部地区の方々が繋がれるような機会を作る仕事をしたいと考えています。

活動内容

●活動内容　地域資源を活用した商品開発

秋保地域の新たな観光・お土産品の製造所としてオープンした菓子工房「菓と土」の立ち上げに関わる。過去に、秋保の農業者、仙台のパティシエと連携した商品開発を企画し、現在の商品開発にも携わっている。季節商品における農業者との繋がりや、デザイン会社との連携などを実施。



●活動内容　地域団体「AKIU VALLEY協議会」運営

秋保に関わる事業者30社以上が集まる地域団体AKIU VALLEY協議会の事務局運営を実施。

当団体は秋保地域の課題解決に向けたプロジェクトの軸となり、情報共有や勉強会、交流の場を開催している。活動の他、新たに参入した事業者が相談するなど、当団体が地域の窓口的役割となっている。



●活動内容　地域の新たな観光･関係人口の創出

農業の観光産業化に向けた新たな協議会の取り組みとして、商品開発や農業体験、イベントの企画・運営サポートなどに取り組む。また、大学と秋保の地域団体とのネットワークの構築を行い、秋保での新たな関係人口創出に取り組む。商品開発サポートやフィールドワーク、大学への講義対応など行う。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）　komatsu@atfcompany.jp　　（電話番号）022-724-7767

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
instagramアカウント
https://www.instagram.com/akiu_film/

秋田県小坂町　田代　俊之

～　明治百年プロデューサー　～

観光・情報発信

基本情報



【年　齢】
53歳
【出身地】
神奈川県藤沢市
【転出元】
東京都港区
【前　職】
公務員⇒留学⇒旅行会社
【活動時期】
R7.4～

協力隊に応募したきっかけ

2024（令和6）年6月までの2年間、スペインの大学院にて文化遺産の保護と活用について学び、修士論文では「旧鉱山鉄道の観光転用」をテーマに文化遺産を観光へ転用する際のスペインと日本の事例を調査し、持続的な開発を進めていく上での課題と提言をまとめた。小坂町では小坂鉱山によってもたらされた近代化産業遺産を活用した観光の復活、再生に携わる明治百年プロデューサーを募集していたことから、こうした経験を活かしたいと思い、応募した。

今後の抱負･任期後の目標

小坂鉱山鉄道鍋の取組みを通じ、文化遺産の保存と活用を両立しながら、地域に新たな価値を創出したい。
多様な主体との共創により、歴史や文化を次世代へ継承する仕組みを育み、学術と現場、行政と民間をつなぐ橋渡しの役割を果たす。
地域の文脈を基盤に、持続的な社会的事業の可能性を探求し、地域の再活性化に取り組む。

活動内容

●「小坂鉄道鍋」プロジェクト出発進行！

町の文化や歴史を掘り下げ、その価値の再認識とともに多くの人に伝えるため、スペインから伝統的な調理器具「鉄道鍋（オジャ・フェロビアリア）」を輸入。

鍋の輸入元のスペイン北部の鉱山地帯では地域イベントの中心として活用されており、同じ鉱山町である小坂町のイベント「小坂・鉄道まつり2025（10月開催）」でお披露目。「クリスマスマーケットin小坂2025」では、かつて小坂鉱山で活躍した鉱山技師の地元ドイツを想起させる鍋で盛り上げる予定。

鉄道鍋はインターネット上で検索してもリストアップされないことから、日本初上陸…かもしれない「小坂鉱山鉄道鍋」とし、話題性を高め、町に昔からある鍋を囲んで語り合う“鍋っこ”文化をもとに、町の食材を使えばOKとすることで小坂町に新たな鍋っこ文化を育むことを目標としている。

●町が有する近代化産業遺産の魅力を発信！

小坂鉱山が遺した数多くの近代化産業遺産が今も残る小坂町。日々の活動ではこうしたところへも足を運び、その魅力や観光・イベントに関することを発信している。



小坂・鉄道まつり2025でふるまった「小坂鉱山鉄道鍋」



近代化産業遺産が建ち並ぶ明治百年通りで行われた「小坂七夕まつり」
（本人撮影・投稿）

連絡先

【メディア等の取材連絡先】小坂町企画財政班
（メールアドレス）kikaku@town.kosaka.akita.jp
（電話番号）0186-29-3907
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
二次元コード・左：小坂鉱山鉄道鍋プロジェクト
右：小坂町地域おこし協力隊Instagram

福島県玉川村　小針　有希菜

観光・情報発信

～人と人、地域と未来を結ぶ、村の「伝える」最前線～

基本情報



【年　齢】
28歳
【出身地】
福島県 玉川村
【転出元】
東京都 大田区
【前　職】
広告業
【活動時期】
R5.11～(2年目)

協力隊に応募したきっかけ

体調を崩したことをきっかけに、地元で働きたいと考えていた時、玉川村観光交流施設「森の駅yodge」のアルバイト募集を見かけて応募しました。

その際に地域おこし協力隊という制度を教えていただき、紹介された「情報発信支援隊員」は、これまで培ってきた経験を活かして村に貢献できる仕事だと感じ、挑戦を決意しました。

今後の抱負・任期後の目標

来春で卒隊を予定しています。

それまでに、これまで撮りためてきた映像を活用し、玉川村の魅力を発信するPR動画を完成させたいと考えています。

また、今年度撮影できなかった桜や鯉のぼりイベントなどについては、卒隊後も地元の一人として撮影を続け、映像に追加していく予定です。

卒隊後も、玉川村と深く関わり続ける「関係人口」として、地域の魅力発信に貢献していきたいと考えています。

活動内容

●活動概要

・広報紙制作業務補助（取材、撮影、校正）
・村公式ホームページ、ＳＮＳの運用
・コンテンツ制作（チラシ、ポスター、動画など）
・各メディア対応（ＴＶ出演、新聞社への投げ込みなど）

●現在の活動についての感想

玉川村出身でありながら、地域おこし協力隊として活動するまで、気づかなかった村の魅力が沢山ありました。村の皆さんはとても温かく、「新しい人を受け入れよう」という気持ちを持つ方が多いと感じます。また、新しい情報や外部の知見を積極的に取り入れようとする前向きさも、玉川村の大きな強みだと思いました。

取材を通して多くの方にお話を伺う中で、「玉川村は住みやすいけれど、その良さが外に伝わっていない」という声をよく耳にしました。確かに、玉川村は自然と利便性のバランスが取れ、移住やワーケーションにも適した環境と人が揃っています。その魅力をより多くの人に届けるためにも、情報発信の継続は欠かせません。

現在、役場職員の名刺の裏には「私たちは玉川村の情報発信員です！」という言葉が記されています。その言葉の通り、村の情報発信は一部の担当者だけでなく、一人ひとりや各団体がそれぞれの視点から発信していくことが大切だと感じています。そうした積み重ねが、玉川村の魅力をより多くの人へと伝え、未来につながっていくと感じました。

連絡先

【メディア等の取材連絡先】

電話番号　0247-57-4621（玉川村総務課広報広聴係）

福島県郡山市　古川　公望

観光・情報発信

～　地域の一員として、居心地のいい「リビング」をつくりたい　～

基本情報



【年　齢】
29歳
【出身地】
福島県猪苗代町
【転出元】
東京都昭島市
【前　職】
スタートアップ企業
【活動時期】
R５.５～R８.４

協力隊に応募したきっかけ

場所にとらわれず、もっと自由に自分らしく生きられる人を増やしたいと思ったからです。まずは自分が都心から離れ、地方で暮らすことで体現しようと考えました！東京在住時も、SNSで福島の魅力に関する情報発信をしていました。しかし、個人での活動に限界を感じ情報収集する中で、地域おこし協力隊の制度と出会いました。そこで活躍する協力隊の先輩方や事業者さんの存在を知ったことも、福島へ戻る大きなきっかけとなりました。また、歳を重ねるごとに家族との時間の大切さに気づき、家族との時間も定期的に作りながらライフプランを考えたいと思ったので、一人の時間、家族との時間をバランスよく作れる環境として協力隊になる事を決めました！

今後の抱負・任期後の目標

地域に関わりながら自分らしく生きられる選択をしていきたいと思っています。また、将来的には起業し、経済的自立と自由な時間を手に入れることを目指しています。地域の方々との関係性を深めていきながら、新たな人と人とのつながりが生まれるような場づくりに携わっていきたいです。
「好きな仕事」を「好きな時間」に「好きな場所」で実現できるよう行動していきます！
そしてこれまでの人脈や経験を活かして関係人口を増やし、お世話になった皆さんに還元していきたいです。

活動内容

●地域団体活動サポート



地域団体が継続してきた田舎体験プログラムの、チラシの作成、運営を実施しています。夏は猪苗代湖畔の施設でキャンプを３回実施。秋は新そばで蕎麦打ち体験を２回実施。参加者へのアンケートを実施したことで、運営団体の皆さんに参加者の生の声を届けることが出来ました。また福島の食の魅力をまるっと味わえる福島フードフェスも実行委員会として関わり、学生さんと企画立案、運営を実施しました。

●フォトスポットの制作・魅力発信



商工会の方に協力いただき、ヨソモノ目線で、今まで地域になかったフォトスポットを設置し、地域資源のPR、認知拡散に努めました。ひまわりのアーチや風鈴、装飾を１から作り、地域の特色、魅力を詰め込みました。夏に開催される猪苗代湖の「湖まつり」や東京ドーム約50個分の土地に１８０万本のひまわりが咲く布引高原の「高原祭り」で活用しました！
SNSでフォトスポットの写真を見つけると嬉しくなります。

●ワークショップの実施



郡山市で見た青空の色、夕陽の美しさ、夜空の星、猪苗代湖、地域のお花（桜、ひまわり、梅花藻）などをモチーフにしたレジンアクセサリー作りのワークショップを実施しました。女の子はもちろん、男の子や、大人の方も参加してくれたことがとても嬉しかったです。
今はデザインと色のみで表現していますが、今後は自然の素材、ドライフラワーなど質にもこだわっていきたいです！

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
Mail（個人）ku3to4@gmail.com　Tel（市役所）024−924−2621

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Instagram：Kumi【郡山市地域おこし協力隊】

facebook　Instagram

栃木県真岡市　及川　瞳

観光・情報発信

～　日本一のいちご生産量を誇る真岡市を、いちごで日本一楽しめるまちに　～

基本情報



【年　齢】
27歳
【出身地】
宮城県気仙沼市
【転出元】
神奈川県大和市
【前　職】
美容部員
【活動時期】
R7.4～

協力隊に応募したきっかけ

栃木県・東京都・神奈川県などで働いてきましたが、宮城県出身だったこともあり、ゆくゆくは地方での暮らしをしたいと考えていました。移住相談会や新規就農セミナーに参加していくうちに、“いちご農家”に興味をもちました。

いちごといえば、栃木県。中でも真岡市は50年以上日本一の生産量を維持していることを知り、真岡での就農を考え始めました。そのタイミングで、いちごのPRができるこの仕事を知り、ご縁を感じて応募しました✨

今後の抱負･任期後の目標

真岡市内で頑張る若手農家さん・真岡市のいちごを長年支えてきたベテラン農家さんたちと一緒に、いちご日本一のまちである真岡市を“いちご”で盛り上げていきたいです🍓

今後は、いちごを購入できる場所づくりや、いちご情報をまとめたいちごマップを作成したいと考えています。
卒隊後は、真岡市でいちご農家として新規就農予定です。若者の目標となれるような経営を目指して頑張ります！

活動内容

●もおかのいちごびとインタビュー

真岡市内にはたくさんのいちご農家がいます。
農家さんによって、栽培方法、販路、就農の経緯や栽培上のこだわりも違います。そんないちご農家の皆さんの話をのぞいてみてください✨
掲載サイト：もおかぐらし
https://www.city.moka.lg.jp/mokaijyu/syuunou/moka_ichigobito/index.html



●SNS運用（いちご栽培･いちご情報等）

真岡のいちごの認知度を様々な形で高めようと、Instagramを運用しています。

①もおかいちご農家物語（@ichigomedia.tochigi）
いちご農家のインタビュー動画や、いちごの1年の様子が分かる動画を投稿しています！

②いちごのまちあるき（@tochigi_moka.gourmet）
いちごグルメなどを紹介！



●FMもおか出演

毎月第2水曜日の12時～13時（再放送は18時～）に、FMもおか（87.4Hz）に出演しています。
毎月の活動内容や、普段の生活について話しています。
スマホのアプリ「FMプラプラ」で聞くことができます！



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス：職場）city-pr@city.moka.lg.jp
（電話番号：職場）　0285-81-6947

【活動の様子を発信しているインスタグラム】
（活動用個人）https://www.Instagram.com/moka_ichigo_tommy
（真岡市協力隊）https://www.Instagram.com/mokacity_chiikiokoshi

@MOKA_ICHIGO_TOMMY　@MOKACITY_CHIIKIOKOSHI

群馬県渋川市　胡　玄燁

観光・情報発信

～　外国人の目線で渋川市のおもしろさを伝えたい　～

基本情報



【年　齢】
37歳
【出身地】
台湾高雄市
【転出元】
東京都大田区
【前　職】
ハイヤー運転手
【活動時期】
R6.10～

協力隊に応募したきっかけ

私は昔から日本が好きで毎年のように訪日し様々な観光名所を訪れ、日本の自然や文化に魅了され、いつか日本で観光業に携わりたいと考えるようになりました。

2022年に来日し、都内で運転手と観光ガイドとしてハイヤー会社に勤めましたが、都会よりも日本の魅力的な四季や自然を感じられる場所で暮らしたいと思っていたところ、台・日交流のFacebookのグループで渋川市の地域おこし協力隊について知り、自分の実現したい暮らしができるのではないかと考えたことがきっかけです。

今後の抱負・任期後の目標

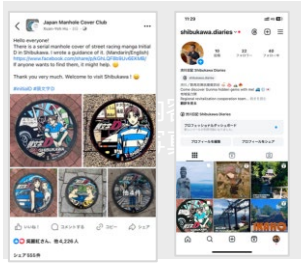
渋川市に移住したばかりなので、伊香保の歴史、渋川の観光資源、知識など色々勉強中です。今後、台湾・世界と日本の懸け橋となり、渋川市の魅力を発見し、世界中に発信し、広めていきたいと思います。

前職の経験を活かして、渋川市のインバウンド観光振興のために貢献したいです。

活動内容

●インバウンド向け観光情報発信

中国語・英語を中心にFacebook、X、Instagramで渋川市の観光スポット、観光情報などを発信しています。



●インバウンド向け観光ガイド

現地観光ガイドを希望する外国人観光客に対し、ニーズに合わせたツアープランの企画・提案や、ツアーに同行しながら中国語・英語で各スポットの解説、施設スタッフとの通訳、おすすめの場所への案内などを行っています。



●インバウンド向け体験観光商品の造成に向けた研修

インバウンド向け体験ツアーの企画造成に向けて、旅行会社において実地研修を行い、ツアーの企画造成から販売までの手法を学んでいます。また、旅行業務に関する資格取得を目指しています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）kankou@city.shibukawa.gunma.jp（渋川市観光課）
（電話番号）0279-22-2873（渋川市観光課・直通）
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Facebook）https://www.facebook.com/shibukawa.diaries
(Instagram) https://www.instagram.com/shibukawa.diaries/
(X) https://x.com/shibukawa_diary

群馬県前橋市　村上　史

観光・情報発信

～　心も体も健康で幸せなまちづくりを目指すスローシティを推進！　～

基本情報



【年　齢】
45歳
【出身地】
福岡県福岡市
【転出元】
東京都青梅市
【前　職】
出張料理人
【活動時期】
R5.11～R8.10

協力隊に応募したきっかけ

フリーランスの料理人として一人で活動をしている中で、物理的にも能力的にも出来ることが限られると実感していました。
そんな中、知人から前橋市の地域おこし協力隊募集の話を聞き、活動の内容としても自分の経験や能力が活かせると思い、応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

地域の食の魅力や、どのように観光、地域作りに活かしていくかを考えていきたいです。
任期後は、自分の料理や経験を活かせる仕事に就きたいと思っております。

活動内容

●料理教室の講師

前橋結婚応援パートナー支援事業として、前橋の地域若者会議縁活プロジェクトチームとの共同により催される『縁活カフェ』のイベントで料理教室の講師を務めました。昨年考案した前橋の家庭の味「まえばし焼」を作り、参加者にも好評でした。



●伝統野菜「田口菜」の収穫・調理体験

前橋市田口町で採れる田口菜は、栽培条件の難しさや旬の時期が短いことなどから、あまり市場には出回らず地元で親しまれている伝統野菜です。
田口菜の収穫から調理まで自分たちで行い皆で食卓を囲むイベントを主催しました。スローシティについて学ぶ大学生が参加し、貴重な体験になりました。



●ダマスクローズ＆ストロベリージャムの商品開発

食用にもなる有機のダマスクローズを育てている生産者の方からの依頼で、ジャムを考案しました。
前橋はいちごの生産も盛んなので、バラといちごどちらも前橋産という前橋らしいジャムになりました。
商品のジャムは全て自分で作り瓶詰も行ってマルシェで販売し、とても喜ばれました。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人））6labogohan@gmail.com
（電話番号（職場））027-898-6971
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（スローなまちづくり全国推進委員会）https://slowfriendsjapan.com
（個人Instagram）https:// www.Instagram.com/6_labo

千葉県銚子市　春日　友里

観光・情報発信

～　銚子を発信！銚子に発進！！　～

基本情報



【年　齢】
35歳
【出身地】
千葉県匝瑳市
【転出元】
埼玉県志木市
【前　職】
パン屋の店舗販売員
【活動時期】
R６.９～R９.８

協力隊に応募したきっかけ

応募したきっかけは自然豊かな場所で暮らしたいと思ったからです。銚子市を選んだ理由としては、景色が綺麗で、魚が新鮮で美味しいからです。実家は匝瑳市で学生の時から銚子には何度も足を運んでいました。犬吠埼灯台や屏風ケ浦、外川の町並みなど見どころがたくさんあります。大好きな銚子の観光の仕事、地域活性化に携わりたいと思い今回応募しました。銚子は海も近く気候も穏やかで、人も温かくとても暮らしやすい場所です！

活動内容

●SNS発信

X、Instagramなどで銚子市の観光地やお店、商品の紹介を行っています。
銚子は素敵なスポットがたくさんあります！SNSで写真や動画の作成を行い、世界中に銚子の魅力を発信しています。





●店舗での活動

銚子観光案内所、銚子ポートタワー、地球の丸く見える丘展望館、DMO事業室で活動しています。
日本各地、近年では海外の方も多く訪れています。
「銚子市はとても良いところでしたよ！」と笑顔で言ってもらえるととても嬉しいです。



●イベントの開催･参加

地域おこし協力隊の活動内容の展示会『銚子市地域おこし協力隊WEEK』を開催。地域の方と地域おこし協力隊が交流できる場を設けました。『あなたの銚子の推しは？』ではおすすめスポットをふせんに書いて貼ってもらい、観光に訪れた人に推しスポットをまわってもらう仕組みを考えました。



今後の抱負･任期後の目標

SNSを活用し市外や県外の方への情報発信、海外の方に向けた魅力のある発信をしていきたい。銚子の名産物を使用した商品開発や、お銚子もんのネット販売・ふるさと納税のPR方法を考えていきたい。

３年間の任期終了後も観光協会で引き続き勤務し、観光客の方にまた銚子市に来たいと思ってもらえるように地域の方たちと一緒に頑張っていきたい。

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）kasuga@choshikanko.com
（電話番号（職場））0479-22-1544（銚子市観光協会）
（FAX番号（職場））0479-25-4000（銚子市観光協会）
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
@choshi_flat_com　銚子市観光協会【公式】（Instagram、X）
@yurikasuga2024　春日友里（Instagram）

東京都大島町　石山　侑芽

観光・情報発信

～　「アイデアや気付きを活かす」大島町だからできる新しい挑戦！　～

基本情報



【年　齢】
24歳
【出身地】
北海道釧路町
【転出元】
神奈川県川崎市
【前　職】
学生
【活動時期】
R7.4～R8.3

協力隊に応募したきっかけ

お世話になっていた先生から大島を紹介していただき、関心を持ったことがきっかけです。学部生時代には、神津島や隠岐の島でも住み込みのアルバイトをしていたので、島での暮らしに楽しさや豊かさを感じていました。もともと専攻していた観光について携われるお仕事ができると知り、応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

観光を通じて島外の方に大島の良さを知ってもらうだけでなく、島内の方々が、今暮らしている大島をもっと誇りに思ってもらいたいと考えています。そのために、地域のPRや新しいイベントの企画に力を入れて頑張りたいと思います。

活動内容

●イベントの企画

大島の交流人口の増加を目指し、新しいイベントの企画・提案を行っています。
今年度は、大島にて男女の出会いを促進する「島恋活」の企画を担当しました。



●地域の魅力PR

大島の特産品を都内で販売する物産展や、PRイベントを通じて、大島町のPRを行います。
物産展にてステージ発表などがある際には、大島に関わるクイズなどを出題するなどして、なるべく多くの方に関心を持ってもらえるように取り組んでいます。



●SNS運用

大島町役場観光課のSNS運用を行い、物産や島内外でのイベント情報、大島の風景を伝えるリール動画などを投稿しています。





連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス)　c070101@town.tokyo-oshima.lg.jp
(電話番号) 04992-2-1446
【SNS】(Instagram)【公式】大島町役場 観光課　（oshima_kankou_）
(facebook) 大島町役場 観光課
(X)【公式】大島町役場 観光課　（@oshima_kankou）

東京都大島町　野中　駿輝

観光・情報発信

～　「アイデアや気付きを活かす」大島町だからできる新しい挑戦！　～

基本情報



【年　齢】
25歳
【出身地】
静岡県静岡市
【転出元】
静岡県静岡市
【前　職】
公務員（警察官）
【活動時期】
R７.４～

協力隊に応募したきっかけ

旅行で訪れた際に伊豆大島の雄大な自然と穏やかな時間の流れに心を惹かれ、「いつかこんな場所に住んでみたい」と感じました。その後、大島で地域おこし協力隊を募集していることを知り、迷うことなく応募しました。

今後の抱負･任期後の目標

伊豆大島の自然、食、文化、人の魅力を、もっと多くの方に知ってもらえるよう、SNSでの発信や島外での物産・イベントを通じて、島の魅力を広げていきたいです。

活動内容

●SNS･Instagramでの情報発信

Instagramを通して、オリジナルキャラクター「いずっち」を中心に、島の魅力や課題などを移住者のリアルな目線でマンガとして発信。
来島のきっかけづくりにつなげています。



島外でのPR活動（大島の特産品紹介）

地元事業者と連携し、東京都内などで開催される物産展や観光イベントに参加。椿製品をはじめとする大島の特産品を紹介しながら、島の魅力を直接届けています。



●島内イベントの運営

町役場職員の方々と協力し、島内イベントや展示の企画・運営を実施。観光や地域交流を通じて、住民と来島者がつながる機会を作っています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）c070101@town.tokyo-oshima.lg.jp
（電話番号) 04992-2-1446
【SNS】
（Instagram）【公式】大島町役場 観光課　（oshima_kankou_）　ほか
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）https://www.instagram.com/oshimabase

新潟県長岡市　押山　裕之

観光・情報発信

～　江戸時代から続く「醸すまち」摂田屋・宮内エリアの魅力を世界に伝える！　～

基本情報



【年　齢】
60歳
【出身地】
愛知県蟹江市
【転出元】
三重県鈴鹿市
【前　職】
車の製造工程勤務
【活動時期】
R.7.8～

協力隊に応募したきっかけ

息子の進学で長岡市と縁を持つことになった事がきっかけでしたが、実際に来てみると新しいものと古いものとがバランス良く存在し、自然にも恵まれた素晴らしい土地であることを実感しました。
魅力あるこの街をより多くの人に知ってもらい訪れてもらいたいという思いから自分もその役割を担う仕事に就こうと決心しました。

今後の抱負・任期後の目標

赴任して3ヶ月がたちますが知れば知る程この町の歴史や文化に興味がわいてきます。
今後は自分が関わる宮内・摂田屋地区がより活性化し、多くの人と人とが交わり合い多様な相乗効果が生まれる場所となるように、外から来たものという視点も併せて接着剤や活性剤の役割となって活躍していきたいと思います。
任期後はこの宮内・摂田屋地区でそば店を開業することを目標として頑張って参ります。

活動内容

●旧機那サフラン酒製造本舗・米蔵での活動

旧機那サフラン酒製造本舗に来ていただいたお客様に日本一の鏝絵の蔵のご案内や長岡市の魅力等をお伝えしています。
また、機那サフラン酒本舗保存を願う市民の会の方たちと協力して国の登録文化財である施設の管理運営を行っています。



●秋山孝ポスター美術館長岡での活動

長岡市出身のグラフィックデザイナー秋山孝先生から寄贈して頂いた作品と美術館（大正時代に建てられた元は銀行の建物）を、来館して頂いたお客様に対してご案内ご説明をするお仕事をお手伝いしています。



●chahho。の活動

宮内で元お茶屋さんとして営業していたお店をシェアキッチン等が入る複合施設としてリニューアルオープンした「chahho。」
ここで地域の方たちとコミュニケーションを深め一緒に何ができるかを考えたり、新たな仲間を作る取り組みを行っています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人or職場））h-oshiyama@miraihakko.jp
（電話番号（個人or職場））090－4366－0389

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://settaya-miyauchi.jp

富山県上市町　田　冰茹（でん　ひょうじょ）

～　０円空家コーディネーター　～

観光・情報発信

基本情報



【年　齢】
27歳
【出身地】
中国
【転出元】
東京都板橋区
【前　職】
大学生
【活動時期】
R7.4.1～現在

協力隊に応募したきっかけ

大学在学中に、町と連携して実施されたインターンシッププログラムに２度参加しました。町の皆さんから親切で温かいおもてなしを受け、人の温もりに大きな感動を覚え、この経験が深く心に残っています。「今度は自分がこの町に恩返しがしたい！」という思いから、協力隊への応募を決意しました。

今後の抱負･任期後の目標

空き家情報だけでなく、町全体の魅力発信を行いたいです。町の中にある魅力を自分の目で再発見し、それを町内外、さらには国内外へと発信していくことを目指しています。
外国人としての視点を活かしながら、異文化交流を促進するような活動も行いたいです。地域の観光資源や季節行事を活かした楽しいイベントの企画にも積極的に取り組みたいと思います。

活動内容

●０円空家コーディネーター

町の特色ある事業のひとつである「上市町０円空家バンク」。“空き家をタダでいいから譲りたいという人”と、“田舎で暮らす空き家を探している人”をマッチングさせる仕組みを「０円空家コーディネーター」として世界へ情報発信しています。



制度の内容や関連する補助金、登録された０円空家の物件情報等を日本語だけではなく、英語と中国語で発信することで、国外からも内覧会に参加される方が増えており、移住者の増加や地域の活性化に繋がっています。

▼空き家内覧会の様子





連絡先

【メディア等の取材連絡先】
メールアドレス　kamioko.tian@gmail.com

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Instagram　@kamiichi_sumimachi

KAMIICHI_SUMIMACHI

富山県上市町　カレン・ヘンドリクソン

観光・情報発信

～　外国人ファンを増やす情報発信　～

基本情報



【年　齢】
59歳
【出身地】
アメリカ
【転出元】
京都府京都市
【前　職】
国際教育員
【活動時期】
R7.6.1～現在

協力隊に応募したきっかけ

「多くの外国人に日本の素晴らしさが伝わるように、何かできることはないか」という気持ちから協力隊に応募しました。

以前、京都で仕事をしていた時に、京都を訪ねている外国人観光客に話を聞いてみると、ほとんどの方は「東京、京都、大阪ルート」で日本を回っているようでした。せっかく日本を訪問しているのだから“ザ・日本”ともいえる田舎にも足を運び、より深く日本文化にたっぷり浸かってほしいと思っています。

今後の抱負･任期後の目標

外国人向けのツアーや体験学習を企画し、“ザ・日本”を心の奥まで感じていただけるようにがんばりたいと思います。

活動内容

●観光パンフレットの翻訳

外国人にも人気の観光地、「大岩山日石寺」のパンフレットをよりネイティブな英語で表記するための翻訳を行っています。このほか、観光協会が作成する観光パンフレット等も翻訳を進めていく予定です。



●観光ガイド

移住希望者向けに町が実施する「上市暮らし体感プログラム」にて、ほかの協力隊と一緒に旬な町の魅力を案内する観光ガイドを行っています。外国人目線で感じた町の魅力、先輩移住者として伝えたい等身大の暮らしの情報は移住希望者にも大好評です。

また、観光協会と協力し、観光客や視察者等への観光案内も行っています。

・取得資格
富山県地域通訳案内士
（インバウンド専攻）





連絡先

【メディア等の取材連絡先】
メールアドレス　kamiichi.karen.hendrickson@gmail.com

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Instagram　@discover.japan.in.kamiichi

@DISCOVER.JAPAN.IN.KAMIICHI

山梨県富士吉田市　馬場　亮河

観光・情報発信

～　地域の記憶を残すアーカイブ活動　～

基本情報



【年　齢】
26歳
【出身地】
コロンビア
【転出元】
東京都世田谷区
【前　職】
大学生
【活動時期】
R6年度～R8年度

協力隊に応募したきっかけ

大学生の時に授業がきっかけで訪れた富士吉田市の魅力に飲み込まれ、自然と地域に通うようになっていた。新型コロナウイルスの影響で大学の授業がオンラインに切り替わった際に、富士吉田市で住み込みでアルバイトをしたり、友達と家を借りて二拠点居住を始めた。1年間の海外留学を経て、地域の記憶を保存・公開する「アーカイブ」という営みに出会う。社会学・人類学を専攻していた自分のスキルを活かしながら、地域課題に向き合うことができる協力隊に応募した。

今後の抱負・任期後の目標

今後の抱負は、これまで収集した写真やオーラルヒストリーをアーカイブとして構築したものの活用である。アーカイブを”生きた”ものとして育むためには、多様なスキルを持ったチームの編成とあらゆる手法での利活用が求められる。さらに、アーカイブ自体の活用だけではなく、アーカイブの過程に目を向け、デザインの領域やフィールドワークという枠組みで地域に根差した価値を普遍化する活動へと転換していきたい。

活動内容

●「知る」

地域の民俗館や博物館では知ることのできない、地域住民の口から語られる生活の記憶を知る。商店街の老舗や行き当たりばったりの地域住民への非構造化インタビューを通して、語られる言葉を聞き・書く作業を行う。



●「集める」

語りを記録するのと並行して、地域に関連する古写真を募集する。ときには自分から自治会や地域に詳しい人へ出向き、古写真を見せていただく。古写真としての「物」や言葉としての「語り」をひたすら集め、整理する作業。



●「生かす」

このようにして集めた古写真と地域住民の語りを具体的に想起しやすく「物語り」へと編集する。「生かす」過程ではアーカイブを活かした展示や出版に止まらず、「知る」「集める」の過程を様々なメンバーと連携して行うことで、デザイン・芸術・学術の領域へと拡張し、アーカイブを軸にした様々な活動が生まれることを目指します。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人））Ryoga.baba*gmail.com
（電話番号（個人））070-3143-3080

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（フジアーカイブス）https://fuji-archives.com
（インスタグラム）@archive_fuji

長野県安曇野市　栗原　怜里

観光・情報発信

～　カメラ片手に、長靴履いて。　～

基本情報



【年　齢】
39歳
【出身地】
埼玉県朝霞市
【転出元】
台湾新北市
【前　職】
Webライター
【活動時期】
R7.10～R10.9

協力隊に応募したきっかけ

自然豊かな安曇野で子育てをしたく、家族で移住を考えていたところ、地域おこし協力隊の募集を知りました。
自然、そして地域に関わる仕事に興味があったこと、記者経験を生かせることに加え、「さとぷろ。」の取り組みに強く共感したことが応募の動機です。

今後の抱負･任期後の目標

新聞写真記者やウェブライターの経験を生かして、里山の魅力を広く発信して多くの皆さんに里山のことを知ってもらえるように活動していきたいと思っています。

活動内容

●さとぷろ。の活動発信

「安曇野市里山再生計画」に基づく活動「さとぷろ。」に取り組みながら、市民の認知度アップを目指す「さとぷろ。」編集部員として、里山に実際に入り、一緒に汗を流して活動する中で、猟師さんから話を聞いて知識を深めたり、森林整備の技術を学んだりと、里山での活動に必要な知識や技術を身に着けながら、日々変化する山の姿を逃さずにカメラに収めたり、自分の言葉で地域内外に発信していく仕事です。





連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（職場））kouchirinmu@city.azumino.nagano.jp
（電話番号（職場））0263-71-2432

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）https://www.instagram.com/satopro_/

長野県原村　松原　美帆

観光・情報発信

～　観光地域づくり推進　～

基本情報



【年　齢】
22歳
【出身地】
兵庫県神戸市
【転出元】
兵庫県神戸市
【前　職】
学生
【活動時期】
R7.10～R10.9

協力隊に応募したきっかけ

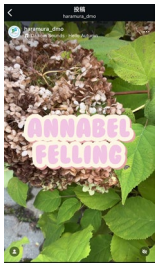
機織りを学ぶために原村を訪れたことが最初のきっかけでした。滞在する中で、豊かな自然や温かい人々など、この村にはたくさんの魅力があることに気づきました。しかし、それらが十分に発信されていないと感じ、もっと多くの人、特に同世代にこの魅力を伝えたいと思い、地域おこし協力隊に応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

今後はSNSでの発信をやりつつ、元々あるイベントやこれからやってみようとしていることなどに自分も加わって、他県の人が来たくなるような事をやっていきたいと思います。任期後は原村の裂織を続けていこうと思います。

活動内容

ペンション区から依頼されたアナベルの刈り取り作業をイベント化し、SNSで発信しました。最終日の参加者は2人だけでしたが、初めて動画編集に挑戦し、作業の様子を映像で記録・発信することで、原村の魅力を伝える工夫をしました。



現在企画中のペンション区のイルミネーションイベントでは、プログラミング担当者からの依頼で、児童館の子供たちからアイデアを見いだし、子供が楽しめるクイズとその仕組みづくりを任されています。まだ外部には公開していない企画ですが、魅力を体験として届ける準備を進めています。



現在、原村内の看板の現状調査を1人で担当しており、年内の完了を目指しています。位置や状態を記録し、関係者が情報を上書き・共有できるよう、電子媒体で整理・保存する形で進めています。地域の景観整備に役立てるための基礎資料づくりなので、後の地域おこし協力隊の方へ残せたらと考えてます。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人or職場）shokan94@vill.hara.lg.jp
（電話番号（個人or職場））0266-79-7072

長野県原村　金井　克恵

観光・情報発信

～　観光と地域をつなぐ原村らしさの案内人　～

基本情報



【年　齢】
48歳
【出身地】
埼玉県深谷市
【転出元】
埼玉県深谷市
【前　職】
事務職
【活動時期】
R7.10～R.10.9

協力隊に応募したきっかけ

ミッションが環境や任務地も含めて今後展開していきたいことと合っていたため。

今後の抱負･任期後の目標

地域のヒト、モノ、コトとうまくバランスをとりながら村内外との接点をつなげて原村をPRし誘致していく。
任期後は食に関する経営をしていきたい。

活動内容

●アナベル剪定イベント開催

ペンション区にある約300mの道路沿いに咲いていたアナベルの剪定をイベント化。
Instagramで募集をかけ、参加者にはドライフラワーのアナベルと特産品の雀ケ森山ブレンドコーヒーをプレゼントした。



●イルミネーション企画参加

毎年11月～1月に行われているイルミネーションの実行委員会に参加して企画、装飾作業に携わっている。



●ペンションの現状視察

ペンション区にあるペンションをまわり、現在の運営状況等をヒアリングしている。
情報更新をしてペンション宿泊希望者に適切な案内やPRができるようにしていく。

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人））shokan93@vill.hara.lg.jp
（電話番号（個人））0266-79-7072

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）haramura_nagano、haramura_dmo（発信予定）

長野県大鹿村　クレマス　ダニエル

観光・情報発信

～　大鹿村で体験型観光の推進を　～

基本情報



【年　齢】
46歳
【出身地】
ドイツ
【転出元】
長野県飯田市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R6.4～

協力隊に応募したきっかけ

山と自然、そして自転車に乗ることが好きです。自然の豊かな山村で暮らしながら、自転車と関わる仕事ができるため、大鹿村へ応募しました。

今後の抱負･任期後の目標

今後、大鹿村で開業したいです。民泊、自転車ガイド、農業、林業、狩猟などをしたいです。

活動内容

●体験型観光の推進

大鹿村のレンタサイクル（E-バイク）の整備をします。
村内自転車ガイドツアーを提供します。
秋葉街道（国道や旧道　※舗装道）をサイクリングルートとして紹介し、誘客したいです。

●周遊型観光の推進

大鹿村の歴史、文化、自然について勉強します。今度、この情報をもとに多言語観光案内ウェブサイトを作る予定です。
村民と協力して、村の古道を整備し地図を作ります。

●観光振興ツールの推進

村民の若者が安全に自転車を楽しめることをめざして、村の子供のために自転車とマウンテンバイククラブを作りたいです。

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人or職場））ki-zaisei@vill.ooshika.lg.jp
（電話番号（個人or職場））0265-39-2001（大鹿村役場　代表）

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

長野県信濃町　窪谷　充代

観光・情報発信

～　観光プロモーションー信濃町の自然と人をつなぐ魅力発信ー　～

基本情報



【年　齢】
４１歳
【出身地】
東京都足立区
【転出元】
長野県中野市
【前　職】
営業企画・広報
【活動時期】
R５.１０～R８.９

協力隊に応募したきっかけ

東京出身で、大学卒業後も都内で働いていたが、忙しない生活に疲れ、自然の中でリセットしたいと思うようになった。その後、長野県で季節労働を始め、自然に囲まれた暮らしを続けていたが、40歳を前に定住できる場所を探していたところ、たびたび訪れていた信濃町の豊かな自然と穏やかな雰囲気に惹かれ、移住したいという気持ちが強くなった。町の情報を調べる中で協力隊の募集を知り、自分の経験を生かせると感じて応募した。

今後の抱負・任期後の目標

これからも町の自然や人とのつながりを大切にしながら、観光や癒しの森事業を通じて信濃町の魅力を伝えていきたいと考えている。任期後は、森林セラピーの学びを生かし、香りやカウンセリングを取り入れた体験型プログラムを展開しつつ、町民や観光客が気軽に森にふれられる拠点づくりに取り組みたい。人と自然が心地よくつながる場所を育て、信濃町ならではの癒しと学びの輪を広げていくことを目指している。

活動内容

●癒しの森事業サポート

癒しの森事業として、森林セラピーを通した地域活性に取り組んでおり、コース整備や町民向けイベントのサポートを行っている。関係団体やトレーナーと連携しながら運営を支え、参加者が安心して森を楽しめる環境づくりにも努めている。



●観光誘客宣伝･プロモーション業務

雑誌・SNS・映画館広告などを活用し、信濃町の魅力発信に取り組んでいる。地域の事業者と協力しながら、町の魅力を多様な形で届けることを目指している。国内だけでなく、インバウンド誘客にも力を入れて取り組んでいる。



●「信濃町未来の森人」の活動

「信濃町未来の森人」を立ち上げ、町の子どもたちが自然や森に親しむきっかけづくりに取り組んでいる。葉っぱのたたき染めや森の香りを楽しむ体験など、五感を使って自然に触れる活動を通して、森の恵みや自然と関わる楽しさを伝えている。地域の方々と協力しながら、子どもたちが自然に興味を持ち、身近に感じられる機会をつくっている。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
<信濃町役場 産業観光課 商工観光・癒しの森係>
026-255-3114
syoukoukankou@town.shinano.lg.jp

長野県木島平村　木村　未都

観光・情報発信

～　魅力ある地域資源の発掘、コンテンツ化、情報発信による木島平ファンの獲得　～

基本情報



【年　齢】
32歳
【出身地】
岐阜県恵那市
【転出元】
京都府京都市
【前　職】
事務
【活動時期】
R5.4～R9.3（1年育休）

協力隊に応募したきっかけ

もともと趣味でトレイルランニングや登山をしており、木島平村の存在を知っていました。知人がすでに村で生活していたこともあり、地域おこし協力隊という働き方があることを教えてもらいました。情報発信の業務や関係人口作りは未経験でも応募できたので新しいことに挑戦してみようと思い応募しました。また、今後子育てをするなら都会よりも自然が豊かな場所がいいと思っていたこともあり、応募しました。

今後の抱負･任期後の目標

実際に生活をする中で、高齢化に伴い飲食店や農家など今後の担い手が少ないことを強く感じました。もともと管理栄養士をしており、食に興味があるので、木島平村の美味しいお米や食材を使用しなにか村のためにできればと考えています。

活動内容

●めぐる木島平を通して情報発信

木島平村の最新情報や観光情報を掲載している村の観光メインのホームページの更新を主にしています。イベント情報や、村内の商業施設、観光スポットの紹介をし村内・村外の方に向けて随時更新しています。



●村での生活を紹介

村外の方に、村内の生活を知ってもらいイメージしてもらうために村民の方にインタビューをし記事を作成しています。毎月1記事更新しています。職種や年齢、もともと村に住んでいる方、移住者の方など偏りのないように様々な方にインタビューをしています。



●SNSの更新

インスタグラムを更新し、観光情報や木島平村でのリアルな生活を紹介しています。情報収集のために村内へ撮影に行ったり、イベントに実際に参加し、地域活動に参加しています。フォロワー数は毎月増加しており少しづつですが木島平村を知ってもらうきっかけ作りに努めています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（職場））info@kijimadaira.org
（電話番号（職場））0269-82-2800
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
めぐる木島平　https://kijimadaira.org/
インスタグラム　https://www.instagram.com/kijimadairaorg/

長野県木島平村　村田　恵

観光・情報発信

～　魅力ある地域資源の発掘、コンテンツ化、情報発信による木島平ファンの獲得　～

基本情報



【年　齢】
41歳
【出身地】
福島県郡山市
【転出元】
埼玉県和光市
【前　職】
広告系制作ディレクター／アートディレクター兼デザイナー
【活動時期】
R6.4～R9.3

協力隊に応募したきっかけ

アウトドア活動全般が大好きで、地域の自然と人を繋げる仕事に興味があったから。

長年クリエイターとしての仕事を続けていてキャリアがあるため、自身のスキルを活かして地域のプロモーションに貢献できればと思ったから。

今後の抱負・任期後の目標

アウトドア活動を通して地域の自然と人を繋げる仕事に携わりたい。

アウトドア関連のプロモーションに携わる仕事を続けていきたい。

活動内容

●地域の資源を活用した催しの企画・開催等

観光や地域振興を目的としたツアーやイベントの企画・開催を行なっている。自身も、潜在的な魅力がありながらも効果的な活用がされていない古民家「郷の家」や「カヤの平高原ロッヂ」を活用したイベント等を担当し、その魅力を伝える活動を行う。



●地域のプロモーション

村の観光資源をモチーフとしたノベルティの制作や姉妹都市との盟約記念ロゴ制作・地域商品のデザイン制作等を通して、村の魅力を村外にプロモーションする活動を行なっている。
また、（一社）木島平村観光振興局のメディア等で村の魅力を発信する活動を行なっている。



●森林セラピー基地「カヤの平高原」の活用促進

村の観光スポットの1つであるカヤの平高原は医学的実験に基づく効果が証明された森林セラピー基地に認定されているが現在有効活用されていない。その活用に向けての検証や取組みを個人でも行なっている。具体的には県内在住のヨガインストラクターらと共同でイベントを開催し、森ヨガや森歩き（森林セラピー）を通して、カヤの平高原の新たな活用法の模索やその魅力を伝える活動を行なっている。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（職場））info@kijimadaira.org
（電話番号（職場））0269-82-2800
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
めぐる木島平　https://kijimadaira.org/
インスタグラム　https://www.instagram.com/kijimadairaorg/

長野県木島平村　平野　星矢

観光・情報発信

～　魅力ある観光資源の発掘、コンテンツ化、情報発信による木島平ファンの獲得　～

基本情報



【年　齢】
38歳
【出身地】
長野県長野市
【転出元】
長野県松本市
【前　職】
庭木・植木屋
【活動時期】
R6.4～R9.3

協力隊に応募したきっかけ

長野県内で協力隊ができる地域を優先的に探しました。田舎で土地が余っていて、植木を育てる畑がある地域として木島平村を選びました。北信地域は元々土地勘もあり、実家からも1時間程度の距離のため、将来的にも活動し易いと思いました。将来的に植木の生産などの仕事をメインにしたかったので、自然豊かな木島平村で働けることは自分にとってとても魅力的でした。

今後の抱負･任期後の目標

植木の仕事を本職にしたいです。
ある程度木は自然に育つので、将来の為に植樹と山の持ち主から許可を取って掘る「山獲り」は直ぐに収入源に繋がるので、できれば山を多く持つ地主と繋がりたいです。

活動内容

●観光案内業務

道の駅の管理運営をはじめ、観光窓口の対応・レンタルバイク貸出しやメンテナンスをはじめ、観光全般の総合案内を行っています。



●体験コンテンツの造成

観光資源を活用したスノーシューガイドツアーや、カヤの平高原フォトツアーなど地域の自然を活かした体験コンテンツの企画運営を行っています。このほかE-bikeのサイクリングコースを作成し、グリーンシーズンの誘客を図るとともに、交流人口拡大に向けた取組みを進めています。



●地域協力活動

地元中学生と道の駅敷地内に初心者向けのMTBコースの作成や乗り方の指導など、地域協力活動にも取り組んでいます。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（職場））info@kijimadaira.org
（電話番号（職場））0269-82-2800
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
めぐる木島平　https://kijimadaira.org/
インスタグラム　https://www.instagram.com/kijimadairaorg/

長野県木島平村　保倉　敏樹

観光・情報発信

～　魅力ある地域資源の発掘、コンテンツ化、情報発信による木島平ファンの獲得　～

基本情報



【年　齢】
26歳
【出身地】
長野県長野市
【転出元】
東京都
【前　職】
小売業
【活動時期】
R6.4～R9.3

協力隊に応募したきっかけ

以前に木島平村の協力隊員だった友人から「協力隊」という仕事を紹介してもらいました。詳しく話を聞く機会があり、木島平村の地域おこし協力隊の仕事の中に、「村の観光資源や地域産業の活性化に向けた仕事」に関して、非常に興味があったため、応募しました。
また木島平村のような自然環境の中で仕事ができる事に魅力を感じていたということもあり、将来、こういった自然の中で仕事をしていきたいと考えていたことから、今後に向けての準備としてもいいきっかけになればと思い応募しました。

今後の抱負･任期後の目標

中・高の教員免許を取得していることから、何かを伝えたり、教えたりすることが自分に向いていると感じました。実際に協力隊の活動の中でも、村の小・中学校に行き、授業のサポートや指導したこともありました。将来的には指導者や教育者を目標に現在の活動の経験を大切にしていきたいと考えています。

活動内容

●E-BIKEレンタサイクル事業

道の駅FARMUS木島平の管理、観光案内、電話対応など基本的な業務を行っています。
またアクティビティ担当として、E-BIKEレンタサイクルに事業に関わっており、イベント企画やコース作成など、E-BIKEの利用促進に向けた取組みを行っています。



●2025奥信濃100アフター

毎年6月に村内で開催されている「奥信濃100」トレイルランニングレースでは近隣地域から約1500人が来訪されます。アフターイベントとして、レースの翌日に道の駅FARMUS木島平にて抽選会を開催しました。抽選会では、木島平村の特産品を抽選の商品として活用し、地域のＰＲと交流人口拡大に向けた誘客活動を進めています。



●地域協力活動

未来塾では、学生が主体的に自分のやりたいことを見つけ、それをサポートするというものです。体力を付けたいという生徒さんと一緒に体力を付けるためのプログラムを考え、体力向上を目標に活動しています。



連絡先

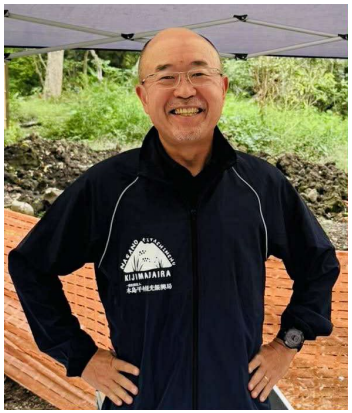
【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（職場））info@kijimadaira.org
（電話番号（個人or職場））0269-82-2800
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
めぐる木島平　https://kijimadaira.org/
インスタグラム　https://www.instagram.com/kijimadairaorg/

長野県木島平村　松森　正彦

観光・情報発信

～　魅力ある地域資源の発掘、コンテンツ化、情報発信による木島平ファンの獲得　～

基本情報



【年　齢】
57歳
【出身地】
長野県松本市
【転出元】
神奈川県藤沢市
【前　職】
会社経営
【活動時期】
R7.6～R10.3

協力隊に応募したきっかけ

7年ほど前から、趣味のトレイルランニングで木島平村を年に数回訪れていました。次第に木島平での友人も増え、地元の大会である「奥信濃100」の運営にも関わるようになりました。私の中では木島平村は第二の故郷と言っても過言ではありません。
任期の関係で前職に一区切りがついたタイミングで、たまたまこの仕事の公募を見つけ、運命的なものを感じて応募するに至りました。

今後の抱負･任期後の目標

現在、観光振興局の事務局長を務めています。主な仕事は観光に関することになりますが、自分としては、観光という範囲にとどまらずこの村を良くしていくのが使命だと考えています。
この村が長く続き、村民の皆さんが幸せに暮らし、その雰囲気に惹かれて多くの人が故郷のように訪れる村になるように、できることは何でもやっていきたいと思います。

活動内容

●木島平村を村外にPR

木島平村を村外にPRする活動をしています。
・展示会への出展　　・SNS等の運用
・印刷物の制作と配布
・マスメディアへの売り込み
・各種アワードへの応募　など



●観光客と木島平村をつなぐ活動

村外からの観光客を誘致するために、様々なイベントを実施しています。イベントの模様をSNS等でPRし、次の観光客誘致につなげます。
また、日常的に村民との接点を作るべく、村の様々な活動（お祭りなど）にも参加します。



●未来に向けての様々なしかけ

村の観光ビジョン策定等の活動にも参加しています。策定したビジョンを元に、観光振興局として施策を検討していきます。
また、村外の他団体等と連携し、新たなイベント、催し物等の誘致にも取り組んでいます。（写真は誘致を図っているイベントの試走中）



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（職場））info@kijimadaira.org
（電話番号（職場））0269-82-2800
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
めぐる木島平　https://kijimadaira.org/
インスタグラム　https://www.instagram.com/kijimadairaorg/

長野県木島平村　沼野　寛

観光・情報発信

～　魅力ある地域資源の発掘、コンテンツ化、情報発信による木島平ファンの獲得　～

基本情報



【年　齢】
45歳
【出身地】
千葉県
【転出元】
東京都目黒区
【前　職】
損害保険会社社員
【活動時期】
R5.4～R8.3

協力隊に応募したきっかけ

趣味のトレイルランニングやクロスカントリースキーを通じて木島平村を訪れる機会が多く、応募の約3年前からは頻繁に通うようになりました。訪問を重ねるなかで、地域の方々のあたたかな人柄や豊かな自然にも触れ、次第に地域そのものに強い魅力を感じるようになりました。
そのような折に「観光を通じた地域振興」に関する募集を知り、これまでの仕事で培ってきた経験を生かしながら、地域の活性化に貢献したいと考え、応募しました。

今後の抱負･任期後の目標

現在、地域の強みである特産品と自然・文化を掛け合わせたツーリズムの造成を進め、地域ブランド価値の向上に取り組んでいる。また、スポーツを基軸とした地域振興や滞在型観光の推進にも力を入れ、地域全体のブランド化を図っている。今後は、これまで民間で培ってきた経験を活かし、行政の取り組みを補完しながら、地域経済の活性化と次世代へつながる持続可能な地域づくりに貢献していきたい。

活動内容

●観光を通じた関係人口づくり

地域の特産品である国内最高峰の「木島平米」、幻の酒米とも言われる「金紋錦」で作られる日本酒、名水100選の清水で育てられる「信州サーモン」の源流を物語としてたどる「水をめぐるツーリズム」を造成。
地域の自然・歴史・文化・食を一体的に体験できる魅力的なコンテンツとして提供することで、観光誘致を推進するとともに、地域の魅力を知ってもらい、ファンを獲得することで関係人口の創出にもつなげている。



●地域特産品のブランディング化による外貨獲得

地域特産品の価値を、協力隊の強みであるヨソモノの視点から掘り起こし、生産過程のストーリーとともに都市圏の消費者へSNSなどを通じて発信することで、特産品のブランド価値の向上に取り組んでいる。
また、都市圏での展示・即売会を実施することで、ふるさと納税の拡大に寄与するとともに、地域全体のブランド価値向上も目指して取り組んでいる。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（職場））info@kijimadaira.org
（電話番号（職場））0269-82-2800
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
めぐる木島平　https://kijimadaira.org/
インスタグラム　https://www.instagram.com/kijimadairaorg/

長野県中野市　栗山　早也香

観光・情報発信

～　ちょうどいい田舎信州中野PR　～

基本情報



【年　齢】
26歳
【出身地】
北海道札幌市
【転出元】
東京都港区
【前　職】
飲食店スタッフ、デザイナー
【活動時期】
R7.10～

協力隊に応募したきっかけ

きっかけは、友人が他市町村の地域おこし協力隊として活躍しているSNS発信を見ていたこと。当時から地域創生に興味がありました。そして縁があり知人づてに初めて中野市を訪れた際、地域の人にとっては当たり前の風景、名産、日常が自分にとても新鮮に映ったからです。魅力の溢れる街だからこそ自分が地域に関わり、共に中野市を創り上げていきたい、自分が感じた新鮮さを広く伝えていきたいと思い応募に至りました。

今後の抱負･任期後の目標

外から見た中野市の魅力には、地域の方々が日常の中で感じている価値とはまた違った視点があると感じます。今後は、まず中野に興味を持ってもらえるよう外の人が何に興味を持つのか収集し、丁寧に発信していくことから始めたいと考えています。地域の方々との対話を重ねながら、地域の人がおもう中野の魅力を食や暮らしなど様々な面から伝え移住に繋がるきっかけづくりを進めていきたいです。

活動内容

●食で伝える中野の魅力

東京のおばんざい屋さんで中野市の食材や地酒を使ったイベントを開催。
おばんざいやコース料理、地酒のペアリングを通して食から中野市の魅力を知ってもらうきっかけを作った。
外の人に中野市を身近に感じてもらう第一歩となった。



●市民協働フェス

中野市役所の職員の方から依頼を受け、痛車フェスで受付業務を担当。駐車場には県内外から多くの来場者が訪れ、イベントは非常に活気があり、中野市のにぎわいと地域の発信力を感じる機会となった。こうした市民・職員との協働を通して、地域の現場でのつながりづくりを進めていきたい。



●地域の人と作る交流の場

中野市にある加工施設のみなさんと一緒に、マルシェに出すパイ作りに参加。地域の方と協働しながら、食を通して中野市の魅力を形にしていく取り組みを学んだ。
今後も週1回ほどのペースで参加し、地域の方々とコミュニケーションを取る場、そして外の人の声を届ける場として関わっていきたい。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人））kuriyamanakanocity@gmail.com
（電話番号（個人））080-5727-6950

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Instagram　ID：@SHINSHU_ NAKANO__KYOURYOKUTAI

長野県中野市　入江　健太

観光・情報発信

～　もっと中野市の観光をPRし隊　～

基本情報



【年　齢】
28歳
【出身地】
京都府京都市
【転出元】
福島県楢葉町
【前　職】
会社役員
【活動時期】
R7.4～

協力隊に応募したきっかけ

これまで地域活性化事業に携わってきた中で学び得た経験や知見を活かし、中野市の更なる活性化に貢献することができると考えました。地域の活性化において観光と農業は最も重要な産業であると考えており、また両者は密接に関係しながら持続・発展していくものだと思います。これらの分野において豊富な資源を抱える中野市での地域おこし活動に取り組むことで、日本のどこにもまだない、新しい価値を創出したいと考え、応募しました。

今後の抱負･任期後の目標

企画実施する事業の成果として、新たな中野市の関係人口を令和7年度中に100人、令和8年度中に1,000人、令和9年度中に10,000人増やしたいと考えています。想定する事業内容は地域おこし協力隊インターン、ゲストハウス運営、ウェルネスツーリズム造成、近隣大学連携プロジェクトなどです。任期後は自身の経営する法人で事業を継続します。

活動内容

●令和7年度中野市地域おこし協力隊インターン

令和7年9月には中野市内に14日間滞在し、人手が不足する農家等での作業に従事するインターンを実施しました。京都大学、早稲田大学、慶應義塾大学の大学生ら８名と社会人3名がインターンに参加し、うち社会人1名が10月に中野市に移住し、中野市地域おこし協力隊に着任しました。



●空き家改修･利活用

市内の旧そろばん教室「中野珠算塾」を借り上げ、床の張替えや水回りの改修等を行い、前述の地域おこし協力隊インターンの活動・滞在拠点として活用しました。今後は地域の方々を巻き込むイベントの実施やレンタルスペースとしての運用を予定しています。



●北信観光ツアー案内

中野市を中心とする北信エリアを巡るツアーへの参加を募集し、上半期で21名の方（いずれも中野市には初来訪）に中野市に滞在いただき、地域の魅力を伝えるためのオーダーメイド型のツアープランを設計、ご案内しました。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人））irie@routesign.co.jp
（電話番号（個人））080-8300-9801

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）https://www.instagram.com/irie_kenta_

長野県南相木村　加藤　勝信

観光・情報発信

～　いつかここで働きたいと思っていた場所で協力隊へ挑戦　～

基本情報



【年　齢】
61歳
【出身地】
埼玉県上尾市
【転出元】
埼玉県北本市
【前　職】
グリコ北本工場
【活動時期】
R5.9～R8.9

協力隊に応募したきっかけ

昔、良く訪れていた南相木村で働きたいと思っていた。
移住を検討している段階で協力隊へ応募した

今後の抱負･任期後の目標

出来る限り、村へ貢献したいと思っているので退任後もこの業務に関わりたい。また、地区内においても地域に貢献したいと考えているので地域貢献もしたい。

活動内容

●キャンプ場の管理･運営･接客

コテージの清掃・キャンプ場施設の維持管理
サニタリーハウスの掃除・施設の維持管理
施設内における支障木伐採・フロント業務



●冬場の温泉業務

キャンプ場がオフシーズンに入ったら、村内の温泉施設にて、フロント業務・食事の提供
施設の掃除・フロント販売品の補充等



●薪割り作業

販売用の薪割り（商品化のための作業）
購入者に対する薪の配達業務



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（職場　役場））ijyu@vill.minamiaiki.nagano.jp
（電話番号（職場 役場））0267-78-2121

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Instagram:t.atehara_kogen_camp

長野県原村　鈴木　若菜

～　滞在型観光の推進　～

観光・情報発信

基本情報



【年　齢】
32歳
【出身地】
東京都　多摩市
【転出元】
東京都　多摩市
【前　職】
児童福祉分野
【活動時期】
R5.4～R8.3
（3年目）

協力隊に応募したきっかけ

「原村に住みたい！」そんな想いから、地域おこし協力隊の募集と出会い、応募させていただきました。
原村は友人が住んでおり、会社員時代に何度も遊びに来る場所でした。私にとって原村は『心が元気になる場所』です。そんな場所の観光・情報発信のできる仕事に就けたことを嬉しく思います。

今後の抱負・任期後の目標

原村では、大自然と調和されたおしゃれな場所や心豊かで親切な人々が多く、また『より素敵な村にしたい』という強い想いの方が多くいます。
地域おこし協力隊として、もともとある原村の素敵な「ひと・場所・自然」をつなぐパイプ役となり、村の方々と協力しながら活動を進めてきました。
任期後も引き続き人口8000人みんなが幸せに過ごせるよう『福祉×観光』分野で携わられたらと思います。

活動内容

●子ども向け自然体験

隣町にある大学と連携し、自然体験を通した学びの機会を作っています。
キッズキャンプは村内のお子さんも参加OK！
親子イベントには県外からの参加も多くあるので村内外のお子さんが交流できる機会を作ることが今後の展望です。



●不登校引きこもり支援

村の方と協働で不登校引きこもり当事者とその家族へのサポート体制を構築。
住み心地良さランキング上位の原村で、人口約8000人みんなが安心して暮らせる地域づくりを目指しています！



●原村産ミントコーディアルづくり

50種類もある中で、コーディアル（シロップ）に合うミントをピックアップ！
高原で育ったミントを丁寧に手摘みをして、時間をかけて抽出しました。300本限定でしたが、村内にあるお店から近隣地域のお店まで11店舗で取り扱って下さりました。来年から製造本数増やしてECサイトも開設していきたいです。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）shokan@vill.hara.lg.jp　（電話番号）0266-79-7929

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
不登校引きこもり支援団体HP：https://heartfullvillage.studio.site/

長野県安曇野市　天沼　峻

観光・情報発信

～　カメラ片手に、長靴履いて。　～

基本情報



【年　齢】
30歳
【出身地】
東京都府中市
【転出元】
東京都府中市
【前　職】
農業従事者
【活動時期】
R7.10～R10.9

協力隊に応募したきっかけ

応募動機は大きく分けて３つあります。
・長野県の自然に魅力を感じていたこと
・生活するのにバランスの良い環境だと思ったこと
・自分自身を活かせる仕事ができると思ったこと
その３つのことから、安曇野市で楽しみながら仕事や生活をする自分の姿に臨場感が湧いたので応募しました。

今後の抱負･任期後の目標

任期後は定住し、幸せな家庭を築くことに精進したいです。地域で築いた人間関係や学びは、移住を検討される方の支援として還元したい気持ちもあります。

活動内容

●さとぷろ。の活動発信

「安曇野市里山再生計画」に基づく活動「さとぷろ。」に取り組みながら、市民の認知度アップを目指す「さとぷろ。」編集部員として、里山に実際に入り、一緒に汗を流して活動する中で、猟師さんから話を聞いて知識を深めたり、森林整備の技術を学んだりと、里山での活動に必要な知識や技術を身に着けながら、日々変化する山の姿を逃さずにカメラに収めたり、自分の言葉で地域内外に発信していく仕事です。





連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（職場））kouchirinmu@city.azumino.nagano.jp
（電話番号（職場））0263-71-2432

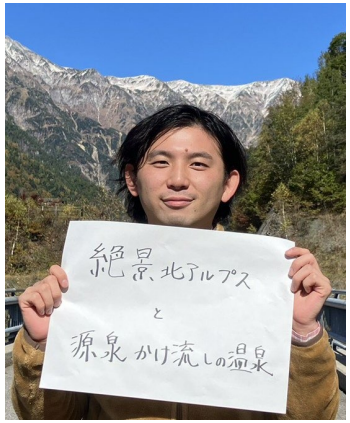
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）https://www.instagram.com/satopro_/

岐阜県高山市　河野　光

観光・情報発信

～　奥飛騨温泉郷の魅力をお届けします！　～

基本情報



【年　齢】
29歳
【出身地】
長野県安曇野市
【転出元】
埼玉県さいたま市
【前　職】
CMやWEBサイト制作
【活動時期】
R6.11～R9.10

協力隊に応募したきっかけ

以前、地域おこし協力隊員の方とお会いする機会がありました。ちょうど生活を見直したいと考えていたタイミングで、自然に近い場所でゆっくり暮らしたいという思いが強くなっていた時期でもあり、とても興味が湧き、調べるようになりました。また、岐阜に知人がいたこと、温泉が好きという点が最終的な決め手となり、応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

着任して1年、北アルプスの懐深くに位置し、槍・穂高連峰への登山口であり、日本最高所のバスターミナルのある乗鞍岳や上高地が隣接するなど、この地に想像以上のポテンシャルを感じています。加えて、圧倒的な温泉資源を有するこの奥飛騨温泉郷の魅力を日々感じています。関東育ちの私だからこそ、『関東の方や若い世代の方々にも伝えたい。』『初めての方が奥飛騨温泉郷に足を運んで、好きになっていただくこと』この想いを胸に、魅力の発信をしていきます。

活動内容

●奥飛騨温泉郷の魅力発見！

地域に住んでおられる皆さんが気付かない地域の魅力を見出すとともに、発信に繋がるよう取り組んでいます。
最近はドローンを活用した「新しい視点」での魅力創出にも取り組んでいます。



●奥飛騨温泉郷の四季折々の魅力を発信！

受入れ先の（一社）奥飛騨温泉郷観光協会と一緒に、山岳観光と温泉が楽しめる奥飛騨温泉郷の魅力をSNSでの発信やパンフレット制作、ホームページのリニューアルなどの通じて広く情報発信しています。
※SNSのURLは下欄にあります！



●地域イベントへの参加（地域の皆さんとの繋がりづくり）

奥飛騨温泉郷には、平湯・福地・新平湯・栃尾・新穂高という5つの温泉地があります。
それぞれの温泉で様々なイベントが開催されており、そのお手伝いや取材を通じて、たくさんの方々と知り合い、コミュニケーションを図っています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
〇メールアドレス　h-kono@hidatakayama.ne.jp
〇電話番号　0578-89-2614（奥飛騨温泉郷観光協会）
【活動状況などの発信（奥飛騨温泉郷観光協会　公式SNS）】
〇Instagram　https://www.instagram.com/okuhidagram/
〇Facebook　https://www.facebook.com/okuhidaspa/

岐阜県大垣市　畠山　隆治

観光・情報発信

～　”都会に近い里山”でモビリティを活用した地域活性化の取組み　～

基本情報



【年　齢】
６２歳
【出身地】
東京都練馬区
【転出元】
東京都練馬区
【前　職】
二輪卸売業　役員
【活動時期】
R５.１０～R８.９

協力隊に応募したきっかけ

二輪卸売業に約４０年従事し、二輪車の拡販・普及・安全に努めてきたこともあり、セカンドステージは、二輪を使った地方創生をしたいと考えていたところ、都会に近い里山である上石津エリアの活性化を活動内容とした地域おこし協力隊が自分にとって最高の舞台と考え、志望させていただきました。

今後の抱負･任期後の目標

上石津地域の地域資源を活用し、地元企業や各種団体と連携しながら上石津ならではの体験・交流事業を企画立案し、関係人口及び交流人口の拡大に取り組んでいきます。
具体的には地理的背景を活かした二輪、四輪、あらゆるモビリティのユーザーに向けた民間主体のイベント誘致、商品開発を行います。
地域の皆様と共に新しい価値を生み出していきますので、よろしくお願い致します。

活動内容

●高齢運転者講習

高齢化が進行する上石津地域において、生活の足として欠かせない自動車の安全運転を目的として、地域の高齢者を対象とした運転者講習を開催。
講習では参加者の自家用車で実際に特設コース内を走行し、運転技術を確かめることにより、今後の安全運転に対する意識向上を図った。



●親子バイクチャレンジ･こども二輪塾

新たに整備した「かみいしづバイクファームキャンプ場」や、市内外のイベント会場において、50ccの子ども用バイクの運転を通じ、モーターサイクルスポーツの楽しさを体験するとともに交通教育プログラムを学ぶ教室を開催。



●安全講話･バイク乗車体験(上石津学園)

大垣市立上石津学園の６～8年生を対象とした、バイク乗車体験会を上石津学園で開催。
体験会ではプロライダーによる安全講話、バイク運転体験を通して、日常や登下校時における安全に対する意識の向上と、自助努力や非認知能力の育成を目指した。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人or職場）） k_chiikiseisaku@city.ogaki.lg.jp
（電話番号（個人or職場）） 0584-45-3113(上石津地域事務所地域政策課)

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（上石津まちづくり協議会HP) http://kamiishizu.sakura.ne.jp/

静岡県伊豆の国市　HALL　NAIYA（春　奈衣耶）

観光・情報発信

～　デジタル技術を活用した地域の周遊型観光の促進　～

基本情報



【年　齢】
39歳
【出身地】
米国アラスカ州
【転出元】
兵庫県神戸市
【前　職】
営業
【活動時期】
R7.4～R10.4

協力隊に応募したきっかけ

写真やSNSを通して地域の魅力を伝えることに強い関心がありました。日本各地を訪れる中で、観光地として知られていない地域にも多くの素敵な風景や人の温かさがあると感じ、それを発信することで地域の価値を伝えたいと思うようになりました。伊豆の国市の募集内容には、「デジタル技術を活用した周遊型観光の促進」とあり、自分の得意な分野を生かして地域に貢献できると感じました。また、外国人として地域を外からの視点で見ることで、地元の方が気づきにくい魅力を発見し、国内外の人々に発信できる点にも魅力を感じ、応募を決意しました。

今後の抱負・任期後の目標

これからも、地域の方々と一緒に考えながら、伊豆の国市の魅力をより多くの人に伝えられる発信を続けていきたいです。特に、地域の日常のあたたかさや人とのつながりを感じられるような発信を工夫し、地元の方にも観光で訪れる方にも「また来たい」と思ってもらえるきっかけをつくりたいと考えています。任期後も、この地域での経験を生かして、まちづくりや観光に関わる仕事を続けていけたらと思っています。

活動内容

●地域の魅力発信（SNS･写真撮影）

伊豆長岡温泉エリアマネジメントというまちづくり会社に配置され、SNS担当としてInstagramやFacebookで発信しています。ミライ会議、お散歩市、いずなかマルシェ、さかなやステイの４つのアカウントを通して、地域の人々の活動や温泉場の魅力を紹介しています。

イベントの出店者や地域で協力してくださる方々を訪ね、撮影や取材を行い、発信につなげています。撮影の場では会話を通して地域の思いや魅力を聞き出し、それを丁寧に紹介することで、地域内外の人をつなぐことを目指しています。

また、地域おこし協力隊としてのアカウントも運営し、自分自身の視点から伊豆の国市での暮らしや日常の風景、活動を発信しています。エリアマネジメントと協力隊、それぞれの立場から発信することで、地域の魅力をより多くの人に届けることを目指しています。









連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス・職場）giaizuspa@gmail.com
（電話番号・職場）080-3274-3832

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
協力隊(個人運営)：www.instagram.com/izuno92.kyoryokutai
伊豆長岡温泉まちづくり：www.instagram.com/izuspamirai

IZUNO92.KYORYOKUTAI　IZUSPAMIRAI

静岡県伊東市　吉村　優

観光・情報発信

～　伊東の魅力を発信し、地域と人をつなぐ　～

基本情報



【年　齢】
27歳
【出身地】
千葉県松戸市
【転出元】
東京都世田谷区
【前　職】
ITの営業
【活動時期】
R7.7～R10.3

協力隊に応募したきっかけ

伊東市で「自分の理想の宿泊施設をつくりたい」と思ったことがきっかけです。これまで東京で営業・SNS運用・観光マーケティングに携わる中で、“地域の魅力を磨き、発信し、人を呼ぶ仕組み”に強い関心を持ちました。豊かな自然と温泉文化が残る伊東市なら、宿泊を中心とした新しい観光体験を生み出せる。その構想を現実にするために、地域の現場を深く理解し、観光の基盤を支える活動をしたいと考えました。

今後の抱負･任期後の目標

任期中は、SNSや観光サイトなどの情報発信を通じて、伊東市の“日常にある魅力”をより多くの人に伝えていきたいと考えています。また、地域の方々との関わりを深めながら、観光や宿泊事業の現場を幅広く学び、伊東市での起業・宿泊施設の立ち上げにつなげていくことを目標としています。

活動内容

●観光SNS発信

Instagramを中心に、伊東市内のカフェ・グルメ・イベント・観光地などを取材・撮影し、動画や写真を通じて日々発信。地域の人にも観光客にも「行ってみたい」と感じてもらえるよう、分かりやすく魅力を伝えることを意識しています。



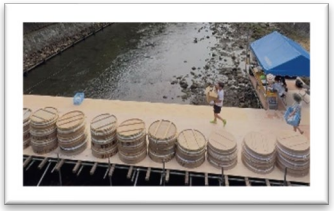
●観光サイトの発信

市内のお店やスポット、イベント情報を整理し、誰が見ても分かりやすい構成になるように工夫。
Web上からも伊東市の魅力に触れられるよう努めています。



●イベントの運営サポート

市内で開催される既定の観光イベントの準備・運営サポート・広報を担当。現場での設営や受付、SNS用素材の撮影など、実行チームの一員としてイベントの円滑な遂行に携わっています。



連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
伊東市公式Instagram：@itouji_official

【メディア等の取材連絡先】
電話番号:070-3797-2682

静岡県川根本町　芦沢　博稔

観光・情報発信

～　ロケツーリズムに関する活動　～

基本情報



【年　齢】
35歳
【出身地】
静岡県川根本町
【転出元】
京都府京都市
【前　職】
映像制作
【活動時期】
R7.1～

協力隊に応募したきっかけ

もともと大学卒業後は地元の川根本町で「地域おこし的な何か」をしたいという想いがありました。京都に移り住んでから、川根本町のことはWeb等で確認するようにしていたのですが、たまたま「ロケツーリズに関する活動」という募集を見つけ興味を惹かれ、恐る恐る応募をした結果、今に至ります。

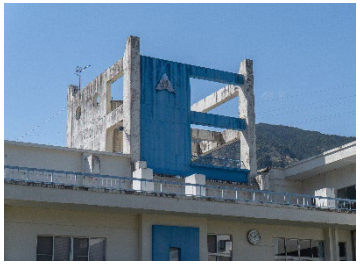
今後の抱負･任期後の目標

活動を進める中で、町内の空き家、廃校、空き地といった遊休資産の利活用には、町内外から一定の需要が見込めると確信しました。今後は、この町内遊休資産を積極的に活用した経済活動の展開を目指します。これに伴い、町内に存在する多様なスキルと経歴を有する人材が、より積極的に地域振興に参画できるような、流動性の高い組織・コミュニティを形成し、地域を活性化させる新しい取り組みを実現したいと考えております。

活動内容

●町内ロケーションハンティング（ロケハン）

町内の景観、建物など「映画」「ドラマ」「MV」等映像作品で活用できそうな場所を探します。
魅力を感じた場所は写真撮影を行い、場所の所有者、使用許諾先などを確認しリスト化。ロケ候補地マップを作成します。



●ロケ誘致からロケ対応

映像制作会社の案件内容から町内で活用できそうなロケ地を紹介しロケの提案を行います。
マッチングした場合はその後ロケ当日までの準備、ロケ地の許諾確認、スタッフの町内宿泊先や食事の手配等、各所の調整や交渉を担います。



●町内ロケ作品の紹介

町内でロケが行われた作品に関して、制作会社と情報公開範囲を協議し、町内外向けに作品の広報・宣伝等を行います。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人or職場））kagerou.studiokatz@gmail.com
（電話番号（個人or職場））080-2613-6643

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://x.com/chikiokoshi

愛知県北設楽郡東栄町　堀尾　歩見

観光・情報発信

～　自転車まちめぐり「ぽたび」×「ビューティーツーリズム」による町おこし　～

基本情報



【年　齢】
24歳
【出身地】
愛知県碧南市
【転出元】
愛知県碧南市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R6.4～

協力隊に応募したきっかけ

私は「協力隊になりたい」というよりも「東栄町で働きたい」という想いがあって東栄町の協力隊に応募しました。東栄町には学生の頃から頻繁に訪れており、いつしか私にとって帰ってきたくなる場所になっていました。過疎地域となっている場所ですが、私にとって東栄町は特別な場所です。そんな場所を少しでも盛り上げたい、少しでも多くの人に知ってほしいという想いがあり、クリエイティブに活動できる協力隊員としてのお仕事を希望しました。

活動内容

●自転車まちめぐり

東栄町観光まちづくり協会では、電動アシスト自転車を使ったまちめぐり案内やレンタルサイクルを行っています。坂道や細い道が多い東栄町では電動アシスト自転車がとても便利です。東栄町の歴史や自然を存分に感じられるまちめぐりはとても人気です。



●喫茶＆ドーナツ販売

観光協会内に喫茶店があり、金・土・日限定で手作りドーナツの販売もしています。おからを使用したふわふわもちもちのドーナツはお店で手作りしており、町内の子どもたちにも大変人気です。ドーナツをきっかけに観光協会に訪れるお客様も増えました。



●イベント出店

月１回以上は町内外のイベントで東栄町のPR活動を行っています。自転車まちめぐりやドーナツを使ったPRのおかげで広い年齢層に興味を持っていただいています。今後もイベント出店等を広く行っていきたいです。



今後の抱負・任期後の目標

現在は東栄町観光まちづくり協会のスタッフとして働いています。東栄町の観光窓口として、町内の方と町外の方を繋げられる働きができれば嬉しいです。

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人or職場））ayumi.touei@gmail.com
（電話番号（個人or職場））0536-76-1780

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Instagram　potabi__toei

愛知県北設楽郡豊根村　澁澤　悠哉

観光・情報発信

～　カフェ付ゲストハウス兼観光案内所開業で地域と観光客をつなぐ　～

基本情報



【年　齢】
38歳
【出身地】
東京都府中市
【転出元】
静岡県伊東市
【前　職】
-キャンプ場管理人
-民間企業・環境省勤務
【活動時期】
R6.12～R9.11

協力隊に応募したきっかけ

妻の実家である愛知県への移住を検討している中で、旅行に訪れた豊根村に魅力を感じ、仕事を探していたところ村役場担当者から地域おこし協力隊制度を紹介頂いたことがきっかけ。移住を優先して既存事業者への就職を検討していたが、協力隊制度を活用すれば”自分のカフェ・宿泊施設を持ちたい”という夢の実現と飲食・観光業での地域振興を両立できる可能性を感じた。

今後の抱負･任期後の目標

村内に点在している空き家を活用して、着実に開業していきたい。まずは1戸賃貸契約を結べたので、カフェの開業を進めて早期営業開始を目指す。営業を継続するなかで村内の空き家情報を広く収集し、ゲストハウスに適した土地・集落にて宿泊施設を開きたい。
出張カフェや情報発信を継続しながら、村内の観光情報を収集し、宿泊客や観光客を地域の店舗、観光施設、体験へつなげたい。任期中に持続可能な事業基盤を整え、任期終了後も家族と豊根村で暮らしながら、地域に人と仕事の流れを生み出していきたい。

活動内容

●カフェ営業（出張含む）

地域おこし協力隊活動拠点で菓子製造業許可を取得し、焼き菓子製造とカフェを営業している。露店の飲食店営業許可を取得し、村内の茶臼山高原山頂、観光農園、ビジターセンター、温泉施設内、高齢者向けサロン、敬老会等イベントで出店し、村内外の認知度向上に向けた営業活動を実施している。



●宿泊施設候補地探し

主に地域住民からのクチコミと、役場空き家担当課の空き家バンク制度をもとに村内の空き家情報を取得しつつ、所有者の意向や立地条件を確認しながら、宿泊施設として活用できる物件を調査している。宿泊施設の開業に当たっては、近隣住民への説明と地域との共存を重視し、丁寧に合意形成を進めている。



●定住に向けた収入基盤づくり

豊根村森林組合での植林事業、村内の茶農家でのお茶狩り、既存宿泊施設での清掃業務、外国人団体観光客の通訳・案内業務などを実際に行っている。また、法面や沢内などで傾斜地の草刈りを定期実施し、将来的に村内での請負契約できるように資格取得も進めている。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人））
s.yuya4238+chiiki@gmail.com

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram・LINE公式）

LINE

COFFEE.TOYONE_YUYA.SHIBUSAWA

観光・情報発信

三重県度会町　原　洋隆

～　地域資源を活用したアウトドアコンテンツの創出　～

基本情報



【年　齢】
５０歳
【出身地】
大阪府東大阪市
【転出元】
大阪府守口市
【前　職】
介護施設管理職
【活動時期】
R6.4～R9.3

協力隊に応募したきっかけ

度会町は田舎でありながら田舎すぎないところに惹かれました。自然が豊かで綺麗な川もあり、少し車で走れば買物にも不自由はなく、お伊勢さんも近い。
田舎に住みたいと思っていた僕ですが、度会町は家族で生活するには最高な場所に思えました。また、ミッションが「アウトドアコンテンツの創出」で、広義的なものでも良いと言っていただき、興味のある自給自足や山や川、林業などもコンテンツ作りに使えると考え応募しました。

今後の抱負･任期後の目標

度会町は伊勢から近い田舎であるにもかかわらず、宿泊施設が少なく民泊もないので、任期中に空き家を購入して、体験民泊施設を作り、季節やニーズに応じたアウトドア・コンテンツを作っていきたいと思います。もちろん任期後も度会町に定住し、体験民泊で度会町の良さを発信しつつ、定住人口や関係人口の増加につながればと思っています。

活動内容

●地域に馴染む

まずは地域に馴染むことが大切だと思っており、現在はいろんな方とお会いしたり、イベントや地域活動などに参加したりしています。度会町はお茶の産地で、この写真はお茶工場です。工場とはいえ機械だけでなく職人の感覚が重要で、お茶作りの体験をさせてもらっているところです。



●外から来た人間だからこそ

いろんな場所に連れて行ってもらったり、自分の足で見にいったりして、その場所でなにを思い、なにを感じるのか、なにが魅力的なのか。外から来た人間だからこそ感じる「なにか」があると思うので、その感性を大切にしながら活動しています。



●わたらいセブンマウンテン

森林率が85%の度会町は、登山に適した山も豊富です。わたらいにはセブンマウンテンと呼ばれる7つの山があり、初心者でも比較的のぼりやすい山です。これらの山も活用してなにかできないか、模索中です。



連絡先

三重県度会町みらい安心課　まで
電話：0596-62-2423
Mail:mirai@town.watarai.lg.lp

三重県津市　濵本　益元

観光・情報発信

～　美杉地域情報発信担当　～

基本情報



【年　齢】
６６歳
【出身地】
愛知県知多郡
【転出元】
愛知県知多郡
【前　職】
自営業
【活動時期】
R7.９～

協力隊に応募したきっかけ

美杉の魅力に触れて「その魅力が十分に世の中に伝わっていない」つまり「豊かな自然と民俗学的伝統（観光資源）に基づく物語というポテンシャルがありながら、それらを活かしきれていない」という印象を持ち、もしかしたら私自身の発想やトライアルで、微力ながら何かができるのではないか？という想いから。

今後の抱負･任期後の目標

職員の皆様、住民の皆様の想いを受け止めながら、前例のないトライアルも含めて、ベストな施策、情報発信のカタチを模索、実施していけたら、と考えています。

活動内容

●ＳＮＳ等も活用した総合的な美杉地域の情報発信

美杉の魅力を伝えるための「物語」を再編集してポータルサイト「みすぎじかん」として発信することで、美杉地域を心から好きになってくれるファンを増やしていきたいと考えています。

みすぎじかん
URL:https://misugi-jikan.jp/



みすぎじかんリニューアルポスター

●美杉地域の魅力の掘り起こしやブランディング

ポスターひとつ、チラシひとつ、そしてサイト構築なども含め、すべてにおいて、表現の切り口、コンセプト、デザイン、コピーの内容、使う写真・映像、発表タイミング等々・・・とことんこだわって発信をしていきます。

また、発信の元になる取材にもこだわります。地域の人々と実際に話をし、その声、その想いなど、本質を浮き彫にするインタビュー力にも注力して、伝え方にもこだわりたいと考えています。



JR名松線全線開業９０周年記念事業ポスター

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人or職場））Hamamoto@grandbleuworks.jp
（電話番号（個人or職場））090-2310-5215

【活動の様子を発信しているSNS・ブログ・サイトなど】
現在、取材・撮影・フィールドワークを通じて、表現素材を収集＆準備中。

三重県津市　畑　顕治

観光・情報発信

～　森林セラピー基地事業担当　～

基本情報

【年　齢】
５５歳
【出身地】
神奈川県相模原市
【転出元】
神奈川県鎌倉市
【前　職】
自営業
【活動時期】
R7.4～

協力隊に応募したきっかけ

自然と健康をテーマとした地域コミュニティづくりをライフワークとしており、自然の中で無理なく身体を動かし、人と人とのつながりを育む健康づくりに取り組んできました。

以前から津市美杉地域を訪れる機会があり、「美しい山の空気、清らかな川の流れ、動植物たちの息吹」に触れてきました。豊かな自然に囲まれた美杉地域には、都市部では得られない、人の心と身体を元気にする力があると感じています。

この地域に暮らす皆さんが、自然を通じて交流し、健やかな暮らしや生きがいにつながる時間をつくることができれば、地域の新たな魅力になるのではないかと考え、地域おこし協力隊に応募しました。

今後の抱負･任期後の目標

美杉の豊かな自然を活用し、「自然と健康」をテーマとした地域づくりを進め、津市内外から人が訪れ、地域の皆さんと交流が生まれるモデルとなる地域づくりを目指します。

津市森林セラピー基地を活用し、自然の中で誰もが安全に楽しめる健康・交流プログラムを地域の皆さんとともに育て、美杉を訪れるきっかけや、新たな交流の場を増やしていきたいと考えています。

協力隊の任期後も、美杉で育んだ人とのつながりを大切にしながら、「自然と健康」を軸としたヘルスツーリズムや健康レクリエーションなど、地域資源を活かした持続的な地域づくりに取り組んでいきたいと考えています。

活動内容

●津市森林セラピー基地運営協議会の事務局業務



津市森林セラピー基地運営協議会の事務局担当者として、基地運営に関する事務業務やイベント運営、地域との連携などを担っています。

美杉の豊かな自然環境が、地域に暮らす皆さんをはじめ、津市内外から訪れる方々にとって、心と身体を整える場となるよう、森林セラピー基地の運営を支え、地域の皆さんと協力しながら活動しています。

●津市森林セラピー基地を活用した健康づくり



森林セラピー、モルック、健康ウォーキングなど、美杉の自然を活用した健康・交流プログラムを企画し、地域内外の人々が訪れ、交流する機会づくりに取り組んでいます。

また、森林セラピー基地にある１２コースの環境整備を地域の皆さんと連携しながら継続して行い、安全に自然を楽しめる環境づくりと、美杉の魅力発信につなげています。

●地域住民の健康増進のサポート



「木を投げて、木を倒す」年齢や体力にかかわらず、誰もが気軽に楽しめる健康レクリエーションスポーツ「モルック」の普及に取り組み、地域住民の健康づくりと、多世代・地域内外の交流を促進しています。
日常の中で楽しみながら身体を動かし、人と交流できる機会を増やすことで、健康への意識向上や地域での新たなつながりづくりを進めています。

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人）f.revo@mac.com
（電話番号（個人）090-6474-7696

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Instagram｜みすぎのじかん　　Facebook｜畑 顕治（KENJI HATA）

京都府京丹波町　木下　弱
～笑いで町を元気に～

観光・情報発信

基本情報



【年　齢】
４０歳
【出身地】
兵庫県神戸市
【転出元】
大阪府大阪市
【前　職】
芸人（現在も）
【活動時期】
R３.8～R8.7

協力隊に応募したきっかけ

芸人である点を活かし、老若男女に愛される存在として町の広告塔として活動し、地域のお祭りや消防団等の自治活動にも積極的に参加していくため。

今後の抱負･任期後の目標

田舎暮らしの様子をSNS等で配信、各種イベントや地元ケーブルテレビにおいてのタウンプロモーション活動を実施し、特産品を活用した商品開発等も検討していく。

活動内容



●観光ツアーの開発
森の京都DMOと連携して木下弱のおすすめスポットを巡る「京丹波町バスツアー」を全5回実施。毎回満員の人気ツアーとなる。



●みんなで育てる、地域の実り
畑をお借りして野菜作りをする。苗植えイベントや収穫イベントを実施。特産品の黒枝豆の収穫イベントは毎年の恒例行事に。



●町の野菜を、町外へ　「じゃく野菜市」
町内の農家さんから野菜を仕入れて町外で販売する「じゃく野菜市」を定期的に実施。京丹波町の野菜は美味しいとリピーターになってくださっている方も。

●笑いで町に人を呼ぶ！　「じゃくふぇす」
お笑いライブを実施して町外からもたくさんの方に来てもらう。直近のお笑いライブ「じゃくふぇす」では450人以上が来場。

●地域おこし協力隊で企画　「移住者交流会」
地域おこし協力隊員と協力して、移住者と交流を深める「移住者交流会」を全3回実施。移住者だけではなく、これから移住を考えている方にも来ていただき交流を深める。

●オリジナル体操「京丹波だんない体操」をつくる
保健師とイスに座って行う体操「京丹波だんない体操」を作って、高齢者サロンをまわる。

●SNSやYouTubeで京丹波町の魅力や暮らしの様子を発信

●BSよしもとやその他のテレビ局の番組で京丹波町のおすすめスポットやおすすめグルメなどを放送

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
電話番号　0771-82-3809（京丹波町企画経営戦略室）

京都府南山城村　小橋 康之

観光・情報発信

～　観光むらづくりで暮らし続けられる村へ！　～

基本情報



【年　齢】
57歳
【出身地】
京都府
【転出元】
長崎県　波佐見町
【前　職】
地域おこし協力隊
【活動時期】
R6.12～

協力隊に応募したきっかけ

海外在住25年間の経験を日本のために役に立てないかと思い地域おこし協力隊に応募しました。外国人的な見方や経営者目線で地域活性化をしたいと考えています。
以前は、ニュージーランドでレストランを経営していた時に波佐見焼を使っていた縁で、長崎県波佐見町地域おこし協力隊として4年間従事していました。今回は実家の奈良市に近いところで地域おこし協力隊第二弾に挑戦しています。

今後の抱負･任期後の目標

観光むらづくり団体（観光協会）を設立し観光と一次産業を中心とした村づくりを進めていきたいと考えています。新たな特産物の開発を地元の方々と一緒に作っていけるよう取り組んでいます。退任後もこの南山城村に住み続け貢献していきたいです。

活動内容

●観光むらづくり団体設立準備活動

イベント企画や体験プログラムの充実を図るよう取り組んでいます。ツアー運営に必要な関係各所との調整や村のキーマンとの交流に力を入れています。



●観光×1次産業

南山城村で担い手が減少しつつある農業。観光商品の原材料ともなる農林産物の出荷者を増やすことを目的に、畑を借り地元の方や移住者を誘って野菜を一緒に作っています。米作り等でも仲間を広げ、農業に携わる方々を増やしていきます。



●特産物の開発

ニホンミツバチの養蜂を南山城村で実施、仲間を増やして「村蜂部（むらはちぶ）」を結成しました。
その他、ドラゴンフルーツの試験栽培を令和7年から始めます。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）yaa3266@gmail.com （個人）
kobashi@vill.minamiyamashiro.lg.jp
（電話番号）　080-9817-6323（個人）　0743-93-0105(南山城村役場)
（インスタグラム）@minamiyamashiro.chiikiokoshi

京都府宇治田原町　西山　元太

観光・情報発信

～　お茶のまち「宇治田原町」で、緑茶発祥の地を盛り上げています　～

基本情報



【年　齢】
２３歳
【出身地】
京都府京都市
【転出元】
京都府京都市
【前　職】
接客業
【活動時期】
R6.2～ R9.1
（3年目）

協力隊に応募したきっかけ

今までの環境を変え、新しい事にチャレンジしたいという思いがありました。今しかできない経験・出会いなどが、これからの人生の中で大きな財産になると思っています。地域おこし協力隊として、地域で活動し、地域に貢献しながら、楽しく活動したいと思ったのが協力隊に応募したきっかけです。

今後の抱負･任期後の目標

３年間という期間で商品開発やイベントの運営を考えています。その中で自分がどれだけできるのか、事業をどれだけ拡大させることができるのか、３年後の自分の姿を見るのが楽しみです。
任期後も新しいことにどんどんチャレンジしていきたいです。

活動内容

●観光交流施設「宗円交遊庵やんたん」の運営支援

宇治田原町の観光交流の拠点「宗円交遊庵やんたん」の運営支援として、接客・情報発信等を担っています。今後、自分の良さを活かして、来館者へのおもてなしや地域の盛上げに貢献していきたいです。



●地域の自然を活用したイベントの開催や商品開発

「日本緑茶発祥の地」である本町の歴史・文化を活かしたイベントを年に何回か実施していきたいと考えています。今年度には、「お茶の未来EXPO」という大規模なイベントを町内で開催することが出来ました。また「がんたの焼き芋」として、焼き芋事業を開始し積極的に取り組んでおり、イベント等にも出展しています。また、昨年度には罠の狩猟免許も取得しました。積極的に様々な活動をしていきたいです。



●情報発信･観光PR

「協力隊通信」として、協力隊独自の目線で地域の情報をインスタで発信中。イベントや見どころなどの情報を収集し、宇治田原町のPRに励んでいます。また、カメラの腕を磨くため、たくさんの写真を撮りに町内を走り回っています。

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
〔メールアドレス〕shoukou@town.ujitawara.lg.jp
（宇治田原町まち未来創造課）
〔電話番号〕0774-88-6616（宇治田原町まち未来創造課）

奈良県吉野町　　吉井　武

観光・情報発信

～　津風呂湖の集客・活性化を行う活動　～

基本情報



【年　齢】
50歳
【出身地】
大阪府寝屋川市
【転出元】
大阪府寝屋川市
【前　職】
時間貸し駐車場運営管理
【活動時期】
R７.5～

協力隊に応募したきっかけ

吉野町の地域おこし協力隊に応募したきっかけは、数年前から桜の保全活動への参加が大きな原点です。自身にとって知らない土地ではなく、職場の仲間と年に観光でも何度も訪れてきた馴染みのある場所であり、訪れるたびにその魅力を感じてきました。 また、大阪からも近く、三重県、和歌山県との中心に位置する立地の良さや、吉野山に並ぶ多くの店舗を散策する楽しさにも強く惹かれています。また趣味である釣りの技術や、取得した資格も地域の自然資源や観光振興に生かせると考えています。 この年齢を一つの転機ととらえ、これまでの趣味を活かして地域に貢献しながら生きていこうと決意しました。吉野町の豊かな自然と人とのつながりの中で、自分の経験を活かし、新たな挑戦をしていきたいと考えています。

今後の抱負･任期後の目標

任期後の目標についてはまだ決まっておりませんが、今後は、吉野町の自然や人とのつながりの中で、自分の経験やスキルを地域のために役立てたいと考えています。特に、地域資源の活用など、吉野町で必要とされる企業、業務に積極的に関わりたいと思っています。3年後には、地域おこし協力隊としての経験を通じて、吉野町の事業や企業などで必要とされる自分の能力を発揮し、地域の一員として継続的に活躍できるようになることを目標にしています。そのために、日々の活動の中で人とのつながりを大切にし、信頼される存在を目指します。

活動内容

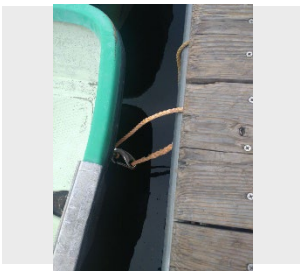
●業務効率化：イベント応募フォーム等のデジタル化

これまで紙や電話で受け付けていたイベントの応募を、Googleフォームや簡易Webサイト作成ツールなどを活用してオンライン化します。応募管理の自動化や一覧化を行い、職員の事務負担を軽減するとともに、参加者にとっても分かりやすくスムーズな申込環境を整えます。また、今後は津風呂湖イベント活動（漁業や外来種駆除等）での集計、データ収集を行い未来に繋げます。



●業務簡素化：レンタルボート係留作業の改善

イベント時レンタルボートが１００艇ほど出船、帰港する為、ロープを使って行っている係留作業を、フックやゴムロープを用いた方法に変更し、高齢スタッフでも安全かつ効率的に作業できる環境を整えました。小さな改善を積み重ねることで、現場全体の作業負担を軽減し、高齢化社会での持続的な運営体制を目指します。



●地域活性化：家族で楽しめる自然体験イベントの創出

津風呂湖周辺を親子が自然の中で笑顔になれる場所として発信します。具体的には、家族で楽しめるフィールドビンゴや自然観察会、絵画教室などの企画を行い、学びと遊びを融合させた体験型イベントを検討し、さらに津風呂湖周辺でのスタンプラリーなどを行い、釣りだけでは無く湖周辺の観光促進を検討致します。地域の方々と協力しながら、吉野町全体の賑わいづくりに貢献していきます。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人））tk-yoshii@outlook.jp
電話番号（職場）　　0746-32-3081

奈良県吉野町　佐藤　梅香

観光・情報発信

～　英語力を活かしてインバウンドを支える地域おこし協力隊　～

基本情報



【年　齢】
25歳
【出身地】
東京都江東区
【転出元】
東京都江東区
【前　職】
営業事務
【活動時期】
R７.5～

協力隊に応募したきっかけ

私は東京で生まれ育ちましたが、会社を退職後、自分の興味のある「自然」「海外」「第一次産業」について学びを深めたいと思い、国内各地を巡りました。北海道から沖縄まで、お茶農園や和紙づくり、果樹農園や酪農など、さまざまな現場に触れる中で、地域ごとの魅力や人々の暮らしの豊かさを実感しました。
その後、2022年から約3年間にわたり海外を旅し、70カ国以上を訪れました。旅先ではコーヒー農園などにも携わり、現地の人々との交流を通して、自然とともに生きる姿勢や地域資源の活かし方を学びました。海外での経験を通して、改めて日本の魅力を鮮明に感じるようになり、「水のきれいな山岳地に暮らしたい」という思いが強まりました。中でも奈良県は、自然と歴史、人の温かさが調和している場所であり、ここで海外経験を活かしながら観光を通じて来訪者に良い体験や思い出を届けたいと感じました。そのような思いから、観光資源のポテンシャルが高い吉野町に移住し、現在はインバウンド観光に携わっています。

今後の抱負･任期後の目標

今後の進路についてはまだ明確に定まっているわけではありませんが、これからも吉野町で生計を立てながら暮らしていきたいと考えています。自分がやりがいを感じられる観光や国際的な分野の仕事に携わりたいという思いがあり、今後は兼業や独立、就業など、さまざまな可能性を模索していく予定です。
吉野町での生活はまだ半年ほどですが、人とのご縁にも恵まれ、穏やかで充実した毎日を送っています。地域の方々とのつながりを大切にしながら、自分なりの形で地域に貢献していきたいと考えています

活動内容

●インバウンド観光対応範囲拡大

外国人専用窓口を開設にむけて活動中、気軽に観光情報について問い合わせすることができることに加え、ツアーの販売等も同時に行うことで販路拡大にも繋げている　GoogleMap等の情報も整理することでMEO対策にも力をいれている



●ツアー造成

自然や修験道、歴史といった吉野町ならではの地域資源を活かし、リトリートツアーやスピリチュアルツアー、地酒ツアーなどの造成を行っています。ツアーを通して、訪れる人々が心身を整えながら地域文化や自然の魅力に触れられるよう、体験型のプログラム設計を意識しています。
また、地域の事業者や宿泊施設との連携を図り、地域全体の観光価値を高めることにも力を入れています。海外経験を活かし、外国人旅行者にも吉野の深い魅力を発信できるよう、英語でのガイド対応や情報発信の充実にも取り組んでいます。



●インバウンド向け商品販路拡大

今後は、OTAサイトへの登録や運営体制を拡大し、販路拡大に力を入れていきたいと考えています。現在は「Viator」および「GetYourGuide」にてツアー販売を行っており、今後は観光案内所などで滞在中の旅行者（タビナカ層）をターゲットに、直売ツアーの販売も予定しています。
また、奈良市内から吉野町への送客を目的とした共同事業なども企画中であり、地域の観光資源を活かした新たな取り組みを進めていきたいと考えています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
メールアドレス（個人）umeka _sato@yoshino-kankou.jp
電話番号（職場）　　0746-34-2522

和歌山県上富田町　後藤　莉子

観光・情報発信

～日本に新たな観光のカタチを創る！「ひとが観光資源の上富田」～

基本情報



【年　齢】
23歳
【出身地】
宮城県石巻市
【転出元】
宮城県石巻市
【前　職】
学生
【活動時期】
R７.４～

協力隊に応募したきっかけ

インターンシップで訪れた和歌山県紀南エリアでは、地域の方々が地域課題に真摯に向き合い、ビジネスやコミュニティの力を活かして地域振興に取り組む姿を目にしました。その姿に強く心を動かされ、自分もこの地域のために何か力になりたいと感じました。地域の魅力を生かし、人が訪れるきっかけをつくり、地域の活性化に貢献したいと考えています。また、コーディネーターとして自身の成長にもつなげていきたいと思っています。

今後の抱負・任期後の目標

新たに観光コンテンツを開発し、企業研修の受け入れを初め、様々なことに挑戦をしています。まずは、一つ一つの案件や仕事をこなしながらも、観光協会として売り上げをあげながら法人化を目指していけたらと思っています。
また、企業研修やインターンシップのコーディネートなどを通して、自己スキル向上とこの地域の振興のために尽力していければと思います。

活動内容

●海外研修受け入れ

上富田町に訪れた海外研修生のアテンド。
自身の言語能力を生かしながら、海外研修や外国人観光客の案内・アテンドを行っています。



●観光コンテンツ造成

観光協会として、稼げる観光協会を目指し活動しております。現在は、観光コンテンツの造成を地域の事業者7名と行っており、モニターツアーやプチ体験会をコアメンバーで進めながら、12月には初の企業研修受け入れに挑戦します。



●観光PR

今年は大阪関西万博が開催され、万博を初め様々なイベントで観光PRする機会をいただき、出店をしました。観光PRのみならず、物産販売も行いました。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（職場））kamitonda.kankou0002@gmail.com
（電話番号（職場））0739-33-9610

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://www.instagram.com/nikoriko_g12?igsh=eDNkazR1amZmMHVv&utm_source=qr

和歌山県御坊市　渋谷　茉央

観光・情報発信

～地域の魅力を発掘・発信　SNSで観光PR！～

基本情報



【年　齢】
25歳
【出身地】
大阪府　大阪市
【転出元】
大阪府　大阪市
【前　職】
学生
【活動時期】
R4.4～（3年目）

協力隊に応募したきっかけ

大学時代は、展覧会やアートプロジェクトの企画と運営、SNSを活用した広報活動を経験し、就職活動でもそのような経験と特技を生かすことができる環境を求めるようになり、移住スカウトサービスを通じて御坊市を見つけました。特技と経験が、地方にこそ需要が眠っていることと、自然が身近にある暮らしを自分もできるという可能性を感じ、応募しました。

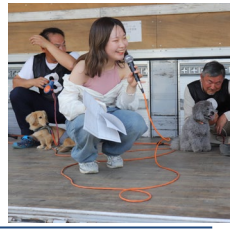
今後の抱負・任期後の目標

「地域の魅力」や「情報発信」とは何なのか追求しながら、広報活動や面白いことづくりに取り組んでいきたいです。昔から「田舎には娯楽がない」とくくられがちですが、豊かな自然や伝統といった、お金を積んでも手に入れられないような田舎の強みも、暮らし始めてから強く実感しています。「こんな娯楽がありますよ」と提示できるようなモノや人々が絡み合うコト作りをしたいです。

活動内容

●観光資源の開発･情報発信

WEST EXPRESS銀河（JR）での車内物販ＰＲ、野口オートキャンプ場でのキャンピングカーオフ会、サイクルフェスタHUBなど各種イベントでの御坊市の物販・観光ＰＲやＳｉｏトープでの鯉の餌ガチャなどの観光体験の開発などに取り組んでいます。



●御坊市観光ＰＲ大使「みーやちゃん」のＰＲ

「宮子姫伝説」の認知度を高めるために地域の方々が作られた　ゆるキャラ「みーやちゃん」の更なる認知度の向上のため、ぬりえコンテストの実施や各種イベントでの出演等を実施しています。
その他、情報発信では、みーやちゃん公式Instagramの運営を開始し、Twitterの運営を引き継ぐなど、御坊市の情報をSNSを中心に発信しつつ、みーやちゃんの認知度向上に取り組んでいます。





●御坊市公共物にかかるモノのデザイン

今年度に新装するマンホール蓋や、市が所有する公園内のウォーキングコースにかかる道路標示、注意喚起の看板といった公共物のデザインにも取り組んでいます。



連絡先

- メールアドレス｜bm-27315@city.gobo.lg.jp
- 電話番号｜0738(23)5510
- Instagram （個人）｜ @shibutanimao
- Instagram＆Twitter 御坊市PRみーやちゃんアカウント（運営担当）｜ @gobo_mi_ya

鳥取県琴浦町　吉野　亜紀

観光・情報発信

～　アウトドア起業家養成業務　～

基本情報



【年　齢】
49歳
【出身地】
東京都江戸川区
【転出元】
東京都江戸川区
【前　職】
会社員
【活動時期】
R5.9～R7.4.30

協力隊に応募したきっかけ

旅行者として訪れた琴浦町の自然に感銘を受け、その後もおてつたびを使って一向平を何度か訪れていた。将来ウィスキング（サウナの中で枝葉を使ったマッサージの技法）を提供するサービスを生業にしたいと考え、自然の中でウィスキング体験ができる環境を探していたところ、アウトドア起業家養成業務を主とする地域おこし協力隊の募集を見つけ、琴浦町の自然と掛け合わせたウィスキングを広めることができると思い応募。

任期後の目標

ウィスキングを生業として、世界及び全国各地で活動したい。琴浦町でハーバルサウナを導入する計画があるため、今後はアドバイザーとして協力しながら、イベント開催等で琴浦町と関わっていきたい。

活動内容

●ウィスキング体験

町内ではネイチャーサウナや鳴り石の浜を拠点とし、ウィスキング、ハーバルアウフグース、その他スクラブ、トリートメント、サウンドセラピー、ヘッド・ハンドスパなどのリラクゼーション体験を提供した。また、町外でもウィスキングを通して琴浦町の広報を行うプログラムを積極的に取り組んだ。



●町内向けイベント

町の方にウィスキングやハーバルアウフグースなどサウナを通しての癒やしを提供した。また、自然を使ったワークショップなどを行うことで町民の方と交流を深め、琴浦の自然を見直したり、大切にしていく意識を高められるような活動を行った。



●体験型イベント

ウィスキングリトリートほか自然体験など、町外の方にも琴浦の自然を知っていただき、自然を感じてもらえるような体験型プログラムを企画した。町内外から多くの人を琴浦町へ呼び寄せられるきっかけづくりを行った。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス・個人）akihironori@gmail.com

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
活動の様子は右の二次元コードをご覧ください。

鳥取県琴浦町　谷敷　友香

観光・情報発信

～　町の魅力を発信！情報発信専門員　～

基本情報



【年　齢】
３３歳
【出身地】
北海道恵庭市
【転出元】
東京都三鷹市
【前　職】
ＪＡの農畜産物直売所
【活動時期】
Ｒ４．１０～Ｒ７．９
（３年目）

協力隊に応募したきっかけ

観光で琴浦町へ訪れた際に自然豊かな環境に憧れを抱き、琴浦町への移住を決意しました。東京都有楽町で開催されていた鳥取移住フェアに参加をしたところ、当時の琴浦町地域おこし協力隊の隊員にお仕事の紹介を受け、地域おこし協力隊の活動を知りました。前職の農畜産物直売所ではＳＮＳを使用し、特産品やイベントの情報発信を行っていましたので、これまでの経験が活かせる「情報発信専門員」に応募をしました。

今後の抱負・任期後の目標

これまでの経験を活かし、町内のイベントや行事・伝統など、町民に親しみのある情報をSNSで発信していきます。
任期後の目標はまだ移住・着任して間もないので、情報発信の力を身につけながら今後の３年間の中で見付けていきたいと思っています。
卒業後も地域に根付いた活動を行っていき、琴浦町の魅力を発信していきたいと思います。

活動内容

●SNSで町の魅力発信

町民に行き届いていない行政の情報や地域のイベント情報などを、琴浦町の公式SNSを通じて発信しています。
イベントについては、事前の告知と終了後に報告を行うことで、より参加してみたいと思ってもらえる情報発信に努めています。



●東伯牛のPR動画を作成

琴浦町が自慢する「東伯和牛」の魅力を伝えるため、PR動画を作成し、YouTubeに投稿。2400回の再生回数となり、多くの方に「東伯和牛」の魅力を届けることができました。



●移住者の声を届ける　コトウラコラム～移住体験～

WEBコラム（移住体験記）で、実際に県外から移住された方たちをインタビューして経験談を紹介。コトウラ暮らしの魅力を町内外に広く発信しました。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
メール：kikaku@town.kotoura.tottori.jp　電話番号：0858-52-1708

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(琴浦町フェイスブック)https://www.facebook.com/kotouracyou
(地域おこし協力隊フェイスブック)https://www.facebook.com/kotourachioko

鳥取県湯梨浜町　金岡　里沙

観光・情報発信

～地域とつながり、町の魅力を観光につなぐ～

基本情報



【出身地】
鳥取県鳥取市

【転出元】
神奈川県逗子市

【前　職】
パーソナルトレーナー
セラピスト

【活動時期】
R6.8～

協力隊に応募したきっかけ

「地元である鳥取県で起業したい」とUターンに関して調べている中、地域おこし協力隊の取り組みを知りました。
湯梨浜町は帰省する度訪れる町でした。
この町に住みたいと思うようになり湯梨浜町のオンライン移住相談会や、ふるさと鳥取県定住機構東京窓口の方々にも協力隊のことも教えていただき、その地域を知ること、そこで暮らしている方々と繋がることがこれからの私自身にとって更に良い経験とチャレンジになるのではないかと思い応募しました。

今後の抱負･任期後の目標

湯梨浜町は調べれば調べるほど様々な分野で魅力的な情報がとても多くあります。
湯梨浜町に今ある資源の掘り起こし、また新たな観光資源の発掘や情報収集にも努め、イベント企画、観光商品開発、情報発信などしていきたいです。
県内外の方にはまた訪れたくなるような町を味わっていただくこと、地域の方には町を更に誇りに思っていただけるように、地域の方々と繋がりながら努めていきたいです。

活動内容

●観光資源の掘り起こし、着地型観光商品の開発

湯梨浜町が今持っている豊かな資源を観光事業として掘り起こし、観光振興に繋がる活動に注力しています。
また、「湯梨浜町といえばこれ！」という商品開発をしていきたいと今現在活動中です。



●観光情報の発信

個人のInstagram、湯梨浜町観光協会のInstagramを中心に写真や動画で町の魅力を配信しています。
YouTubeチャンネルの開設も視野に入れて活動しています。



●地域行事への参加

湯梨浜町に限らず、県内外で行われている行事に積極的に参加しています。
様々な土地で行われている行事に参加することが町の魅力を伝えるにあたりとても大きな経験となります。これからもアンテナを張り、裏方側、参加する側としても積極的に参加していきたいです。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】湯梨浜町役場　産業振興課
（メールアドレス）kanaokar@yurihama.jp
（電話番号）0858-35-5376

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）yurihama_hibi

鳥取県米子市　岡 俊太郎

観光・情報発信

～　食べて、歩いて、体験して。地域の魅力を全国へ　～

基本情報



【年　齢】
25歳
【出身地】
島根県出雲市
【転出元】
東京都板橋区
【前　職】
専門商社(営業)
【活動時期】
R5.7～R7.12

協力隊に応募したきっかけ

私は高校卒業を機に東京へ上京しており、その中で山陰両県は都会に比べ多方面で遅れをとっていると痛感し、またそれが地方を発展させたいと思うきっかけにもなりました。 米子市には素晴らしい観光資源や食文化があり、その魅力を発信し、活性化を図ることができる地域おこし協力隊になれば、その思いは実現できると考えました。 地域おこし協力隊の形で現場に飛び込み、地域の方々とともに問題解決を図りながら活性化を実現していきたいと考えており、コロナ禍で加速した情報網の発展によって、SNSでの情報発信の影響力が大きくなっている今が、米子市を発展させるチャンスだと考え、私自身がその力になりたいと思い志望しました。

今後の抱負･任期後の目標

私のミッションである米子の食文化（牛骨ラーメン・475パフェ・さばしゃぶ）をまずは米子市民の当たり前になるように情報発信し、その後は県外や国外の人へ幅広く発信することで、地域振興や観光振興に貢献していきたいと考えています。これまでの活動で培ってきた発信力や地域とのつながりを活かし、今後も山陰の魅力を多くの人に伝えられるよう取り組んでいきたいです。
任期後は、米子をはじめ山陰全体の活性化に関わる仕事を通じて、地域の新たな価値を創出し、次の世代へとつながる形で盛り上げていけるよう努めていきたいと思います。

活動内容

●食文化の情報発信

米子市の素晴らしい食文化（主に牛骨ラーメンや475パフェ、さばしゃぶ）を県内外及び国内外に認知してもらうため、それぞれのお店の特徴やこだわりを取材し、SNS等で情報発信をしています。今後は米子の食文化を通して地域振興や観光振興につながるイベントも企画、運営していきたいです。



●観光資源の情報発信

米子市には環境省が選定する「日本の海水浴場88選」にも選出された「皆生温泉海遊ビーチ」や米子市街、中海、日本海を見渡せ、年2回しか見られないダイヤモンド大山の観望会も行われる「米子城跡」など、素晴らしい観光資源があります。このような観光資源も県内外にSNS等で情報発信しています。



●イベントでの情報発信

米子市ではイベントも多く行われ、秋にある「ネギ来まつり」ではブースの一部を借りて、これまでの地域おこし協力隊での活動等を作成したパネルなどを使って宣伝し、イベント内での来場客を中心としたターゲットに向けて情報発信をしました。今年は目標を超える1.1万人のフォロワーを達成しました。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人））chiikiokoshi.oka@gmail.com
（電話番号（職場））0859-37-2311(米子市観光協会事務局)

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（米子観光ナビ）http://www.yonago-navi.jp

米子市観光協会
インスタグラム
@YONAGOKANKO.NAVI

島根県川本町　杉村　真美

観光・情報発信

観光協会スタッフ　～川本町を愛し、川本町に愛される山野草ガール～

基本情報



【年　齢】
３２歳
【出身地】
京都府宇治市
【転出元】
兵庫県神戸市
【前　職】
植物園勤務
【活動時期】
R6.10～R9.9

協力隊に応募したきっかけ

・植物園で特に好きになった花が「コバイモ」
・自生地の様子を知るため応募の前年に群生地（川本町谷戸）を訪問。群生地は壮観で、現地ボランティアスタッフから維持の苦労の話を聞き、感銘を受けた。
・花々の群生の様子を全国の山野草好きの方にも伝えたいと思うようになる。
・イズモコバイモと関わる仕事を探す中で、地域おこしを知る。
・移住プログラムを通じて見学し、イズモコバイモだけでなく、町のほかのコンテンツ（音楽や女子野球）でも自身の力が発揮できると考え応募。

今後の抱負･任期後の目標

毎年3月に開催する「イズモコバイモ祭り」で山野草愛好家の間では谷戸のイズモコバイモ群生地は知られつつあるが、全体的な知名度はまだまだ。
花のある期間だけでなく、草刈りなど年間の作業を行っていることも加えて周知し、高齢化で活動が縮小しつつある地元ボランティアグループへの一助としたい。

活動内容

●イズモコバイモの普及活動等

島根県にのみ見られ数少ない群生地が川本町谷戸に存在するイズモコバイモの普及のため、缶バッジやクリアファイル等の物販品開発や販路の拡大(町内施設における常設販売スペース、ふるさと納税への追加）、ツアーの企画等を行っている。また、2026年3月開催予定のイズモコバイモ祭りの来場者数2,500人(2025年来場者数：1,700人)を目指し、フォトコンテスト企画や団体ツアーなどを検討中。



●町内の植物調査（ササユリ）

川本町にあるふれあい公園「笹遊里(ささゆり)」の名称の由来にもなったとされるササユリだが、近年は見かける機会もなく、知名度が低下。そこで、ササユリの生態や開花状況を現地調査。
結果、令和7年度においては50株程度が開花し、6月10日前後が見ごろということが判明。しかし現在の開花場所の日当たりの悪さや動物の食害も多く、今後の課題が見つかった。



●観光協会の業務

各観光サイトへ掲載する記事の作成や、町内で行われるレールバイクイベントや、島根県西部のPRイベントを行っている。また今年度から始動した女子硬式野球チームの試合時にはアナウンスや物販等幅広く活動。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人））m-sugimura@kawamoto-kankou.jp
（電話番号（職場：川本町観光協会））0855-74-2345
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram（観光協会アカウント））
https://www.instagram.com/kawamotomachi.kankou/

岡山県津山市　　王　可安

観光・情報発信

～海外へ魅力発信！津山ファン創出事業～

基本情報



【年　齢】
23歳
【出身地】
台湾
【転出元】
東京都
【前　職】
大学生
【活動時期】
R7.10～

協力隊に応募したきっかけ

大学の時に、フィールドワークを行い、地域の人たちの暮らしや歴史にふれる機会がありました。そうした経験から、歴史を感じられる町に住んで、地域のために役に立つ仕事がしたいと思うようになりました。地域おこし協力隊の制度を知り、自分に合っていると思い、応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

今後は、他の地域で活動している外国人協力隊員とも交流し、お互いの経験や考えを共有しながら、より良い地域づくりにつなげていきたいです。また、高校生と大学生の教育旅行の形で観光を進めていきたいと考えています。地域の魅力を学びながら、若い世代同士が交流できるきっかけをつくりたいです。
任期後も、こうした活動を通して地域と人をつなぐ仕事を続けていきたいと思います。

活動内容

●ＳＮＳを活用した情報発信･収集

・インスタグラムやHPを活用し、津山市の観光コンテンツを世界へ発信
・観光PR写真の撮影、動画制作
・台湾の最新情報や流行の収集



●インバウンド対応

・ホームページやパンフレットの多言語化
・インバウンド観光客のガイド業務
・観光ボランティア育成事業としてインバウンド対応の研修講師
・地域事業者と連携した体験プログラムの造成・観光ツアー企画運営





●まちなか環境改善業務

・観光案内看板等の多言語化
・外国人の視点に立った、受入環境整備

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）alphaannwang@gmail.com
（電話番号）0868-22-3310（津山市観光協会）

【活動の様子を発信しているSNS】
Instagram: cocomitsuym

岡山県玉野市　北島 武彦

観光・情報発信

～市内に埋もれた魅力を発掘　～

基本情報



【年　齢】
55歳
【出身地】
岡山県岡山市
【転出元】
東京都大田区
【前　職】
会社員
【活動時期】
R6.1～

協力隊に応募したきっかけ

コロナ禍が終息する頃、会社を早期退職し岡山県玉野市で次の人生を歩むことを決めました。生まれ故郷である直島町に近い玉野市で、観光に携わる仕事を模索していたところ、地域おこし協力隊が募集されている事を知り応募しました。これまで30年間半導体業界でビジネスマンをしてきたので、思い切って全く違う事をやってみたいと考えていました。

今後の抱負･任期後の目標

2年間の活動を通じて玉野市観光振興に向けて取り組む方向性について観光協会内で共有する事ができ、まさにワン・チームで取り組んでいます。最終年は任期後を見据えた活動に軸足を移し、さらなるステップアップを目指します。

活動内容

●バスツアー

玉野市では古より塩づくりが盛んに行われ、現在も製塩工場があります。その歴史遺産に着目し製塩の歴史を学ぶバスツアーを考案。モニターツアーを企画実施しました。市内事業者様の協力を得る事ができ、参加された方々には大変好評でした。



●海水浴場 海の家事業

県内最大級の海水浴場、渋川海水浴場にてキッチンカーイベントを企画・実行しました。最大6台のキッチンカーが44日間、お食事や飲み物を提供します。今年は大阪での観光イベントに、市内有志が作成した動画を持ち込み、当イベントのPRをしました。



●土産物開発

「気軽に買える玉野らしいお土産」として「たまのそると」を開発。商品ネーミング・パッケージデザインを公募し、約1年かけて開発しました。2025年8月に発売を開始し、予想以上の売れ行きです。



連絡先

メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（職場））kitajima@tamanokankou.com
（電話番号（職場）　　）0863-21-3486
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）
https://www.instagram.com/tamano.chiikiokoshi.kanko/?__pwa=1

TAMANO.CHIIKIOKOSHI.KANKO

広島県福山市　伊藤　理花

観光・情報発信

～　福山市の魅力を発信　～

基本情報



【年　齢】
45歳
【出身地】
埼玉県大里郡
【転出元】
東京都目黒区
【前　職】
ファッションデザイナー
【活動時期】
R6.8～

協力隊に応募したきっかけ

服を通じ、おしゃれやトレンドをに関わる仕事をしていました。第３子が生まれたのをきっかけに子供達に地域のいいもの特に、美味しい食を残せることで自分の力を使えないかと考え、色々な地域を見て回っていました。いいものを広げる仕事がしたいことと、子供と一緒に活動できる仕事を探していたときに、福山の募集内容でぜひ活動してみたいと思ったのがきっかけです。

今後の抱負･任期後の目標

今後の抱負は、修学旅行生受け入れのできる民泊を地域で周知していき、受け入れ家庭を増やすことと、福山の魅力を県内外に発信し、広めることです。任期後の目標は、PRをするチームを福山で作って、特にSNSに特化した会社を設立し、地域にインフルエンサーを作って、地域の魅力を発信する仕組みを作り、伝える仕事ができたらと考えています。

活動内容

●福山南部地域の魅力を地図で発信

福山にある南部地域は現在開発が進んでいますが、県内の方もまだどんな魅力があるか知らないという声を聞いて、南部地域女性約10名に集まっていただき、ペニンシュラガールという団体を発足し、観光MAP「沼隈半島ぐるっとマップ」を制作しました。



●福山南部地域でSNSセミナー開催

南部地域の魅力を、地域の皆さんで発信をしていただくことで、大きな力になると思いました。そこで、２０代～６０代の方々へSNSのセミナーを開催し、少しづつ発信の楽しさを広めています。



●福山南部で活動している民泊の動画制作

福山で運営している修学旅行生受け入れ民泊の素晴らしさを県内県外に伝え、受け入れ家庭を増やす準備をしています。海外の修学旅行生もきている素晴らしい活動を福山の魅力として伝えていけるように、Yahoo!ニュースエキスパートに記事としてアップしました。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人or職場））rika.yunosuke@icloud.com
（電話番号（個人or職場））0880-3499-4257
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
インスタグラム（福山沼隈半島ツアー企画制作）

@WELLNESS.TOURISM.FUKUYAMA

山口県美祢市　定野　愛美

観光・情報発信

～地域の宝・秋芳洞から観光産業の未来を切り拓く！
秋芳洞未公開エリアケイビングツアーガイド～

基本情報



【年　齢】
31歳
【出身地】
福岡県北九州市
【転出元】
スペイン（バルセロナ）
【前　職】
塾講師
【活動時期】
R6.10～R9.9

協力隊に応募したきっかけ

前職である塾講師を退社してスペインにワーキングホリデーで滞在していたところに、大学時代から洞窟活動でお世話になっている方から「こんな募集があるよ」と知らされ、応募することにしました。観光業やガイドは未経験でしたが、洞窟自体は大学時代から活動しているフィールドで、社会人になってからも秋芳洞へたびたび調査や取材のお手伝いとして訪れており、秋吉台周辺の魅力的な洞窟を一般の旅行客にも紹介する職業はとても魅力的に思っています。

活動内容

●ケイビングガイド

日本一の巨大空間を誇る秋芳洞の未公開エリアで行うケイビングのガイドとして、メニュー開発やプロモーションを関係団体と連携して行う。



●アクティビティセンター（仮称）の運営

令和8年4月に開業予定のアクティビティセンター（仮称）の開業準備から運営までを関係団体と連携して行う。



●アクティビティの推進

本市の既存アクティビティである『セグウェイツアー』や『トゥクトゥクレンタカー』等のプロモーションやブラッシュアップを行う。



今後の抱負･任期後の目標

他の地域では味わえない秋芳洞、秋吉台エリアならではのダイナミックな洞窟経験を時間いっぱい堪能してもらって、価格に見合った体験ができるようツアー内容もどんどんブラッシュアップさせていきたいと考えています。

任期後にも、美祢市でケイビングツアーガイドを続けていけるように基盤づくりをしていけたらいいなと考えています。

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）kankou@city.mine.lg.jp
（電話番号）0837-52-1430
（社用携帯）080-7664-8914

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
現時点では特になし

徳島県東みよし町　岡本 芳明

観光・情報発信

～　地域密着のイベントや商品を企画して、ハイウェイオアシスに賑わいを！　～

基本情報



【年　齢】
30歳
【出身地】
奈良県生駒市
【転出元】
奈良県生駒市
【前　職】
制作会社-CM制作
【活動時期】
R7.4～R10.3

協力隊に応募したきっかけ

前職ではメディア関係の仕事をしていましたが、「画面越しの仕事ではなく、人の顔が見える仕事がしたい」「自分の生活をより深く味わいたい」と思う中で、地域おこし協力隊を知り、この仕事ならば、実現できるのではと考えて、移住体験で東みよし町を訪れました。自然の近さや、人の温かさを感じ、吉野川ハイウェイオアシスではイベントなどの企画や運営にも携わることができるため、東みよし町の地域おこし協力隊に応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

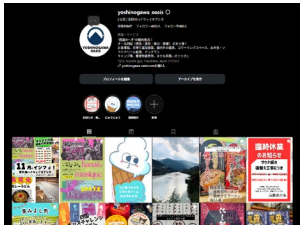
吉野川ハイウェイオアシスの企画・広報という仕事をとおして、四国の子ども達の挑戦できるイベント「四国キッズチャレンジコンテスト」を、年間を通じて開催しているので、より認知してもらい、たくさんの子ども達の挑戦の場にしていきたいです。

前職とは違う仕事を、と協力隊に応募しましたが、SNSやPRで地域に貢献できることが少しずつ見つかりつつあります。まだ明確な目標は定まっておりませんが、メディアを絡めた活動を考えています。

活動内容

●吉野川ハイウェイオアシスの企画・広報

Instagram/Facebook/YouTubeへの投稿、ホームページの更新。それに伴う、写真/動画の撮影、などを行っています。また地元の小中学校への出張授業や、職場体験の案内など、町内と繋がる活動も行っています。
主な投稿先：Instagram　@yoshinogawa_oasis



●イベントの企画・運営

吉野川ハイウェイオアシスの主催するイベントの出店募集や出演者への連絡、チラシの作成、学校等へのチラシの配布、イベント準備/撤収、音響操作、司会など、イベントに関わる業務を行っています。また商工会との共催のイベントでも会議から参加し、地元の事業者さんとともにイベントを運営しました。
「四国キッズチャレンジコンテスト」を年間を通して開催することで新しい価値を生み出そうとしています。



●ケーブルテレビの制作

前職の経験を活かして、地域の協力してくださる方々とともに東みよし町のイベント情報を収集し、撮影、編集、ケーブルテレビへの納品とYouTubeへのアップロードなどの活動も行っています。
撮影、編集など技術的な部分を担える人材が限られており、貢献感を感じながら、地域の情報や活動を知っていただける良い活動となっています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（職場））okamoto@yoshinogawa-oasis.com
（電話番号（職場））0883-79-5858

（メールアドレス（個人））o.yoshiaki.00@gmail.com
（電話番号（個人））080-8537-0392

愛媛県宇和島市　内野　海

観光・情報発信

～　宇和島闘牛伝道師見習い　～

基本情報



【年　齢】
27歳
【出身地】
大阪府大阪市
【転出元】
愛媛県松山市
【前　職】
空調換気設備現場監督
【活動時期】
R6.8～R9.7

協力隊に応募したきっかけ

宇和島闘牛伝道師見習いというインパクトある募集名に惹かれて応募した。
大きな土俵でガツンという鈍い音と共に1トン超えの巨大な牛が激突する光景は圧巻で、牛の闘争本能を通して熱狂する観客にも圧倒される。伊達・牛鬼・闘牛・鹿踊り・亥の子、柑橘・真珠・海賊・大竹伸朗。この泥臭く垢抜けた宇和島がとても気に入っている。

今後の抱負･任期後の目標

①県外や初見の人にも楽しんでもらえるために前説や、ぬりえ、展示ブース作成、SNSの強化などを行う。
②郷土愛育成のため、小学生の招待や、自由研究支援、WS企画などを行う。
以上2軸で活動予定。

活動内容

●闘牛場展示ブース作成

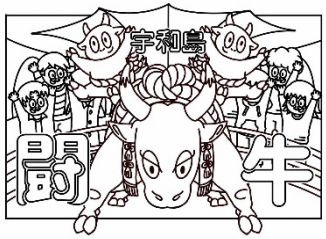
宇和島市営闘牛場の観光地としての満足度向上及び地元の子供たちへの教育施設として宇和島闘牛に関する飼育道具やエサ、歴史についての展示ブースを制作。主に廃材と、牛主さんがいらなくなった道具を回収し手作りで作成。





●宇和島闘牛ぬりえ

ぬりえは白紙と違い線画のガイドがついているためイメージがしやすく幼児も参加しやすい。10月場所にて発表、募集開始。1月場所締切、5月場所展示。と運用することでリピートを見込む。今後オープンデータ化や公募などを検討中



●闘牛大会の前説

観光闘牛（旅行会社や個人のお客様に向けた闘牛）や定期闘牛大会での歴史・文化の説明や、観客を盛り上げる煽りを担当中



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人or職場））shoko@city.uwajima.lg.jp
（電話番号（個人or職場））0895-49-7023

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）@neiye_hai

@NEIYE_HAI

高知県中土佐町　石山　佳那

観光・情報発信

～ 日本でいちばん小さい観光協会が、あなたを待っています！ ～

基本情報



【年　齢】
40歳
【出身地】
福島県須賀川市
【転出元】
福島県須賀川市
【前　職】
浪江町地域おこし協力隊
【活動時期】
R7.4～R10.3

協力隊に応募したきっかけ

前職では、東日本大震災で被災した福島県の沿岸部地域のガイドをしていました。大きな災害がまだ起きていない地域でも災害を自分事に考えてほしい、今後起きるかもしれない大災害から命を守ってほしいと考えたこと、加えて自分のスキルを活かせると思ったのが応募したきっかけです。防災だけでなく、観光の業務を担えることも一つのきっかけになりました。

今後の抱負・任期後の目標

今後も多くの方に災害を他人事ではなく、いつか自分にも起きる身近なこと、自分の命は自分で守るという意識を持って生活してもらえるような活動をしていきたいと考えています。
任期後も観光協会で働きたいと思っているので、防災だけでなく観光(グルメ、体験、観光スポット巡りなど)も含めたツアーの提案や新しいお土産開発をしていきたいです。

活動内容

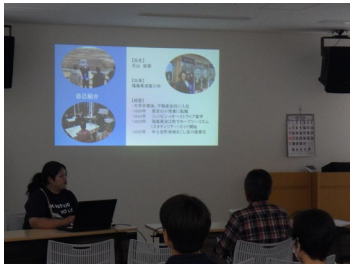
●津波避難タワー視察対応

町内の久礼地区にある津波避難タワーの視察対応を本格的に始動しました。避難タワーの説明だけでなく、東日本大震災の事例等も含めてご案内しています。
見学される方のお住まいの地域は様々ですが、自分の地域に置き換えて考えていただけるように工夫しています。



●災害について講演

浪江町で被災地ガイドをしていた経験から、自主防災組織の方々に向けて講演を行いました。
東日本大震災が起きた時の福島県の様子やその後の復興についてお話ししました。南海トラフが来ると言われている地域だからこそ、より真剣に聞いていただけたと思います。



●観光列車おもてなし

『時代の夜明けのものがたり』という観光列車でいらっしゃるお客様をお迎えしています。
お手振りや商品販売を行い、カツオの町ということを多くの方に知ってもらえるように、カツオTシャツを着用してカツオに因んだ商品を販売しています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（職場） kana.ishiyama@outlook.jp
（電話番号（職場）） 080-4743-9517

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
中土佐町地域おこし協力隊Instagram

@NAKA.KYORYOKUTAI2025

鹿児島県曽於市　阿多　凪砂

観光・情報発信

～　曽於市の強み・新たな魅力を発信！　～

基本情報



【年　齢】
25歳
【出身地】
大阪府高槻市
【転出元】
大阪府高槻市
【前　職】
アルバイト(競馬場など)
【活動時期】
R７.１.27～

協力隊に応募したきっかけ

大学在学中、「うまぶ」という馬事普及サークルに在籍し、馬に関わる多様な方々との関わりを通して、馬が人の助けになることなど馬の魅力に惹かれ、将来は馬に関わる仕事に就きたいと考えていました。

両親が鹿児島県出身ということもあり、今回曽於市との縁を感じ応募しました。

今後の抱負･任期後の目標

南九州畜産獣医学拠点(SKLV)を活動拠点として、農畜産業について学び、地域との交流を深めるとともに、馬を活用した地域協力活動をしたいと考えています。

また、人に対してもアニマルセラピーなどの福祉活動にも興味があるため、馬を通じて人間福祉に寄与する活動も行いたいと考えています。

活動内容

●SKLV、曽於市の情報発信

活動拠点であるSKLVで飼養する馬を活用して、曽於市の認知度向上及び人流増を目的に、SNS等を活用して曽於市の新しい魅力として広く情報を発信する。

●馬産業の浸透

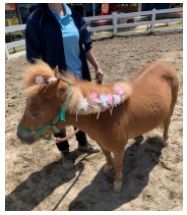
馬の活用方法を探求し、これまで地域になじみのない馬産業の浸透を図る。

●イベントの企画立案･運営

SKLVで開催するイベントを開催し、地域活性化を図る。















連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（職場））kikaku@city.soo.lg.jp
（電話番号（職場））0986-76-8802（企画政策課直通）
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://www.instagram.com/sklv_soo_nagisa?igsh=MW5mdTNoamw5a2RtNw==

観光・情報発信

沖縄県与那国町　ワン　イーリン

～　地域に息づく国際交流　－ 観光×文化×心のリトリート －～

基本情報



【年　齢】
30代後半
【出身地】
台湾
【転出元】
奈良県奈良市
【前　職】
事務職、旅行コディネーター、体験施設管理者
【活動時期】
R6.07～

協力隊に応募したきっかけ

台湾の旅行会社に勤務していた時から、地域おこしや文化交流に関する活動に携わっておりました。
その頃に「地域おこし協力隊」という制度の存在を知り、いつか参加したいという思いを抱いておりました。
両親が台湾の離島出身であることもあり、私自身も地域再生や文化交流への関心を強く持っております。
その後、那覇で勤務したのち関西に転職いたしましたが、その思いを実現するために移住・定住相談会に参加しました。
ご縁があり、与那国町に赴任することとなりました。

今後の抱負･任期後の目標

与那国町観光協会に所属し、観光案内や事務業務を担当しています。
インバウンド向けに英語と繁体字の旅行案内資料を作成し、外国人観光客の利便性向上に取り組んでいます。
また、台湾絵本の読み聞かせ会や台湾フェア、料理教室などを通じて、地域住民と台湾をつなぐ文化交流活動を行っています。
異文化を知るきっかけをつくり、島民が海外からの観光客にもより親しみを持って接することができる地域づくりを目指しています。

活動内容

●島民向け台湾交流イベントを開催

与那国町は台湾・花蓮市と40年以上にわたり姉妹都市関係を結んでいます。
着任後、まず小規模な台湾フェアを開催し、当日は100名を超える来場者があり、島民の皆さんが台湾に強い関心を持っていることが分かりました。
今年はさらに、台湾・花蓮から原住民団体および台湾在住の日本人作家によるライブを開催し、延べ200名の来場者が訪れました。
その後も月1回のペースで台湾との交流イベントを継続的に実施しています。
内容は、台湾お菓子づくり教室、ヨガと台湾朝ごはんの会、台湾絵本の読み聞かせ会など多岐にわたります。
また、与那国の伝統行事と台湾の文化に共通点が多いことから、ハーリーや十五夜などの行事に合わせて台湾文化を紹介するワークショップも開催しています。





●インバウンド向け多言語資料の作成

インバウンドのお客様への対応を行うとともに、台湾および日本の旅行会社での経験を活かして、無料ツールを用い繁体字版の観光協会ウェブサイトを作成しました。
また、Googleマップを活用し、島内の飲食店などを紹介する「フードマップ」を制作することで、訪日外国人旅行者への情報発信を強化しました。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（職場））wang@welcome-yonaguni.jp
（電話番号（職場））0980-87-2402
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（HP）https://yonaguninfo.wordpress.com/
（Instagram）

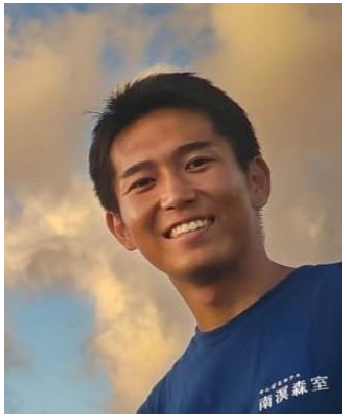
YONAGUNI.TAIWAN

沖縄県国頭村　　羽入田 健太郎

観光・情報発信

～ 訪れた人にやんばるのささやかな日常を届けたい ～

基本情報



【年　齢】
24歳
【出身地】
埼玉県
【転出元】
神奈川県藤沢市
【前　職】
大学生
【活動時期】
R6.11～R9.3

協力隊に応募したきっかけ

現在やんばるホテル南溟森室（なんめいしんしつ）という宿で働いています。最初は日本仕事百貨という求人サイトでこちらの宿を見つけて応募しました。その後、担当の方から、国頭村は地域おこし協力隊のインターンという3ヵ月お試し移住の制度があるとの話を伺いました。僕は、沖縄には住んでいましたが、国頭村には訪れたことがなかったため、インターン制度を設けていることが魅力的だと思い国頭村協力隊になることを決めました。

今後の抱負・任期後の目標

南溟森室は集落の中に宿があって、僕たちは「シェルパ」と呼ばれる水先案内人として訪れてくれたお客様の滞在をサポートしています。今後も集落の人、文化、歴史を大切にしながら、その魅力を伝えていく南溟森室の活動を広げていきたいです。
実は任期後は海外に行きたいと思っています！
それまでもっと国頭に馴染んで、魅力を最大限伝えられるように頑張りたいです！

活動内容

●集落散策

宿に到着したらはじめにお客様と集落内を1時間ほど散策します。一緒に散策することでアイスブレイクにもなりますし、集落の文化や歴史、魅力を各シェルパが自分の言葉で話すことで、集落をより身近に感じてもらうことを意識しています！



●朝食作り体験

かまどがある部屋では朝食で出すお米をかまどで炊きます。まだまだ毎回完璧に美味しく炊くのが難しいですが、お客様と水の分量から、薪をくべて、火をつけてと一緒に作業し炊きあがりを待つ時間はドキドキワクワクです！



●定置網漁体験

国頭村のせりは10時からと県内でも一番遅く、そこで取引される魚たちを取る体験となっています。子供も参加でき、普段食べている魚がどのようにくるのか勉強できます。他にも郷土料理作りや草編み、サバニ、ネイチャーガイドなどたくさんの人と協力しながらお客様に様々なツアーを提供しています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
メールアドレス（職場）contact@yambaru.co.jp
電話番号（職場 ）050-8884-4992
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
HP：【公式】やんばるホテル南溟森室
Instagram:@yambaruhotel_nammeishinshitsu

沖縄県八重瀬町　川口　望美

観光・情報発信

～ 八重瀬町で叶える“まちとつながるウエディング” ～

基本情報



【年　齢】
36歳
【出身地】
京都府京都市
【転出元】
京都府京都市
【前　職】
①ウエディング事業
②保育事業
【活動時期】
R4.4～R7.10

協力隊に応募したきっかけ

前職で、沖縄県内に新しいウエディングチャペルを建てるプロジェクトに携わったことがきっかけでした。
出張で何度も沖縄を訪れるうちに、この島の自然や人のあたたかさに魅了され、「いつかはここに住みたい」と思うようになりました。たまたま沖縄県の先輩隊員と出会い、地域おこし協力隊の制度を知り、応募することに♪
そしてついに、その想いを叶えて移住しました！

今後の抱負･任期後の目標

協力隊を卒業後も八重瀬町に残り、起業を予定しています。
町の豊かな自然や文化資源を活かしながら、「観光 × ウエディング」をテーマにした新しいコンテンツを発信していきたいと考えています
また、子育て世代が多い地域の特性をいかして、ベビーシッター事業など、パパママを応援する取り組みにも挑戦したいです。
「結婚」や「家族」、「地域」をつなげるハッピーな循環を、八重瀬町から広げていけたらと思っています

活動内容

八重瀬町で叶える“まちとつながるウエディング”
地域おこし協力隊として、八重瀬町の魅力を「結婚・ウエディング」を通して発信しています



公民館を舞台にした結婚式では、伝統芸能「カギヤデフー」で開幕♪食事は町内で採れた新鮮な野菜を使ったビュッフェや箱折料理をご用意。
ウエディングケーキは町の洋菓子店にオーダーし、地元の誇りでもある「泡盛」で乾杯
カメラマンやサポートスタッフも町内の方々が担当。
まちの人たちと一緒につくり上げる“ぬくもりウェディング”を新郎新婦のお二人とつくりました
※ちなみに、この時の新郎は沖縄県内の地域おこし協力隊さんです！

さらに、八重瀬町の自然や文化を舞台にしたフォトウエディングのプロデュースも行っています
海・森・サトウキビ畑・古民家…
そのすべてが、沖縄・八重瀬らしい一枚に。



町の方はもちろん、県内外のカップルにも訪れてもらえるように。
これからも結婚式やフォトを通して、八重瀬町に「人と想いがつながる瞬間」を増やしていきます

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人）nchans1002@gmail.com
（電話番号（個人）080-3109-7962
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
▼インスタグラム
https://www.instagram.com/yaese_chiikiokosi?utm_source=ig_web_button_share_sheet&igsh=ZDNlZDc0MzIxNw==

沖縄県八重瀬町　森脇　夕月

～デザインの力でまちを動かす～

観光・情報発信

基本情報



【年　齢】
25歳
【出身地】
東京都世田谷区
【転出元】
東京都世田谷区
【前　職】
デザイナー
【活動時期】
R5.4～R7.3

協力隊に応募したきっかけ

美術の短大を卒業後、デザイン会社で３年間デザイナーとして勤務しました。ＣＤジャケットや広告のデザインを担当する中で、山梨県富士吉田市の空き家を活用した飲食店の立ち上げにも携わり、地域に関わる仕事の面白さを実感しました。その経験から「自分の好きな土地で、デザインを通して地域の魅力を伝える仕事がしたい」と思うようになり、学生時代から憧れていた沖縄で地域おこし協力隊として活動することを決意しました。

今後の抱負･任期後の目標

来年度からは、デザインや地域活動の経験を活かしながら、いつか自分の飲食店を開くという夢に向けて学びを深めていきたいと考えています。八重瀬町での暮らしを通して、ローカルの魅力や新鮮な食材に囲まれて働く楽しさを実感しました。将来的には、これまでの経験を活かして、いつか八重瀬でお店を開けたら最高だなと思っています。

活動内容

●デザイン業務の実施

観光協会が主催するイベント（サッカーキャンプ、桜まつり、マルシェイベントなど）において、ポスターやチラシのデザインを担当。併設する道の駅の館内ポップや掲示物のデザインも手がけた。





●マルシェイベントの運営

県内の人気スイーツ店を約25店舗招致したスイーツマルシェを2回開催。出店者の募集、選定から、チラシデザイン、広報、会場設営、当日の運営までを一貫して担当。第2回開催時にはイベントの様子が『沖縄タイムス』紙に掲載された。

●料理教室の運営

道の駅に併設された調理室を活用し、毎月料理教室を開催。地域の食材や道の駅で取り扱う旬の食材を使用し、主に子どもたちを対象にした食育を意識した内容。毎回20名程度の参加があり、親子連れや地域住民に好評だった。





●地域おこし協力隊物産展開催

全国12地区の地域おこし協力隊の協力を得て、各地域の特産品を集めた物産コーナーを南の駅やえせ内に設置。他地域との関わりが持ちにくいという課題から着想を得て、全国の協力隊がつながる機会を作った。

●八重瀬町×ゴジラとの切手コラボ

八重瀬町の観光資源のPRとゴジラ70周年記念を兼ねた企画。デザインを担当した。那覇中央郵便局、浦添パルコシティ郵便局など県内6か所で限定2000部で販売された。

●ツーリズムエキスポ大阪に出展

観光や商工面での地域間連携を目的とした、南城市との合同チーム「南城・八重瀬地域関連携体」として、ツーリズムEXPOジャパン大阪に出展。市町村の枠を超えた共同出典は新しい地域間連携モデルとして注目され、多くの来場者から関心を集めた。

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
メールアドレス（個人）moriwaki@yaese-kankou.com・
電話番号（個人）090-5336-0943
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】（instagram）@yaese_chiikiokosi

@YAESE_CHIIKIOKOSI

沖縄県粟国村　佐々木　克佳（ささきかつよし）

観光・情報発信

～　粟国島を新たな観光目線で盛り上げまくる？！～

基本情報



【年　　齢】
55歳
【出身地】
京都府東山区
【転出元】
京都府下京区
【前　　職】
関西電力株式会社
【活動時期】
R6.7～R8.3

協力隊に応募したきっかけ

沖縄に移住しようと考え、本島周辺の離島や竹富町の島々、徳之島天城町などのオンライン説明会参加や現地を訪問するなど現実的な検討をしていました。

そんな時、SNSで「粟国村地域おこし協力隊募集」が表示されました。沖縄の離島として認識がなかった「島」だったのですが、少し調べたところ、小さな島ですが、青い海と白い砂浜があり、断崖絶壁とそこからの眺望、満点の星空があり、魅力のある島だと感じ、協力隊に応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

粟国島の海や自然の素晴らしさを感じ、１日１日を丁寧に暮らす生活をしながら、粟国村の地域振興、特に観光や特産品のプロモーションで粟国島を元気にしたい。移住促進により人口減少から維持・増進に転換する取り組みにも貢献したい。これまでの職歴や地域活動での知識と経験を活かして少しでもお役にたてればと思っています。

活動内容

●観光協会

傾きかけた粟国村の観光を何とかせねばと、粟国村観光をひっぱっていくこととなりました

「１人でも多く誰でも」と無鉄砲な広報ではなく、『粟国好き』『また訪れたい』というような粟国のファンを増やす取組をとコツコツと行っています



●地域イベント

ハロウィンイベント、クリスマスイルミネーション、餅つき大会、和そば打ち体験、婚活イベント、クレープ屋さん店長一日体験など、地域を温めるためには地域住民の笑顔を広めることからと、次々と楽しいイベントを企画運営してきました



●特産品開発?!

粟国島に訪れる人の声を聞いていたところ「お土産品が少ないですね!」というコメントが痛く心に響き、それではと、島に来たお土産としてお客様に喜んでいただきたいと品物作製にも励みました
・あぐにじまジェラート、粟国島Tシャツ等



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）info@aguni-kankou.jp
（電話番号 ）098-896-5151

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】粟国村観光協会インスタ

沖縄県粟国村　山下　春香（やましたはるか）

観光・情報発信

～　１か月島生活をして…そしてそこから～

基本情報



【年　齢】
32歳
【出身地】
富山県富山市
【転出元】
兵庫県明石市
【前　　職】
土産品店販売員
【活動時期】
R7.10～

協力隊に応募したきっかけ

粟国島をはじめて訪れた時に島を一周お散歩したときに風や波の音、人の暖かな空気感を心地よく感じて『住むならここがいいなぁ』と思ったのが始まりです!

今後の抱負・任期後の目標

粟国村観光協会のメンバーとして、観光業務のサポートを中心に、粟国キャンプ場の整備と集客を頑張ると共に粟国島の魅力を発信し、粟国のファンになってもらえるよう尽力してまいります!
はじめは、分からないことや至らない事が多々あるかと思いますが、地域の行事やイベント、活動などに積極的に参加しながら島民の方達に馴染んでいけるよう頑張っていこうと思っています。

活動内容

●お仕事、役割

観光協会のメンバーとして、運営に携わる
特に、粟国キャンプ場のPRおよびイベント企画などを予定その他、粟国島の魅力発信のためSNS等の活用も予定

●これからの目標

①粟国島の暮らしのリズムを感じながら、日々の挨拶や交流を通して島の人々と関係を育てていきたいです
そして徐々に島の中で生きる一人として文化や価値観を大切に受取り、活動の基盤にしたいです!

②キャンプ場の日々の運営を丁寧に行いながら、粟国島ならではの自然に触れられるようなイベントを企画・実施していきたいです
例えば、島の満天の星空を楽しむ星空観察会、自然の中で映画の楽しんでみる野外映画館など、島民・来島者がゆるやかにつながり「この場所に来てよかった」と思えるような体験の場を広げることを頑張っていきたいです

③島で出会った人々との交流などを通じて、魅力を発信し、関係人口の創出につなげ島に息づく文化・日常の美しさを言葉や写真で発信したいです来る人・関心を寄せる人の人口を少しずつ広げ、島とのつながりを育む
“循環”を目指していきたいです

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）info@aguni-kankou.jp
（電話番号 ）098-896-5151

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
粟国村観光協会インスタ

04 商品開発・販売

北海道松前町　山下　実代子

商品開発・販売

～　まちの未来を一緒につくる仲間を募集！　～

基本情報



【年　齢】
３９歳
【出身地】
兵庫県神戸市
【転出元】
兵庫県神戸市
【前　職】
保育調理師
【活動時期】
R7.4～R10.3

協力隊に応募したきっかけ

「お試し地域おこし協力隊」で初めて訪れた北海道松前町で、自然の美しさと人の温かさに触れ、松前町に息づく暮らしや自然を継承したいという想いが芽生えました。これまでに培ってきた保育士としての経験や、調理師としてのスキルを活かしながら、松前町の課題に向き合い、未来へつながる活動を始めたいという気持ちから応募いたしました。

今後の抱負･任期後の目標

今後は、「食」を通じて町の課題解決に取り組んでいきたいと考えています。空き家や耕作放棄地を再生して人が集える場所づくり、また地域の特産品を活かした商品づくりを通して町と人の健康を支えることを目指しています。

活動内容

●地域の素材を活用したグルメ開発

地域を代表する桜と昆布に着目し、桜の中でも濃い紅色が特徴の「関山」の花びらを摘み取り塩漬けにしたものと、松前産の昆布から酵母菌を取り出したものをパン生地に使用するなど新商品の開発に取り組み、そのお披露目として週１回のマルシェを開催しています。



●保育士の経験と調理師のスキルを活かした食育支援

保育士としての経験と調理師としてのスキルを活かし、町立保育所での食育活動を支援しています。松前で採れたアワビを使ったカレー、クッキーづくりなどの体験を行うほか、教育委員会主催のハロウィンイベントにも参画し、子どもたちと一緒に地域の食や文化に親しむ活動を続けています。



●イベント出展による食を通じた観光PR

新商品を持ち込み、食を通じた観光PRにも取り組んでいます。札幌市で開催された「大ほっかいどう祭」では、松前漬けを使ったチヂミを提供し、松前漬けの利用方法を提案し、その新たな活用方法を提案しました。東京都で開催された「移住フェア」では、移住者の立場から見た松前町の魅力をPRしています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（職場））jobstation.tanaka@gmail.com
（電話番号（職場））0139-46-7560
【活動の様子を発信しているSNS（Instagram）】
（松前町地域おこし協力隊）
https://www.instagram.com/matsumae_chiikiokosi/

岩手県九戸郡洋野町　WONG YIK TO（ウォン　イェトゥ）

商品開発・販売

～　食を通じた地域貢献　～

基本情報



【年　齢】
36歳
【出身地】
香港
【転出元】
岩手県盛岡市
【前　職】
大学生
【活動時期】
R5.4～R8.3

協力隊に応募したきっかけ

岩手大学に在学中、東北の豊かさを知りつつ、東北へ訪れる香港人が少ないことを知り、香港・台湾の方を誘致したいという話をアルバイト先の岩手県国際交流協会の職員に話し、その方に地域おこし協力隊という制度を教えていただいた。また、私は都市から離れて海に近い場所に住みたく、洋野町の地域おこし協力隊に応募した。

今後の抱負･任期後の目標

香港の味を含めたレストランのレシピ・特産品を商品化させたり、町民に香港の料理を知ってもらうことを目標にしたい。

洋野町と香港のつながりとして、町の地域活性化をしながら、香港・台湾の方に洋野町及び東北６県を巡りに来てほしい。

活動内容

●食を通じた交流

・香港一般家庭が食べられている料理の教室を開け、文化・調理方法の違いを交流し、香港の料理を町の方に喜んでいただく。



●町内の飲食店と商品開発、メニュー翻訳

・香港料理のレシピを町内のレストランにアプローチし、店での提供可能性を探りながら、町の活性化を図る。
・町内飲食店のメニューを繁体字に翻訳する。



●洋野町の情報発信

・外国人という立場から感じた洋野町の魅力をSNSで発信する。日本人だけではなく、海外の観光客が洋野町に訪れてもらえるように工夫する。



連絡先

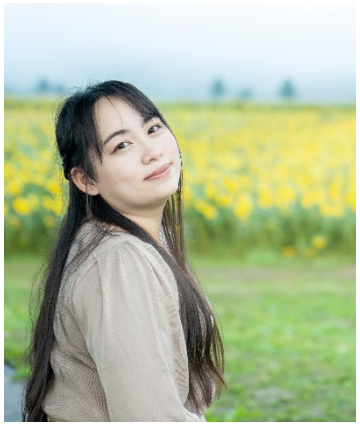
【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人））tominnippon@gmail.com
（電話番号（職場））　0194-66-8870

福島県郡山市　菅井　恵美

商品開発・販売

～　郡山の「おいしい」をえみたろが全国へ発信！　～

基本情報



【年　齢】
29歳
【出身地】
東京都江戸川区
【転出元】
東京都江戸川区
【前　職】
都内区立保育園　栄養士
【活動時期】
R2.6～R7.11

協力隊に応募したきっかけ

これまで福島へ行ったこともありませんでしたが、郡山市出身の友人をきっかけに連休のたびに郡山市へ遊びに行くようになりました。行き来を重ねるうちに友人知人が増え、東京での仕事もひと段落つきそうだというタイミングで郡山市内に住む知人から「地域おこし協力隊」をご紹介いただきました。東京へ帰ってくるたびに人の多さや電光掲示板などの視覚的情報量の多さにストレスを感じていたこと、新たな土地で自分のスキルが活かせる仕事がしたいと考えるようになり、応募を決めました。

今後の抱負・任期後の目標

R7年11月いっぱいをもって任期満了となりますが、協力隊活動を通して出会った多くの地元の方々からありがたいことに「任期後も郡山にいるんだよね？」とお声がけいただきます。
任期後は協力隊着任1年目に興した組織で市特産品「鯉」を活用した6次化商品「鯉とば」「Carp Leather」の開発や移住定住促進事業、子育て支援事業を引き続き取り組んでいきたいと考えています。そのほか、ご縁があり市内高校の探求学習でもお手伝いとして関わらせていただく予定です。

自身の経験やノウハウを事業として展開し、任期後も郡山市にとって還元できるような活動に取り組んでまいります！

活動内容

●地域の「食」をテーマにイベント開催！



R6.7月「こおりやまサマーナイトマルシェ（来場者1,200人）」、R6.9月「こおりやま秋のパンまつり（来場者4,500人）」を開催しました。郡山市内や周辺市町村の飲食店や地域おこし協力隊の皆様にご出店・ご協力いただいたこともあり、大勢の方に足を運んでいただけたイベントとなりました。それぞれテーマを設け、色々な角度から「郡山の食」をPRしたイベントとなりました。

●YouTubeを活用したPRも力を入れています！



郡山市や周辺市町村の情報をYouTubeで発信しています。地元飲食店やローカル商品の紹介、田植え体験、地元バスケットボールチームへの取材などを行っています。「**えみたろ**」の愛称で地元の方々にも覚えていただき、イベントなどでも視聴者の方からお声がけいただくほどになりました。

動画投稿本数：112本 ／ チャンネル登録者数：1,260人

●県外高校生や市内移住者・高齢者との交流・地域振興に関する講話

自身の移住経験や協力隊活動、個人の活動について市内移住者向けや高齢者、県外の高校生にも伝えています。今年度は埼玉県にある城北埼玉高等学校フロンティアコースの生徒47人に市内の鯉養殖業者にて鯉の養殖風景を見学したり、鯉を使用したワークショップなどを実施し郡山市のPRを行いました。
今回の城北埼玉高等学校については自身が受講していた研修をきっかけにお声がけいただき、今回のご縁に繋がりました。



R6年4月　高齢者大学「あさかの学園大学」OBOG会
R6年7月　転入者女性向け事業「はやまーゼ教室」
R7年10月　城北埼玉高等学校フロンティアコース

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人））emi.s@fukushima-local.com
（電話番号（個人））080-9261-9958

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（個人Instagram）
https://www.instagram.com/emi___taro

協力隊 Instagram　協力隊 YouTube

長野県塩尻市　竹内　桜咲子

～　木曽漆器職人見習い　～

商品開発・販売

基本情報



【年　齢】
26歳
【出身地】
福岡県那珂川市
【転出元】
福岡県那珂川市
【前　職】
漆器製造会社勤務
【活動時期】
R5.10～（3年目）

協力隊に応募したきっかけ

・もともと漆器に興味があり、伝統工芸の専門学校（専攻：漆工芸）に進学し、漆器職人を目指していた。
・専門学校時代に塩尻市の漆器工房にインターンシップで訪れており、当時から木曽漆器に興味を持っていた。
・前職の漆器産地は徹底した分業制だったこともあり、職人として下地から仕上げまでの技術習得をしたいという思いから、別の産地での修業を検討していた。
・漆器の魅力を同世代に広めていきたいという思いがある。

今後の抱負・任期後の目標

活動期間中は、師匠となる産地の熟練職人から漆塗り技術を学び、漆器製造の一連の基本技術を身に付けるべく研鑽を積んでいきたい。また、日々の活動や木曽漆器に関連する情報発信を通じて、木曽漆器の認知度向上や同世代へのPR役割を担っていきたい。

任期後も定住し、一人の木曽漆器職人として産地の仕事をしながら自分の作品も作っていくことで、産地の後継者となることを目指す。

活動内容

●国指定伝統的工芸品「木曽漆器」の技術習得

木曽漆器産地の「職人の高齢化」「後継者不足」「技術継承」といった課題解決のため、産地の卓越した技術を持つ熟練職人のもとで、下地から仕上げまで一連の漆器製造技術の習得を目指す。



●木曽漆器の認知度向上のための情報発信

・日々の修業の様子をSNS発信で情報発信
・漆器の製造工程や技術を紹介する動画制作



●地場産業振興のためのPRイベント参加

市のブランド発信のための県外イベント等に参加し、漆塗りの実演や来場者に木曽漆器の魅力を伝えるアテンド等を行う



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人or職場））bamboonosato_19@yahoo.co.jp
（電話番号（個人or職場））080-9051-0884

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://www.instagram.com/kisoshikkicooperator_/

長野県中野市　上山　讃美

商品開発・販売

～　もっと中野市の農業をPRし隊　～

基本情報



【年　齢】
38歳
【出身地】
東京都大田区
【転出元】
東京都大田区
【前　職】
幼稚園教諭
【活動時期】
R７.9.1~

協力隊に応募したきっかけ

先に隊員であった入江隊員とご縁があり、協力隊の存在を知りました。中野市とのご縁は、2年前に志賀高原でリゾートバイトをしたことがきっかけで生まれました。昨冬シーズンには、中野市内のスーパーやパン屋、飲食店など、さまざまなお店を巡りました。そして地域の魅力にふれるたびに『もっと中野市のことを知りたい』という思いが強くなっていき、移住を考えていたところで、協力隊のお話をいただき縁を感じ、応募いたしました。

今後の抱負･任期後の目標

関東圏はじめ、日本各地にて中野市産農産物のイベントを中心とした活動を通して、実は身近にある中野市を知っていただきたいと考えています。また、市内の農家さんと交流を増やし、私にできること、考えられることを形にしていけたらと思います。任期後は、協力隊として形にできたイベントなどに取り組みながら、引き続き中野市の魅力を発信する立場でいたいと考えています。

活動内容

●籾摺りイベント

東京の住宅展示場にて、小学生以下の親子の籾摺り体験実施。来場者と中野市で収穫された『風さやか』の稲を使用し、お米を作るまでの苦労を体験しながら一粒一粒の大切さを実感していただきました。



●中野市豊田農産物加工施設

中野市豊田農産物加工施設でのお手伝いを通して、地域のことを学び、貴重な交流の時間を持つことができました。今後は、皆さんとお話を重ねながら、若い世代につながる活動や商品作りを考えていきたいと思います。



●ぼたんこしょう保存会

ぼたんこしょう保存会では、収穫やカット作業のお手伝いを通して、保存会の皆さんが信州伝統野菜ぼたんこしょうにかける想いに触れることができました。まだ知らないことも多いですが、今後も皆さんと共に活動しながら、できることを考えていきたいと思います。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（個人宛メールアドレス）sambilish4869@gmail.com
（携帯電話 ）080-6738-5962

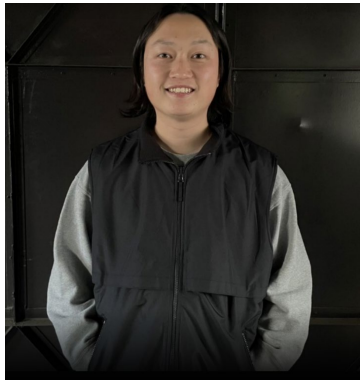
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
InstagramID：SHINSHU__NAKANO__KYOURYOKUTAI

三重県いなべ市　日下部　真太郎

商品開発・販売

～　グリーンクリエイティブいなべの推進　～

基本情報



【年　齢】
29歳
【出身地】
三重県桑名市
【転出元】
埼玉県三郷市
【前　職】
アパレルメーカー
【活動時期】
R5.10～R8.9

協力隊に応募したきっかけ

当時東京でアパレル業界に携わる仕事をしており、地元である三重県で独立を考えていたところ、いなべ市が展開する「グリーンクリエイティブいなべ」の理念に基づく活動を知り、地域おこし協力隊としての活動に興味を持ち、問い合わせをしました。

東京⇔いなべ市間でリモートでの情報交換、打合せ等を重ね、応募させていただきました。

今後の抱負･任期後の目標

自宅倉庫を改修し、令和７年7月末にオープンした活動拠点【オオイズミスペース】を、より大きく認知を広げていきたいと思っています。商品開発・ブランド開発を軸に、三重県全体のPRに繋げていけるような仕掛け・取り組みを増やしていきたいです。

活動内容

●「にぎわいの森」の活用

いなべ市役所に隣接する商業施設「にぎわいの森」を活用し、ファッションとコーヒーをテーマにしたマルシェイベント【衣琲ノ森】を主催しました。いなべ市に市外からの誘致・新しい客層の獲得を目的とし、にぎわいの森への多くの来客に繋げることができました。



●県外へのPR促進

いなべ市内の事業者＋グリーンクリエイティブいなべ合同での物販イベント【THE INABE STAND】を企画し、京都嵐山で物販・市内拠点PRをおこないました。また、2ヶ月間市内事業者のフライヤーを取りまとめ、京都大阪のカフェ2拠点に設置・POPUPを行いました。



●【オオイズミスペース】の設立

いなべ市内にショップ機能・プロダクト機能を持つ事務所として【オオイズミスペース】を設立しました。三重県を中心とした日本の様々な「衣食住」をコンセプトにしております。

様々な商品開発に携わっていけるようサンプルや生地見本を豊富に取り揃えており、現在進行形で様々な案件を取り扱っています。ここを拠点に、よりよい商品開発でいなべ市に貢献できるよう活動していきたいと思っています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人or職場））oizumispace@gmail.com
（電話番号（個人or職場））080-3680-4565

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）https://www.instagram.com/oizumi_space/

三重県尾鷲市　安藤　範子

商品開発・販売

～　都市部における九鬼の水産物の高付加価値化　～

基本情報



【年　齢】
５３歳
【出身地】
三重県桑名市
【転出元】
東京都渋谷区
【前　職】
NHK「ためしてガッテン」
料理担当
【活動時期】
R６.２～R９.２

協力隊に応募したきっかけ

移住マッチングサイトで自分ができそうな内容を見つけたのがきっかけ。その後、九鬼漁村に下見に来た時に場所に惚れ込み、多くの方々に知ってもらいたいと思ったから。

活動内容

●紹介①「東京で尾鷲・九鬼の魅力を発信」

尾鷲市や九鬼漁村を紹介するイベントを開催し、地域の魅力を伝えています。

●紹介②「九鬼の魚を東京に届ける」

九木漁港に水揚げされるブリをはじめ、「食べて知ってもらう」機会づくりに取り組んでいます。

●紹介③定置網漁業と漁師の仕事を発信

海の資源を活かしながら漁を続ける「定置網」の魅力と、漁師の知恵や仕事を伝えています。

今後の抱負・任期後の目標

九鬼漁村にある自然、歴史、文化、人の知恵や暮らしを「ここでしか得られない価値」として届け、住民の仕事と九鬼の暮らしを未来につなぐ地域経済作りに挑戦します。

連絡先

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

●Instagram：Ishikawanoriko25

●Facebook：石川　範子

岡山県倉敷市　鋤本 浩一

商品開発・販売

～　次世代モビリティ産業創出促進活動　～

基本情報



【年　齢】
７４歳
【出身地】
山形生まれ、大阪育ち
【転出元】
東京都板橋区
【前　職】
会社員
【活動時期】
R５.４～R８.３

協力隊に応募したきっかけ

次世代モビリティサービスの産業創出と地域活性をテーマとして活動することに興味を抱いた。定年退職まで勤務した製造業で、製品企画、事業計画、渉外、広報、マーケティング、BtoBの直販営業、BtoCの販売代理店網構築、新規市場開発、アライアンス事業推進で得られた人脈、現場経験を生かせる活動の場を得られることに魅力を感じた。

今後の抱負･任期後の目標

2028年以降のサービス開始、普及を睨んだ地域ビジネス創出に役立つ活動を継続していきたい。

活動内容

●空飛ぶクルマの地域実装支援

保有する実機を用いた実証デモフライト、展示説明紹介、ワークショップ、講演、各種団体との連携、市場動向情報収集、各種イベントへの参加等により、地域における住民理解、ビジネス創出の可能性を訴求。2028年以降の事業開始に向けて活動



●くらしき空飛ぶクルマ展示場運営（館長職）

空飛ぶクルマ実機を展示、試乗、デモフライト実績を映像で紹介、フライトシミュレーターによるフライト体験、資料展示、会議室、セミナー室を利活用して来館者に対応、「サイエンスとアート」を基本テーマとする各種プログラムを開発、実行



●高梁川志塾参加、全国自治体、商工会議所、関連諸団体との連携促進

高梁川流域経済圏も含む瀬戸内での空飛ぶクルマのコリドーづくりを目指した域内広域連携を促進すべく、中四国関西九州地域の自治体、商工会議所、個社・団体との連携を促進



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人or職場））sukimoto@masc-jp.com
（電話番号（個人or職場））080-4208-4475
【活動の様子を発信しているSNS】Facebook, Linkdin
（一般社団法人MASC）https://masc-jp.com/

高知県四万十町　片岡　宏樹

商品開発・販売

～　四万十町と全国を繋ぐ！しまんとリバーストアの挑戦　～

基本情報



【年　齢】
40歳
【出身地】
大阪府大阪市
【転出元】
神奈川県川崎市
【前　職】
お米の産直ECサイト
【活動時期】
R5.12～R8.12

協力隊に応募したきっかけ

前職にて、全国のお米産直ECサイトを運営しており、全国各地の様々な産地や農家さんと触れ合う中で、地域産品の素晴らしさを知り、その内容を発信する事業を行いたい、と考えておりました。
自身で事業展開を考えていた際に、四万十町で産直ECサイト（しまんとリバーストア）の募集があり、自身が描くビジョンや四万十町の先見性に共感し二人三脚で協力し歩んでいければと考え応募いたしました。

今後の抱負･任期後の目標

しまんとリバーストア事業自体の目標「自立運用化」が短期目標として存在しているため、そこまでのプランニングを構築し、実現に向けて動いていきます。
任期後の目標としては、上記自立運用の成功を軸とした上で、四万十町全体の事業者・生産者と関わっている利点を生かし、町自体の活性に繋がる事業（観光・産品開発・インフラなど）の新たな可能性を生み出していき、相乗効果がある事業展開を行っていきたいです。

活動内容

●ECサイト完全リニューアル、広告運用強化、など

着任よりサイト運営全体の見直し・構築を行いR6年4月に完全リニューアルオープン。
マーケティング強化、購入導線の組み立て、CP施策や産品訴求の広告運用の方向性提示など様々な方向から四万十町の魅力発信や売上向上につながる施策を行いました。



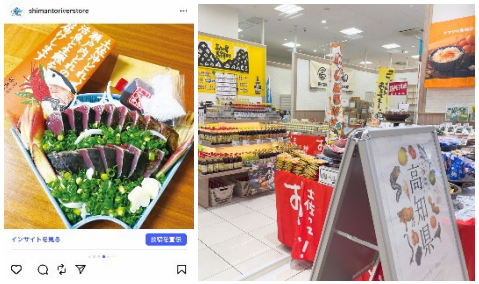
●売上改善、生産者ブランドの確立

R6年度売上として前年比約1000%の売上改善を行い、R7年度の推移としても約半年でR6年度を超える売上に到達。生産者・産品自体の希少性や唯一性をブランディング、訴求することで差別化を図りました。今後はより認知度を上げ、導線の強化に取り組みます。



●地域性発信とリアルイベントへの取り組み

地域性発信としてSNS等の運用も行い、生産者や産品、町の魅力などを発信。
そのほか、ネット販売のみではなく、催事出品など、リアルへのアプローチも行い、異なるターゲットを開拓。それぞれ融合することで相乗効果を図ります。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（職場））info@shimantoriver.com
（電話番号（職場））0880-22-2011（9:00～17:00）

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
しまんとリバーストア（ECサイト）https://shimantoriver.com/
ECサイトInstagram　https://www.instagram.com/shimantoriverstore/

鹿児島県伊佐市　山﨑　恵

商品開発・販売

～伊佐の魅力を発掘し、新しい価値を創造する！～

基本情報



【年　齢】
45歳
【出身地】
大阪府大阪市
【転出元】
大阪府羽曳野市
【前　職】
メーカー勤務
自社ECサイト運営
【活動時期】
R7.9～R10.9

協力隊に応募したきっかけ

これまで、デザイナーやWEB等色々な仕事に携わってきましたが、地域おこし協力隊というものを知って、ただ働くだけではなく、自分の経験や知識を、誰かや何かの為に活かしたいという自分の思いとぴったりだと思い、縁あって伊佐市の地域おこし協力隊になりました。

今後の抱負･任期後の目標

伊佐市観光特産協会と連携して、伊佐市の観光や特産品等についての効果的な取り組みや情報発信、協会全体の新たな展開にも、携わっていきたいと思っております。

活動内容

●物産展等の出展

観光特産協会のサポート及び新たな展開の研究や取り組み、イベント等におけるPOP等の制作や物産展への出展等を行なっています。



●ホームページ制作

新たな観光特産協会ホームページの制作に着手し、地域外に向けた伊佐市の観光・特産品の効果的な情報発信の実施します。新たな観光プランの創出、グルメ等の掘起こしやブラッシュアップも行い、地域外からの収益アップを目指します。

●ふるさと納税サポート

ふるさと納税制度の返礼品の堀起こしやブラッシュアップ、返礼品の売れ筋分析や新たな特産品の開発、ラインナップの充実をはかり、効果的なPR、情報発信を行います。

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人））kei.yamasaki121@gmail.com
（電話番号（職場））0995-23-1311

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（観光特産協会iインスタ）

@ISA_KANKO_TOKUSAN

沖縄県粟国村　笹沼　誠（ささぬままこと）

商品開発・販売

～　粟国島の人とヤギを笑顔に　～

基本情報



【年　齢】
45歳
【出身地】
茨城県水戸市
【転出元】
茨城県水戸市
【前　　職】
事務職（自動車修理店）
【活動時期】R5.4～
R8.3

協力隊に応募したきっかけ

平凡な生活はそろそろ終わりにしようかな…自分本
位を見直し誰かのために…
そんな令和４年のクリスマスの夜
パソコンの画面に、ふと流れてきた協力隊応募バナー
その瞬間運命と思い、ポチっと「応募」ボタンをクリックしました
（粟国の読み方も、場所も風土もわからんのに）それが
協力隊の応募のきっかけです

今後の抱負・任期後の目標

任期後の目標は、引き続き粟国島の皆様の笑顔のために、一所懸命にお手伝いに励もうと思います
中でも、任期中に携わった特産品の生産販売やヤギ事業に力を注いでいきながら、島人の一員として末永く、生活していこうと思います

活動内容

●ゆるキャラ「アニーちゃん」グッズ開発



粟国村のゆるキャラ「アニーちゃん」を使った地域PRのために、アニーちゃんグッズ製作に取り組みました
＜販売用＞
・アニーちゃんボールペン　　・アニーちゃんクリアファイル
・アニーーちゃんTシャツ　　・アニーちゃんポロシャツ
＜島内設置＞
・記念写真撮影用アニーちゃんフォトスタンド



●狩猟免許取得

粟国村の野ヤギ対策に一役買おうと、狩猟免許の取得に励み、無事狩猟免許を獲得しました

●粟国島特産品「レトルトパック ヤギ汁製作」



粟国村の特産品として、粟国島産ヤギを考えて、いままであったヤギ刺し、ヤギ汁の生産販売の見直しや、ヤギ汁の販売促進のための「レトルトパックヤギ汁」を製作しました

連絡先

【連絡先】
（メールアドレス）a-chiiki1@vill.aguni.okinawa.jp
（電話番号）098-988-2258

【粟国村公式Facebook：左　粟国村公式インスタ：　右】

沖縄県粟国村　長村　憲和（おさむらのりかず）

商品開発・販売

～　島民の胃袋を優しいごはんで支える　～

基本情報



【年　　齢】
　51歳
【出身地】
　埼玉県川越市
【転出元】
　埼玉県川越市
【前　　職】
　調理員
　（農業大学校の学生寮）
【活動時期】
　R6.4～R9.3

協力隊に応募したきっかけ

沖縄県の地域おこし協力隊については、東京の「移住・交流情報ガーデン」で開催された募集説明会への参加がきっかけで知ることができました
応募を決める前に実際に島へ足を運びました
離島ならではの自然の豊かさや空気感を肌で感じましたさらに、島民の方々と直接お話しして「ここで頑張りたい!」という気持ちを強くしてから正式に応募させていただきました

今後の抱負・任期後の目標

島内には、食事を楽しめる場所が少ないと感じていますそこで、協力隊の任期を終えた後は、島民がホッと一息つける憩いの場となり、また、訪れた観光客が島の温かい味に触れられるような食事処を作れたらいいなと思っています

活動内容

● **特産品直売店 とび吉の運営改善**

村内の昼食難民対策や気候環境で孤立するときの対策として、とび吉は住民の胃袋を支える大切な存在!そのとび吉の人材不足解消打開と、とび吉の安定経営のために頭をひねり、汗水流しました



● **粟国村内イベント盛り上げお手伝い**

村内で開催されるイベント（ハロウィンやクリスマスパーティー等）の盛り上げ役として、島内の食材を使ったスイーツの提供などで一役買いました



● **粟国村 特産品開発**

粟国のお土産がないという観光客のお声を痛感し粟国な 、らではのお土産の検討開発に励みました
・島ピザ
・お母さん牛のハンバーガー



連絡先

【連絡先】
（メールアドレス）tobikichi@vill.aguni.okinawa.jp
（電話番号）098-988-2611

【粟国村公式Facebook:左　粟国村公式インスタ:　右】

沖縄県粟国村　四方　絢子（しかたあやこ）

商品開発・販売

～　POWERとIDEAで粟国島を笑顔に　～

基本情報



【年　　齢】
36歳
【出身地】
千葉県柏市
【転出元】
千葉県柏市
【前　　職】
接客業（飲食店店長）
【活動時期】
R6.10～R8.3

協力隊に応募したきっかけ

これまでSNS発信業務やイベント企画・運営・メニュー開発の経験を活かし、粟国村の宣伝部長になりたいと思いました。何事も一人ではできません。前職でも生産者の方々や地域の方々、スタッフの皆と力を合わせひとつのものを作り上げ、集客・売上に繋げてきました。粟国村の方々と一緒に粟国村の魅力を多くの方々に伝えられるように精一杯務めて行きたいという思いとなったのが、応募のきっかけです。

今後の抱負・任期後の目標

粟国村の特産品の開発等をし、粟国島を盛り上げるご協力が出来ればと思います。島の文化や風習など、まだまだわからない事が多いので、皆さんとたくさん交流し、どんどん島の事を吸収していきたいと思います。「人生いつ何が起こるか分からないから後悔しない人生を送る!」精神で出会いを大切に、何事にも全力で精一杯頑張ろうと思います。

活動内容

● 粟国の特産品をPR



那覇市で行われた離島フェア2024に参加し、粟国島の特産品を販売PRお手伝いをしました
（もちきびかりんとう、ソテツ味噌など）
島内のみでの販売ということもあって、あっという間に売れ行く品々を見て、島での販売方法宣伝方法の課題を垣間見ることとなりました

● 粟国村内イベントお手伝い①



村内で開催されるイベント（ハロウィンやクリスマスパーティー等）の盛り上げ役として、島内の食材を使ったスイーツの提供など、会場の盛り上げに一役買いました

● 粟国村内イベントお手伝い②



餅つき体験会や島コン等に携わらせていただき、島内外の方と交流し、参加者の皆さんからお話を聞くことができ、どのようなものを望んでいるか求めているのか（お弁当、スイーツ、飲食店などの食事関係、季節ごとのイベント等）とても勉強になりました

連絡先

【連絡先】
（メールアドレス）tobikichi@vill.aguni.okinawa.jp
（電話番号）098-988-2611

【粟国村公式Facebook：左　粟国村公式インスタ：　右】

沖縄県国頭村　和田　佳浦

商品開発・販売

～　とうもろこしを生産し、タコスを村の特産品に！　～

基本情報



【年 齢】 ４９歳
【出身地】
埼玉県入間市
【転出元】
埼玉県入間市
【前　職】
スペイン語講師
【活動時期】
R５.９～R８.３

協力隊に応募したきっかけ

協力隊インターン制度を利用して、国頭村に１ヵ月滞在し、農業のお手伝いをしたところ、メキシコのとうもろこし（タコスの皮の原料）に興味をもった農家さんに、協力隊になってみないかと提案された。自身のメキシコでの経験が村のためになるとは考えていなかったが、とうもろこし生産やトルティージャ作りを通して村おこしができ、１カ月の滞在を通して好きになった村に移住することができるのであれば、と応募させていただいた。

今後の抱負･任期後の目標

自分の畑でとうもろこしを栽培し、トルティージャ等の加工品（タコス、トルティージャなど）を手作りし、販売していきたい。また、日本ではタコスの皮を粒から煮て作るブームがまだ！来ていないので、パン作りや味噌づくりなどと同様に、少し手間をかければ本物の美味しいトルティージャやとうもろこし料理ができることを広めていきたい（YouTubeなどを活用予定）。同時に、沖縄県でとうもろこし生産を促進し、村や県の特産品に育てたい。

活動内容

●活動内容［1年目］とうもろこしの試験栽培とクラファン！

日本で普及しているスイートコーンとは異なり、穀物系のとうもろこし生産は初めての農家さんに、種探しから土作り、栽培、収穫までをサポート。メキシコで畑仕事もしていたが沖縄での農業も同時に学ぶことができた。農家さんのため、クラウドファンディングにも挑戦し、農機具購入の資金を集めた。



●活動内容［２年目］とうもろこし加工と本格生産

穀物系とうもろこしは収穫（４～５月）後の管理が重要、乾燥から保管までの課題などを観察。次に、メキシコの品種とは少し異なるトウモロコシで加工できるのか試行錯誤を繰り返した。試験栽培は成功したので、冬から農家さんの畑で本格栽培の開始。トウモロコシ栽培の実践・観察・記録に努めた。



●活動内容［３年目］起業準備、商品開発、イベント出店

農家支援を主とした1年半の活動や経験を経て、退任後に何ができるかを本気で考え始め、イベント出店など貴重な経験をさせてもらった。村産とうもろこしを使ったタコスを試験的に販売し、多くの方に食べていただき自信も出たが、課題も実感。事業として成立させるための取組みと試行錯誤を続けている。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人））kunigami.tacos@gmail.com
（電話番号（個人））080-5501-7528
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

05 地域コミュニティ活動

北海道標津町　藤澤　みのり

地域コミュニティ活動

～未来へつなぐ、試せる大地しべつ町へ！～

基本情報



【年　齢】
29歳
【出身地】
石川県金沢市
【転出元】
北海道中標津町
【前　職】
Webメディア、海外PR
【活動時期】
R6.7～R7.11 現在
（2年目）

協力隊に応募したきっかけ

たまたま標津町内のコワーキングスペースでリモートワークをしていた時に、町の方から標津町の取り組みについてお話を伺い興味を持ちました。
前職では受託者として自治体のスタートアップ支援・地域振興に関わってきましたが、現場で当事者として働いてみたいな、と思い応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

北海道の東の端っこから、変革を起こしていきたいと考えています。

任期後も一つの形にとらわれず、標津町の未来を作るために必要な形で関わり続けていきたいと考えています。

活動内容

●試せる大地プロジェクトのマネジメント・広報

町の課題解決や新たな産業構築を目指すプロジェクト「試せる大地しべつ町」のマネジメントや広報を担当しています。プロジェクトの進捗管理から、ウェブサイト構築、全体の方針作成などを担当しています。



●地域産品の開発

標津町の特産品である「しべつ牛乳」を使ったジェラートの開発を行いました。本商品の開発時に活用したクラウドファンディング型ふるさと納税を町内の方にも使っていただくため、「チャレサポしべつ」という制度も同時にスタートしました。



●技術者と子どもたちをつなぐイベント

実証試験の受け入れを地域の教育に還元し、ものづくりや科学技術への興味を育むため、小中学生を対象としてグライダーと簡易的なラジコン飛行機の製作イベントを実施しました。
講師は現役のエンジニアや地域のラジコン飛行機の専門家の方に来ていただきました。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（試せる大地事務局）） contact@tameseru-shibetsu.com
（電話番号（職場）） 0153-85-7240
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（試せる大地しべつ町公式サイト） https://tameseru-shibetsu.com/
（標津町Youtube） https://youtu.be/4StzxgBjE7s?si=fIETMs_sl8gR8Xmb

北海道清里町　岩﨑　如月

地域コミュニティ活動

～地域の挑戦を応援するスペシャリスト　チャレンジコーディネーター～

基本情報



【年　齢】
25歳
【出身地】
北海道紋別郡
【転出元】
福岡県久留米市

【活動時期】
R6.10～R9.3

協力隊に応募したきっかけ

私は福岡県の大学に通っていて、6年半ほど九州で活動していました。そろそろ新しいところに行ってみたいと考えていたところ、高校生の時に登った斜里岳を思い出し、「斜里岳のある所に住みたい！」と思うようになりました。出身が北海道だったので、雪が恋しかった、というのも理由の一つです。
楽しく仕事ができる環境を探していて、協力隊の募集に出会いました。

今後の抱負・任期後の目標

今後は幼・保・小・中・高との関わりをつくり、子どもたちが地域でできる経験を増やしていきたいと考えています。地元の良さをもっと感じてもらえる取り組みをしたいです。任期後も引き続き清里町に貢献していけるように活動していく所存です。

活動内容

●清里チャレンジコーディネーター

地域に眠る「やってみたい」「変えてみたい」を発掘します。
課題に感じているところに対してのヒアリング、地域おこし協力隊募集に向けたアドバイス、応募者との面談や現地訪問の伴走など。



●インターン生の募集事業

夏・冬の大学生長期休暇の時期にインターン生の受け入れを実施しています。R7年度からの取り組みなので、現在2回目のインターンのプロジェクト設計を行っています。



●小･中学校でのコミュニティスクールコーディネーター

R7年度より、小中学校にて地域と子どもたちを繋ぐコミュニティスクール事業のため、地域側として学校でお仕事をさせてもらっています。
新しく広がる関係性も増え、よりお仕事の幅が広がっています。

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人））kylab01yuzuki.i@gmail.com

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）ちいおこKIYOSATO

@CHIIOKO_KIYOSATO

宮城県仙台市　谷藤　裕

地域コミュニティ活動

～　高齢者が考える、高齢者がワクワクできる地域社会の実現　～

基本情報



【年　齢】
６３歳
【出身地】
宮城県仙台市
【転出元】
神奈川県横浜市
【前　職】
会社員（ANA）
【活動時期】
R6.11～R9.10（予定）

協力隊に応募したきっかけ

サラリーマンとしての節目（定年）を迎え、企業のブランドやアセットに依存しない働き方について考えるようになりました。前職では地方都市の民力低下による課題の顕在化に触れる機会が多くあり、個人レベルでも参入可能な地域課題への取組みを実現するには「地域おこし協力隊」は理想的な受け皿だと思えたため、再雇用の期中ではあったものの応募に至りました。特に出身地である仙台市（泉区）での募集を見つけて、運命的なめぐりあわせを感じ、年齢も忘れて挑戦することにしました。

今後の抱負・任期後の目標

活動のテーマである「高齢者が考える、高齢者がワクワクできる地域社会」の実現に向けて、高齢者とのコミュニケーションを高めるための企画（イベント・教室等）、および高齢者の地域社会活動への参画を促進するためのプラットフォーム作りに傾注していきます。「高齢者が考える・・」の高齢者は現在は自分自身を指していますが、活動の経過とともに地域の高齢者の方々の総称にできるような活動に浸透させていきたいと思います。

活動内容

●協力隊活動計画のプレゼン実施（2025年4月24日）

泉区役所にて主にまちづくりに携わる職員（約20名）に向けて協力隊員の中期活動ビジョン、および活動計画のプレゼンを行いました。意見交換の時間では、参加者から高齢者の地域活動参画への期待が寄せられる一方、実感している課題等を共有する等、活発なコミュニケーションが醸成出来ました。



●おとなの文化祭の開催（同　6月28日）

ブランチ仙台を会場として高齢者を主たるターゲットとする賑わいイベントを開催（集客実績 約300名）。関係事業者と連携のもと、昭和の学校給食や往時の街並み動画を懐かしむ企画やスマホ相談会、運動教室等を通じて多世代交流を企図するとともに、賑わいの創りを行いました。



●おとなのスマホ教室の開催（同　10月27日）

高齢者向けスマホ教室をまちづくりスポット仙台にて開催。スマホは所有してるけど「詐欺や高額請求が怖くて使えない」「ショップでは親切に教えてくれない」等々のお悩みに対応。大学生を講師＆サポーターとしてマンツーマンレッスンを実施（16名参加）。11月、および来年2月にも開催予定です。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人））　ryoandhal@gmail.com
（電話番号（個人））　090-2462-6599

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Facebook）https://www.facebook.com/yutaka.tanifuji.9?locale=ja_JP

山形県酒田市　浅井　ひろ恵

地域コミュニティ活動

～　カフェを通して地域をおこす　～

基本情報



【年　齢】
49歳
【出身地】
山形県酒田市
【転出元】
福岡県福岡市
【前　職】
教員、飲食業　他
【活動時期】
R7.６～

協力隊に応募したきっかけ

幼少期から祖母の家のある酒田市日向地区をたびたび訪れており、いつかここで暮らし働きたいという思いをずっと抱いてきました。子育ても終わり今までの経験を活かして何かしたいと考えていたときに、日向地区の地域おこし協力隊の募集があることを知りぜひ応募したいと思いました。地域のコミュニティセンター内にあるカフェの運営に関わるというミッションも、将来的にカフェを開業したいという私の夢とも合っていたので魅力を感じ応募しました。

今後の抱負･任期後の目標

将来的には、自然素材を使った衣料の販売や、自家焙煎のコーヒーを提供する店を開業し、地域に根差した暮らしと事業を実現したいと考えています。その第一歩として、地域の拠点である日向里かふぇの運営に関わりながら、地域のニーズを学び、人と人をつなぐ場所づくりに携わりたいと考えています。

活動内容

【カフェでランチを担当】

日向コミュニティセンター内にある日向里かふぇにて毎月数回ランチを担当しています。地元のお米や野菜を使った手作りの１２種類の小鉢と季節のおにぎりの「おにぎり御膳」を提供していますが、新たなメニューを開発するため日々格闘中です！



【毎月ワークショップを開催】

６月に協力隊となって翌月の７月から毎月ワークショップを開催しています。梅仕事、柚子胡椒作り、コーヒー焙煎のワークショップ、そば打ち体験教室など自分で講師を務める場合もありますが、講師の方をお招きして開催することも。隣の県や市から参加してくださる方もいらっしゃいました。



【RMOとの連携】

日向ふるさとづくり協議会と連携し、地域の課題解決にも取り組んでいます。鳥獣害対策の一環として唐辛子の栽培や耕作放棄地でのクランベリー栽培を行っているので、収穫などの活動に参加したりそれらを使った特産品やカフェの新メニューの開発などを担当しています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス)
hiroro1020010203@gmail.com
(電話番号)
0234-64-4913　日向コミュニティセンター

【日向里かふぇインスタグラム】

Instagram

福島県玉川村　有光　七月

地域コミュニティ活動

～人と地域を面白くする、公民館のプロデューサー～

基本情報



【年　齢】
28歳
【出身地】
高知県 芸西村
【転出元】
東京都 足立区
【前　職】
広告業
【活動時期】
R6.2～(2年目)

協力隊に応募したきっかけ

東京で社会人をしていた頃、Instagramのストーリーズに玉川村主催の移住促進イベントの広告を目にし、軽い気持ちで参加。そこで出会った1歳年上の現役の楽しそうな雰囲気や活動内容を聞いて、面白そうだなと感じたことがきっかけ。

今後の抱負・任期後の目標

現在、実施中の自主企画「いとおかしな放課後公民館」の事業規模を拡大し、こどもたちにとって、楽しく学べる場として、定着させることが当面の目標である。また、任期後も玉川村での定住を視野に入れ、有効な資格の取得や仕事につながる経験を積んでいきたい。

活動内容

●活動概要

・公民館及び公民館図書室業務補助
・公民館を拠点としたイベント企画
・SNS等での情報発信
・チラシ作成

●現在の活動についての感想

入隊して始めの1週間こそ、何をすれば良いか不安だったが、玉川村を知ることや公民館の内情を把握することに注力し、企画の着想へと繋げていった。そして、最初は公民館のSNSを充実させることから始め、現在も少しずつ伸びを見せている。図書室を有し、自主企画を含めて様々な事業を行っている公民館をどのように発信しようか、模索しながらコンテンツを考えるのはとても楽しい。自主企画として運営している「いとおかしな放課後公民館」は、経済体験やものづくり体験などを中心に、こどもが楽しく学べる居場所づくりを目的とした施策である。現在は週１~2回実施しており、小学生を中心にたくさんの楽しみにしてくれるこどもたちも増えてきて、少しずつ手応えを感じている。今後は、就労体験や政治体験など、社会の仕組みを体験できるコンテンツを計画中であるが、少しずつ形にしていきたいと考えている。こどもたちにとって、楽しく学べる場として、定着してもらえればと思う。

連絡先

【メディア等の取材連絡先】

電話番号　0247-57-4632（玉川村公民館）

茨城県八千代町　DUONG TRAM ANH（ズオンチャムアイン）

～八千代と世界の架け橋に～

地域コミュニティ活動

基本情報



【年　齢】
30歳
【出身地】
ベトナム国
トゥエンクアン省
【転出元】
宮城県仙台市
【前　職】
留学生
【活動時期】
R7.4～R8.3

協力隊に応募したきっかけ

私自身が来日後の困難を乗り越える中で、同じ課題に直面するベトナム人留学生や技能実習生を支援したいと考え、サポート活動を始めました。役所手続きや病院の付き添い、面接練習のような手伝いをし、様々なアルバイトを通じて通訳・翻訳の経験を積み、日本人と外国人の架け橋を目指しています。八千代町を知ったきっかけは、ベトナム・旧ラックズオン県との友好都市提携でした。町の温かさや自然に魅力を感じ、地域おこし協力隊として地域の活性化に貢献したいと考えています。

今後の抱負・任期後の目標

今後は、八千代町の住民の皆さんと外国籍の方々との交流を深める活動に取り組みます。外国籍の方に町や日本の生活を理解してもらうため、防災・避難訓練で通訳を行い、日本人との交流促進のためイベント参加を呼びかけます。最終的には独自の交流イベントを開催し、より深い相互理解を図ることを目標とします。
任期後は起業と同時に企業に勤めることを考えています。町の活性化に協力隊とは別の形で貢献できるように活動していきたいと思います。

活動内容

●活動内容　学習講座等、地域イベント参加の呼びかけ

・外国籍の方に日本のルールやマナーを正しく理解し、楽しく安全に生活できるようにSNSなど通じて町内の規則や日本の生活マナーを発信しました。
・在住外国籍の住民に八千代町を知ってもらい、日常と異なる交流の場を通じて新たな出会いや生活の励みを感じてほしいです。関係部署と連携して企業やコミュニティグループを通じて呼びかけました。



●活動内容　青少年派遣事業に係るサポート

八千代町在住の高校生・専門学校生・大学生を対象とした青少年海外派遣事業において、ベトナム訪問・交流の企画・計画に携わり、現地にも同行して通訳や活動のサポートを行いました。
現地での交流や生活体験を通じて、町内の青少年が海外の文化や生活環境について知るとともに、日本の生活環境について改めて考え、その違いや価値を感じる機会となりました。

●活動内容　国際交流イベント

・お互いの文化を知り、興味を持つことが相互理解につながると考え、浴衣やベトナム衣装の試着体験会、料理作り体験会、中秋節体験会などを開催しました。体験を通じて、外国人住民と地域住民が気軽に交流し、お互いの文化に関心を持つきっかけづくりを行いました。
・3年目の目標として、独自の国際交流イベントを企画・実施します。令和7年度は「八千夜一夜物語～八千代町で出会うベトナムの片隅～」を開催し、食や音楽、ゲームなどを通じて、地域住民と外国人住民が互いの文化を知り、交流するきっかけをつくりました。





連絡先

・メールアドレス　個人　chamuain.yachiyomachi1122@gmail.com
　　職場　hisho2@town.ibaraki-yachiyo.lg.jp
・電話番号（職場）　　0296-48-1111

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（facebook, instagram）

栃木県真岡市　粟村　千愛

～　人とつながるまちづくり　～

地域コミュニティ活動

基本情報



【年　齢】
34歳
【出身地】
福島県郡山市
【転出元】
神奈川県横浜市
【前　職】
ウェブメディア編集者
【活動時期】
R4.4～R8.3
（育休取得）

協力隊に応募したきっかけ

子育てをきっかけに、地域で仕事をしたいと思ったため。
地域の仕事を探しているとき、真岡市の募集内容を見て、自分のスキルを活かして地域に貢献できるのではないかと考え応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

複合交流拠点monacaのコンセプトブックを制作中。
市議会議員のインタビューも実施中です。

任期後はインタビューやライティング、編集などのお仕事を探しつつ、batonの活動、まちづくりに関わる活動、協力隊のサポートなどもできたらと思っています。

活動内容

●まちつくインタビュー

真岡でまちづくりに取り組む方々を取材・撮影して記事をつくり、市ホームページや広報誌、noteに掲載。これまで３６人を掲載。認知拡大、つながりの構築を目指しています。



●こそだてもおかbaton

大人になった私から、ここで生きる子どもたちへ。
大変だった過去の私から、いま頑張るママパパへ。
明日を今日よりちょっと良くするために、ひと、もの、ことをつなぐbatonになることを目指して活動するコミュニティ。







地域情報誌の制作、Instagramでの情報発信、イベント開催など行っています。本の交換会「よむよむピクニック」では、これまで約300冊の本を寄付いただき、市内のお店などと一緒に市内各地で交換会を開催しています。子ども服交換会は600着以上の寄付をいただき、半分以上が交換されていきました。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
真岡市プロジェクト推進課
（メールアドレス）project@city.moka.lg.jp
（電話番号）0285-81-6949
note　https://moka-city.note.jp/
Instagram　@moka_baton

@MOKA_BATON

埼玉県秩父郡横瀬町　今中　知広

地域コミュニティ活動

～　ボードゲームを用いた新しいコミュニティづくり～

基本情報



【年　齢】
27歳
【出身地】
大阪府吹田市
【転出元】
大阪府吹田市
【前　職】
自営業
【活動時期】
R6.5～R7.10現在

協力隊に応募したきっかけ

横瀬町は「日本一チャレンジする町」というスローガンを掲げているのですが、そんな雰囲気とそこに住む方々、地域おこし協力隊として活動されている方々を見て、応募を考えるようになりました。
横瀬町には商店街のような中心地が無く、人が集える場所を作りたいという町の願いがあったのですが、それが自分の普段行っていたボードゲーム制作の仕事とマッチすると感じ、応募することを決めました。

今後の抱負・任期後の目標

「遊び」は軽視されることもありますが、年齢や肩書などを取っ払ってくれるものだと考えています。
「遊ぼう！」という言葉から、ちびっこやお年寄りの方問わず交流が始まるようなきっかけを増やすことができればと思っています。また、遊ぶために外に出たり、それがちょっとした運動になったり、遊んだ人が悩みを言い合える友達になったり、そんな状態を自分がいなくなっても作り続けれればと思っています。

活動内容

●町に無料で遊べるボードゲームコーナーを3箇所設置



町の中心地の建物「Lab横瀬」、高齢者の方が集まる「総合福祉センター」、駅前の休憩所「アスタバ」の3箇所に設置しました。お昼間にはご家族、放課後にはちびっこがよく遊んでくれています。近くに集まれる場所ができることが自分は理想だと考えているので、今後も増やしていければと思っています。

●おすすめのボードゲームと謎解きのチラシ『ボド謎』をR6.10より毎月全世帯配布



まずボードゲームが何かを知ってもらうためにチラシの全世帯配布を開始しました。裏面には謎解きコーナーがあり、答えは町の中心施設に貼っているので、そこで来てくれる動線を引いています。

●福祉センターや高齢者サロンさん等でのボードゲームイベントの開催



高齢者の方に「私にはできない」と最初は言われてしまうのですが、遊んでみたらそんなことなくイベント時は毎回楽しく遊んでいただけます。福祉センターさんではゲーム好きの利用者さんが居り、毎日ボードゲームで遊ぶグループができているそうです。

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人）avignongames@gamil.com
（電話番号（個人）080-5715-5535

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://note.com/yokoze_boardgame

活動note→

新潟県十日町市飛渡地区　松井　奈々

地域コミュニティ活動

～　共に考える地域の変わり方　～

基本情報



【年　齢】
29歳
【出身地】
大阪府東大阪市
【転出元】
大阪府大阪市
【前　職】
研究技術職
【活動時期】
R5.04~R8.03

協力隊に応募したきっかけ

結婚を機に当時暮らしていたアメリカ、アラスカ州から日本に帰国することを決断したのですが、ここに住みたいと思える場所が決まらないまま実家のある大阪で半年ほど生活しました。アラスカ育ちの夫も、私自身も都会になじめない日々の中、田舎での生活と仕事が同時に試せる協力隊という仕事があることを知りました。様々な県・地域を検討した結果、2週間のお試し、2か月のインターン期間を経て迷いなく飛渡地区に決めることができました。

今後の抱負・任期後の目標

ありがたいことに、地域の沢山の方から仕事やお家を紹介いただき協力隊退任後もこの飛渡地区で生活する目途が立ってきました。3年間真剣に向き合ってきた”地域”という存在。これからはもう協力隊関係なく私たちの住む場所です。目標は「ここはいい所だよ」といつも言っている近所のおばあちゃん。いつか私がおばあちゃんになった時も若い人にそう言えるような私であり、この地域でありたいです！

活動内容

●食と農を考える飛渡の会　運営支援

約10年前に初期の協力隊が立ち上げた野菜直売所を軸に、形を変えながら続いてきた「食農会」。今年は出荷者減少に伴い、惜しまれながらも週2回の直売所は断念。月に一回のフリーマーケットとランチ会で、地域の集える場としての在り方を皆で模索中。その時々の地域に合わせ協力隊も柔軟にサポートを頑張りたいです！



●公民館事業、集落行事、伝統文化活動への参加

地域の中心である公民館を活動拠点に、飛渡地区14集落の道普請や季節ごとの行事に、3人の協力隊で分担して参加しています。また、伝統文化継承支援として、あわせおけさ保存会、わら細工の会にも所属しています。私たちを通して他の集落や様々な会の様子、変わっていく地域を住民の方にも感じてもらっています。



●協力隊主催イベント

英語で遊ぶ会をしたり、昔の地域の写真でスライドショーをしたり、日々の地域の方との交流の中から思いついて企画するイベントもあります。ちょっとした会話の中の「あったらいいな」を拾って、地域の方が楽しんだり新しいことに挑戦するきっかけを作れるよう意識しています！



連絡先

【メディア等の取材連絡先】

（一社）里山プロジェクト
メールアドレス　satoyama.project6@gmail.com
電話番号　025-595-6670

新潟県小千谷市　福嶋　彩加

地域コミュニティ活動

～　世代を超えてともに育む親子の遊び場と居場所づくり　～

基本情報



【年　齢】
23歳
【出身地】
群馬県藤岡市
【転出元】
京都府京都市
【前　職】
学生
（京都芸術大学卒業）
【活動時期】
R7.3～R10.3

協力隊に応募したきっかけ

大学で得た、芸術と保育の２つの分野をいかした仕事をしたいと考えていた。就職活動をしている際に「地域おこし協力隊」というものを知り、大学で学んだ「こども芸術」を活かせると思い応募した。

今後の抱負･任期後の目標

　今後は、市民の方とも一緒に子ども向けのワークショップを開催し、たくさんの子どもたちと市民の方と関わっていきたい。
　来年以降は市内の出張として、市街地に行くことが少ない子どもや親子が楽しんでいけるようなイベントを考えたい。
　子ども、親子のコミュニケーションを大切にしたワークショップを通して、家ではやりにくいこと、できないことなど「非日常体験」を提供したい。

活動内容

●“遊ぶ･学ぶ･育てる“のワンストップ支援

図書館機能を核にさまざまな機能が同居する複合施設「ひと・まち・文化共創拠点ホントカ。」で、子育て支援を担当。子どもの遊び場（屋内広場）には、絵本とともに、市内の保育園・幼稚園の未就学児親子向けのお便りや、子育て支援施設からのお知らせ、市内子育てサークルの紹介など、子育てに関する情報を合わせて収集・発信。



●親子向けワークショップ

毎月第2・第４水曜日に未就学児の親子向けワークショップのほか、毎年8月の「おぢやまつり」の時期には、まつりの風物詩「からくり万灯」に見立てた提灯型のミニ万灯づくりを開催。文化に触れながらものづくりを楽しむ体験、親子交流の場を創出。



●世代を超えてつくる子どもたちの“絵本の洞窟”

子どもの遊び場（屋内広場）の中にあるすべり台下は、思い切り遊んだあとに心落ち着かせて絵本を読むことができる空間となっている。そこの書棚にご家庭で不要になった絵本を募り並べることで、このまちの人々がみんなで子どもたちを育てていく空間として企画・運営。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
小千谷市　にぎわい交流課（ひと・まち・文化共創拠点ホントカ。）
（メールアドレス（職場））hontoka@city.ojiya.niigata.jp
（電話番号（職場））0258-82-2724
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）https://www.instagram.com/hontoka.play_leader/

新潟県新発田市　小川　拓実

地域コミュニティ活動

～　市内コミュニティセンターの利活用促進　～

基本情報



【年　齢】
２４歳
【出身地】
大阪府豊中市
【転出元】
大阪府豊中市
【前　職】
学生
【活動時期】
R６.４～R９.３

協力隊に応募したきっかけ

学生時代、スポーツの指導について学んでいました。
その経験やスキルを活かして、地域おこし活動に取り組みたいと考え、協力隊になる道を選びました。
新発田市を選んだ理由は、学生時代から関わりがあったことと、協力隊配置に対する市の考えに共感したことでした。
また、新発田市が独自に配置している『コミュニティセンター利活用促進担当隊員』のミッションにも惹かれました。
市のサポート体制も充実しており、私のスキルを活かした地域おこし活動を行える環境であると考え、応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

現在、市内に１０か所あるコミュニティセンターを拠点として、地域活性化に向けた取り組みを行っています。
コミュニティセンターの利用者数増加を目標として、地域の皆様が気軽に足を運べるセンターづくりを行いたいです。
私の任期後も持続されることが重要であると考えており、“地域主体の地域づくり” を目指して活動していきたいです。
任期後の目標は、協力隊での経験や自身のスキルを活かし、新発田市の皆様から必要とされる仕事をすることです。

活動内容

●コミュニティセンターを活用したイベントの開催

センターに足を運んでもらう『きっかけ』をつくることを目的として、さまざまなイベントを開催しています。スポーツ体験会、ものづくり教室、ゲーム交流会など、バラエティ豊かな企画を行っています。
その中には、地域の皆様と協働して開催する催しもあり、地域コミュニティの活性化に寄与しています。



●サークル活動団体の立ち上げサポート

センターを会場として定期的な活動を予定する地域団体を対象として、新規のサークル立ち上げ支援を行っています。具体的には、会場についての相談、チラシの作成、メンバー募集を目的とした体験会等の企画運営補助を行います。地域主体の持続可能なコミュニティづくりを目指しサポートをしています。



●出張講座 (スポーツ担当)

市内各地に足を運んで、出張指導を行っています。モルック、ボッチャなどのインクルーシブスポーツが人気で、児童施設から老人クラブまで、幅広い層の方々からご依頼をいただき、スポーツの楽しさを伝えています。隊員にとっては、地域交流の貴重な機会となっており、自身のPR活動の役割もあります。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）chiikizukuri.ss@shibata-chiikizukuri.net
（電話番号）070-4483-7936

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（新発田市地域おこし協力隊 SNS）Instagram→ Facebook→

石川県珠洲市　都築　鈴

地域コミュニティ活動

～　地域コミュニティの復興支援　～

基本情報



【年　齢】
26歳
【出身地】
山口県山口市
【転出元】
山口県山口市
【前　職】
雑貨屋店員
【活動時期】
R7.8～

協力隊に応募したきっかけ

昨年末にボランティア活動の合間で訪れたのをきっかけにこの土地の自然や人々、またそこで営まれている暮らしの魅力を知り、そんな暮らしが絶えることなく続いてほしい、また自分自身も地元の方達に学びながらここで暮らしていきたいと強く思いました。またボランティア活動でできた地元の方たちや県内外の方達との繋がりを活かして地域のためにできることがあるかもしれないと思い、協力隊への応募にいたりました。

今後の抱負・任期後の目標

震災の影響が大きかった町であるため、まずは地元の方達が生活に満足しながら暮らしを続けられること、避難されている方が帰りたいときに帰って来れる環境を整えること、そしてここでの暮らしに魅力を感じた人が通ったり、移住しやすくなるような場所づくり、きっかけづくりをしていきたいです。任期後は子供支援や宿の運営続けながら、畑や田んぼ、漁などここで先人たちがしてきた暮らしを自分もしていたい！

活動内容

●地域のニーズ調査と諸団体との連携

地元の方から求められていることを聞き取り、個人的にお手伝いしたり、行政や地元のNPO団体や県内外のボランティア団体などにお繋ぎしたり、支援の受入れ等をしています。泥出しや家財整理などの復旧作業やイベント・ツアーの受入れ、地域イベントのお手伝いが主です。



●子ども支援活動

地元のNPO団体と連携し、毎週水曜に中学生向けの放課後プログラムと、月に2回市内の親子向けのイベントを開催しています。放課後プログラムではアート分野に関心の高い地元の子どもたちに自身のイラスト業を活かしたワークショップや地元の方を講師に招いたこの地ならではの体験を提供しています。



●空き家活用に向けた取り組み

空き家を活用し、避難していて地元に泊まるお家がない方が泊まれる宿を運営しようと計画しています。予約に空きがあるときは県内外から支援で来てくださる方やここでの暮らしに興味がある方が滞在できるような場所として活用したり、地元の方が立ち寄れる場所として開いていきたいです。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）iju@city.suzu.lg.jp
（電話番号）0768-82-7726
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）
https://www.instagram.com/suzu_chiikiokoshi_suzu?igsh=MWUyd3F6ODBqZTN5ZQ%3D%3D&utm_source=qr

福井県高浜町　森本　元樹

～　高浜町まちづくりコーディネーター　～

地域コミュニティ活動

基本情報



【年　齢】
51歳
【出身地】
大阪府大阪市
【転出元】
大阪府大阪市
【前　職】
総合物流・人材派遣業
【活動時期】
R6.4～R9.3（2年目）

協力隊に応募したきっかけ

子どもの頃に家族旅行で訪れたことがずっと記憶にあり、自分で旅行に行けるようになった年頃に再訪するようになりました。その中でたまたま大きな花火大会と20年続いた漁火想というイベントに出会い、以来30年以上も毎年夏に2回訪れていました。そこへ4年ほど前からキャンプでも訪れるようになり、夏2回から年10回以上に訪問率があがり、いっそ移住してしまえと思い、どうせなら今までお世話になった高浜町へ何か貢献できたらと思い、地域おこし協力隊の募集に応募しました。

今後の抱負･任期後の目標

そろそろ任期後のことで頭を悩ませる頃かなと思います。その前に、任期中に昔ながらの継続している催物に持続可能な手順を考慮していきたいと思います。まず、高浜町が、地域住民のみなさんが楽しめることを優先していくことで、楽しさや、魅力が町外にも溢れ出るよになればなと思います。退任後は、新たに興味を持った釣り船（遊漁船）を開業して、自然、宿泊、旅行、飲食、施設利用と紐づけて、高浜町内の起点になれればなと考えています。
でもまだキッチンカーにも挑戦したいと欲張り中です。

活動内容

●定例のイベント運営

色々な定例のイベントが年３回～あり、会場を決めたり、必要な什器の手配、地元出店者さんへお声がけ、地域の小学校や中学校、町に根付いたイベントの運営などをしています。古き良きを残しつつ、新たな企画も盛り込んで、どんどん盛り上げていきたいです。



●有形文化財建物での展示

日々、職場として通っている建物は、実は登録有形文化財として歴史ある建築物で、１階の展示スペースを有効活用して、町にゆかりのある方や福井県内の出展者さんの作品展示をしています。建築物として外観を眺めるだけではなく、中にも入っていただいて、ゆっくり展示作品を鑑賞して欲しいです。



●SNS発信（準備中）

着任して早１年半。これまではしていなかったSNSで、趣味の釣りやキャンプ、グルメなどを町の風景と一緒に発信していく準備をしています。特に自然と食を中心に、旅先なども一緒に含めて、まずは日本中に町がつながるような活動を目指したいです。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人or職場））4500motoki.4500morimoto@gmail.com
（電話番号（個人or職場））090-8381-0388

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
«Instagram»
https://www.instagam.com/11motoki/profilecard/?igsh=OWZpbDI4Y3QxMzZk

岐阜県中津川市　原田　佳苗

～　地域の魅力を域学連携を通じて伝えます　～

地域コミュニティ活動

基本情報



【年　齢】
29歳
【出身地】
愛知県豊橋市
【転出元】
愛知県豊橋市
【前　職】
住宅設計
【活動時期】
R6.5～R9.3

協力隊に応募したきっかけ

活動地である岐阜県中津川市加子母には大学生時代に出会いました。木造建築を学ぶ「加子母木匠塾」という域学連携の活動に参加し、毎月通っていました。大学卒業後は働きながら木匠塾の活動をサポートしたり、地域の行事に参加しながら通いました。その後、自身の博士課程への進学を期に移住することを決心しました。

地域に関心を持ったきっかけであり、研究対象でもある域学連携の活動をより良くしていく為に協力隊に応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

現在は就任して1年半年経ちました。今後も地域行事に積極的に参加しつつ、学生の活動のサポートも継続して頑張りたいと思います。

任期後も継続して地域に関わっていきたいと考えており、大学生だけでなく、大人や子供も「誰もが学びにくる地域」として地域をブランディングしていきたいと考えています。

活動内容

●域学連携事業（大学生のサポートなど）

加子母地域で活動する大学生は毎年300人前後おり、その学生たちのサポートをしています。木造建築実習を行う木匠塾の活動では、宿泊施設や生活のサポート、道具の貸し借り、畑作業、制作物に対する助言などをしています。

また、木匠塾活動についての視察対応をきめ細やかに対応し、域学連携事業の推進に寄与しています。



●域学連携 拠点の整備

これまで地域で活動する大学生が卒業後に帰ってくる拠点がなく、地域でゆっくりとした時間を過ごすことができませんでした。そのような状況を変えるため、卒業生にも手伝ってもらいながら拠点を整備しています。写真は卒業生に耕してもらった畑でできた野菜を収穫した様子です。



●地域の魅力を発信する広報活動

地域で暮らし始めたことで行事にも参加できるようになり、地域の魅力をたくさん知ることができました。その魅力をもっとたくさんの人に知ってもらえるよう、広報活動を行っています。SNSでは学生にも伝わりやすいようInstagramを中心に発信しています。木匠塾史の出版準備も進めています。



連絡先

メディア等の取材連絡先】中津川市役所地域づくり協働課
(地域おこし協力隊担当者)
（メールアドレス（個人or職場））kyodo@city.nakatsugawa.lg.jp
（電話番号（個人or職場））0573-66-1111（内80-4503）

京都府福知山市　髙橋　恭子

地域コミュニティ活動

～　農家をつなぎ地域に愛されるファーマーズマルシェの立ち上げ　～

基本情報



【年　齢】
52歳
【出身地】
大阪府大阪市
【転出元】
京都府向日市
【前　職】
医療事務
【活動時期】
R７.11～R９.10

協力隊に応募したきっかけ

昔、友達と一緒に見た星空が忘れられず、将来は星空の綺麗な所で農業をしながらまったり猫とのスローライフを夢見ていました。
福知山には何度か遊びに来たことがあり、ちょうどいい田舎感が気に入りました。福知山に住めて農業も学べる上に地元の人との繋がりももてる。それが仕事になる。といういい条件しかない地域おこし協力隊の募集を見つけて即応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

あと任期が2年あるので、その間にひとりでも多くの人が笑顔になれる中六人部（なかむとべ）にしていきたいです。人との繋がりを大切に、missionに取り組むとともに、任期後も地域の課題の解決となるような仕事をしていきたいと思っています。

活動内容

●なかろくマルシェ（ファーマーズマルシェ）の運営

月に1度、閉校になった小学校を活用した『 THE610BASE 』（ムトベース）でなかろくマルシェを開催。会計にエアレジを使用し、会計をスムーズにできるようになりました。
今後は農作物の講習会なども開き、出品者の会員拡大が目標！



●体験型農園の開設

R8.3月プレオープンを目指して、地域づくり協議会事務所前に体験型農園を開設予定。
実際に体験型農園をされている所に視察に行ったり、色々な事を勉強したりしながら日々奮闘中！



●地域間交流

年に2回、夏と秋に開催される地域のお祭りで、浴衣の無料着付けの催し、マルシェの出店で参加。中六人部初の移住者交流会も開催！今後は、ワークショップなども開催したいので、我こそは！と思う方はぜひご連絡ください！



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人））chiikiokoshi.1101@gmail.com
（電話番号（職場））0773-45-8005
中六人部地域づくり協議会（ミライト中六）
HP　https://www.nakaroku.net/miraito01.html
メールアドレス　info@m-nakaroku.com

京都府福知山市　岩尾　美咲

地域コミュニティ活動

～　半農半Xの暮らし方。ゆとろぎの里で新しい仲間をつなげよう。「地域活動の仲間づくり」　～

基本情報



【年　齢】
27歳
【出身地】
神奈川県横浜市
【転出元】
京都府福知山市
【前　職】
アパレルパタンナー
【活動時期】
R6.11～R9.10

協力隊に応募したきっかけ

祖父母の家が福知山市にあったことから、幼少期から田舎暮らしに憧れていました。移住するなら地域おこし協力隊制度を使って地域に入りたいと以前から考えており、丁度転職のタイミングで福知山市が５年ぶりの募集を行いました。風の時代と呼ばれる今、その風に吹かれるままに移住してきました。生まれ育ちが関東ということもあり寂しいこともありますが、充実した毎日を過ごしていて、後悔はしていません。

今後の抱負･任期後の目標

任期後も福知山市大江町に根を張り、大江町のまちづくりそのものを仕事として持続させていきたいと考えています。
オープン予定の柊結舎の運営を軌道に乗せることに加え、衣食住に関わる取り組みや地域資源を生かした事業を展開し、大江町の豊かな暮らしと魅力を未来につなぐ活動を続けていきます。

活動内容

●衣食住の店〝柊結舎-syuyusya -〟

大江地域に唯一残る茅葺民家を使用し、令和8年7月に「柊結舎」をオープンする予定です。大江町の農産物を使用した定食やドリンク、ケーキなどを楽しめる喫茶と、生活雑貨や古道具の販売を行います。 地域の誰もがそれぞれの形で地域づくりに関われるような開かれた場所を目指し、日々地域の方々と共に温かな場を育んでいきます。



●リヤカースタンド〝柊結車-syuyusya -〟

地域に眠っていた古いリヤカーを改造して、どこか懐かしいけどおしゃれな屋台を制作しました。地域のおかあさん達から果物などを買い取り、砂糖やスパイスに漬けたり煮込んだりしてシロップドリンクやお菓子を作ってイベントで販売しています。



●井戸端会議/夜座

井戸端会議は女性達、夜座は30代までの若者。
様々な分類で食事等の体験を通して雑談をできる企画を定期的に行っています。たわいもない話で親睦を深めるのはもちろん、私も新しい発見や活動のアドバイスをもらっています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人or職場））omiproducts.design@gmail.com
（電話番号 ）090-9672-5868
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（インスタグラム）@omi _me__02

OMI_ME_02

京都府京丹後市　野口　加奈恵

地域コミュニティ活動

～　カヌーなど地域資源を活かした地域の活性化　～

基本情報



【年　齢】
35歳
【出身地】
福岡県朝倉市
【転出元】
京都府京都市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R4.3～R7.3

協力隊に応募したきっかけ

何度か京丹後を訪れる中で、豊かな自然環境（特に久美浜湾）に魅了され、またここで出会った地域の方々が魅力的で、「ここに住みたい」と思ったから。

今後の抱負・任期後の目標

自身が立ち上げた任意団体「CANOA KUMIHAMA(カノアクミハマ)」でカヌーやSUPの体験を通じて、久美浜湾の魅力を感じていただく活動を継続していきたい。

久美浜湾だけでなく、まちの歴史や町並みなども含め、大好きな「久美浜一区（活動拠点）」全体をフィールドにした観光ガイドもしていきたい。

また「ゴミ拾い」が自身のライフワークであり、まち歩きやカヌー体験を通じて地域内外の方を巻き込んだ「クリーン作戦」を実施しているが、この啓蒙活動についても継続していきたい。

活動内容

●自治会主要メンバーとしての地域活動へ参画



受入地域である久美浜一区自治会の事務局として、地域住民の声収集（アンケート実施）や自治会便りの編集・発行、地域の方々を巻き込んだイベントの開催など多岐にわたる地域活動に参画している。

アンケートでの声にこたえ、地域公園内にブランコや鉄棒も設置した。

●地域の拠点施設を「人の集う場」に



地域の拠点である久美浜福祉センターにて、赤ちゃん～小中高生～ママパパ世代～お年寄りまで、あらゆる層をターゲットにしたイベントやセミナーを開催している。平日の放課後は子どもたちに宿題をする場所（遊ぶ場所）として開放するなど、土日だけでなく平日も人が集う場になっている。

●任意団体「CANOA KUMIHAMA」の立ち上げ



地元でカヌー競技をしてきた仲間と共同で任意団地を立ち上げた。カヌー体験を通じて久美浜湾の魅力を伝えるとともに、お子さんからお年寄りまで楽しめるカヌーの普及にも取り組んでいる。波が穏やかな久美浜湾ならではの水上アクティビティとして、注目の刊行コンテンツとなっている。

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
京丹後市地域コミュニティ推進課
（メールアドレス）chiikicom@city.kyotango.lg.jp
（電話番号）0772-69-1050
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）canoa_kumihama

京都府京丹後市　仲江　勇馬

地域コミュニティ活動

～　商いのまちの活気を取り戻す　～

基本情報



【年　齢】
35歳
【出身地】
京都府与謝野町
【転出元】
東京地新宿区
【前　職】
動画クリエイター（継続）
【活動時期】
R4.2～R7.1

協力隊に応募したきっかけ

島津の人たちが優しく、住んでも楽しそうだったから。

今後の抱負･任期後の目標

かつて商いの町と言われた「島津」に当時の活気を取り戻すことがミッション。着任後わずか10ヶ月足らずで、「あつつ焼（大判焼）」のお店をオープン。あつつ焼というのはかつての地域のソウルフード的おやつ。現代の感覚でブラッシュアップしながら、地域の方々から親しみを感じてもらっていた。京丹後市は農作物や魚介類など四季を通じて豊富な食資源が揃います。料理、動画配信といった自身の強みを活かしながら、「京丹後のおいしさ」を広く発信していきたい。

活動内容

●地域の方々が集える場の構築

気軽に楽しめる馴染みのある商品を提供する店舗を地域内にオープンすることで、自然と地域の方々の交流も盛んとなり、活気も生まれている。また、評判を聞きつけた地域外（京丹後市外の方も）からも人が訪れる目的地になった。
※現在、店舗閉鎖しイベントなどの出張販売準備中



●空き家の利活用

店舗を設けたのは、かつて食料品店だった店舗の跡地。近年増えている空き家は地域の課題。老朽化し大幅な改修が必要になる前に、活用事例を見せるのも大きな成果の一つ。空き家の所有者の方の意識（活用に前向きになる）の変革にも繋げたい。



●地域活動への参画

地域の拠点施設「島津ふれあいセンター」で放課後の子どもたちの見守り活動に参加したり、お祭りにあつつ焼の屋台を出店するなど、子どもたちからお年寄りまで、地域の方々と積極的に交流している。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
京丹後市地域コミュニティ推進課
（メールアドレス）chiikicom@city.kyotango.lg.jp
（電話番号）0772-69-1050
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

Instagram　YouTube

京都府京丹後市　中里　佳史

地域コミュニティ活動

～　地域資源を活用した関係人口の拡大　～

基本情報



【年　齢】
45歳
【出身地】
兵庫県姫路市
【転出元】
大阪府大阪市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R5.12～R8.11

協力隊に応募したきっかけ

「地方移住」「独立」「関わる人が不幸にならない」この３つを実現するために、地域おこし協力隊の活動がぴったりだと思ったから。

今後の抱負･任期後の目標

活動エリアである「間人（たいざ）」の魅力を発信し、関係人口を拡大させること。特に海産物を中心とした地域の食資源と料理人経験や前職で培った営業力という自身の強みを掛け合わせ、自分にしかできない発信をしていきたい。あるモノを繋ぎ、連携することで新しいモノを生み出し、地域の魅力を最大限に引き出していけるような「地域商社」的役割を果たしていきたい。

活動内容

●地域活動への積極参加

地域の伝統である「みなと祭」「けんか祭」をはじめ、サロン活動、住民参加イベントなどに企画段階から参画し、ピザやスイーツの出店や調理教室など自身の強みを活かしたコンテンツを提供。新しい魅力を追加することで活性化を図っている。



●地域資源（地域を代表する産品）の開発

間人漁港で水揚げされた「こっぺ蟹（メスのズワイガニ）」と「沖ギス」を使用したパスタソースとアヒージョを製造。市内の道の駅などで販売中。間もなく第3弾販売開始予定、更に第4弾の試作中。その後に続く商品も企画しながら、販路拡大に向け精力的な営業活動も実施中。また、コラボによる商品開発を視野に入れたネットワーク構築にも余念がない。



●地域版ふるさと納税の推進

共感する地域をピンポイントで応援（納税）できる仕組みである「地域版ふるさと納税」を主体的に推進しています。地域で取り組むプロジェクトの企画・提案から応援者を募るPR活動まで、積極的に取り組んでいます。※間人弁Tシャツ制作



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
京丹後市地域コミュニティ推進課
（メールアドレス）chiikicom@city.kyotango.lg.jp
（電話番号）0772-69-1050
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）まるっぽ間人PJ　maruppotaiza

@MARUPPOTAIZA

京都府京丹後市　辻　実久

地域コミュニティ活動

～　地域資源(古代米栽培)の継承と里山暮らしの実践　～

基本情報



【年　齢】
25歳
【出身地】
宮崎県宮崎市
【転出元】
宮崎県宮崎市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R6.3～R9.3

協力隊に応募したきっかけ

自給自足の暮らしを夢見る中、現地フィールドワークで訪れた弥栄町吉野校区の山やきれいな水に魅了されました。また、その時感じた地域の方々の温かさに移住を決意しました。

今後の抱負･任期後の目標

継承活動にも関わっている古代米をはじめ、地域で採れたジビエや野菜（自家栽培を目指す）を使った食事を提供するお店を開業したい。ゆくゆくは、里山での暮らしをゆったりと体験していただくオーベルジュを運営したい。

活動内容

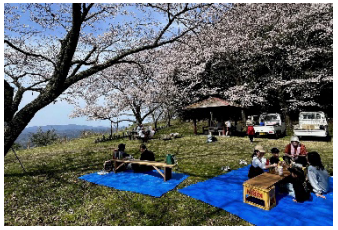
●古代米の継承活動

平城京への献上の歴史が残る古代米を芋野郷赤米保存会の中心メンバーとして、栽培活動はもちろん、収穫後の販路拡大、ふるさと納税の対応、参加型イベントの企画・実施など、継承活動を推進している。古代米を使った名物料理の開発にも着手している。



●地域活動への積極参加

地域で行われているサロン、お祭り、文化祭などの各種イベントの企画・運営の補助。また、新しく地域で取り組んでいる地域版ふるさと納税に関しては、プロジェクトの検討からPR活動まで精力的に推進している。



●里山生活の体現とその発信

お米・野菜・果物の栽培から、獣害対策（狩猟資格取得済）まで、受入地域の方々からの指導のもと、里山の暮らしの体現者として積極的にチャレンジしている。また、その様子をSNSで発信することで、地域への関係人口・移住検討者の増加を目指す。

自身の強みと地域の資源を掛け合わせた事業（飲食店開業）に向けた準備も着々と進行中。



連絡先

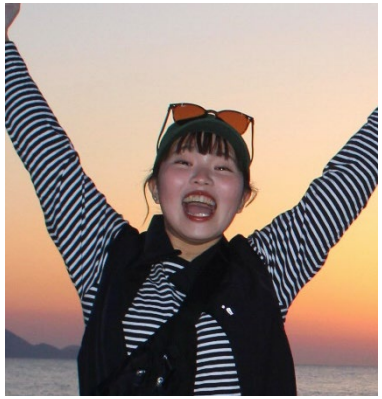
【メディア等の取材連絡先】
京丹後市地域コミュニティ推進課
（メールアドレス）chiikicom@city.kyotango.lg.jp
（電話番号）0772-69-1050
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）@miku.240322

京都府京丹後市　杉本　くるみ

地域コミュニティ活動

～　地域に元気を届けるコミュニティナース　～

基本情報



【年　齢】
25歳
【出身地】
兵庫県加古川市
【転出元】
大阪府大阪市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R7.1～R10.1

協力隊に応募したきっかけ

“より深く人と関わり自分の行動で誰かの生活を豊かにしたい”という想いを持つ中、サッカーチーム〈KYOTO TANGO QUEENS〉を通じて京丹後を知り、何度か訪れるうちに自然の素晴らしさや、地域住民の方々のお人柄・結束力に強く魅力を感じ、地域おこし協力隊のミッションに関心を持ちました。

今後の抱負･任期後の目標

地域の象徴でもある清流：野間川を中心とした自然豊かな野間地域にて、サッカーやタッチフットボールなど様々なスポーツ経験で培った底なしの元気を地域の方々に届け、地域中を元気にしたい。

また任期終了後は、地域の方々と助け合いながら自然の中で生きるという協力隊活動を通じて得た経験を活かし、教育の現場に立ちたい。※教員免許あり

活動内容

●地域活動への積極参加

地域が実施するサロン活動や地域に飛び込み、野間地域ならではの暮らしを体感している。サロンはもちろんお米や野菜づくりを経験する中で、地域の方々との交流を深め関係性を構築することで元気を届けている。また近隣の綾部市のコミュニティナース経験者とも連携し、自分にできることを模索中。

●健康カレンダーの制作

地域を応援してくれる企業（地元出身が帰営する地域外企業）などと連携し、地域版ふるさと納税で集めた資金を活用し、地域の方々が日々の生活の中で、健康を意識し、健康な身体づくりが実践できるカレンダーの制作を進めている。※全戸配布予定

●地域内外への情報発信

地域内の方々へは、地域の広報誌を制作し、地域内の動きをお知らせしている。また、地域外へは、Instagramを活用し、豊かな自然やその自然の中で営まれている暮らしぶりなど、野間地域の魅力をタイムリーに発信している。

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
京丹後市地域コミュニティ推進課
（メールアドレス）chiikicom@city.kyotango.lg.jp
（電話番号）0772-69-1050
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）のまのまど　nomano_mado
（YouTube）　https://youtu.be/x2QOkLeN9tE

和歌山県湯浅町　前口　あかね

～　地域ではぐくまれ続ける関係性づくり　～

地域コミュニティ活動

基本情報



【年　齢】
３０歳
【出身地】
和歌山県和歌山市
【転出元】
兵庫県尼崎市
【前　職】
NPO法人
【活動時期】
Ｒ５.４～Ｒ７.３

協力隊に応募したきっかけ

湯浅町との出会いは学生時代の約１０年前になります。当時、和歌山市を中心に地域活性化を目的としたイベントなどを開催していた際に、湯浅町の方と出会い、大変お世話になりました。大学卒業後、将来的には地元和歌山で地域づくりの仕事がしたいと思い、スキルアップのため県外の地域づくりを行うNPO法人に就職し、コミュニティ運営や、イベント企画などを行ってきました。本来の目標であった和歌山での活動を考えているときに、思い入れのある湯浅町で地域おこし協力隊の募集があると知り、応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

「人づくり、地域づくり、繋がりづくり」を理念とする社会教育の考え方に基づき、継続的な小規模イベントの開催でコミュニティ形成や学びの場を創出し、年に３回～４回の大規模イベントの開催で地域のにぎわい作り、多くの方に湯浅町を知っていただく機会づくりを行っていきます。また、駅前を活用したコミュニティ屋台プロジェクトを通して若者の表現の機会、プラットフォーム作りを行っていきます。任期後は、役場や地域の方から業務委託という形でこれまでの活動を続けていきたいと考えています。

活動内容

●湯浅町キッズサマーキャンプ

令和7年8月20-21日に「湯浅町キッズサマーキャンプ」では、学校の垣根をこえ、それぞれ約60名のこどもたちが参加した。今年は地域の大人との対話をメインにし、異年齢での協働、第三者の大人との関わり、地域連携などを体験した。



●柑食祭2025

柑橘の食べ比べイベント「柑食祭」の運営に入らせていただき、２回目のオープンイベントとして湯浅町伝統的建造物群地区で令和7年2月23日に開催した。町内外から多くの方々が来てくれて、特産品を広く広められることができた。



●ユアサビアフェス2025

令和7年8月23日なぎ広場にて飲食出店13店舗を集め、ユアサビアフェスを開催した。延べ4,000人の来場者数で盛況に終わった。地域の団体も協力してくれ、地域とのつながりも深まった。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人））m.a.hagukumare@gmail.com
（電話番号（個人））　080-6155-8371
【活動の様子を発信しているSNS】
Instagram　@yuasa_to_akanemaru

和歌山県伊都郡高野町　宇奈手　侑子

地域コミュニティ活動

～　歴史と文化を活かし、杖ケ薮を未来へつなぐ　～

基本情報



【年　齢】
37歳
【出身地】
奈良県　田原本町
【転出元】
奈良県　田原本町
【前　職】
書家
【活動時期】
R４.８～ R7.7

協力隊に応募したきっかけ

赴任先の高野町杖ケ薮は、高野七不思議の一つです。ここには、様々な歴史文化風習がありました。しかし、過疎化が進み、畑をしに通うものだけで、誰も住む者がおらず、廃村寸前になっていました。

この区の区長とともに、何とか、この村をもう一度もりあげたいと思いました。

パートナーが笛吹きなので、ここなら、大きな音が出せ夜でも吹けるというのも要因です。

今後の抱負・任期後の目標

２０２２年に生れた我が子が、村で６０年ぶりの誕生ということもあり、テレビや新聞等に我々の活動を取り上げていただき認知していただく機会となりました。おかげで、村の祭りにも所縁のある方々が来ていただけるようになりました。

少しずつ、この土地にも馴染みはじめ、任期後もじっくりと、この村が持続可能な場となるように知恵を絞ってやっていきたいです。

活動内容

●PR活動

任務地を書作や映像音楽、SNSを通じアピールしています。高野町内で展示などもしました。

テレビ和歌山やNHK和歌山,テレビ朝日、テレビ東京にもとりあげていただきました。今後も、メディアにも対応できるように工夫していきます。



●村内の案内や祭りの手伝い

杖ケ薮では月に４日、社に火を灯す、ヒトボシという風習がありました。そのヒトボシを、観光の一つとして復活させようとしています。

各社などの案内を通じ、杖ケ薮の歴史や風習などをお伝えしていきます。

村の祭事の際、餅つきやSNSでの宣伝もします。



●物販物づくり

村で祀られている各社の朱印作り、かつて配布された札のステッカー化、村名にある「杖」を活かし、金剛杖の揮毫や、お遍路巡り後、念珠などに再加工等の商品の開発。

和歌山は虚無僧尺八音楽の重要な場なので、その研究を通じ、古代尺八を見つめてみたい。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）tuegayabu.okoshi@gmail.com

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
QRコード　インスタグラム（左）　youtube(右)
杖ケ薮地域おこし

TUEGAYABU

和歌山県伊都郡高野町　鬼河　ひなた

地域コミュニティ活動

～　旧白藤小学校から、アートで生まれる新たな交流　～

基本情報



【年　齢】
25歳
【出身地】
大阪府大阪市
【転出元】
広島県広島市
【前　職】
学生・芸術家
【活動時期】
R7.5～

協力隊に応募したきっかけ

大学院の卒業後、彫刻等の制作が出来る環境を探していた。学生時代に一度訪れた、Coffeeしらふじがある神谷地区で地域おこし協力隊を募集されることを知り、協力隊という仕事と、神谷地区に興味を持ちました。
協力隊に応募する前から、神谷には何度か訪れ、町の方々と少しお話しました。静かだけど、温かい神谷地区に惹かれました。

今後の抱負･任期後の目標

神谷地区は、参詣道として賑わいを見せた歴史や、訪れやすい秘境としてもっと注目されるべき場所だと感じています。まずは神谷を知ってもらう為の情報発信や、地域でのイベント企画はもちろん、各地のアーティストに呼びかけ、旧白藤小学校でのグループ展示が行いたいです。私含め、芸術家にとって神谷はとても魅力的に映るはずです。

活動内容

●Instagramでの情報発信

協力隊の活動や神谷での生活を発信する為、「Kamiya ni　kiiya!」というアカウントを作り、投稿をしています。
実際に2025年10月には、神谷に興味を持ち、ドイツで活躍 されている画家が神谷に来てくれました。Coffeeしらふじで、刀祢さんやスタッフと交流も行いました。



●夏野菜栽培とのペアリング

神谷の旧白藤小学校を一部リノベーションし、住人の方が　coffee　しらふじというカフェを営んでいます。私は土日祝の営業日はしらふじでコーヒーや食事の提供をしています。接客を通し、移住者の目線から神谷について知ってもらえるように努めています。



●地域活動の参加

coffee　しらふじはこの地区唯一のお店であり、神谷と他の地域を繋ぐ重要な場所だと捉え、小学校を中心に　イベントを企画しています。盆踊り等の町の風習を再び甦らせるとともに、新たにワークショップや、展示 企画なども進行中です。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス)
rogpot76@gmail.com
nagisora3373@gmail.com(作家活動用)

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Instagram @kamiya_ni_kiiya

@KAMIYA_2_KIIYA

和歌山県紀美野町　プリティ セルワニ

地域コミュニティ活動

～シェアハウスを起点とした若者の移住促進と地域コミュニティづくり～

基本情報



【年　齢】
27歳
【出身地】
アーンドラ・プラデーシュ州
【転出元】
インド
【前　職】
ITエンジニア
【活動時期】
R6.11～R9.11

協力隊に応募したきっかけ

私はインドでITエンジニアとして働いていました。
企業での仕事を経て、もっと自然に近い環境で人と触れ合いながら働きたいと思い、地域おこしボランティアを選びました。
子どものころから日本の話をたくさん聞いていて、優しい人が多い国だと思い、日本に来ました。

今後の抱負・任期後の目標

私はあたたかいコミュニティをつくりたいと思い、また、田舎で仕事と私生活のバランスをとりながら暮らしたいと考えています。
田舎町である紀美野町の魅力をもっと多くの人に知ってもらいたい。これからもこうした活動に取り組んでいきたいです。

活動内容

国吉地域の活性化

国吉シェアハウスでの生活を通して、私たちは地域の魅力を外の人たちに発信し、田舎での暮らしを広める活動を行っています。
また、30年ぶりに復活させた盆踊りの伝統行事を繋げることで、地域の活性化と地域住民が集える場づくりにも取り組んでいます。さらに、国吉で仕事を始めたい人や移住を考えている人たちをサポートし、地域内のさまざまな仕事の機会を紹介することで、より多くの人が国吉で活躍できるようなお手伝いをしたいと考えています。





情報発信・広報活動

「note」や「Medium」などのオンラインプラットフォームを活用し、私たちの活動やイベントの様子を発信しています。
また、地域の皆さんに最新の取り組みを知ってもらうために、国吉で毎月ニュースレターを発行しています。
このニュースレターでは、地域で行われているイベントやプロジェクト、ボランティア活動などを紹介し、住民同士の交流を促進しています。





連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（職場））preethiservani.kimino@gmail.com
（電話番号（職場））070-9185-0621

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Knotscommunity instagram

KNOTS_WAKAYAMA

島根県浜田市　上代　美帆

地域コミュニティ活動

～　美又共存同栄ハウス事業　～

基本情報



【年　齢】
28歳
【出身地】
島根県松江市
【転出元】
島根県松江市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R7.5～

協力隊に応募したきっかけ

大学時代、浜田市金城町にあるシェアハウスに住み、地域の方と関わる中で名前や顔を覚えていただいたり、やってみたいことに快く協力・応援してもらえたことがとても嬉しく、忘れられない思い出になりました。

卒業後は、地元の松江市の会社に就職しましたが、大学時代のつながりは途切れず、多い時には月2～3回浜田市を訪れていました。

そんな時、学生時代から関わりが深かった金城町の美又地域にある「美又共存同栄ハウス」で協力隊の募集があることを知り、応募に至りました。

活動内容

●「ここに来ればみんなに会える」場づくり

「美又共存同栄ハウス」は、地域から長く愛されてきた築88年の旧農協施設をリノベーションし、宿泊やイベントができる交流施設です。この施設を中心に、宿泊や研修の利用対応、イベントの企画・補助を行っています。

また、毎週金曜日の10:00～15:00は、オープンデーとして施設を一般開放し、建物ガイドやスマホ・パソコン相談窓口を実施しています。





●美又の地域資源発掘に向けたイベント開催や商品プロモーション

美又共存同栄ハウス周辺の美又地域を学ぶ「ローカルスタディ」や、金城町「さざんか祭り」での活動紹介展示を実施しました。

また、美又温泉の入浴剤の箱パッケージデザインにも取り組みました。



●地域住民とのつながりづくり

美又共存同栄ハウスのある追原郷の自治会に参加しており、毎月の集金常会への出席や、自治会行事、地域イベントへの参加を通じて、住民との交流や地域活動の支援に取り組んでいます。



今後の抱負・任期後の目標

美又共存同栄ハウスを軸に、美又地区をはじめ、金城地域のファンの方を増やしていきたいです。

地域の方の想いが詰まった建物を、さらに多くの方に利用していただける企画づくりや情報発信に取り組んでいきます。

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（職場））
mimatahouse@gmail.com

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（公式HP）https://mimatahouse.com/
（Instagram）https://www.instagram.com/mimatahouse/

Instagram
@mimatahou

岡山県岡山市　室屋 恭平

地域コミュニティ活動

～　町の魅力再発見！まずは地域に住む人に表町の良さを伝え隊！　～

基本情報



【年　齢】
38歳
【出身地】
大阪府東大阪市
【転出元】
大阪府大阪市
【前　職】
個人事業主
【活動時期】
R７.１～

協力隊に応募したきっかけ

以前、岡山県倉敷市で5年ほどサラリーマンとして働いていました。岡山で出会ったお客様やプライベートでできた友人がいい人ばかりで、『第二のふるさと』と感じるほど大好きな場所になりました。いつか岡山に貢献したいと思っていたところ、表町商店街での募集情報を見つけ、自身のスキルを提供できればと考えて応募しました。

今後の抱負･任期後の目標

地域の歴史や魅力をしっかりと理解し、その良さを大切にしながらも、「よそ者」だからこそできる発想で商店街の課題解決に取り組んでいきたいです。
２年目は、1年目に主催したイベントの継続実施、地域の皆様との関係深化、任期後の収益の柱を作ることに取り組んでいきたいと思います。

活動内容

●商店街の情報発信

表町商店街の公式Instagramの運用をしています。商店街 のイベント情報や、組合員様にインタビュー・写真撮影をさ せていただき投稿内容を作成しています。また、月に一度ラジオ番組の地域情報発信のコーナーに出演させていただき商店街のイベントや店舗情報を発信したり、商店街の新規出店店舗のコーナー出演の斡旋をさせていただいています。



●商店街の賑わい創出

表町商店街で自身が主催して古着屋さんのポップアップイベントを実施しました。2日間で約3000名の方が来場し、普段の表町商店街と違う雰囲気を楽しんで頂きました。今後、年に3回を目標に継続開催し、商店街の賑わい創出と出店誘致につなげていきたいと考えています。



●商店街の空き店舗解消

商店街や周辺地域の方とのつながりを生かし、商店街の空きテナントへの出店誘致をしています。着任から10か月で3件のテナントを誘致しました。
地域の皆様と密にコミュニケーションをとることで、出店希望者の情報が入ってくる状況を作っています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人））muroya.omotecho@gmail.com
（電話番号（個人））080-3033-6721

岡山県井原市　平城　智恵子

地域コミュニティ活動

～　地域に眠った宝を「起こし」、人が「お越し」になる地域づくり　～

基本情報



【年　齢】
62歳
【出身地】
福岡県嘉麻市
【転出元】
広島県広島市
【前　職】
ボランティア団体職員
【活動時期】
R6.4～

協力隊に応募したきっかけ

まちおこしや地域づくりに興味があり、社会教育分野やボランティア団体で働いてきたので、その実績を活かしたいという思いがあった。たまたま訪れた井原市の風土が気に入り、地域情報を検索していたら、井原市いずえ地区の地域おこし協力隊募集の情報を見つけた。活動内容がピタリと合っていたので迷わず応募した。

今後の抱負・任期後の目標

「古本で出会い、古本で交流、古本で地域おこし」と銘打って、一箱古本市をこれまで２回開催した。今後も引き続き継続して開催し、任期後は軽バンによる移動書店を開業することを目標にしている。地域では図書館や書店へのアクセスが課題なので、子育て中の親子が絵本やおもちゃに触れる機会を届けてゆきたい。また、いずえ地区の歴史研究会による、史跡案内冊子の紹介にも力をいれたい。

活動内容

●いずえ地区まちおこし協議会の運営サポート

部会単位でまちおこし活動を企画し自主的に取り組んではいるが、会計や事務処理を担う人材が不足しているので、サポートしている。



●いずえ地区内の広報発信、地域活動の記録

・情報誌「ふるさと出部」（Ａ４版、２０ページ、２５００部、年３回発行）の編集、発行とSNSの更新
・地域イベントの写真を撮影し、地域の記録として保存



●「一箱古本市いずえ」の開催

フリーマーケットとしての一箱古本市開催のコーディネーター、推進役を担当している。実行委員会を結成し、地域外からの出店者と地域住民の交流が深まるような運営をしている。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】　いずえ地区まちおこし協議会（いずえ公民館内）
（メールアドレス（職場））izue-km@ibara.ne.jp
（電話番号（職場））0866-62-3960

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（インスタグラム）　hitohako_huruhonichi_izue

HITOHAKO_HURUHONICHI_IZUE

岡山県井原市　小野　美佳

地域コミュニティ活動

～　住民に寄り添い、笑顔と元気を増やす地域活動を　～

基本情報



【年　齢】
50歳
【出身地】
岡山県倉敷市
【転出元】
岡山県倉敷市
【前　職】
自治体会計年度任用職員
【活動時期】
R７.６～

協力隊に応募したきっかけ

子育ても終わり、自分の経験を活かして地域や人の役に立つことがしたいと思ったのがきっかけです。
両親の故郷でもある井原市なら、より愛を持って高齢者や地域の方に寄り添い、安心して暮らせる地域づくりに貢献できると思いました。

今後の抱負･任期後の目標

移住者が増え、地域ぐるみで子育てできる町。
住民同士が交流を深め、支えあい、いつまでも健康で長生きできる居場所づくりに尽力したいです。

活動内容

●地域住民の交流拠点

空き家を活用した居場所づくり。
毎週金曜日の１０時～１７時まで、地域の交流拠点として、お茶を飲みながらおしゃべりを楽しんでいただいています。特産品の野草茶の試飲や手作りおやつ、差し入れなども来られた方々に提供し、ハンドセラピーなども行っています。



●地域の情報発信

のがみタイムズの発行。
地域の行事や、協力隊が開催するイベントなど野上町内の情報誌を毎月発行しています。季節の花々なども喜ばれ、楽しみにしてくださっています。



●地域住民への相談支援

高齢者見守り訪問。
地域の高齢者宅に訪問し、困りごとの相談支援。
１人暮らしの方への健康状態など、３０分くらいお話を聞くだけでも喜んでいただけています。
家族構成、電話番号などもお聞きし訪問リストを作成しています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人）mikaono413@outlook.jp
（電話番号（個人）　）090-2009-7744

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（のがみぐらし）https://nogami.club



岡山県岡山市　佐倉　涼太

地域コミュニティ活動

～　eスポーツを活用した地域活性化！　～

基本情報



【年　齢】
24歳
【出身地】
岡山県新見市
【転出元】
埼玉県さいたま市
【前　職】
サービス業
※主にeスポーツイベントを担当
【活動時期】
R7.3～

協力隊に応募したきっかけ

私は高校生の頃にeスポーツの全国大会で実績を残し、その後プロゲーマーやeスポーツイベントディレクション、教育者として活動してきました。 これらの経験を通して、イベントには人をつなぎ、感動を生み、地域や世代 を超えて人を動かす力があると実感しました。その力を、商店街はもちろん のこと、県内・地域コミュニティで活かしたいと思い、地域おこし協力隊に応募しました。

今後の抱負･任期後の目標

既存のイベントをお手伝いするのはもちろんの事、商店街の皆様や地域の教育機関、eスポーツ関連団体と連携し、自身の強みを生かしたイベントを運営していきたいと思っています。また、地域企業や団体と の連携を深め、企業交流イベントや家族向けイベントなど、多様な形で地域 の活性化に貢献したいと考えています。またSNS発信では写真を活用した投稿を通じて商店街の魅力を多様な世代へリーチしていきたいと存じます。今後は動画作成も視野に入れて活動していきたいと思います。

活動内容

●既存イベントのお手伝い



ゴールデンフェスタ・よりより夜市・サタデーナイトカーニバル・大誓文払いなど既に文化として根付いているイベントのお手伝いを行っています。
商店街の特色の確認や地域住民との交流の機会をいただきながら、商店街イベントの難しさを学ぶ機会もいただいております。

●商店街イベント“マチナカ学祭”の制作



文化が途切れてしまったイベントを復活させるべく自身が初めて行ったイベント制作です。駅前商店街に岡山県内の大学（サークル）・専門学校（サークル・部活動）・高校（学校・学科単位）へ出店依頼を行い、マチナカで学祭を行いました。これにより若い世代へ商店街の魅力を伝える機会となりました。

●新規eスポーツイベントの制作



ビックカメラ岡山駅前店様と岡山ビジネスカレッジビジネスeスポーツビジネス学科のイベントサークルの皆様にご協力いただき、eスポーツ大会を開催に向け企画・制作しております。
既にeスポーツで活性化を図っている岡山駅前商店街のeスポーツの聖地化へ尽力させていただきます。

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人））akabufflol@yahoo.co.jp
（電話番号（個人））080-2908-9319

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://www.instagram.com/okayama_shoutengai/

@OKAYAMA_SHOUTENGAI

岡山県岡山市　北島　竜平

地域コミュニティ活動

～表町商店街のことなら、一回聞いてみられぇ～

基本情報



【年齢】
３５歳
【出身地】
大阪府大阪市
【転出元】
大阪府大阪市
【前職】
建設業
【活動時期】
R6.10/1～

協力隊に応募したきっかけ

数年前に仕事で岡山へ訪れた際に、ご縁のあった表町商店街の方から、地域おこし協力隊の制度の情報を教えていただいたことがきっかけでした。
全国的にも増えつつある商店街の空き店舗を再稼働に繋げること、年々増えつつあるインバウンド観光で訪れた方に「来て良かった」や「また来たい」と思ってもらえるような商店街にすることを目指して、今回応募させていただきました。

今後の抱負・任期後の目標

空き店舗や未活用物件の再稼働に繋げたり、現在も営業を続けている老舗のお店などの売上向上にも繋がるイベントを開催したり、地域の方々と一緒に「岡山に来たなら、表町商店街へ行きゃえぇがぁ」となるような商店街にしていきます。

活動内容

●未活用物件の再稼働

約２０年前に元店主さんの急逝から、シャッターを閉じたままだった食器屋。時を超えて。２０年ぶりの閉店セールを行うために、清掃や店舗の運営を商店街の方々と一緒に行いました。



●スタンプラリーイベントの実施

猛暑日が続くと商店街の売り上げが下がるという店舗の方々のお声をいただき、夏でも商店街に行ってみたくなるような企画を表町商店街の公式Instagramと連動して開催しました。



●SNS・地域メディアへの情報発信

表町商店街の新しい店舗やイベント情報、おすすめスポットなどの情報を、地域ラジオ・Instagramを通して発信しています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（職場））okayama.ryohei.k@gmail.com
（電話番号（個人））080-5709-6725
【活動の様子を発信しているSNS】
（地域おこし協力隊）　（公式 表町商店街）

広島県廿日市市　狩山　穂香

地域コミュニティ活動

～　"やってみよう"の一歩で地域に笑顔を届けたい　～

基本情報



【年　齢】
27歳
【出身地】
広島県竹原市
【転出元】
広島県広島市
【前　職】
栄養士
スポーツジムフロントスタッフ
【活動時期】
R5.5～

協力隊に応募したきっかけ

現在、地域支援員の活動とは別にラジオ局でも働いています。そこの局長から地域支援員を紹介してもらったのがこの活動を知るきっかけでした。そこから、現地域支援員の方や以前地域支援員されていた方のお話を聞き、興味を持ったことが応募をしたきかっけです。
廿日市の商店街のたくさんある魅力を多くの人に知ってもらえる活動ができればと思っています。

今後の抱負・任期後の目標

今後は商店街の情報発信や空き店舗の情報収集、活用方法など商店街の皆さんと一緒に取り組んでいきたいです。
また、行政や事業者の方との繋ぎ役になり、今まで実行に移すことが難しかった部分でサポートができたらと思っています。

活動内容

●商店会イベントの運営サポート

商店街で開催されるイベントの企画から携わり、出店者集めやチラシの作成をしたり、当日の運営も参加させていただいています。
新たなことにチャレンジしながら、イベントが継続できるようサポートを行っています。



●学生との連携

若い方に商店街をもっと知ってもらおうと、商店街の近くにある大学の学生とまち歩きを実施しました。
商店会会長にガイドを依頼し、お店や街の歴史など紹介していただきました。
また、2つの商店会の共同出店という形で大学祭にも参加させていただきました。



●SNSや紙媒体を活用した情報発信

Instagramと紙媒体を活用し、店舗紹介やイベント紹介などを行っています。
昨年度に引き続き、「商店街廿っけん」という冊子を作成し、今年度は発行回数を増やし新聞折り込みでも配布しています。Instagramでは、簡単な動画も作成し、より多くの方の目に止まるように工夫しています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（職場））sangyo@city.hatsukaichi.lg.jp
（電話番号（職場））0829-30-9140
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
地域支援員ホームページ　https://201community-supporters.com/
商店街活性化担当地域支援員Instagram　@rivero_0425

山口県周南市　上野　由宇

地域コミュニティ活動

～　住民で支え合い暮らし続けられる仕組みづくり　～

基本情報



【年　齢】
44歳
【出身地】
広島県広島市
【転出元】
広島県広島市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R7.8～

協力隊に応募したきっかけ

以前から近隣県への移住希望があり、特に魅力的な景観やスポットが多い山口県への移住を検討していました。

コロナ禍を経て自身を見つめ直す中で、個人事業主として生計を立てる道を模索するようになりました。協力隊は移住・定住の支援、起業支援の体制が充実している事を知り、山口県の協力隊で検索。周南市須金地域の見学会に参加し、自然豊かな土地柄、個人事業主の先輩がたくさんいらっしゃる事に魅かれて、応募を決意しました。

今後の抱負･任期後の目標

まずは地域の方々に地域おこし協力隊員として受け入れてもらえるように、地域の方々との交流に一層励んでいきます。地域との信頼関係を深めて、徐々に実績を積み上げていけたらと考えています。

任期後は地域に貢献ができて、自身の生活の基盤となるような仕事ができるような道を模索中です。がんばります。

活動内容

●地域内の関係性づくり

まずは地域をよく知り、自分を知ってもらえるように、様々な地域行事や、イベントに参加しております。まだまだ勉強する事は多いですが、少しずつ前進していると実感できています。

最近は消防団にも加入し、地域の一員としてさらに溶け込めるように日々奮闘中です。



●関係人口を創出するSNSでの情報発信

地域住民が運営するフォトコンテンストの運営支援等をお手伝いしました。

人口の少ないこの地区に、地区外から多くの方が来てもらえるよう情報発信をしたり、地域の皆さんと一緒にイベントを企画したり、地域の魅力を発掘・発信していきます。



●地域の活動拠点の運営改善への参画

地域の観光資源、梨とぶどうの観光農園「須金フルーツランド」の入り口にある「ふれあいプラザ須金」を地域活動の拠点として、プラザを盛り上げて、維持していく活動、そのほか新商品の開発や高齢者福祉など、色々なことに挑戦していきたいです。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス） ueno.chikiokoshi2025@gmail.com
（電話番号）0834-86-2201

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（周南市地域おこし協力隊）Instagram

佐賀県唐津市　椎葉　陽一

地域コミュニティ活動

～　唐津七つの島と応援者をつなぐ！コミュニティづくりの仕事　～

基本情報



【年　齢】
５６歳
【出身地】
宮崎県日向市
【転出元】
長崎県新上五島町
【前　職】
地域おこし協力隊
【活動時期】
R６.５～R９.３

協力隊に応募したきっかけ

ミッションは「唐津市内にある七つの島と、唐津市民を中心とした島外の人たちとをつなぎ、島を応援するコミュニティを醸成すること」とされているが、既に経験した事がある有人離島での地域おこし協力隊という活動が楽しく、再度離島をフィールドとした協力隊としての活動先を求めていたところ、唐津市の募集内容であった上記ミッションが自分の望みと一致し、取り組みがいを感じたために応募した。

今後の抱負・任期後の目標

これまで以上に既存の島ファンを見付けて繋がり、並行して新規の島ファンづくりのために、SNSを活用した島の行事の紹介や、自主企画のイベントの開催を行いたい。

任期後のイメージは、七つの島を訪問した方達が、良い思い出と一緒に持ち帰る事ができる記念品的なモノ作りに関われたらと考えている。

活動内容

●敬老祝いの記念写真撮影会

以前は記念写真やスナップ写真を撮るカメラマンだったので、そのスキルを活かした撮影会を担当地域で開催し、2年間で120名以上を撮影している。撮影の合間にその土地の歴史を教わり、暮らしの中での困り事を聞く機会としながら各地区の方々と交流を深めている。



●島内散策×ポタリングを提案

定期船の運行時間により滞在可能時間が限られる離島において、徒歩よりも散策範囲を広げられる「電動アシスト付き自転車」というツールの使用を提案している。散策中は地区に住む方々との交流を行い、「景色と人」ではなく「人と人」を繋げる活動としている。



●交流イベントの開催

同一ミッションの丸山隊員と共に交流イベントを開催している。
令和7年度は、1つの地区をモデルケースに参加者を募り、Day1で魅力発見、Day2でその活かし方のイメージ作り、Day3で地区の方々への紹介及び意見交換という構成で実施する。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人））7shima.shiiba@gmail.com
（電話番号（職場））0955-72-9220

【活動の様子を発信しているインスタグラム】
（唐津暮らし）@8_carat.shiiba
（共同インスタグラム）@8_carat.karatsu

@8_CARAT.SHIIBA

佐賀県唐津市　丸山　歩燦

地域コミュニティ活動

～　唐津七つの島と応援者をつなぐ！コミュニティづくりの仕事　～

基本情報



【年　齢】
２７歳
【出身地】
長崎県長崎市
【転出元】
兵庫県尼崎市
【前　職】
事務
【活動時期】
R６.５～R９.３

協力隊に応募したきっかけ

都会での生活に疲れを感じて、実家がある九州への移住を考えていました。移住先は「海のある地域」を条件に、埼玉出身の夫と長崎出身の私がそれぞれ帰省しやすい場所を探していました。その折、以前訪れて風景の良さが印象に残っていた唐津の面白そうな募集を見つけて、思い切って応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

現在は、島と島、そして島と本土とが海を越えて繋がるようなイベントを企画・開催をしています。イベント自体はあくまで「きっかけ」に過ぎません。その場を通じて、日常の中でも人と人との繋がりが深まっていくことが理想だと考えています。少しずつそうした関係が形になり始めているので、任期の間にその輪をさらに広げ、つながりをより濃くしていけたらと思います。今後も「繋がる機会」や「関係を続けられる場づくり」を大切にして活動していきたいです。

活動内容

●島を知ってもらうきっかけづくり

「島あるき」というイベントをこれまでに３回開催しました。このイベントは、「島に興味はあるけど1人で行っても楽しみ方が分からない」という方々の声に応えて実施したものです。島の特色に合わせてコースや内容を変えています。島の方に案内をしてもらうこともあります。



●島を知ってもらうきっかけづくり２

島で活動されている事業者の方々と協力し、イベントを開催してます。飲食店と連携して島食材をつかったランチ付きワークショップを開いたり、高齢者施設のスペースをお借りして郷土料理作り体験を行ったりしています。



●交流会の開催

島同士、また島と本土が繋がっていくことを目的に交流会を開いています。島で活動されている方をスピーカーに招いて活動を紹介してもらったり、参加者全員で島を歩いてお気に入りの場所を見つけ地図にまとめたり、島について考えるグループワークを行ったりしました。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人））7shima.maruyama@gmail.com
（電話番号（職場））0955-72-9220

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（個人インスタグラム）@8_carat.maruyama
（共同インスタグラム）　@8_carat.karatsu

熊本県上天草市　太田　弘樹

地域コミュニティ活動

～　地域おこしコーディネーター　～

基本情報



【年　齢】
５４歳
【出身地】
熊本県上天草市
【転出元】
熊本県熊本市
【前　職】
タレント(現在も一部継続)
【活動時期】
R6.5～R9.4

協力隊に応募したきっかけ

中学卒業と同時に故郷を離れ、３7年間生活してきました。気がつけば、故郷を離れた期間が、暮らしていた時間よりもずいぶん長くなってしまい、自分で選んだ道ですが、長年タレントとして活動する中で、故郷・上天草に対する想いが強くなり、もっと上天草と関わりのある時間を増やしたい、何か今の自分に役に立てることがないかと思っていた中、地域おこしコーディネーターという上天草全体に携われる活動内容に魅力を感じ、応募させて頂きました。

今後の抱負･任期後の目標

今後の抱負としては、現在取り組んでいる情報サイトや活動の拠点となる人と情報が集まる場所づくりをしたいと考えています。地域の人や観光客に開かれた拠点が理想です。任期後の目標としては、今取り組んでいる着地型観光サービスの事業化、長期実践型インターンや兼業副業をはじめとした地域人材などのコーディネート業を中心にしながら情報発信活動も取り組んでいきたいと考えています。

活動内容

●地域課題の可視化

地元事業者・観光地・イベント関係者への取材・ヒアリングを通じて、地域の現状や課題を把握し、新たな地域おこし協力隊の案件組成や市の担当部署との調整を行い募集要項の作成を行う。
また、取材内容を基に記事・映像・SNSでの発信を行っている。

●地域課題解決に向けたマネジメント業務



ヒアリングによって分かった地域課題を解決するために、本市では初の取り組みとなる「上天草ベンチャー留学」を実施。インターン生が１か月間、ただの職場体験ではなく、これまで企業がやりたかったけど出来なかったことを企業と一緒に成功に向けて取り組む事業を実施。３事業所５名の実績。

●地域の「ひと」「モノ」「こと」についての情報発信

温泉、アクティビティなどではなく、地域でのヒアリングを行っていく中で感じた地域に居を構える「人」に焦点を当てたサイトを作成。地域の空気感や熱量を伝える“場”、他の地域とを結ぶつながりの“場”、新たな魅力の再発見の“場”。「あまくさのファンを増やすきっかけのポータルサイト」を目指し日々取材・執筆・投稿を行っている。

AMAKUSA AREA ばっ! あそびば･かたりば･たまりば

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（職場））kikaku@city.kamiamakusa,lg.jp
（電話番号（職場））0964-26-5539

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（あまくさエリアの情報サイト“ばっ!”）https://amakusa-ba.com

熊本県天草市　御所浦島　鶴田　桃子

地域コミュニティ活動

～島の暮らしのデザイン～

基本情報



【年　齢】
25歳
【出身地】
大分県宇佐市
【転出元】
東京都豊島区
【前　職】
武蔵野美術大学　学生
【活動時期】
R7.4～

協力隊に応募したきっかけ

武蔵野美術大学と天草市の連携協定により実施された「天草産学連携プロジェクト」に在学中に参加し、天草で１ヶ月暮らす中で御所浦島に訪れたのが最初のキッカケ。
その後、島の暮らしにスポットを当てた卒業制作に１年間取り組んだ。その中で本当にたくさんの方々の生活や考え方、生き様に触れていくうちに、島の皆さんと暮らしたくなり、大学の恩師などの協力もあり、協力隊に応募した。

今後の抱負・任期後の目標

今年度以上に、周りに住んでいる島民の方々と一緒にものづくりをしたり、イベントを行ったりしていきたい。まずは島内で盛り上がって、それが町を越えて伝わることが目標。
たくさんの人が重なって暮らしており、自然に素早く手伝ってくれる。私は知らないことが多く、ご好意のお返しもまだまだ下手なので、もっと注意深く生活を観察する。

活動内容

●島内のデザイン業務に取り組む

観光案内のマップやチラシ、ポスター、地域のお店のロゴ作りなどのお仕事をいただいている。
デザイン練習のため、毎日ひとつグラフィックを作り、SNSに投稿している。



●武蔵美生　流木作品展示会開催

御所浦の流木を使って卒業制作を行っているという武蔵美の後輩に声をかけて、御所浦で展示を開催してもらった。海まで軽トラで行き、巨大な流木を運び島民と準備。離島だけど3日間で120人の方々がいらっしゃった。多い来場者だと思いたい！



●古民家を、人が集まる場所へ

元々酒屋だった店舗部分を改修していただき、住みながら拠点を作っている。再び少しずつ、多くの人たちが集まる場所になってきている。
イベントがない、通常時にも持って気軽に入っていただけるような店舗内のデザインを考案していく。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
メールアドレス（個人）otsuruturuturu@icloud.com
電話番号（個人） 070-2395-1815

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Instagram　@nakanna.jp. 芦北屋商店

熊本県南関町　佐藤　慧

地域コミュニティ活動

～　図書館を起点に、人と地域の新しいつながりをつくる　～

基本情報



【年　齢】
40歳
【出身地】
福岡県北九州市
【転出元】
福岡県北九州市
【前　職】
司書
【活動時期】
R7.4～

協力隊に応募したきっかけ

司書としてのキャリアが10年を越え、この先の自分のビジョンについて考えているときに、南関町地域おこし協力隊の募集について知りました。
歴史豊かな町に新しい図書館ができ、地域の多世代交流の拠点となる。そして、これまでの知識や経験を活かしながら地域の方のお役に立てるという点に魅力を感じ、応募を決意いたしました。

今後の抱負・任期後の目標

開館から1年が経ち、地域の方々や関係者の皆さまに支えていただきながら、さまざまな業務や取り組みを進めてくることができました。任期も折り返しを迎え、これまで構築してきた各業務のフローや運営の仕組みを、今後は自分だけが担うのではなく、関係者へ確実に引き継ぎ、任期終了後も継続して運営できる体制を整えていきたいと考えています。

活動内容

■　プレイングマネージャーとして図書館運営をサポート

2025年10月に開館した南関町図書館〈このみch-i〉で、司書・管理職経験を活かし、図書館運営全般を支援しています。円滑な業務運営に向けた体制整備に取り組み、開館9か月で初年度来館者目標10万人を突破。今後は業務の整理・共有を進め、持続的な運営体制の構築を目指します



●本をツールにしたコミュニケーションの場づくり

本を通じた交流の場として、地元企業やカフェ事業者と連携し、ブックコミュニティを立ち上げました。月1回「本が読みたくなる話」と題したトークイベントを開催。経営者、編集者、ライターなど多様なゲストを招き、本をきっかけに現役世代が学び、交流できる場をつくっています。



●南関町交流拠点施設〈ukara〉の運営

旧温浴施設を改修して整備された南関町交流拠点施設〈ukara〉で、施設の活用促進に取り組んでいます。今年度は、映画上映会や企業と連携した焚火イベント、カフェ事業者と共催したマルシェなど、多彩な企画を実施。地域の交流や学び、にぎわいを生み出す新たな活用方法を提案しています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人））biblio.824lib@gmail.com
（電話番号（職場））　0968-53-3766
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
南関町交流拠点施設〈ukara〉Instagram
https://www.instagram.com/nankan.kouryuukyoten/

大分県大分市　平野　綾子

～　地域の魅力を次世代へ　～

地域コミュニティ活動

基本情報



【年　齢】
39歳
【出身地】
大分県大分市
【転出元】
東京都練馬区
【前　職】
個人事業主
（舞台芸術 / 福祉関係）
【活動時期】
R6.4～R9.3

協力隊に応募したきっかけ

腰の手術後、静養するため大分の実家に一時帰省をした際、大分の魅力を再発見し、「本当の豊かさとは何か？」ということを考えるようになりました。大分と20年間前職の活動拠点であった東京、この先どちらで生活するか悩み始めた矢先に地域おこし協力隊の制度について知りました。同じ時期に、地元である大分市大南地域で活動する協力隊員を募集していたことも後押しとなり、応募に至りました。

今後の抱負・任期後の目標

任期中は地域の団体と連携を取りながら、次世代の子どもたちが地域の魅力を感じ郷土愛を育むことができるようなイベントの企画ができたらと思います。
また、私が活動している地域では放置竹林が地域課題となっています。任期後は放置竹林の対策に取り組んでいる団体と連携しながら、食用竹炭や竹チップを用いた酵素浴を新たな地域の名物にするなどポジティブな特色に変えられるような取り組みをしたいと考えています。

活動内容

●地域コミュニティ支援

私が活動している地域には、江戸時代末期から残る街並みを保存する街づくり団体や、豊かな自然を次世代に継承するため森林整備を行っているNPO法人があります。慣れ親しんだ素晴らしい景色があるのは先人たちの努力の結晶だと感じています。その方たちの思いをくみ取りつつ、団体の活動を支援しています。



●地域資源を活かしたイベントの企画および情報発信

地域で活動する団体と連携したイベントの企画や運営支援をしています。
各団体の高齢化に伴う後継者不足を解消するために、積極的にSNS等による情報発信を行っています。
また、次世代の地域の子どもたちが印象に残るような企画を考えることを心掛けています。



●地域の新たな魅力の発掘および情報発信

一度地元を離れたからこそ気がつく魅力があります。豊かな自然、歴史的建造物、郷土料理等は地元の方にとっては当たり前にあるものですが、地域外の方にとってはそうではありません。そんな地元の魅力を発信するべく、画像・動画を市協力隊Facebookや市公式Youtubeに投稿しています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）dainan@city.oita.oita.jp(職場)
unfruitful.info@gmail.com(個人)
（電話番号）097-597-1000(職場)
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（大分市地域おこし協力隊Facebook）
https://www.facebook.com/oitashichiikiokoshikyouryokutai?locale=ja_JP

宮崎県都農町　入江　庸子

地域コミュニティ活動

～　定住促進のためのコミュニティづくり　～

基本情報



【年　齢】
43歳
【出身地】
千葉県松戸市
【転出元】
東京都練馬区
【前　職】
整理収納アドバイザー
【活動時期】
R6.7～R9.3（予定）

協力隊に応募したきっかけ

旅行好きが高じ、ひと味違った旅体験をしたいと感じていた時に、株式会社タイミーの観光しながら暮らしと仕事体験ができるタイミートラベルのサービスを知りました。それをきっかけに訪れた時が初・宮崎県で、1週間滞在したのが都農町でした。国内での移住願望はゼロでしたが、地域の方の温かい人柄、気候の良さ、海・川・山が隣接し滞在中に見た虹の大きさに、憧れのハワイの雰囲気を感じました。都農町で暮らすことができたら心地が良さそうと思い、この時に協力隊という制度も初めて知り、関心を持ち応募しました

今後の抱負・任期後の目標

町内での交流ひろばの認知度を向上させ、より多くの町民の方が集う居心地が良い場所づくりを行っていきたいです。今後、朝食交流会や柚子胡椒づくり交流会、町内事業者の方とコラボレーションをした交流の機会などを創出していく予定です。移住者、地域おこし協力隊及び都農町議員との意見交換会も企画しています。協力隊卒業後は都農町内で、交流の場づくりや町のお困りごとをヒアリングして問題解決できるような場づくりを行っていきたいと考えています

活動内容

●ドレッシングのレシピ開発・パッケージデザイン・販売

町の課題であった規格外・廃棄作物を有効活用するために、加工品づくりを行いました。未経験分野ということもあり、県が主催する研修を受講し、コンセプト固めから行い、町内の道の駅で販売、現在はふるさと納税の返礼品にも出品しています



●交流ひろばの運営

定住促進を目的とした、移住者と地域住民が気軽に立寄れる交流の場を週3-4日開放しています。
通常は、町民の方がお喋りをしに立ち寄ったり、休憩できる場として開放し、年に数回イベントを行い、その時のテーマを元に大人数で交流し、町内の顔見知りを増やし定住しやすい環境づくりを行っています



●規格外品有効化の一環

規格外・廃棄作物の有効化の一環で、複数の農家さんを周り、実際に農作業を行いました。譲っていただいた規格外農作物を使い、町内の寮で生活する高校生と調理実習を行いました。規格外農作物をこども食堂にお渡ししたり、買取業者さんにお繋ぎすることで、収益化し、農家さんの所得向上への取組みも行っています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人））irieyokomail627@yahoo.co.jp
（電話番号（個人））080-4875-0627
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）
https://www.instagram.com/tsuno_kyoryokutai_irie?igsh=azRnbzUxNHg3Ymcz

@TSUNO_KYORYOKUTAI_IRIE

鹿児島県屋久島町　藤本　将也

地域コミュニティ活動

～　観光案内所の運営（観光案内及び情報発信）～

基本情報



【年　齢】
31歳
【出身地】
兵庫県神戸市
【転出元】
兵庫県神戸市
【前　職】
アルバイト
【活動時期】
R6.4～

協力隊に応募したきっかけ

この地域おこし協力隊へ応募しようと考えたきっかけは島民の方からのお誘いでした。学生時代に口永良部島で３年間魚類の研究活動を行い、その生活の中で島民の方と良好な人間関係を築くことができました。卒業後も連絡を取っていましたが、地域おこし協力隊の募集がある際に受けてみればとお声をかけて頂きました。私も口永良部島の自然環境が好きでこの島で生活したいと考え地域おこし協力隊へ応募しました。

今後の抱負･任期後の目標

口永良部島は噴火から10年目を迎えました。人口の減少や高齢化により行事の担い手不足が問題となっています。私は現在2年目の隊員として定住に向けた活動を進める準備を行っています。任期後は口永良部島に定住し地域の活力を維持できるよう貢献したいと考えています。

活動内容

●地域のマンパワー

100人の島の1人として、地域行事や島民の手伝いに取り組んでいます。
草刈り・温泉掃除などの日々の活動から、地域行事のお手伝いまで、地域のマンパワーとして日々奔走しています。



●観光案内、情報発信

観光案内所の運営の傍ら、 SNSを通して観光情報や災害情報など、小さな島の情報発信活動をしています。また観光情報を充実させるためにアンケート調査を実施し来島者の意見を収集しています。



●定住活動

定住活動として漁業従事の補助や狩猟免許を取得し有害鳥獣駆除への参加の準備を進めています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス　個人）japango10@gmail.com
（電話番号　個人）080-1193-8223

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Facebook）https://www.facebook.com/YakushimaTownChiikiokoshi

06 漁業・水産業

福井県小浜市　坂田　凱斗

漁業・水産業

～　牡蠣で小浜を盛り上げる　～

基本情報



【年　齢】
21歳
【出身地・転出元】
大阪府大阪市
【前　職】
なし（高校卒）
【活動時期】
R5.5～R8.4

協力隊に応募したきっかけ

私は幼いときから漁師になることが夢でした。そのことから、大阪で行われた漁師就業フェアに参加した際、小浜市の漁業についてのお話をお聞きしました。その後、小浜市での現地研修や4日間のインターシップを通し、私の好きな海や自然に溢れた小浜市に大変魅力を感じ、この小浜市で漁業を学びたいと強く思い、志望しました。

今後の抱負･任期後の目標

任期後は引き続き小浜市でカキの養殖を行い、従来の「若狭かき」を中心に、令和７年にブランド化した「若狭うららかき」、「若狭こはるかき」の養殖を拡大していきたいと考えています。より多くの方に小浜のカキを味わっていただき、小浜の魅力を知っていただけたら嬉しいです。
また、カキ生産組合や会社などをつくり作業効率を上げるため機械等の導入なども行っていきたいと考えています。

活動内容

●産学官連携養殖研究作業

夏場の高海水温によるカキの斃死対策として、令和５年度から養殖を開始したカキを、令和７年５月に福井県立大学や小浜市漁業協同組合・市と連携し「若狭うららかき」としてブランド化し、小浜市長へお披露目と報告を行った。



●カキ養殖作業

季節ごとに4種類のカキの出荷を行っている。
　春：若狭こはるかき
　夏：ふくい岩がき
　秋：若狭うららかき
　冬：若狭かき
上記のかきの出荷へ向けて小浜湾の筏を中心に日々作業を行っている。



●水産物販促・ＰＲ活動

シーフードショーやイベントに参加し、水産物の流通販売およびＰＲ活動に参加。
イベントで販売したカキは長蛇の列ができるほど大人気で、市内外の来場者に対しその魅力を発信し、認知向上に努めた。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人））kaidoubantian@gmail.com
（電話番号（個人））090-6551-9012

兵庫県姫路市　小林　昂祐

漁業・水産業

～　経済力×幸福度＝活性化　ー家島諸島の挑戦ー　～

基本情報



【年　齢】
３２歳
【出身地】
兵庫県姫路市
【転出元】
東京都北区
【前　職】
環境コンサルタント
【活動時期】
R5.4～R8.3（予定）
３年目

協力隊に応募したきっかけ

私の原点は、祖父や叔父が漁師として抱えていた「もっと学があれば地域をよくできた」という悔しい想いと、祖父の「必死に生きているモノは美しい」という言葉です。

大学で学んだ水産環境学と、前職で環境コンサルタントとして宮城県石巻市の地域振興プロジェクトに関わった経験を活かし、科学的知見を「実践」に結びつけて地元・家島諸島に貢献したいと考え、地域おこし協力隊に応募しました。

今後の抱負･任期後の目標

令和7年10月に自ら起業した水産加工食品（缶詰）会社「お魚旬船便合同会社」を核として、「製造・販売・体験」を一体化した仕組みづくりを構築していきます。この取り組みは、働く場所と誇りの循環を生み出し、「経済力×幸福度＝活性化」という家島諸島の新しい地域モデルを確立することを目標としています。この地域モデルが、内湾域の地域における「成功事例（フラグシップ）」として役割を担えるよう、地域とともに航路を定めていきます。

活動内容

●島の魅力を発掘！「家島ファン」を増やす広報活動

移住者向け情報誌や地域のカレンダーを制作し、単なる「観光情報」ではなく「島で生きる人の物語の一端」に焦点を当てた情報発信を行っています。島民が自身の暮らしに誇りを持ち、島外の人が共感を寄せる好循環づくりを行っています。家島諸島を知る人が増えることが住民の幸福度向上につながります。



●新たな魅力！漁師のまかないをプレミアム缶詰で商品化

漁師のまかないを再現したプレミアム缶詰づくりに挑戦しました。原料の提供や試食会を通じて島民が参画し、「自分たちの味が、そのまま大事な人に届く」という手応えを獲得しました。この取り組みは雇用と経済の再循環を実現すると同時に、地域の誇りを守りながら、新たな産業の基幹を育てる大きな挑戦です！



●「自分たちで守る島」へ！防災を“文化”にする仕組みづくり

離島である家島諸島にとって不可欠な災害への「自助意識」を高める活動を進めています。消火栓リーフレットを作成し、消防団任せにせず、島民一人ひとりが初期消火の知識を共有できる仕組みを構築しました。防災を地域の「文化」として再定義し、「自分たちの生活を自分たちで守る島」という意識を根付かせています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）職場;kousuke_washio@city.himeji.lg.jp
個人;wac02kou@gmail.com
（電話番号 ）職場; 079-325-1001　個人;080-6156-3258
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（姫路市HP）姫路市地域おこし協力隊 | 姫路市

@OSAKAN_SYUNSENBIN

熊本県山江村　千野　洋

漁業・水産業

～ヤマメ養魚場の管理・運営、尾寄崎地区キャンプ場再建～

基本情報



【年　齢】
60歳
【出身地】
東京都板橋区
【転出元】
大阪府大阪市
【前　職】
パナソニック エンターテインメント&コミュニケーション（株）デザイン部
【活動時期】
R7.7~R10.6

協力隊に応募したきっかけ

知人が岡山県西粟倉村にて協力隊員を経験されていました。３年の協力隊員活動後、その土地で起業している姿を目の当たりにして、人生を楽しんでおられている事に刺激を受けました。協力隊員応募において、自分としては何ができるのか、何に興味があるのかを改めて見直し、子どもの頃の夢であった、魚に関わる業務である山江村の地域おこし協力隊に応募させていただきました。

今後の抱負・任期後の目標

現在の活動を継続し、役場メンバーと活動中に立ち上げた事業で安定収入を得られるようにすることです。
関係人口を増やすことを重視した、イベント活動を企画し、それに伴い地元の方の雇用を生み出す事業として育て上げ、山江村の発展に貢献したいと考えています。

活動内容

●ヤマメ養魚場の管理・運営



組合長の補佐役としてヤマメの養殖を行っています。
・餌やり・大きさ選別・いけす移動
・出荷準備（内臓だし、頭削除、真空パック詰等）
・採卵受精・稚魚育成
・山江村、人吉市の各イベントへの参加
（ヤマメつかみ取り・焼きヤマメの提供）

●山江村尾寄崎地区のキャンプ場再建



山江村尾寄崎地区の尾寄崎キャンプ場は令和2年の水害により被害を受け、現在は閉鎖されています。
このキャンプ場は元地区の小学校であり、地元の方にとっては思い入れのあるキャンプ場です。再建するにあたって村役場の皆さんと尾寄崎地区の特色を明確にしたコンセプトを創り上げました。
また、キャンプ場再建後「キャンプ場にキャンプを楽しむために行く、コテージに泊まりたいから行く」という一般的キャンプ場利用の概念から脱却しなければ、これからのキャンプ場の経営は成り立たないと考えています。「尾寄崎キャンプ場で、面白いイベントがあるから行こう！」というコンテンツを村役場メンバーと企画し、積極的にアピールする「攻めの経営」で再オープンに向けて進めています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人））yamae.chino@gmail.com
（電話番号（個人））090-1908-8259

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Facebook）https://www.facebook.com/share/17GWiNYNn8/?mibextid=wwXIfr

沖縄県国頭村　岡部　拓也

漁業・水産業

～　新たな特産品開発を目指して　～

基本情報



【年　齢】
36歳
【出身地】
東京都足立区
【転出元】
東京都杉並区
【前　職】
(株)フーディソン
サカナバッカ店長
【活動時期】
R7.7～R10.3

協力隊に応募したきっかけ

魚や海が好きでいつか沖縄に移住して自分で仕事がしたいと思っておりました。前職の魚屋で国頭の魚を仕入れ販売していたことから国頭村を訪れ、地域おこし協力隊のおためし・インターンなどを経て地域の方と交流する中で国頭村で自分のやりたいことで（陸上養殖・水産などで）国頭村自体を盛り上げることができそうだなと感じ応募しました。前職の御縁と国頭村で出会った方とのフィーリングが合ったのが良かったなと思っています。

今後の抱負･任期後の目標

現在は主に自分のやりたいと思っていた海ぶどうの陸上養殖をメインにやっておりますが、安定的な生産を来年の目標に、販路の拡大や観光場としての活用、陸上養殖場の経営、国頭村唯一（沖縄本島最北端）の陸上養殖場として人が集まるような取り組み、色々な活用をしていけたらと考えています。

並行して海人の活動も同時にやっていけたらと思っています。

活動内容

国頭漁業協同組合の活動

国頭漁協の活動としては主に人手不足時の定置網の操業に従事しております。いずれは前職の知識を活かして東京へ出荷する魚の選別などにも携わる予定です。組合のサンゴ部会の仕事でサンゴの保全活動にも参加させていただいております。



陸上養殖の活動（Sea Life）

こちらが活動のメインで、宜名真漁港で海ぶどう、サンゴ、シラヒゲウニ、シャコガイなどの陸上養殖をやっております。初年度ということもあり安定的な生産もまだまだで日々検証の繰り返しです。少しずつ販売もできるようになってきました。観光場として活用出来たらとも考えています。



海人活動（組合＆Sea Life）

定置網漁、潜り漁、釣り漁などの活動に触れさせていただいております。漁以外にも養殖という面でいうとサンゴを養殖したものを海に戻したりしています。赤土の調査、サンゴの調査などにも同行したりしています。まだできていませんがモズクの養殖、アマモの保全などにも力を入れていきたいです。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人））　kobanzame.tk@gmail.com
（電話番号（個人））080-2012-7455
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Instagram⇒@sakananomikata　（個人）@kunigami.umibudou (陸上養殖)

07 農業・林業

北海道枝幸郡中頓別町　山口　隼人

農業・林業

～　最北のブドウで生まれるワインの夢　～

基本情報



【年　齢】
39歳
【出身地】
埼玉県所沢市
【転出元】
愛知県蟹江町
【前　職】
清酒製造
【活動時期】
R5.5～R8.4

協力隊に応募したきっかけ

日本酒の酒蔵で10年ほど働き、ものづくりの現場で地域の水や農産物が味に直結することを体感してきました。一方で、宗谷地方のように「やっている人がほとんどいない寒冷地のブドウ栽培」に挑戦できる機会は多くありません。中頓別町が2017年から試験的にワイン用ブドウの栽培に挑んでいることを知り、これまで培った醸造・発酵の経験をいずれ活かせるのではないかと思い応募しました。家族で自然の中に移り住みたいという思いも重なり、「できると証明するところから関わりたい」と考えたのがきっかけです。

今後の抱負･任期後の目標

町が育てたブドウを町内で醸造し、宗谷らしさを味わいとして届けられる小規模醸造所の立ち上げを目指しています。初期は委託醸造を活用しつつ、将来的にはワインと日本酒風なお酒の両方を仕込める設備を整え、通年で地域の魅力を発信できる拠点にしたいと考えています。また、栽培マニュアルや防霜・獣害対策のノウハウを確立し、後続の担い手がブドウ栽培に入りやすい仕組みづくりに繋げたいと思っています。

活動内容

●ブドウ畑の栽培管理と寒冷地対応の実証

霜害（6月中旬まで続く遅霜）への対応や、シカ・ネズミ・ウサギなどによる食害対策、－30℃以下にもなる冬の凍害対策といった地域特有の課題に、一つずつ現場で対応しながら日々の管理を行っています。町が進める醸造用ブドウ栽培事業の畑作業を、現場で回す役割を担っています。



●委託試験醸造のサポートと醸造研修

ワインの試験醸造を道内ワイナリーに委託する際のサポートをしています。町で収穫したブドウを搬入したあとしばらく現地に滞在してワイン醸造の進め方を学んでいます。試験醸造という町の取り組みに同行する形で、将来の醸造所設立に生かせるよう知識と経験を蓄えています。



●ブドウ栽培やワインの普及啓もう活動

町の広報で定期的にブドウ栽培やワインについての情報を発信しており、中頓別町のブドウ栽培に対する取り組みやワインの豆知識を掲載しています。また、町の施設を活用したワインバーを月2～3回ほど開催しており、町民の皆さまに北海道産ワインのおいしさを伝えています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（職場））sangyo-g@town.nakatombetsu.lg.jp
（電話番号（職場））01634-6-1111
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）
https://www.instagram.com/budou_yama?igsh=Y20wcWJhNjdjeHoz

BUDOU_YAMA

岩手県二戸市　庄司　瑛一

～　漆をつなぐ　うるしびと　～

農業・林業

基本情報



【年　齢】
27歳
【出身地】
青森県三沢市
【転出元】
東京都国分寺市
【前　職】
介護士/教師/彫刻家
【活動時期】
R７.５～R10.３

協力隊に応募したきっかけ

協力隊に応募したきっかけ 私は青森県三沢市出身で、学生時代に日本の漆文化の美しさと奥深さに強く魅了されました。デジタル化が進む現代において、手仕事から生まれる漆の表現と豊かな価値は代替できないものだと確信し、この素晴らしい伝統を未来へつなぐ一助になりたいと強く願うようになりました。地域おこし協力隊の制度なら、現場での技術習得と、社会への発信という二つの価値を両立できると考え、応募を決意しました。

今後の抱負･任期後の目標

漆掻き職人として、一つひとつの技術をより深め、現場でのデータ化や品質管理にも挑戦します。教育の観点からワークショップや学校連携を拡充し、子供たちに漆の魅力を伝えていきたいです。任期後は、自立した職人として地域に根ざし、持続可能な漆林の保全と、伝統技術の継承・普及を担える存在を目指します。自分のスタイルを確立しつつ、地域、そして次世代に貢献し続けることが目標です。

活動内容

●漆掻き技術の習得

一年間の研修で、泉山組合長から漆掻きの基本と奥深さを肌で学びました。
タカッポの扱い方、カンナの選択、傷の付け方、目刺しの深度調整など、実作業を通して多様な技術的知見と職人としての心構えを得ました。



●漆林の保全管理

漆掻きが終わった木は、殺し掻きという方法で漆を採取しているため、その年に伐採しなければなりません。次に漆掻き可能になるまでには約15～20年という長い年月が必要です。そのため、今年作業した現場だけでなく、翌年以降漆掻きを行う予定地の草刈りや枝打ちなどの保全管理も重要な仕事の一つです。



●地域活動

地域活動 地域に根ざした活動として、天台寺にて「漆掻き職人が教える！木彫りの豆地蔵ワークショップ」を講師として開催しました。この活動は、地域資源である漆の木の魅力を体験的に伝え、漆掻きへの理解と関心を深めることを目的としました。



連絡先

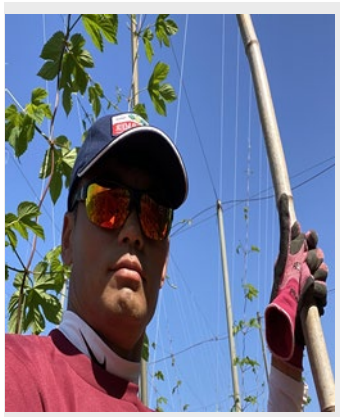
【メディア等の取材連絡先】shojioriginal@gmail.com（個人）
urushi@city.ninohe.iwate.jp（漆の郷づくり推進課）
080-6051-3413（個人）0195-38-4472（漆の郷づくり推進課）
Instagram：joboji_urushibito（二戸市地域おこし協力隊「うるしびと」「漆林フォレスター」公式）
YouTube：https://www.youtube.com/@chokokuyaro（個人）
Instagram：shojioriginal（個人）

岩手県遠野市　髙橋　康児

～　次世代ホップ農家　～

農業・林業

基本情報



【年　齢】
42歳
【出身地】
埼玉県三郷市
【転出元】
埼玉県三郷市
【前　職】
教員
【活動時期】
R6.4～R9.3

協力隊に応募したきっかけ

１５年間教員として勤務、ある程度の達成感や満足感を感じ、今後今までと同様の熱量で続けていけない、同時に新たなチャレンジをしたいと考えた。以前から地域おこし協力隊には興味を持っており、３年間の活動を経て、その後はこの３年間の活動を活かせる協力隊を探していた。様々な協力隊の募集を見て、唯一この条件に当てはまった仕事が、遠野市の地域おこし協力隊・次世代ホップ農家だった。

今後の抱負･任期後の目標

ホップ栽培とビール作り
まずはホップを栽培するための畑の確保し、そして実際にホップを栽培すること。その後は、自身で育てたホップを使ったビール作りに挑戦したい。ホップとビールで遠野を盛り上げ、その魅力を全国へ、世界へ発信したい。

活動内容

●プロジェクト概要

遠野市の「ビールの里構想」を支えるべく、ホップ農家として「持続可能なホップ栽培」、「良質な遠野産ホップの安定供給」を目指し活動している。



●ホップ栽培の研修と実践

先輩農家の下でホップ栽培のノウハウを学んできた。８月の収穫に向けて、ホップの成長に合わせた丁寧な作業を行った。一つ一つの作業が、次の成長や作業のために意味があることを学んだ。収穫したホップが実際に商品（とれたてホップ一番搾り）として売り出された時はとても感慨深かった。



●海外からのホップ視察案内

台湾、ポーランドからのホップ視察団に同行し、遠野のホップ栽培について英語で案内した。海外の方が遠野のホップに注目していることがわかった。これからも遠野のホップの魅力を伝えていきたい。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人））takahashi.koji.d1@gmail.com
（電話番号（個人））090-3502-4444

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）@cozy_hopfarmer
https://www.instagram.com/cozy_hopfamer?igsh=MWRwdmR6cW5ucG4wdw==

宮城県利府町　加藤　雄一朗

農業・林業

～名産「利府梨」の次世代の担い手に～

基本情報



【年　齢】
40歳
【出身地】
宮城県塩竈市
【転出元】
東京都調布市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R6.4～R9.3

協力隊に応募したきっかけ

東京都で行われた移住フェアにて、利府町の地域おこし協力隊の説明を聞いたことで、今まで関わったことのない農業に興味が湧きました。また、地元が塩竈市ということもあり、利府町には昔から馴染みがありました。小さな頃から食べていた利府梨はとても大好きな果物なので、自分も梨の生産に携わってみたいと思い、応募しました。

今後の抱負･任期後の目標

梨農家の継承を行い、利府梨の生産を通じて利府を盛り上げていきたいです。また、利府梨を使用した６次化商品の開発を行い、更に色々な地域の方々に利府梨の美味しさをアピールしたいです。さらには、障がいのある方（支援が必要な方）の就労支援にも繋げられたらと考えています。

活動内容

●梨栽培（摘蕾）

開花前の蕾の時点で摘み取ることにより樹の養分の浪費を防ぎます。この時期だと不要な蕾を指で上から押すことで簡単に折ることができます。



●梨栽培（本摘果）

予備摘果は実を大きく育てるために行いますが、本摘果は玉の大きさを揃えることと、受粉がうまくいかず形が悪い実を整理するために行います。



●梨栽培（収穫）

私たちの梨園では、8月は「幸水」などの早生種から収穫が始まり、その他にも「長十郎」、「あきあかり」などの品種があり、１０月上旬の「あきづき」で収穫を終えます。



梨農家の皆さんから技術指導をいただきながら、梨農家としての独立を目指しています。





連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（職場））nousui@rifu-cho.com
（電話番号（職場））022-767-2191
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Instagram

NASHIMAN_YUICHIRO

福島県猪苗代町　倉重　南菜子

農業・林業

～　新しい農業のかたちを、地域と共につくる　～

基本情報



【年　齢】
30歳
【出身地】
茨城県阿見町
【転出元】
東京都足立区
【前　職】
会社員
【活動時期】
R6.10～R9.9

協力隊に応募したきっかけ

東京で営業職として働くなかで、数字を追う日々にやりがいを感じつつも「もっと人や地域に寄り添う仕事がしたい」という想いが芽生えていきました。
そんな時に出会ったのが、磐梯山をのぞむ猪苗代の風景とまっすぐに農業に向き合う人たちです。
これまでの営業経験で培った“人と人をつなぐ力”を生かし、地域と農業の未来に貢献したいと考え、応募を決めました。

今後の抱負・任期後の目標

これまで築いてきたネットワークを活かし、猪苗代町の農業の魅力をより多くの人に届けていきたいと考えています。農家さんと消費者をつなぐ場づくりや、農産物の販路拡大を進め、地域の“おいしい”と“想い”を広げていくことが目標です。
任期後は、町の特産品を首都圏や海外に展開する「地域商社」を立ち上げ、この町の魅力を世界へ届けたいです。

活動内容

●農産物の販路拡大支援

首都圏での物産展の企画や、ECサイトの運営支援、SNSでの魅力発信など、町内産農産物を既存の販路とは違う形で販売する方法を模索しています。農産物を通して猪苗代町のファンを作り、農業者だけでなく、まち全体を盛り上げることを目標としています。



●新規就農者のサポート

過去５年間に就農した方や、現在研修中の方の支援を行っています。実際に圃場を訪ねて信頼関係を築きながら、販路構築や集落との関わりなど、行政の支援が行き届きにくい部分を積極的にサポートしています。すべての就農者が10年後も安心して農業を続けられることを目指しています。

●ブランド米輸出支援

猪苗代町は稲作が盛んで、輸出に向けたブランド構築でも先進的なまちです。お米をめぐる情勢が不安定な中、販路の維持・拡大に向けて計画の見直しや新しい戦略づくりに取り組んでいます。猪苗代町の美しい田園風景を未来に繋ぐため、輸出事業への理解者を増やす活動にも力を入れています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）kurashige_nanako@town.inawashiro.fukushima.jp
（電話番号（職場））0242-62-2116(農林課)
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
猪苗代町地域おこし協力隊インスタグラム
いな食|猪苗代町農林水産物ブランドインスタグラム

©INAWASHIRO_CHIIKIOKOSHI　©INAWASHIRO_INASYOKU

栃木県さくら市　吉家　雅人

～　農業×子育て移住　～

農業・林業

基本情報



【年　齢】
31歳
【出身地】
長野県長野市
【転出元】
埼玉県さいたま市
【前　職】
会社員（食品関係企業）
【活動時期】
R6.4～R9.3

協力隊に応募したきっかけ

就職を機に上京し、東京都内で会社員として働いていました。

妻の出身地である栃木県への移住を検討していた際、移住相談に訪れたさくら市役所で、「地域おこし協力隊」の制度を知りました。

さくら市で募集していたミッションと、農業で地方を盛り上げたい自身のビジョンが合致し、家族３人で移住して農業による地域おこしに取組むことを決意しました。

今後の抱負･任期後の目標

地域の農業者が築き上げ、守ってきた農業や農地を私たちが受け継ぎ、未来を担う子ども達を「農」をとおして支えていきたいです。

そのために、農作業支援や農業ＰＲに取組み、農産物の生産から消費者に届くまでの過程に広く関わっています。

また、任期後の就農や農業法人の設立を目標に、活動をとおして地域の農業者と連携していきたいです。

活動内容

● アグリレスキュー「さくら農援隊」の運営

農業者から地域農業の課題を吸い上げ、隊員３名で事業化しました。農業に関する困りごとへ隊員を派遣するもので、現在は５名の隊員が協力して取組んでいます。

Ｒ６年度にプレ実施し、Ｒ７年度には延べ150件以上の活動に取組みました。実施後のアンケートでは、「隊員と話をする機会ができて良かった」、「自身の農作業の改善になった」、「一緒に作業ができて楽しい」などの声をいただき、事業への期待や地域おこし協力隊の認知度向上にも繋がりました。

さくら市若手農業者の会（４Hクラブ）との連携事業にも取組み、継続して地域農業へ貢献していきます。



● 農業体験や農業PRイベントへの参画

地域の農業者や小学校と連携し、子どもたちの農業体験や職業紹介の時間に参加しました。子ども達が農業に関心を持ち、その未来を考えるきっかけに携われたと感じます。

また、首都圏や市内外での農業イベントなどに出展し、ＰＲを行っています。地域の農業にスポットライトを当てその魅力を広く発信することで、将来的な地域の農業振興にも繋がることを期待しています。



● 米麦農家における農作業支援や農業技術などの習得

複数の協力農家の元で、主に米麦の農作業支援に取組んでいます。大規模農家であることから、関わりのある他の農業者への農作業支援にまで手を伸ばせました。特定農家だけでなく、多くの農業者に貢献できているのではと、手応えを感じています。

また、この活動で習得した知識や経験、人脈は、「さくら農援隊」の活動にも活かしています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス・さくら市総合政策課）　sogoseisaku@city.tochigi-sakura.lg.jp
（電話番号・さくら市総合政策課）　028-681-1113

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（ホームページ）　https://www.city.tochigi-sakura.lg.jp/living/000099/index.html
（Instagram）　https://www.instagram.com/sakurakyouryoku2/

長野県下條村　菊地　翔

農業・林業

～　南信州下條村農業の担い手　～

基本情報



【年　齢】
37歳
【出身地】
福島県南会津郡只見町
【転出元】
千葉県茂原市
【前　職】
発電所職員
【活動時期】
R7.8～R10.7

協力隊に応募したきっかけ

前職はサラリーマンでしたが、夫婦で果樹農家になりたいとの思いから新規就農への挑戦を決意しました。

長野県は果樹の産地として有名であり、下條村は私の出身地である人口4,000人弱の小さな町と環境が似ている点で親しみを覚え、さらに「奇跡の村」と呼ばれていた点に魅力を感じ応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

地域おこし協力隊就任時は果樹農家になりたいという思いだけで具体的に何の品目を作るかはハッキリしていなかったが、ぶどう農家になりたいと目標も決まったので独立に向け活動していきたい。

任期後は自分たちが受け入れ農家となり、南信州のぶどう生産量を上げブランド化を目指したい。

活動内容

●農業研修

10月から市田柿の準備。収穫、皮むき、吊るし作業を一通り体験。これから11月いっぱいまで市田柿が作業のメインになる。
8月の着任から桃の収穫、出荷作業、加工作業。
9月は梨の収穫、出荷作業。研修農家の近くにある梨とりんごの共同選果場にも手伝いに行った。



●梨畑の開墾

作付け品目をぶどうに決めたので、研修用の畑にするため耕作放棄地になっていた梨畑を開墾。
梨用の棚を活用してぶどう用の棚を作る。
来年の春までに梨の木を全部切り、ぶどうの苗木を定植予定。



●地域のスキルアップセミナー

地域で開催されたスキルアップセミナーに参加した。
就農５年以内、または新規就農者向けのセミナーで、若木の状態を見ることができた。
独立後のイメージがより具体的になったので、計画の作成に活かしたい。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）
（電話番号（職場））0260-27-2311

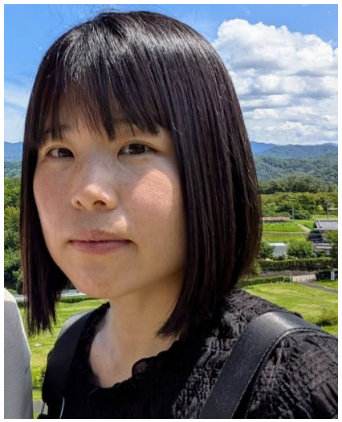
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
特になし

長野県下條村　菊地　良子

農業・林業

～　南信州下條村農業の担い手　～

基本情報



【年　齢】
35歳
【出身地】
千葉県茂原市
【転出元】
千葉県茂原市
【前　職】
経理事務
【活動時期】
R7.8～R10.8

協力隊に応募したきっかけ

非農家の家庭に育ちましたが、大学生の時に農業に興味を持つようになりました。
社会人となってからは、農業関連企業での勤務を通じてさまざまな形で農業に携わってまいりました。

そのうちに夫婦で農家（特に果樹）になりたいと目標を抱くようになり、下條村と出会いとても魅力的な自治体だと思い応募いたしました。

今後の抱負・任期後の目標

今後は夫婦で果樹農家として独立するため、まずは地域の農家さんのもとで研修に励みたいと考えております。

また、少子高齢化や近ごろの物価高にコメ不足、将来的な地震リスク・異常気象の常態化といった課題を考慮しながら、自分がどう地域農業や地域コミュニティの維持・発展に貢献できるか考えていきたいと思います。

活動内容

●柿の加工作業

10月の下旬からは研修先の農家さんにて柿の収穫・加工作業が始まりました。
活動は今年の8月からスタートしましたが、これまでは桃・ナシ・りんごの管理作業や、収穫・加工作業をさせていただきました。



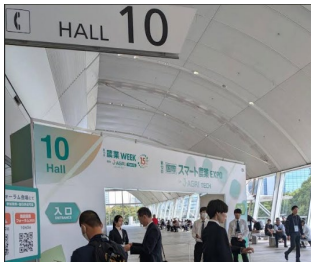
●耕作放棄地の再生

６年ほど放置されていたという梨畑をお借りして、独立後に果樹園を始めるために整備していきます。
刈払機はこれまでも使用したことがありますが、チェーンソーは初めて使用するため安全に気をつけて作業します。



●その他出張や外部研修等

千葉で開催された農業WEEKに参加して次世代の農機を見たり、県内の試験場で行われた栽培検討会に参加させていただいたり、地域や外部のセミナーにて土づくりや肥料について学ぶなど、色々と勉強させていただいています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）
（電話番号（職場））0260-27-2311

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（特になし）

長野県信濃町　野端　伸匡

農業・林業

～　有害鳥獣被害を減らし、信濃町にない新たなグルメを作りたい　～

基本情報



【年　齢】
25歳
【出身地】
三重県鈴鹿市
【転出元】
長野県東御市
【前　職】
機械設計
【活動時期】
R6.6～R9.5

協力隊に応募したきっかけ

転職先として新天地を探していたところ、地域おこし協力隊制度について知りました。もとより長野県の雪がある田舎で定住したいと考えていたこともあり、県内で同条件の場所を探していました。縁もゆかりもないので、受け入れてもらいやすい地域がよく、担当の役場職員の方と話したフィーリングでとても惹かれたのが信濃町でした。

今後の抱負･任期後の目標

協力隊活動中に子宝にも恵まれ、家族が1人増えました。家族のためももちろん、家族同然に接して頂ける町の皆さんにも恩返しとして信濃町の新たな魅力の１つとなるようジビエというグルメの醸成、剥き出しの信濃町の自然の体験の一端を担いたいと考えています。

活動内容

●関係人口創出

現在は有害鳥獣の対応をしていますが最初は関係人口の分野で仕事をしていました。こちらも町の今後に関わる大きな役目でしたし、この仕事のおかげで色んな町民や信濃町ファンの方と知り合える事が出来ました。



●有害鳥獣

信濃町に来て3ヶ月の間に2回クマと遭遇し、信濃町における自然との近さを目の当たりにしました。そんななかでも農業を営む人々と戦う猟友会の双方には、高齢化しながらも大切にしたい文化と営みがありました。沢山の方から頂いた恩をこの道から返したいと思いました。



●ジビエ処理加工場を開きたい

今町内でジビエ処理加工場を開くために場所を探しながら技術を磨いています。どうすれば美味しく獣を捌くことができるのか、駆除されてしまう命をなるべく活かすことができるのかを模索中です。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（職場））nourin@town.shinano.lg.jp
（電話番号（職場））026-255-3113

京都府京丹後市　干場　健介

～　果樹農家の担い手　～

農業・林業

基本情報



【年　齢】
22歳
【出身地】
兵庫県豊岡市
【転出元】
大阪市港区
【前　職】
会社員
【活動時期】
R7.9～R10.8

協力隊に応募したきっかけ

学生時代に、父の知り合いの農家でお手伝いをしたことをきっかけに、農業に興味を持ちました。その後、農業大学校に進学し、ブドウの品種のひとつである、安芸クイーンとの出会いを通して果樹栽培に強い関心を抱くようになりました。果樹栽培が盛んな京丹後市で新規就農を目指すにあたり、実践的な経験の習得と地域の方々との繋がりを得たいと考え、協力隊に応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

- 一つひとつの作業を丁寧に行い、地域の方々から学びながら、自分らしい農業スタイルを見つけていきたいです。
- 協力隊としての活動を通して、果樹栽培の技術や経営の知識をしっかり身につけ、任期終了後には京丹後市で独立し、自分の農園を持つことを目指しています。そして、自分の果物を食べた人に「美味しかった」「また買いたい」と感じてもらえるようなものをつくり、地域農業を一員として支えていけるよう頑張って行きたいと思っています。

活動内容

●果樹農家の担い手としてノウハウの取得

受入先の日下部農園の業務を通して、将来の独立に必要な果樹づくりの経験を積んでいます。一年を通した栽培管理、マニュアルでは身につけられない現場対応力を勉強しています。また、長年地域で受け継がれてきた栽培の工夫や知恵を実際の現場で身につけています。



●収穫物の流通

出荷調整出荷作業に加え、直売所での対面販売、電話ファックスECなどの直接販売、地元スーパーや卸売流通事業者、市場出荷など幅広い出荷先に合わせた出荷販売を通して、お客様に求められる商品づくりを学びます。



●地域課題の把握・改善

地域の行事や農家間の交流の場に積極的に参加していきたいと考えています。担い手不足が進む中で、農地の維持が大きな課題となっています。その現状を把握・理解しながら、地域の中での自分の役割を見つけて尽力します。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
京丹後市　農業振興課（大宮庁舎）
〒629-2501京丹後市大宮町口大野226
（電話番号 ）0772-69-0712

京都府京丹後市　保田　蓮人

～　果樹農家の担い手　～

農業・林業

基本情報



【年　齢】
24歳
【出身地】
大阪府摂津市
【転出元】
大阪府摂津市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R５.9～R８.9

協力隊に応募したきっかけ

幼い頃からよく家族で海水浴に来た思い出があり、海も自然もあるこの町に住んでみたいと思っていたから。また、趣味のサーフィンを思う存分楽しみたいから。

今後の抱負･任期後の目標

活動期間中に果樹の栽培技術をしっかりと習得し、果樹農家として独立したい。また、収穫したフルーツの販売はもちろん、フルーツを使った加工品の開発などもしていきたい。大好きなフルーツを通じて、京丹後の町全体を地域の方々と一緒に盛り上げていきたい。

活動内容

●果樹農家の担い手としてノウハウの取得

受入先である京丹後フルーツオーガナイゼーションの雇用の下、任期終了後の独立を目指して、日々果樹栽培に取り組んでいる。



●収穫物の流通

直売所のひとつ「うみのみえる丘」にて、フルーツの販売。また市外での販売、販路の拡大などについても、受入先からの指導を受けている。



●地域内外のネットワーク構築

町全体を盛り上げたいという目標に向かって、同業者はもちろん、大好きなサーフィンを起点にした異業種・異世代の様々な人とのネットワークの構築を積極的に進めている。

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
京丹後市　農業振興課（大宮庁舎）
〒629-2501京丹後市大宮町口大野226
（電話番号 ）0772-69-0712

兵庫県丹波篠山市　山中　望

農業・林業

～　未利用の山林をつかった地域おこし　～

基本情報



【年　齢】
36歳
【出身地】
静岡県浜松市
【転出元】
大阪府堺市
【前　職】
内装建材メーカー
【活動時期】
R6.4～R8.3

協力隊に応募したきっかけ

学生時代から林業に関心があり、大学では木材物理学を専攻していました。内装建材メーカーで木材加工や商品開発を経験する中で、林業の課題に向き合い、山林をフィールドに働きたい思いが強まりました。篠山イノベーターズスクールで、林業家や地域おこし協力隊員が地域資源を活かして活動している姿に触れ、私も個人レベルから実践を始めたいと決意。大学や内装建材メーカーでの知識・経験を活かし、林業や森林を盛り上げるためのお手伝いができると考え、地域おこし協力隊に応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

利用価値が見出されず放置されたままになっていたり、境界も所有者もわからず手をつけることができない“誰かの山”を、アクティビティや教育にも使える“みんなの山”として、新しい価値提案を考えます。また、任期後は林業家として自立して、小規模でも持続可能な施業と販路づくりを進め、地域内で回る林業モデルを確立します。
その他でも、アウトドアイベントやアロマワークショップなど、森に関する様々な事業に挑戦します。

活動内容

●丹波篠山・山城ロゲイニング

丹波篠山の里山を舞台に、地図とコンパスでチェックポイントを巡って得点を競うロゲイニングイベントで、観光とスポーツを同時に楽しめます。初心者から上級者まで参加でき、山城の歴史や構造について学ぶこともできます。また、地域のお店も集まり、マルシェも同時に開催されます。



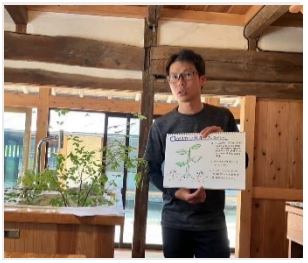
●山林整備

丹波篠山市大芋地区市野々で、先輩林業家に定期的に指導を受けながら、人工林の間伐やショベルカーによる作業道作りを行っています。また、かつて林業や炭焼きなどで使われていた山道を復興し、ハイキングコースにするための整備を行っています。人工林や広葉樹林を整備し、山と人の結びつきを再び強くしていきます。



●森林・林業体験イベント

山林資源を活用した、山採れアロマワークショップや昆虫観察イベント、クロモジ茶の加工、シイタケづくり体験など、様々なイベントを企画・実施しています。山遊びの楽しさを参加者に伝え、山林を購入しなくても自由にアウトドアを楽しむことができるイベントを提供します。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス） n.yamanaka.2024@gmail.com
（電話番号） 090-5035-2866

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（山城ロゲイニングHP）丹波篠山・山城ロゲイニング2025

YAMA_NOZO30

和歌山県伊都郡高野町　足立　義剛

農業・林業

～　富貴の農産物を通じて、人と地域をつなぐ　～

基本情報



【年　齢】
46歳
【出身地】
三重県伊賀市
【転出元】
奈良県王寺町
【前　職】
郵便局, DJ, 散髪屋
【活動時期】
R5.5～

協力隊に応募したきっかけ

娘が小学校5年生の時にコロナの学校消毒がキッカケで化学物質過敏症を発症し学校に行けなくなりました。もともと自然豊かな土地で暮らしたいと思っていたこともあり、このタイミングで田舎移住しようと家族で話し合い、移住先を探す中、友人のご縁で富貴に出会い、ちょうど協力隊前任者の後継者を募集していて、限界集落内で仕事ができる！内容も農産物の販路拡大とあり、働きながら野菜の勉強もできる！これはチャンスだ！と応募しました。

今後の抱負･任期後の目標

この土地で農家になりたい！米や野菜を作りたい！そんな人達がどんどんやってくる。その為の地域ブランディングをしていきます。第一弾が自然農の村プロジェクト。そして野菜を売る直売所。B品として廃棄される野菜を使った加工品や惣菜屋さん。ドライベジタブル、大豆や小豆などの加工場作り。ジビエの解体施設。野菜を使った飲食店兼、地域のみなさんとの交流スペース。暮らしを体験できる宿泊施設兼、シェアハウス。八百屋を通じて富貴のプロモーション活動、移住相談などなど。地域に生業をつくる。

活動内容

●地域農産物の販売

『地産地消』から始めよう！を合言葉に富貴地区の美味しい野菜を定期的にマルシェ等で対面販売も行い消費者のナマの声を聞きニーズの把握に努めています。農家の高齢化をポジティブに受け止めて、歴史の継承と伝達、『美味しい野菜ができる土地』での後継者を募るべくプロモーション活動。



●子供達と共に作る自然農野菜

一緒に種を植え、水をやり、収穫して、料理、そして食べる。『生きることは食べること』を一から実践してみる。自然の恵みだけで採れた野菜を畑の真ん中で食べる！最高な体験を通して大人も子供も学ぶことたくさん。いつかはこの地を離れる子供たちが、いつでも帰ってこれる場所つくり。



●フキシネマパラダイス

気球飛ばしたり、落語やったり、キューバミュージックで輪になって踊ったり、竪穴式住居がある竪穴マルシェも大盛況。プロのチェリスト、マジシャン、DJ、ダンサー、多才なメンバーで、何かと話題のTEAMフキシネマ。『楽しいところに人は集まる』どんどん仕掛けていくので乞うご期待！



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
個人メールアドレス：nightstalkers2000@gmail.com

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
instagram：@FUKI_LAB

和歌山県伊都郡高野町　　森島　大介

農業・林業

～　おじいちゃん先生から受け継ぐ、富貴の大和当帰　～

基本情報



【年　齢】
44歳
【出身地】
大阪府堺市
【転出元】
大阪府堺市
【前　職】
洋菓子製造業
【活動時期】
R5.11～

協力隊に応募したきっかけ

20年ほど洋菓子の製造に関わって過ごしてきて徐々に素材にも関心を持つようになっていました。普段何気なく調理している野菜や果物はどのようにして栽培され流通しているのだろうか？以前より田舎に移住願望があり、ハーブや薬草などにも興味があったため今回高野町の「大和当帰栽培技術継承」に応募いたしました。限られた場所でしか栽培できない大和当帰の技術を継承して今までの経験を生かしてさらに発展できないだろうか、と思ったのがきっかけです。

今後の抱負･任期後の目標

初めて田舎に移住して右も左もわからない状態から約2年が経過しました。大和当帰の指導農家さんには一から指導していただいて現在は２回目の大和当帰の収穫目前になっています。年々変化していく気象条件の中で安定した収穫につなげる事ができるように教えていただいた事を反復して身につけ、次の世代にも取り組みやすいような栽培方法を確立していきたいと思います。任期後は栽培面積を可能な範囲で拡大していき、高野町富貴が活性化するような特産品を作り上げるのが目標です。

活動内容

●大和当帰栽培の技術継承

大和当帰は高野町富貴地区で江戸時代より栽培されていた歴史があり現在においても国内で重要な薬用作物です。今では当帰農家は富貴地区で一軒のみとなっており、栽培技術の継承するための活動をしております。



●夏野菜栽培とのペアリング

栽培する上で様々な作業工程がある大和当帰ですが、夏季は管理作業のみとなり他の夏野菜なども栽培できます。冷涼な気候で寒暖差がある地域ですので高品質で味の濃い野菜も有名です。また連作障害などの課題などもありますので当帰と夏野菜を組み合わせて最良な形を模索しております。



●地域活動の参加

富貴地区は年々過疎化しており歴史ある行事なども縮小傾向にあるので、これらを後世に繋いでいけるように積極的に参加しております。
富貴に移住者が増加していく中で地域活動には住民との架け橋になる側面もあるので生活する上でとても重要だと考えています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（個人メールアドレス）deemdai1128@gmail.com

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】　なし

和歌山県九度山町　佐野　隆馬

農業・林業

～　スムーズに地域に溶け込み就農を目指す　～

基本情報



【年　齢】
３６歳
【出身地】
静岡県静岡市
【転出元】
静岡県静岡市
【前　職】
会社員
【活動時期】
Ｒ7.4～Ｒ１０.３

協力隊に応募したきっかけ

以前から農業に興味があり、その中で果樹をやりたくて探していたら、九度山町で柿農家を目指す人を地域おこし協力隊として募集していて、農業のノウハウを学びながら仕事ができるならと思い応募しました。

今後の抱負･任期後の目標

まずは地域になじむこと。農業をやるにあたって大事なことだと思うのでコミュニケーションを大切にしていきたい。
任期後は、柿農家としてどう生計を立て、いかに収入を増やすことができるか、そして食べて美味しいいと言われる柿を作れるように考えながらやっていければと思います。

活動内容

●園地での研修風景

週４日はJAに研修生として農業のノウハウを学んでいます。柿はもちろん、果樹ではスモモや柑橘類、野菜はナス、トウモロコシ、キャベツなど色々な種類を、種や苗から収穫までの一連の流れを作業しながら身につけてます。草刈りはもちろん、虫や病気予防に対する防除作業の大切さはやってみて改めて大事なことだと感じているが、同時に大変さも感じています。



●活動報告作成中

週１日は役場に勤務し、イベント運営の補助や直売所運営の補助、あとは中山間傾斜農地の現地確認に同行させていただき農地の所有者がいたらあいさつがてらコミュニケーションをとることができ、人脈づくりに努めています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
九度山町役場　産業振興課
（メールアドレス（職場）sanshin@town.kudoyama.lg.jp
（電話番号（職場）　）０７３６－５４－２０１９

和歌山県九度山町　清本　勝史

農業・林業

～　スムーズに地域に溶け込み就農を目指す　～

基本情報



【年　齢】
４３歳
【出身地】
大阪府岸和田市
【転出元】
大阪府八尾市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R7.4～R10.3

協力隊に応募したきっかけ

九度山で柿畑の作業を体験させてもらったことから、柿農家に興味を持ちました。また九度山には以前から少し関わりがあり、移住したいと考えておりました。協力隊の制度なら、現場で経験を積みながら就農を目指せると知り、応募しました。

今後の抱負･任期後の目標

果樹を中心に農業の基礎を学びながら、少しずつ経験を積んでいます。今後は自分の畑を持ち無理のない形で農業を続けていけるよう力をつけていきたいです。任期後も九度山に腰を据えて地域の一員として暮らしていけたらと思っています。

活動内容

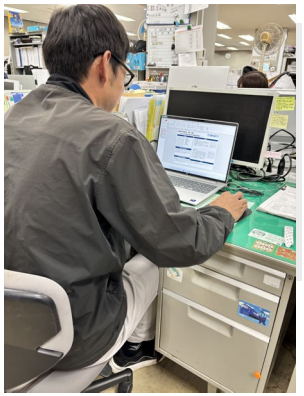
●園地での研修風景

農協の園地で、すももや柿、柑橘の防除や摘果等の管理作業から収穫、出荷時の荷造りなど作業を通して学んでいます。
果樹以外に野菜の栽培やトラクターの操作、刈払機やリモコン草刈り機など、幅広い作業を経験しています。



●活動報告作成中

役場職員と中山間地域の現地確認に同行しています。実際に現場を回る中で、耕作放棄地や高齢化など地域が抱える課題を肌で感じました。また芸術祭の準備や運営にも関わり地域の人たちと協力しながらひとつの場を作り上げる大変さや面白さを実感しています。
こうした経験を通して、任期後は自分なりの形で地域に関わり続けたいと思います。



連絡先

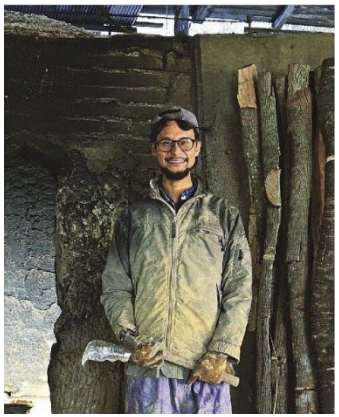
【メディア等の取材連絡先】
九度山町役場　産業振興課
（メールアドレス）sansahin@town.kudoyama.lg.jp
（電話番号）０７３６－５４－２０１９

和歌山県みなべ町　中村　道太郎

～　炭焼き職人の担い手　～

農業・林業

基本情報



【年　齢】
32歳
【出身地】
神奈川県川崎市
【転出元】
神奈川県川崎市
【前　職】
農業
【活動時期】
R7.4～R10.3（予定）

協力隊に応募したきっかけ

約4年間、複数の地域で林業、野菜つくり、田んぼ、草刈業、籾殻くん炭制作と販売、造園、梅や柑橘類の収穫作業を通じて、自身が田舎での暮らしと一次産業が好きなことを知り、以前から夢であった製炭士になり、炭で町に良い風と水を届けられるような、循環できるような自然つくりに貢献したいと感じたため。

今後の抱負・任期後の目標

自身の林業の経験から、山の中に道ができることで、安全性、作業効率の向上、女性でもできるような備長炭つくりができると考えている。近年の皆伐による、土砂崩れの可能性を下げる、壊れない道つくりに取り組んでいきたい。

活動内容

●紀州備長炭職人としての修行

みなべ町清川の炭焼き職人に弟子入りし、炭窯作業や木の準備など日々の修業を通じて職人技を習得している。



●自伐型林業・里山づくりの準備

将来的に自ら管理しながら適度な間伐を行う自伐型林業に取り組む計画で、山道整備や原木運搬の準備を行っている。



●里山保全活動の支援

炭焼きや林業の活動を通じて、持続可能な里山づくりや地域資源の保全に取り組んでいる。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】

（電話番号（職場）　）0739-76-2014（みなべ森林組合）

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
現在のところ無し

和歌山県みなべ町　梅田　進太郎

農業・林業

～　ドローンとAIで守る、紀州備長炭の未来　～

基本情報



【年　齢】
31歳
【出身地】
北海道池田町
【転出元】
神奈川県南足柄市
【前　職】
IT関係
【活動時期】
R6.4～R9.3（予定）

協力隊に応募したきっかけ

海や山などの自然が好きで、もともと林業については採算性や相続などの課題があることを知っていた。そんな中でみなべ町に訪れる機会があり、和歌山の豊かな自然に触れ、林業や地域の振興に携わりたいと感じたため。

今後の抱負･任期後の目標

学業や前職で身につけた機械やITの知識や、趣味の狩猟で培った体力や自然を観察する能力をベースに、森林組合員として林業のノウハウを学び、地域の特性を活かした施策を考え取り組みたい。

活動内容

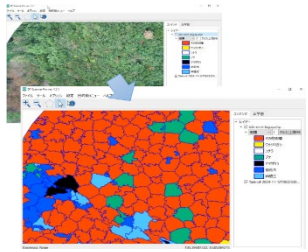
●ドローンによるウバメガシ撮影

町内の山林で、紀州備長炭の原木となるウバメガシを対象に、ドローンで航空撮影を実施。撮影は自動飛行ルートで行い、複数の写真をつなぎ合わせて大きな画像データとして保存している。



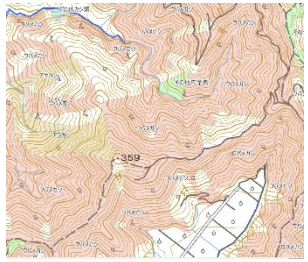
●AIによるウバメガシ識別

撮影した画像からウバメガシを特定するため、AIに学習を行い、画像上でウバメガシを識別・マーキングする作業を実施。識別精度を確認するため、現地確認も並行して行っている。



●データ化による資源管理支援

AIで識別したウバメガシの位置や本数をGIS上で管理・保存。町内全域のウバメガシ分布の把握に役立て、原木保全や備長炭産業維持に資するデータの作成を行っている。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】

（電話番号（職場）　）0739-76-2014（みなべ森林組合）

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
現在のところ無し

鳥取県琴浦町　行安　稔

農業・林業

～　満点の星空の下、風の通る丘にできるワイナリーでワイン造り　～

基本情報



【年　齢】
47歳
【出身地】
岡山県倉敷市
【転出元】
鳥取県琴浦町
【前　職】
ワイナリー勤務
ワイン醸造
【活動時期】
R7.6～R8.5

協力隊に応募したきっかけ

この度、鳥取県琴浦町に新しいワイナリーができると聞き、ワイン醸造に20年従事した経験を生かせればと思い応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

琴浦町らしい、気候・風土を活かしたワイン造りを目標としていきたい。
そのために、琴浦町の気候・風土にあった良質のブドウの作り方を普及所やJA・地域のブドウ生産組織等の関係者（団体）と研究していきます。

活動内容

●ワイン醸造用ブドウ造り

品種や圃場により条件が異なるので、普及所・JAの専門家の指導や他の作業員さんと協力しながら、ブドウの剪定や誘引を行って良質のブドウ造りをしています。
ブドウの生産から醸造までの知識を得られるように頑張っています。



●ワイン醸造（試験醸造）

今年収穫した醸造用ブドウの試験醸造を行いました。
近隣のワイナリーの醸造施設で行いました。
醸造を行う際には、立会して品種毎に経験・知識を積むことができました。



●良質のワインを生産するための経験･知識の獲得

山陰地方で組織されているワイン醸造やブドウの生産者の勉強会に参加して、情報交換や交流を深めて横のつながりをつくれました。
今後も交流を深めて良質のワインを生産に向けて頑張っていきたいです。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人or職場））yukiyasu_minoru@fujio-food.com
（電話番号（個人or職場））0858-52-3545

岡山県岡山市　茂木　瑞穂

農業・林業

～果物王国岡山で“ブドウ栽培”と市民農園（牧山クラインガルテン）を活用した地域活性化に取り組む～

基本情報



【年　齢】
58歳
【出身地】
東京都大田区
【転出元】
東京都武蔵野市
【前　職】
給食業務
【活動時期】
R5.4～（３年目）

協力隊に応募したきっかけ

農業経験はおろか、土いじりすらほぼしたことがありませんでしたが、自分で作物を作れるようになりたいという思いがいつも頭の片隅にありました。
当時中学３年生だった息子が「農業高校で果樹を勉強したい」と話しており、果樹栽培にも興味が出てきていたタイミングで、葡萄の産地である牧山地域の協力隊募集を見つけ、この機を逃すものかと応募に至りました。

今後の抱負・任期後の目標

牧山の「郷」ブランドのブドウ作りを継承するため、日々奮闘しております。
今後は、生食ブドウを引き継ぎながら、耕作放棄地を利用した無肥料・無農薬で行うブドウ作りや、米、麦、野菜作りなどにも挑戦していきたいと考えています。
地域の方々とのつながりを大切にし、牧山地域の振興に貢献できればと考えています。

活動内容

●ブドウの栽培支援

地元の方のブドウ畑をお借りし、芽欠き、誘引、摘芯、整房、摘粒、袋掛け、出荷までの作業支援を行いながら、栽培技術の習得に励んでいます。



●牧山クラインガルテン（市民農園）の活用支援

市民農園である牧山クラインガルテンをPRするためのイベント企画や、情報発信を行っています。
また、体験農園エリアの整備・利用者の支援を行いながら、農作物の栽培方法などを勉強しています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】牧山クラインガルテン
（メールアドレス）　bokken219@hi3.enjoy.ne.jp
（電話番号）086-228-2280

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（インスタグラム）@BUDOU_GIRL

@BUDOU_GIRL

岡山県井原市　三嶋　太地

農業・林業

～　みんなでシェアする会員制農園　～

基本情報



【年　齢】
35歳
【出身地】
栃木県
【転出元】
愛知県
【前　職】
アフィリエイター
【活動時期】
R5.10～

協力隊に応募したきっかけ

農業をしたいと思っていた＆SNSを本格的に始めたいと思っていた時期にたまたま会員制農園づくりのSNS担当という募集内容を見てこれだと思い応募した。
実際に採用されてみて、まさに農業も少しやりつつSNS運用をがっつりできる理想的な仕事だった。

今後の抱負・任期後の目標

SNS運用を一定のレベルで成功させ、会員制農園に会員が継続的に入ってくる仕組みを作る。

活動内容

●SNS運用

インスタグラムを中心に、SNSで会員制農園の会員を集めるための集客活動を行っている。



●農業イベントの開催

ただSNSを運用しているだけでは、なかなか人は集まらないので、定期的に農業体験や収穫体験などのイベントを開催している。



●SNS広告の活用

会員になりそうな属性の方をピンポイントで効率よく集めるため、掲載される地域や趣味嗜好を絞ることができるSNS広告を活用している。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人））agresort.bisei@gmail.com
（電話番号（個人））080-4867-5408

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（インスタグラム）https://www.instagram.com/agresort_bisei/

岡山県井原市　小村　泰秀

農業・林業

～　みんなでシェアする会員制農園　～

基本情報



【年　齢】
50歳
【出身地】
熊本県熊本市
【転出元】
福岡県北九州市
【前　職】
農家
【活動時期】
R5.11～

協力隊に応募したきっかけ

井原市の募集要項に対し、自身の経歴やスキルが役に立つと思ったことと、自身のスキルアップやキャリアアップにも繋がると思ったから。

今後の抱負･任期後の目標

活動地域である美星地区にて、CSA（地域支援型農業）を応用した会員制農園の仕組みを確立し、地域活性化及び、耕作放棄地や就農者減少などの課題解決に貢献したい。

活動内容

●地元農家への事業説明会実施

事業説明会を実施して、
会員制農園づくりのための参加農家を募集



●農業体験（畑、田、座学）

各種農業体験を利用農地などで実施
（苗の定植体験、種まき体験、竹炭づくり体験、夏野菜の収穫体験、枝豆の収穫体験、田植え体験、稲刈り体験、脱穀～籾摺り体験、大学教授を講師に迎えての座学講座など）



●出店PR活動

倉敷のイオンの七夕マルシェに出店し、地元野菜の販売や活動PRを実施



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人））com.liberarch@gmail.com
（電話番号（個人））090-8621-4197

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
活動InstagramのＱＲコードを添付　⇒

岡山県赤磐市　福田　美香

農業・林業

～　赤磐市是里での農業・地域支援　～

基本情報



【年　齢】
42歳
【出身地】
青森県弘前市
【転出元】
東京都目黒区
【前　職】
建設業
【活動時期】
R7.8～R10.7

協力隊に応募したきっかけ

40歳を節目に新規就農を目的として夫の出身地である岡山県への移住を計画していました。作物はぶどうを考えていたところ、赤磐市の地域おこし協力隊の募集を知り、新規就農を考えていた私にとって良い機会になると考え、応募しました。

今後の抱負･任期後の目標

色々な行事や日々の活動を通して是里の皆さんとふれあい、対話を重ねながら、地域に特化したニーズを探り、新たな活動に繋げ、地域に貢献していきたいと思っています。
是里地区のぶどうづくりは、少子高齢化と過疎化が進むなか、後継者の育成が課題です。同じように新規就農を目指す人たちに是里地区の魅力を知ってもらい、一人でも多くの人材を呼び込み、みんなで一緒にこの地を盛り上げていきたいです。

活動内容

●ぶどうの栽培･経営に関する技術などの習得

ぶどうの収穫時期には、地域の生産者の人から学びながら、圃場での農作業や選果場での出荷作業を行いました。収穫時期が一段落したら、来シーズンに向けての圃場管理などを行います。収穫後にも人の手が細やかに加わっていることや来シーズンに立派なぶどうが収穫できるように様々な準備が必要であることを実感しながら経験を積んでいます。



●地域行事や地域農業者の支援活動

九月に開催された「是里むら収穫祭」の支援を行いました。例年五、六百人が来場するとても賑やかなお祭りです。目玉は是里ぶどうの販売で、今年は午前中で売り切れてしまうほど大盛況でした。
来場者に来てよかったと思ってもらえる収穫祭を目指して、来年の開催をよりよくできるよう地域の方と話し合っていきたいです。





連絡先

【メディア等の取材連絡先】
赤磐市　産業振興部　農林課
（メールアドレス）sangyo@city.akaiwa.lg.jp
（電話番号）086-955-6174

岡山県真庭市　小林　建太

農業・林業

～　森林管理を担う「山守」になりたい　～

基本情報



【年　齢】
36歳
【出身地】
大阪府大阪市
【転出元】
大阪府大阪市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R7.10.1～R10.9.30

協力隊に応募したきっかけ

コロナ禍をきっかけに都会でのサラリーマン生活を続けることに不安を抱き、田舎の里山資源を活用して、「自分の手で生きる」ことを目指すようになりました。その手段として「林業」を主軸とした百姓的な生き方（半林半X）を実践したいと考えています。また、既存の林業とは違った“多面的な稼ぎ方”を目指し、林業分野に留まらず、幅広いネットワークを構築するハブ役となり、真庭市の林業も盛り上げたいという想いで、協力隊に応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

かつての里山は、地域の共有資源として共同管理されてきましたが、今では多くが手入れされず、荒れています。
　私は、自ら資源調査を行い、森林経営計画を立て、森林施業を実践する“山守”を目指しています。
　また、整備した里山を舞台に、環境教育や企業研修、自然体験を通じて森と人をつなぐ活動を広げたいと思います。
　地元の山主さんに信頼され、地域に必要とされる山守を目指して頑張ります。

活動内容

●森林サービス産業への挑戦

◆森林資源の収益化：木を伐るだけではなく、+αの価値づけ（里山セラピー、グリーンウドワーク、エコツーリズム、自然体験イベントなど）

◆林業× 観光× 教育のクロス分野の可能性に挑戦



●井尾川流域森づくり構想

◆森林の団地化・集約化を進めることで、持続可能な「森林経営計画」を策定し、森林施業を実践する。

◆井尾川流域の森林を、自然と人の生業（林業）が調和する形で管理し、将来的には「自然共生サイト」への登録を目指す。



●令和7年度良好な環境を活用した観光モデル事業

◆環境省のモデル事業。一般社団法人北房観光協会が実施する事業に、森林インストラクターとして関わる。真庭市を中心とする３エリアが連携し、オンラインとオフラインが一気通関した自然保全学習・体験コミュニティを形成し、地域への継続的な接点と再来訪を促す仕組み作りを目指す。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（職場））koryu@city.maniwa.lg.jp
（電話番号（職場））0867-42-1179

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（こばけんの田舎開拓史）https://kobaken-countrylife.com/

愛媛県松山市　西本　悟朗

農業・林業

～「農園維持サイクル」により耕作放棄地対策～

基本情報



【年　齢】
５６歳
【出身地】
千葉県浦安市
【転出元】
バングラデシュダッカ市
【前　職】
国際協力機構派遣専門家
【活動時期】
R７.４～R１０.３

協力隊に応募したきっかけ

今までは、海外を転々として生活をしてきたが、定住することを考え情報収集する中で、忽那諸島を知った。実際に中島を訪れ、将来家族と中島で暮らし、自分の子どもにも中島を故郷として、芯のある複合文化を育んでもらいたいと考えるようになった。そこで自分たちが暮らしていくためにも、中島が抱えている「耕作放棄地」の対策として、アグロ・ツーリズムを起点とした、「農園維持サイクル」の立ち上げに、中島の方と取り組んでいきたい。

今後の抱負･任期後の目標

活動のミッションは「耕作放棄地対策」だが、当面は中島の風土と農事暦を踏まえた地域の農業全般を学ぶことに注力し、みかん生産者や新規就農者の支援をするとともに、南国果樹、陸稲、そばなどを試験栽培している。柑橘の収穫、出荷の農繁期には、援農に力を入れ、自らも柑橘栽培のサイクルを学びながら、生産者の方々の知己を得、地域計画に沿った耕作放棄地の再生に取り組んでいきたい。

活動内容

●地域団体と連携した活動

まつやま里島ツーリズム連絡協議会会員の地域団体が主催するお茶摘み体験会に参加し、お茶園の管理の支援を実施している。また、島外のフリースクールの体験学習などにも参加している。



●イノシシ対策とジビエ化

イノシシ対策協議会に参加し、罠免許も取得。また、地元団体と連携してジビエ化を目指し、解体、精肉処理の練習にも取り組んでいる。



●耕作放棄地再生

農家の方の依頼に応じて耕作放棄地再生（草刈、植樹、石積）の支援や、放棄地を貸与し、園地として再生後、管理に取り組んでいる。再生した放棄地では、柑橘だけでなく収入確保を念頭に陸稲や、そば、トロピカル・フルーツ、ハーブなどの試験栽培にも取り組んでいる。



連絡先

【【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）gorou.nishimoto@city.matsuyama.ehime.jp
（電話番号）089-948-6816
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（里島めぐりFacebook）https://www.facebook.com/people/ritoumeguri/
（里島めぐりInstagram）
https://www.instagram.com/ritoumeguri?igsh=ZGNnMWdla3dOMjVz

福岡県北九州市　安村　嘉能

農業・林業

～　合馬地区の魅力発信と、採れた新鮮な特産物を届けます！　～

基本情報



【年　齢】
５２歳
【出身地】
福岡県福岡市博多区
【転出元】
福岡県福岡市中央区
【前　職】
・大手印刷会社
・アパレル業
【活動時期】
R６.１０～R９.９

協力隊に応募したきっかけ

令和6年1月に北九州市小倉南区で開催された、「二地域居住体験ツアー」に参加しました。そこで北九州市、特に小倉南区に強い興味を持ちました。ツアー期間中に合馬の「豆腐汁」をいただき、魅力ある郷土料理を後世に残す仕組みづくりをしたい、と強く考えていました。個人的にも内装やコミュニティスペースの企画デザインをしており、スキルを役立てたいと考えていました。
6月に公募があり、ここぞとばかりに応募しました。

今後の抱負･任期後の目標

合馬の課題は、三谷の課題であり、小倉南区の課題です。設立した「三谷地域振興協議会」の活動を軸に、合馬たけのこのＰＲやお米のブランド化を推進します。合馬の魅力をピックアップし、観光や農泊と連携して活動をしていきます。小倉南区役所と連携して合馬の郷土料理「とうふ汁」のPRにより、賑わい親しみある店舗運営を目指します。まずは既存の施設を利用しての期間限定ショップ、将来的に恒久的な店舗運営を目ざします。

活動内容

●合馬農産物直売所の再活性化

26年前の平成11年に設立された合馬農産物直売所は、たけのこやお米を中心に出荷されてきた生産者組合が運営する直売所です。しかし生産者の高齢化やスムーズな事業承継がうまくいかなかったこともあり、厳しい運営を強いられています。合馬地区の魅力をPRし、高齢な生産者の足並みを揃えながら、合馬の色の魅力を発信していきます。





●合馬神楽や豆腐汁のPR活動

合馬は三谷の一部である西谷地区にあります。全国的にたけのこで有名ですが、合馬神楽や豆腐汁といったローカルコンテンツも充実しています。これらを映像化・言語化して都市部にPRしています。合馬神楽保存会にも参加し、若手グループへの継承をサポートしていきます。豆腐汁も婦人グループと連携してイベント参加を促進しています。





●三谷地域振興協議会の運営

合馬は、西谷・中谷・東谷の３つの谷にあります。合馬の魅力は三谷の魅力の一部です。令和7年に地域の皆さんと共に三谷「地域振興協議会」を立ち上げました。官民連携して中山間地区の農業の可能性として農泊、たけのこの観光農園化、収穫体験などのイベント化を企画しています。また、地域の観光資源を発掘するフィールドワークを実施しています。





連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人or職場））praudacorp@gmail.com
（電話番号・個人）090-7539-0108
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（instagram）yasumura.oumaで検索するか右QRコードよりDL

@YASUMURA.OUMA

08 環境保全・自然保護

北海道厚岸町　古巻　翔平

環境保全・自然保護

～　厚岸の貴重な自然の魅力を発信　～

基本情報



【年　齢】
26歳
【出身地】
東京都目黒区
【転出元】
北海道札幌市
【前　職】
大学院生
【活動時期】
R5.10~

協力隊に応募したきっかけ

就活の際に生物や自然環境に関わる仕事を探していたところ、厚岸町で協力隊の応募が出ているのを見つけました。厚岸町には旅行や大学の実習で訪れたことがあり、町の自然に魅力を感じていました。また、学生時代の調査や研究の経験が業務内容に活かせると思ったため、協力隊に応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

地域の自然について今後も調査を行って理解を深め、町民や来館者の方々にわかりやすく伝えていく活動を行っていきたいです。また任期終了後も調査や普及啓発活動を続けていきたいと思っています。

活動内容

●厚岸水鳥観察館での業務・普及啓発活動



厚岸水鳥観察館で、来館者の方々へ季節の自然情報や館内の展示の解説等を行っています。また、館内の展示物作成を行って、調査活動で得られた情報を発信しています。さらに、一般の来館者だけでなく、町内外から校外学習で訪れる子どもたちに地域に生息する生物のことや、貴重な自然を保全していくことの大切さなどを伝えています。

活動報告会では普段の活動の発表だけでなく、鳥の観察会も行いました。今後も町民の方々などに、地域の自然について知ってもらう機会を作れればいいなと考えています。

●町内の自然環境調査



屋内の活動だけでなく、屋外へ出て主に鳥類に関する調査を行っています。

ドローンや野外観察カメラ、目視の観察によって、湿原で繁殖する希少なオジロワシやタンチョウの繁殖状況調査、厚岸湖周辺で越冬するワシ類やオオハクチョウの飛来数調査を行っています。また鳥類標識調査を行い、町内で繁殖する鳥類の生態や、様々な環境を利用する鳥類相の把握を目指しています。

今年は町内にある2つの国設鳥獣保護区を踏査する巡視活動にも同行しました。

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（職場）seisaku@akkeshi-town.jp ）
（電話番号（職場) 0153-52-3131）

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Facebook）https://ja-jp.facebook.com/akkeshi.shiikiokosi

福島県玉川村　小菅　徹

環境保全・自然保護

～守るべき「ふるさとの顔」を、次世代へ！～

基本情報



【年　齢】
52歳
【出身地】
新潟県　新潟市
【前　職】
配置販売業
【活動時期】
R７.６～(１年目)

協力隊に応募したきっかけ

総務省の協力隊HPを閲覧した時に、玉川村の募集が７項目あり、他の自治体より盛んに活動しているだろうなと感じ、視察に訪れました。その際、協力隊の隊員２名に村内を案内してもらいましたが、とても美しい村だと感じましたので、美しい村づくり支援隊員に応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

フリーマーケットや物々交換等のイベントを開催して村内に５R（リフューズ・リデュース・リユース・リペア・リサイクル）の意識を広め、美しい玉川村が１００年後の続くように活動していきます。
任期後は景観維持や放棄耕作地を活用することにより、自然と共存していく活動もしたいので、協力隊の任期中にそういった準備をしたいと考えています。

活動内容

●活動概要

・村内のごみ拾い
・村内ごみステーションの巡回
・広報・回覧・SNS等でのごみ軽減、分別啓発活動
・フリーマーケットの定期開催

●現在の活動についての感想

ごみの減量、分別は一人ではできません。ひとり一人の小さな意識の積み重ねが大切です。皆さんが資源ごみとして分別したものが何に生まれ変わるのか。など興味の引く情報発信を行い、リサイクルの意識の輪を大きくしたいです。私の協力隊の活動はまだまだできることが山ほどあると思いますので、計画を立てて、活動していきます。まずは、フリーマーケットを定期で開催するように準備していきます。地域の人々が楽しく集まれる場所になって、子供達の笑い声が鳴り響く場所になれば嬉しいです。
ごみ拾いも今までの社会人生活では、わざわざすることはなかったですが、やってみると楽しいものです。今まで目につかなかったごみが気になって、拾わずにはいられない気持ちが芽生えてきて、日常生活でもごみが目に入るようになって、若干、困っていますが、ごみ拾いは、肉体的、精神的どちらにも有益で、そのうえ楽しいことがわかりました。この小さな喜びを感じながらごみ拾いを続け、こういった感覚を周りに伝えていきたいと思います。

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
電話番号　0247-57-4624（玉川村住民課）

鳥取県湯梨浜町　粟屋　采代

～　コミュニティ・ガーデナー　～

環境保全・自然保護

基本情報



【年　齢】
24歳
【出身地】
埼玉県上尾市
【転出元】
埼玉県上尾市
【前　職】
ハウスメーカー
【活動時期】
R7.1～

協力隊に応募したきっかけ

「人の心に残り、残り続ける人になる」という自身の目標を達成し続けるために応募しました。
この目標を達成し続けるためにはどうすれば良いか考えていた時に、地域おこし協力隊を紹介していただのがきっかけです。

今後の抱負･任期後の目標

地域おこし協力隊の活動目標は、私も含め、湯梨浜町に住んでいる方やこれから誕生する子供たちが心の底から、「湯梨浜町が大好き」と思える町にすることです。

任期後はカフェの開業を考えています。
また、地域おこし協力隊の活動を通して出会った、「やりたい」と思うことを行いながら生活したいです。

活動内容

●VISCOM　GARDEN

従来の「コミュニティ（community）ガーデン」に「来訪者（visitor）」を加えた新しいガーデニングスタイル「VISCOM GARDEN」をつくりました。
VISCOM GARDENでは、ガーデニングを通して様々な「つながり」を生み出すことを目的としています。



●宇宙桜（天女桜）の保全活動

湯梨浜町では、高知県仁淀川町から寄贈していただいた宇宙を旅した桜「宇宙ひょうたん桜」の苗を「天女桜」と命名し、大切に育てています。
地域おこし協力隊の活動の一環として、毎年春に元気な花が咲くように、桜の木の観察や保全管理、周囲の環境整備などを行っています。



●湯梨浜町活性化/PRイベントの開催

湯梨浜町を町外の方に知ってもらえるように、湯梨浜町活性化イベントを開催しています。
第1回目は「道の駅はわい」で行い、湯梨浜町の魅力を発信しました。また、立ち寄られた方にヒマワリの種をまいてもらい、できた苗をイベントで使用することで、多くの「つながり」が生まれました。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）awayaa@yurihama.jp (職場)
（電話番号）0858-35-5304 (職場)

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）@yurihama_communitygardener
（VISCOM GARDEN ホームページ）
https://sites.google.com/view/viscomgarden/home

Instagram　　ホームページ

宮崎県諸塚村　首藤　佑介

～　森林コーディネーター　～

環境保全・自然保護

基本情報



【年　齢】
37歳
【出身地】
大分県大分市
【転出元】
大分県大分市
【前　職】
公務員
【活動時期】
R7.4～R10.3

協力隊に応募したきっかけ

移住先を検討する中で、候補地であった諸塚村に、お試し滞在制度を利用して訪問させていただきました。その際、お世話になった方々の温かいお人柄に強く惹かれ、諸塚村への移住を決意しました。

どういった形で移住するか、諸塚村役場の担当者に相談した結果、地域おこし協力隊として地域協力活動に取り組む中で、地域の方々との関係を築き、将来的な方向性を明確にしていきたいと考え、応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

山と人が寄り添って生きるこの村で、獣害対策に取り組みながら、いただいた命を地域の恵みとして活かしていきたいです。
この仕事の魅力や誇りを発信し、諸塚で共に働き、未来をつくる仲間を見つけていくことが目標です。

活動内容

●諸塚村の獣害対策

諸塚村は豊かな山林に囲まれた村です。その主要な産業はFSC認証を受けた木材を用いた林業、世界農業遺産として認定された農業等になります。それらを守る為、これまでの経験を活かした獣害対策に取り組んでいます。



●新たな森林資源の模索

諸塚村はその面積の95%以上を森林が占めています。そこから得られる資源は豊かで品質もよく、既に多くの方から評価を得ています。一方で、まだ活用できていない資源も多く存在するのが実情です。それらの活用方法を探り、狩猟を始め森林に在る未活用の資源の有効利用を模索しています。



●諸塚の魅力PRと人の誘致

獣害対策や資源の活用については、私一人で担いきれるとは考えておりません。よって、これらに私同様魅力を感じ、協力してくれる方、一緒に活動してくれる方を募集するため、諸塚の魅力を発信し、人を招く活動に力を入れたいと思っています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（職場））morotsuka.crcs@gmail.com
（電話番号（職場））0982-65-1116

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（instagram）https://www.instagram.com/hujisan.morotsuka_crcs/

鹿児島県指宿市　小柗　正樹

環境保全・自然保護

～棚田の未来を創造し、次世代へつなぐ～

基本情報



【年　齢】
49歳
【出身地】
東京都足立区
【転出元】
埼玉県川口市
【前　職】
オペレーター
【活動時期】
R７.１～
（２年目）

協力隊に応募したきっかけ

もともと米作りや狩猟と、温かく自然の魅力がコンパクトに詰まった指宿市に興味がありました。全国を旅する中で実際に棚田を訪れ、協力隊OBの話を聞いたのがきっかけです。

今後の抱負・任期後の目標

振り返れば、自分ひとりの力で形にできたものはひとつもありません。農機具を貸してくださる方、高齢の方々が一緒に手を動かしてくださる姿に頭が下がります。課題はまだまだ多く、これからもやることはたくさんありますが、感謝の気持ちを忘れず一歩ずつ前に進んでいきたいと思います。模索の途中ではありますが、収入と地域貢献ができる現実的な働き方を探っています。

活動内容

●棚田の保全・再生

耕作放棄地となっていた棚田の草刈り、水路の整備、畦の補修、稲作の実施など、環境保全と農地再生に取り組んでいます。



●地域資源を活用したイベントの開催

鹿児島県と連携した稲刈り体験や，一般の方を対象としたイベントを開催しました。
また、体験受け入れに向けて、草刈りなどの環境整備を行いました。



●地域資源を活かした田舎暮らしのマネジメント

棚田米など、地域資源を活かした商品の企画・デザインを行い、マルシェに出品して地域の魅力を発信しています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）nosei@city.ibusuki.jp
（電話番号）070-1416-6086（農政課直通）
（職場）農政課
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://www.city.ibusuki.lg.jp/ijyu/chiikiokoshi/post-10.html

環境保全・自然保護

鹿児島県大島郡大和村　沢田　魅月

～　アマミノクロウサギミュージアムＱｕｒｕ Ｇｕｒｕ くるぐる　～

基本情報



【年　齢】
39歳
【出身地】
神奈川県大和市
【転出元】
神奈川県大和市
【前　職】
造園会社
【活動時期】
R7.4～R10.3

協力隊に応募したきっかけ

昨年10月、生まれてはじめて観光で奄美大島を訪れました。生命力あふれる自然に圧倒され、野生生物と人の生活圏の距離の近さに驚き、この島での暮らしに大きな興味を抱きました。島での仕事を探す中で大和村立アマミノクロウサギミュージアムQuru Guruがオープンすることや協力隊の募集を知りました。前職での経験を協力隊の活動に活かしながら新たにできる村立施設を盛り上げたいと思ったこと、活動を通して島を代表するいきものであるクロウサギをはじめとした奄美の自然の魅力を伝えたいと思ったことをきっかけに応募を決断しました。

今後の抱負･任期後の目標

施設の設立は大和村の一大決心の賜物だと感じながら責任感を持って活動しています。村民をはじめたくさんの方に愛される施設になるよう尽力するとともに、奄美の自然の素晴らしさを伝えるメッセンジャーとして活動を続けていきたいです。
退任後は，引き続き施設で勤務するとともに、エコツアーガイドとして大和村や奄美大島の豊かな自然を体感いただく機会を提供していきたいと考えています。

活動内容

●インタープリテーション

大和村立アマミノクロウサギミュージアムQuru Guruにて教育普及員としてインタープリテーションの業務にあたっています。来館者への展示の解説・ご案内をはじめ、村内小中学校の児童生徒を対象とした夏休み学習教室のコーディネート、施設イベントの企画運営などに携わっています。施設を訪れて知ったこと・学んだことを誰かに話したくなるような解説・案内を心がけています。



●広報活動

施設の取組みや飼育しているクロウサギの様子を発信する広報活動をしています。公式ホームページ・インスタグラムの更新、地元広報誌での連載記事執筆、ローカルＦＭでのラジオ出演、新聞・ＴＶの取材対応などに携わり、施設だけでなく奄美のいきものや自然にも愛着を持っていただきたいとの思いで発信しています。



●他機関への協力

自然保護活動の一環として環境省(奄美野生生物保護センター)がおこなっている調査やイベント運営に協力しています。活動を通して学んだことやフィールドに出て感じたことを施設内スタッフに共有しインタープリテーションに活活かしています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】大和村立アマミノクロウサギミュージアムQuru Guru(くるぐる)
（メールアドレス（職場））guruguru@vill.yamato.lg.jp
（電話番号（職場））0997-57-1196

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（公式インスタグラム）
https://www.instagram.com/amamirabbitmuseum_guruguru/

@AMAMIRABBITMUSEUM_QURUGURU　公式ホームページ

09 医療・保健

北海道洞爺湖町　白澤　祐子

医療・保健

～　「笑顔」と「元気」、「自立支援」を応援します　～

基本情報



【年　齢】
63歳
【出身地】
北海道室蘭市
【転出元】
北海道札幌市
【前　職】
ツアーコンダクター等
【活動時期】
R6.4～R9.3.31

協力隊に応募したきっかけ

地域活動である札幌市の消防団員歴が20年という節目を迎えたことと、コロナ禍で価値観や人生観が変わり、かねてより海がある町に移住したいという想いが強くなりました。
生まれが室蘭市ということもあり、幼い頃から洞爺湖周辺には親しみがあり、近年は仕事で訪れることも多く、大好きな場所のひとつでした。
洞爺湖町への移住を決めたタイミングで、協力隊の募集記事を見つけ、応募してみました。

今後の抱負・任期後の目標

健康寿命の延伸、また、認知症予防や介護予防のため、介護美容/ビューティタッチセラピスト資格を取得しましたので、多くの皆さまに笑顔と元気、自立支援の応援をしたいと思っています。
そして、私のようにGG世代や定年退職後から新しいことに挑戦したい、自分らしく生きたいという想いを共有できる仲間たちと、コリビングハウスを作るのが次の目標です。

活動内容

●介護予防・地域ささえあい事業

令和8年1月からスタートした町の新規事業「地域ささえあい拠点「ひまわり」の開設準備を進めてきました。
開設後は、アドバイザーのひとりとして、「ひまわり」に常駐し、介護予防部門を担当しています。



●認知症地域支援推進員

オレンジカフェ（認知症カフェ）の開催や、認知症サポーター講座に関すること、また、認知症サポーターの皆様と地域で認知症を支えるネットワークづくりなどに携わっています。



●講師・講演

社会福祉協議会様や老人会様はじめ、地域の皆様に「癒しのハンドマッサージ」「スッキリ小顔マッサージ」「アロマポット作り」など、参加者とともに楽しみながらADL(日常動作）の維持・向上を目的としたレッスンを実施しています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人））toyausu.shirosawa@gmail.com
（電話番号（個人））　090-1640-5741

【活動の様子を発信しているSNS】

@KAIGOBIYOU_AT_TOYAKO

長野県原村　伊良原　裕子

～　地域福祉の推進　～

医療・保健

基本情報



【年　齢】
45歳
【出身地】
京都府　京都市
【転出元】
兵庫県　神戸市
【前　職】
社会福祉法人職員
【活動時期】
R5.4～

協力隊に応募したきっかけ

・登山が好きで八ヶ岳によく来ており原村の景色が大好きだった。八ヶ岳西麓への移住を考えて家を探していたところ協力隊（福祉分野）の募集と出会った。

・病院や社会福祉協議会で相談業務に携わっていたが、福祉制度だけでは幸せになれないと感じていた。村という小さな集落で、制度だけではない福祉＝地域福祉に携わってみたいと思った。

今後の抱負・任期後の目標

・庁内/外、専門職/住民など、枠組みを超えて“ご近助”の意識で支え合う福祉の仕組みづくりにチームで取り組む（重層的支援体制整備事業）
・原村・八ヶ岳には自然・人という資源がある。その良さを活かして、福祉だけに留まらず地域づくりの視点ももって活動する人材になる
・（任期後）原村が20年後も暮らしやすい村であるために自分自身も長い目線で仕事と暮らしを整える

活動内容

●「重層的支援体制整備事業」に関すること

・制度の狭間や複合・複雑化した支援ニーズをもつケースに、制度や分野を越えて支援を行うための取り組み。「かさなる会議（ケース会議）」の開催、地域に参加の場を増やす参加支援などを通して、福祉関係だけでなく地域の様々な方が、気づき、つながる体制をめざしている。



●ひきこもり･不登校の親御さん、当事者の支援活動
（一般社団法人ハートフルビレッジ）

・地域の方とスタートさせた活動。行政と地域が一緒に支援に取り組める状態をめざしている。
・親御さんが自分の気持ちを話し、手放すことができる安心安全な場所「お話会」の開催
・当事者が家族以外の信頼できる人・場所を持つことを目的としたミントコーディアルの製造販売など





●地域づくりに関すること

・楽しめることを大切に活動している。
・地域回想法（福祉×美術館）民具を通して、昔のくらしの話を聞き、多世代交流につなげる
・コミュニティコーピング　ゲームを通して社会的処方を体験、地域づくりについてみんなで話す機会をつくる



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人or職場））fukushi@vill.hara.lg.jp(職場)
yuppqq@gmail.com(個人)
（電話番号（個人or職場））0266-79-7092　（職場）
090-3265-6875（個人）
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
一般社団法人ハートフルビレッジ　Instagram @heart_full_village

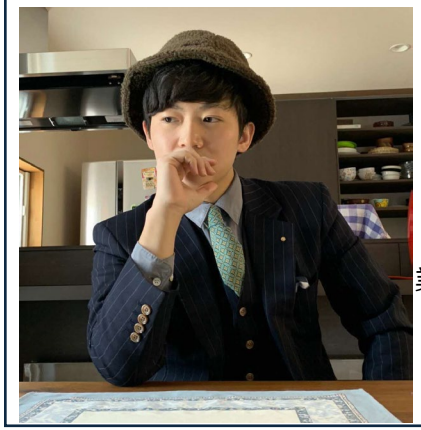
10 デジタル

北海道安平町　髙橋　颯

デジタル

～　デジタルで移住と観光を面白くする技術者　～

基本情報



【年　齢】
32歳
【出身地】
北海道　釧路市
【転出元】
北海道　札幌市
【前　職】
Sier　以後会社を複数起業し、現在に至る。
【活動時期】
R6.4～R9.3（予定）

協力隊に応募したきっかけ

Fanfareあびら起業家カレッジを知人が運営していて、ご縁をもらったことが最初のきっかけでした。
深く町を知る中で、充実した子育て環境と自然の豊かさが共存する魅力的な町であることがわかり、移住してみたいと感じました。もともと、北海道から本州のお客様をシステム企画・開発によりサポートする仕事をしており空港が近いことも非常に魅力的で、安平町はそうした意味でもベストマッチでした。

今後の抱負・任期後の目標

IT 技術を活用したまちおこしに取り組んでいます。昨年度は役場と連携し、道の駅にARスポットを設置、子どもやシニア向けのデジタル体験機会を提供しました。また、スマートワーク推進協議会委員に任命され、長期学習プログラムのマネージャーを務める、デジタル活用共生社会推進協議会に任命、地域ICTクラブ設立協議に携わりました。
今後は、町民向けのデジタルを活用した仕事の創出をメインに、探究授業や放課後のデジタル支援、町内のIT相談にも対応、各種活動を推進するNPO設立を目指しています。

活動内容

●スマートワーク推進プロジェクトの長期プログラム



マネージャーとして、月に 1-2 回程度の授業実施に伴う現地サポートのみならず、授業のバックアップ・アナウンス・受講者からの相談（slackによるサポート）・OJT を通した受講者のトレーニングを実地するとともに、プログラム受講生に仕事の紹介および受注仕事の管理マネジメントも実施しています。

●子ども向けデジタル体験イベント支援



毎週木曜に実施するデジタル体験イベントにおけるスタッフとしての関わり、
子どもに提供したプログラムのうち主に「教育版マインクラフト」におけるカリキュラムの進行役やメタバースを用いた多拠点交流を担い、本事業における他拠点交流イベントにおいて子どものデジタル作品を展示等を実施しました。

●高齢者向けデジタル講座



高齢者に対する「デジタル活用講座」として、高齢者の集まる場（オレンジカフェ、体測定会など）に訪問し、10～15分程度の講座を担当。スマホ（アプリ）の使い方や困りごと相談等を実施しました。ほかにデジタル技術に触れられる機会を提供しました。

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
所属先：安平町役場政策推進課政策推進グループ
（メールアドレス（職場））　m-suishin@town.abira.lg.jp
▶（電話番号（職場））　0145-22-2751
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
▶安平町公式サイト
https://www.town.abira.lg.jp/chiikishinko/chiikiokoshi/taiin/1727

茨城県　大場　一雅

デジタル

～　生成AIを駆使した企業の海外展開支援　～

基本情報



【年　齢】
42歳
【出身地】
大阪府守口市
【転出元】
ウズベキスタン タシケント

【前　職】
国際金融公社
【活動時期】
R５.９～

協力隊に応募したきっかけ

茨城県北地域おこし協力隊【起業・複業型】（通称：KENPOKU PROJECT E）が掲げる「地域外からの新しい視点で県北地域の資源活用と課題解決につながるビジネスを起こし、その成果を地域に広く波及させる」という目標に共感し、自身のICTを駆使した市場調査を提供するビジネスを茨城県県北地域で実現したいと考え応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

今後は、中小企業や自治体における導入事例をさらに拡充しつつ、大学や官公庁との共同研究を通じてAIモデルの精度向上を一層推進して行きたい。
また、国内だけではなく、海外企業等へのアプローチも継続し、世界市場向け製品開発に取り組みたい。
任期後のブランド目標は「茨城発グローバルAIプラットフォーム」としての認知確立。

活動内容

●AIを活用したプラットフォーム「KiAI」の開発・提供

「KiAI」のサービスは、すでに大手総合商社や官公庁、政府系金融機関などに導入され、マーケット分析や外交・安全保障分野で活用されています。今後は、アフリカ、中東、ASEAN諸国への展開を加速し、企業の海外進出支援、国際協力、災害対策、人道支援分野への応用も視野に入れて活動していきます。



KiAI：ビジネスの国境を無くす新興・途上国特化型リサーチAI
・新興国の現地で起きていることをタイムリーに情報提供
・現地の公開情報を取得。AIで情報を処理し、ニュースコンテンツの生成。（ビジネスレポートサービス）

●大学・産学官連携の推進

茨城大学工学部との共同研究を通じたAI技術開発や学生インターンシップを積極的に受け入れることにより、雇用創出と人材育成・定着に大きく貢献すると期待されています。
また、研究・教育・地域活性化という各領域にまたがる事業連携という位置付けで、2024年３月「茨城大学発ベンチャー」の称号を授与されました。地域おこし協力隊の起業活動が地域活動の発展に寄与する先行モデルとして活動しています。



●地域産業の競争力強化支援

茨城県北地域の中小企業向けセミナーを開催し、生産性向上の視点から生成AIの活用についての講演を行い、情報格差の解消を図るほか、海外展開を模索している企業に対し、販路拡大等の支援を行っています。

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人））kazumasa.oba@gmail.com
（電話番号（個人））050-3575-8368
【主なSNS・サービスページ】
https://twitter.com/Kazumasa_Oba_
https://kiaifund.com

神奈川県相模原市　中島　竜馬

デジタル

～ICTを活用した、中山間地域の課題解決と地域の魅力発信！～

基本情報



【年　齢】
２８歳
【出身地】
大阪府八尾市
【転出元】
埼玉県さいたま市
【前　職】
組み込み系エンジニア
（株式会社ワコム）
【活動時期】
Ｒ５．１０～
（３年目）

協力隊に応募したきっかけ

高専卒業後、システムエンジニアに就くものの、パソコンにずっと向き合う環境であったり、高度すぎる専門職に将来性を感じず退職しました。

その後、世界を旅するうちに「都心に住む人を対象にモノづくりを通じて『自立共生』を学べるコミュニティ」を作りたいと思うようになりました。相模原市にある「廃材エコヴィレッジゆるゆる」へ滞在したことをきっかけに、相模原市の地域おこし協力隊に応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

１．システムエンジニアのスキルを活かし、中山間地域の課題解決に挑戦します。例えば電子工作で動物よけオブジェや農林業向けのIoT機器を作る等です。また生成AIやスマホを使いこなすための講座を実施するなど、地域に寄り添った支援も行います。
２．「Akari Video」というAIを活用したSNSマーケティングツールを開発し、小規模事業者のビジネス支援を行います。
３．　たこ焼きキッチンカーの小商いを通して継続的に地域の人と関わり、地域活性化を図っていきます。

活動内容

●「デジタル機器なんでも相談会」

「デジタル機器なんでも相談会」は、地域あるいは地域住民へのデジタル化支援を通じたデジタルデバイドの解消を目指している。相談者の個別のお悩みにきめ細やかに対応することにより高評価をいただいている。２０２４年１月より３２ヶ月間の相談実績はのべ７００名となっている。



●地域産食材を使ったたこ焼き出店

銀だこ焼き修行５年の経験を生かし、相模原市の藤野地区の特産品であるゆずを使ったたこ焼きを開発。野外イベントで定期的に試食販売をして相模原市の魅力を発信している。ゆずだけでなく、地域産の小麦粉やネギなども使用している。

またキッチンカーなどの野外出店にまつわる保健所や各イベントでの売り上げデータのまとめを行うなど、ビジネス面での支援も行っている。



●鳥獣被害対策用の動物よけオブジェの開発

相模原市の中山間地域は鳥獣害による農作物の被害が大きいため、電子工作を用いた動物よけオブジェを開発している。農林福藝連携プロジェクトの一環で行なっており、福祉施設の方と一緒に行った皮剥き間伐の木材を使用している。現在は、 製品化に向けて 農作物の被害が出ている民家にて実証実験をおこなっている。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
・メールアドレス（個人）ryoma@morilab-fujino.jp
・電話番号（個人）080-4778-2883　／電話番号（共用）080-3428-9790
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
・Instagram：https://www.instagram.com/ryoma_nakajima
・森のイノベーションラボFUJINO（活動拠点）：https://morilab-fujino.jp/

鳥取県湯梨浜町　瀧川　和也

デジタル

～デジタル不安をゼロに！「できる」が増えるスマホ安心窓口～

基本情報



【年　齢】
57歳
【出身地】
大阪府堺市
【転出元】
大阪府貝塚市
【前　職】
・新規事業コンサルタント
・学習塾・飲食店の経営
【活動時期】
R6.11～

協力隊に応募したきっかけ

前職では、それなりに充実したワークライフを過ごしておりましたが、自分の仕事が誰の役に立っているのか直接実感する機会が少なく、地域に直接貢献できる活動をしたいと感じていた。人口減少や高齢化など地方が抱える社会課題の解決に関わりたいという思いから、地域おこし協力隊に応募しました。特にデジタル分野を通じて、人と人をつなぎ、暮らしを少しでも便利で楽しくできるような支援を目指している。

今後の抱負･任期後の目標

今後は、これまで培ったデジタル支援の経験を生かして、地域の中で「小さなありがとう」をたくさんいただけるような活動を続けていきたい。町内の多世代交流を促し、高齢者が安心してデジタル活用できる環境づくりに取り組むとともに、任期後も地域に関わりながら、継続的なサポート体制を築ける仕組みを整えていくことを目標としている。

活動内容

●スマホ相談会の実施

町内各地区でスマホ相談会を週3回開催。高齢者を中心にスマホの基本操作やLINEの使い方、写真の共有、キャッシュレス決済方法などを支援している。個々の習熟度に合わせたマンツーマン指導を行っている。



●スマホ活用術教室の講師

町民向けにスマホ活用術教室の講師を務め、便利なアプリの紹介や詐欺対策、災害時の情報取得方法などを解説。ワークショップ形式での学びを通じて、参加者同士の交流の輪を広げ、デジタル活用への不安軽減と地域のつながりに貢献したい。



●地域行事やコミュニティへの参加

各地域の行事やサロン活動に積極的に参加し、住民との信頼関係づくりを進めている。相談会だけでなく、日常的な会話や支援を通して地域の声を聞き、今後の活動に反映するように努めている。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】

（メールアドレス　takigawak@yurihama.jp）

岡山県津山市　藤田　堂報（とむ）

デジタル

～　地域内企業の成長をICTでサポート　～

基本情報



【年　齢】
61歳
【出身地】
大阪府東大阪市
【転出元】
兵庫県神戸市
【前　職】
経営コンサルタント
【活動時期】
R6.6～R9.5

協力隊に応募したきっかけ

コロナ禍を機にリモートワーク中心の生活となり、都市部に住む意義を感じなくなったため、全国でワーケーションを実践。2023年には世界一周旅行にも出かけ、世界中から働く生活を経験しました。このような生活を満喫した結果、自然と共に暮らす生活への憧れが強まり、中山間地域への移住を検討。その中で津山市の地域おこし協力隊事業を知り、これまでの経験を地域貢献に活かしたいと考えるようになり応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

津山では中小企業が手の届く価格でシステム開発を提供するITパートナーが乏しく、「ないなら作ろう」との思いで、学生と一緒にAI等のツールを使って効率的にシステムを開発する「株式会社地域のミカタ」を設立しました。任期後は、協力隊として培った地域との信頼関係を基盤に、学生や事業者と連携しながら、津山発の持続可能な開発モデルを構築し、全国へ展開していきます。

活動内容

●ICTコーディネーターとして地域企業を訪問

着任後の1年5カ月で、市内企業166社に延べ380回訪問し、ICT導入や業務改善、補助金申請等を支援。専門家派遣やセミナー共催を通じて生産性向上に貢献し、地域企業のDX推進に向けた基盤づくりを進めています。



●サテライトオフィス誘致

首都圏IT企業へのヒアリングや先進地視察を実施し、津山の強みと課題を分析。高専・IT企業・製造業との連携を軸に、企業誘致の量から質への転換を目指す方針を提案し、IT企業の津山への進出に向けた環境整備を進めています。



●株式会社地域のミカタとしてDX支援

地域に身近なITパートナーが不足している現状を踏まえ、「ないなら作ろう」との思いで設立。AI・ノーコード技術と学生エンジニアの力を活かし、中小企業にも手が届く価格でシステム開発を受託。地域発の持続可能な開発モデルを構築しています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）tom@c-mikata.co.jp
（電話番号）0868-24-0740（つやま産業支援センター）

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（株式会社地域のミカタ HP）https://c-mikata.jp/

11 教育･文化

北海道網走市　桑原　志保美

教育・文化

～　網走に残る古代オホーツク文化の遺跡で魅力発信　～

基本情報



【年　齢】
４９歳
【出身地】
北海道札幌市
【転出元】
北海道札幌市
【前　職】
漫画家・陶芸家・葬祭業
【活動時期】
R5.8～R8.3

協力隊に応募したきっかけ

以前網走へ旅行に来た際、モヨロ貝塚館という1300年前オホーツク海沿岸に400年間程だけ存在していた「オホーツク文化」を紹介する施設に立ち寄り、すっかり夢中に。網走を含めたオホーツク地方に興味を持っていたところ、網走市地域おこし協力隊の募集を見つけ、自分の特技を活かせるのではないかと思い、応募に至った。

今後の抱負・任期後の目標

網走の観光は「監獄」のイメージが強いが、他にも面白い文化の痕跡が残っていることや、海産物がおいしいことなどをもっとPRすることで、網走の観光全体が盛り上がることを目指していきたい。今後私は網走に残る平和な文化の遺跡「オホーツク文化」のことをもっと楽しく気軽に体験していただけるようなメニューを開発していき、特に卒業後はキッチンカーで土器を使った料理を提供する「土器カフェ」のオープンを目指している。

活動内容

●土器づくり体験

モヨロ貝塚館にて、一般の方むけに年３回の土器づくり体験講座を開催。小・中学校の校外学習での土器づくり体験・施設解説ガイドを行っている。
また、体験で制作された作品は昔ながらの「野焼き」という方法で焼成し、見学会も実施。更に本物に近づけられるように土の配合を研究し続けている。



●ミュージアムトーク

気軽に短時間で土器体験をしていただけるメニューを開発し、興味を持たれた方に実施。その際、スライドを使用しながら土器について解説し、理解を深めていただくというイベントを7月～9月に行った。
冬休み期間にも開催予定。参加者には考案したキャラクター「土器くん」の漫画などを渡している。



●土器貝汁

網走の粘土を使って作った土器に薪をくべて調理した貝汁を、イベント時に提供した。食材は網走のシジミをはじめとした地元のものを使うようにし、この地ならではの味になることを目指している。また「オホーツク遺跡街道推進ネットワーク」にも参加し、貝汁提供、土器づくり体験、ガイドを経験した。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人）kuwabara.kyouryokutai@gmail.com
（電話番号（個人）080-1880-4150

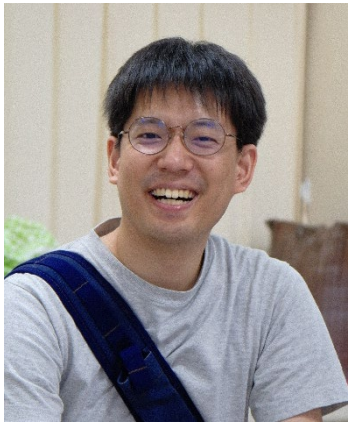
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（instaglam）https://www.instagram.com/abaaba_kuwabara

北海道遠別町　荒木　隆宏

教育・文化

～　学力向上への支援、教育サポーター　～

基本情報



【年　齢】
３２歳
【出身地】
北海道札幌市
【転出元】
北海道札幌市
【前　職】
会社員
【活動時期】
Ｒ７.９～（１年目）

協力隊に応募したきっかけ

児童会館での勤務経験を活かして、子どもたちの力になれる仕事に就きたいと思っていたところ、SNS広告で遠別町が協力隊を募集していることを知って応募に至りました。

今後の抱負･任期後の目標

学生と一緒に清掃活動を行うなどのコミュニケーションを大切にした活動をはじめ、地域との協創や地域資源の活用に挑戦してみたいです。
また、YouTubeやSNS、マスメディアなどを通した外部への発信にも努めていきたいと思います。

活動内容

●公設民営塾「えんべつ学びの場」運営支援

遠別町内唯一の学習塾で、運営のサポートを務めています。
小中学生の子どもたちが通っており、毎週一緒に勉強をしながら、学びや成長を応援しています。



●教育関係のイベント運営支援

遠別町教育委員会主催の「子どもチャレンジ教室」、地域団体運営のおもちゃ図書館「ちゃちゃ」や小中学生向けの探求学習「クエストラボ」の運営補助を務めています。
イベントを通した子どもたちの貴重な体験や地域の温かい交流の場を支えています。



●情報発信

遠別町公式note「えんべつ日和」に、町内の紹介やイベント取材に関する記事「協力隊あらぴだより」を投稿しています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（職場））info@en-oko.com
（電　話　番　号（職場））01632-9-7151

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（note）https://note.com/embetsu ※二次元コードはこちら→

北海道芽室町　甲斐　未悠

教育・文化

～中高生と地域をつなげ、羽ばたく未来をつなぐ　～

基本情報



【年　齢】
27歳
【出身地】
宮崎県延岡市
【転出元】
東京都立川市
【前　職】
保育教諭
【活動時期】
R6.4～
(2年目)

協力隊に応募したきっかけ

大学在学中に道東の地域教育に触れる機会があり、そこから「地域と教育」という部分に興味を持ちはじめました。
前職では、地域と子どもたちをつなげることを意識した幼児教育や関連事業を保育教諭の立場で行っていました。幼児教育にも興味関心はあったものの、地域での学びを創造し、コーディネートする方に関心が強くなっていったため、ご縁もあり芽室町の地域おこし協力隊に応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

中高生が地域資源と触れ合うきっかけづくりを引き続き行いながらも、すでに繋がりを持った中高生との関係性を大切にしながら活動していきたいです。
また、中高生×地域の活動は現状行っているので、幼児×中高生、幼児×小学生×中高生×地域など幅広い世代での繋がりが生まれる場づくりを作っていきたいです。

活動内容

●学校連携（白樺学園高校・芽室高校）

白樺学園高校総合コースの総合的な探究の時間にて地域の方のコーディネートや個人・グループ探究の伴走支援を行っています。
芽室高校フードデザインの授業では、地域の方のコーディネートや授業サポートを行っています。



●主催プログラムの実施

町内中高生が地域資源（物的・人的）を楽しめるようなコンテンツを企画運営しています。今年度では、町内イベントにて中高生スタッフとして活動するプログラムや夏休み期間中にレシピ開発、買い出し、試作、全体発表全て自ら行うプログラムを実施しています。



●生徒の伴走支援

中高生が地域でやってみたいことを伴走支援し、実践するプログラムです。今年度は昨年度からチャレンジし続けているサイクリングツアー（第3弾）や今年で4回目となる高校生主催クリスマスイベント「めむクリ」、今年初の動きとなる町内在住農業高校生のイベント企画の伴走支援を行っています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（職場））kai.m@memuro.net
（電話番号（職場））0155-62-9730
【活動の様子を発信しているSNS】
芽室町教育委員会Instagram
芽室町地域おこし協力隊Instagram

@HOKKAIDO.MEMURO_CHIKIKOKOSHI　@MEMURO_BOARD_OF_EDUCATION

岩手県一戸町　山舘　湧真

教育・文化

～　公営塾の運営　～

基本情報



【年　齢】
29歳
【出身地】
岩手県一戸町奥中山
【転出元】
岩手県盛岡市
【前　職】
児童指導員
【活動時期】
R5.4～R8.3

協力隊に応募したきっかけ

盛岡市で児童養護の仕事に携わる中で、地元一戸町に公営塾があることを知りました。見学させていただき子どもたちと関わる中で、地元の子どもたちの力になりたいという想いが強まった事と、両親が経営する会社の事業を今後サポートしていきたい事、2人の子どもを授かったことをきっかけに今後の働き方について考えるようになり、一戸町地域おこし協力隊に応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

任期後は両親が経営している会社の事業を継承しながら、一戸町の「教育」「地域づくり」「地域おこし協力隊のサポート」に携わりたいと考えています。
また、現在副業として行っている福祉関連の業務や立ち上げた任意団体の活動等、引き続き自分にできることを、地域の皆様の力も借りながら取り組んでいきたいと考えています。

活動内容

●一戸町公営塾の運営

「自学自習」をテーマに町内の小学3～6年生を対象とした塾を運営しています。町内3教室週1回の授業を行っており、計59名の塾生が在籍しています。
また、通常授業以外に料理教室や登山等の体験学習、夏期講習、冬期講習、中学3年生対象の土曜学習会、各種検定の運営などの活動も行っています。



●奥中山まなラボの運営

今年度、一戸町の地域おこし協力隊有志で「子どもの体験機会創出」を目標に任意団体奥中山まなラボを設立。岩手県の若者補助金を活用させていただきながら、スタディキャンプ、トウモロコシ収穫体験、月曜ゆったり学び場などを企画。この活動で得た経験を来年度以降の活動に活かしていきます。



●移住フェアへの参加

ふれあい回帰フェア、THEいわてDAYなどの移住フェアへ参加。一戸町の魅力発信、一戸町地域おこし協力隊の紹介等を行いました。
一戸町地域おこし協力隊が作成したチラシを配布しながら、一戸町に興味・関心を持っていただけるようアピールしてきました。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（職場））machi@town.ichinohe.iwate.jp
（電話番号（職場））0195-33-4851

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://www.instagram.com/tum_ugi14/

宮城県涌谷町　丸井　陽介

教育・文化

～みんながチャレンジできる環境を作る～

基本情報



【年　齢】
25歳
【出身地】
兵庫県西宮市
【転出元】
兵庫県西宮市
【前　職】
公設民営塾　講師
【活動時期】
R6.4～R9.3

協力隊に応募したきっかけ

地方の学習塾で勤務していたところ、国数英のような受験勉強も大事だけど主体的にやりたいことを仲間と一緒に実現するような社会教育も大事だと考えていた。そこで協力隊の制度を見つけ、平日夜は学習塾で副業をしつつその他で社会教育に携わることができそうだと感じたから。また、公設民営塾で生徒は無料で通える塾だったため、児童養護施設に通う子どももおり、事業でお金を作ってその子たちに対しての事業をしたいと考えていたから。

今後の抱負・任期後の目標

涌谷町に定住しつつ、お金になりにくい社会教育を継続すること。自分で事業（学習塾や宿泊事業など）を作り上げ、生活の基盤を整える。その上で地域の仲間たちと一緒に楽しいことを実現していき、大人から子どもへ「やりたいことはチャレンジして大丈夫だ」と思わせる環境を作っていく。また、個人的に児童養護施設に入る子どもたちに海外体験を提供し、体験格差の是正と頼れる仲間づくりができる事業を展開したい。

活動内容

●高校の総探コーディネーターと居場所づくり



涌谷高校の総合探求で地域の大人と高校生で対話する機会を設けたり、授業に一緒に入ってサポートをする。また、駅前のゲストハウスのスペースを利用してボードゲームなどを置き、帰り道に寄って友達と集まれる場所を作っている。全員が利用しなくてもいい、誰かの居場所へ。

●たくらむ会からのイベント実施



月に1度1品持ち寄りで多様な人が集まり、ご飯を食べながらやってみたいことを仲間を作りながら「たくらむ」。そこで考えた楽しい企画をみんなで実行する。小中学生向けのゲーム大会や大人も含めたスポーツ交流のモルック会、スナックを活用したカラオケ大会などを今年度は実施した。

●ふるさとワーキングホリデー



総務省が支援する移住定住・関係人口創出の事業の事務局を務め、企画から運営を実施。観光のその先へ。人と繋がり人から涌谷町を好きになるプログラムを検討し、涌谷町が「第2のふるさと」になるように毎日町民と晩御飯を食べたりするなど場づくりをしている。

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
メールアドレス（個人）maruiyousuke@gmail.com
電話番号（個人) 070-4173-6929

【活動の様子を発信しているSNS・ブログ】
Instagram：(wky_2426)　note:(https://note.com/wky_2426)

千葉県香取市　田畑　尚貴

教育・文化

～　歴史的街なみを支える人材を目指す　～

基本情報



【年　齢】
36歳
【出身地】
千葉県千葉市
【転出元】
宮城県仙台市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R6.8～

協力隊に応募したきっかけ

大学でまちづくりについて勉強していたころ、佐原の歴史的町並みと市民主体の保存活動について知りました。
実際に訪れてみて、悠々としたまちの雰囲気に感動し、何度も訪れるようになりました。震災で大きな被害を受けながらも訪れるたびに修景がすすみ、それを活かした活動が盛んになっていく様子に改めて大きな魅力を感じていました。コロナ禍を経て今後の働き方について改めて考えていたとき、佐原の町並み保存に取組む地域おこし協力隊の募集があり、すぐに応募を決めました。

今後の抱負･任期後の目標

イベントや制作物を通して、重要伝統的建造物群保存地区の価値ある歴史的な町並みがどうやって守られてきたのか、次代に残していくためにはどうすればいいのかについて、より多くの人に関心を持ってもらえるような取組みをおこなっていきたいです。

活動内容

●香取市都市整備課での業務

伝統的建築物の修復現場の立ち合いや景観審議会への参加等を通じ伝統的建築物についての知識を深めつつ、担い手育成支援事業の支援、さわら町屋館の活用イベントの企画・運営など、ソフト面からの町並み保存に関する業務に取り組んでいます。



●町並み保存関係団体との連携・支援

NPO法人小野川と佐原の町並みを考える会や佐原おかみさん会をはじめとした町並み保存・活用に関わる団体と連携し、各団体の町並み保存事業の支援に取り組んでいます。（小野川清掃、骨董市運営補助、伝統的建築物への標章プレート設置業務の支援、佐原雛舟春祭り運営支援等）



●香取市内外の地域おこし協力隊との連携

香取市の地域おこし協力隊である粟野隊員が主宰する古本交換会「BooksMeeting」の運営に参加しています。また、歴史的な町並みを活かしたまちづくりに取り組む地域おこし協力隊や北総エリアの地域おこし協力隊との交流や情報交換を積極的におこない、イベント企画・運営等に取り組んでいます。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】香取市都市整備課
（メールアドレス）toshi3@city.katori.lg.jp
（電話番号）0478-50-1214

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（インスタグラム）https://instagram.com/katori.kyoryoku

富山県上市町　レドンド・ボネット・ルーカス

教育・文化

～　上市町をアートのまちへ　～

基本情報



【年　齢】
46歳
【出身地】
スペイン
【転出元】
韓国
【前　職】
大学准教授
【活動時期】
R7.4.1～現在

協力隊に応募したきっかけ

韓国と日本を行き来する２拠点生活をしていた中、息子が小学生になるタイミングで日本に拠点を固定し、自然の中で暮らしたいと考えるようになりました。

知らない土地でいきなり生活するのは難しいので、地域に溶け込んで繋がりが持てる仕事を探していた時に協力隊の制度を知り、アニメの舞台にもなっている上市町が外国人協力隊を積極的にを募集していたので、自分のアートスキルを活かして地域に貢献できると思い応募しました。

今後の抱負･任期後の目標

地域の子どもたちや海外の美術大学生らを対象としたアニメーションコンテストやキャラクターデザインコンテストを開催したいです。

将来的には、町の「アートの先生」として地域に根ざし、子どもから大人まで、誰でも気軽に集い、創作に取り組める開かれたアートスタジオを運営していたいと考えています。

活動内容

●地域の子どもたちへアート教室

部活動の地域移行に伴い、中学校や小学校でアートを楽しく学びたい子ども向けの教室を開催しました。今後も定期的にアート教室を開催していく予定です。



●海外から美術大学生を誘致

細田守監督のアニメーション映画『おおかみこどもの雨と雪』の舞台でもある町を「アートの町」として広く発信するため、海外から美術大学生を迎え、プロのゲームデザイナーやアニメーターを講師とし、キャラクターデザインや日本のアニメ業界に関するワークショップ等を実施しました。



●ストリートアート

空き家が増えるまちなかの活性化を目指し、既存のイベントに合わせて子どもたちが自由に楽しめるストリートアートを開催しました。上市町の「過去・現在・未来」をテーマに３年間にわたって一つの作品を制作します。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
メールアドレス　lucasredondobnt@gmail.com

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
ウェブサイト　www.lucasredondobonet.com

石川県金沢市　小泉　範剛

教育・文化

～　醤油やまちなみなどの地域資源を活かしながら、アートによるまちづくりに取り組む！　～

基本情報



【年　齢】
24歳
【出身地】
北海道札幌市
【転出元】
北海道札幌市
【前　職】
一級建築士事務所 艸の枕
【活動時期】
R6.9～

協力隊に応募したきっかけ

2021年1月～2024年1月(能登半島地震発生時)まで学ばせていただいていたトンコハウスというアニメーションスタジオがある金沢の土地であること、
『絵で表現する大野町の豊かな表情』という企画を通した地域おこしは絵の技術向上も期待できること、
任期終了後のアニメーションスタジオへの就業を見据えた準備に十分な時間を割けることが応募させていただくきっかけになりました。

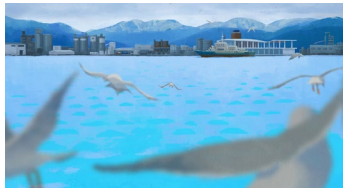
今後の抱負・任期後の目標

任期終了後はアニメーションスタジオへ就業し、さらなる修行を積んだのち、アニメーションスタジオを設立し映画制作を続けます。
就業・起業にあたって必要になる絵の技術的な側面を地域おこし協力隊の活動としてさらに向上させ、
コンセプトアーティストとして世界で活躍することで、アニメーションを通した金沢・大野町への中長期的な貢献を目指しています。

活動内容

●大野町周回企画『絵で表現する大野町の豊かな表情』

『絵で表現する大野町の豊かな表情』と題して、地域の方々は地元の魅力を再発見し、観光客の方は大野町に行ってみたいと思ってもらえることを目標に、大野町の美しい街並みや風景を絵で表現しています。現在完成している作品は既に常設展示しています。



●大野町内イベント出展

町内で行われるイベントでは、出展時のみ活動拠点を展示用に改装して作品展示を行っています。
大野涼日というイベントは1年間を通して観光客が最も訪れる日で、たくさんの方に絵を見ていただく機会があります。その他にも大野町文化祭という町内のみに向けたイベントへの出展などもしています。



●任期終了後に向けた自主制作

最長3年間という任期が決まっているので、任期終了後の活動を見据えた準備をすることを心がけています。任期終了後はアニメーションスタジオへの就業を考えているので、応募に際して必要な作品集(ポートフォリオ)の制作を進めています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス(個人)） curiousanimation2001@gmail.com
（電話番号(個人)） 080-4044-2667

教育・文化

福井県大野市　村上　綾（むらかみ　あや）

～　こども・若者支援　「みんなで育てる」共助の精神が基盤にある環境づくり　～

基本情報



【年　齢】
25歳
【出身地】
神奈川県川崎市
【転出元】
神奈川県川崎市
【前　職】
理学療法士(小児専門)
【活動時期】
R6.5～R9.5

協力隊に応募したきっかけ

たまたま遊びに来た大野市に一目ぼれをし、「大野に住みたい！」と思ったことがきっかけです。「住む」ということは、生活できるようなお金を稼ぐ必要があります。私は、国家資格免許を持っており、その資格を活かして就職することは容易でした。しかし、せっかくならば、移住する前からお世話になっている地域の方々や、地域自体に恩返しをしたいという想いがありました。そんな中で「地域おこし協力隊」という制度を知り、フリーミッション型で応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

任期後も大野市に住み「大野で子育てをする」ことが一番の目標です。さらには、「好きな土地で生きる」ことを自ら体現し続け、普段関わっている子どもたちや学生にも広い視野で、様々な選択肢を提示していきます。

現在地域おこし協力隊として行っている、子ども関連事業と地域創生事業は任期後も続けていく予定です。

引き続き、大好きな大野で過ごしていきます。

活動内容

●子ども向けのイベント企画・運営・実施

幼児から小学生を対象として、月１回以上子ども向けのイベントを実施しています。主催イベントは、大野の良さを最大限に活用し、「家でも学校でもできない、新たな発見・体験をしにいこう！」をコンセプトに探究学習要素を絡めながら実施しています。



●市内の教育・保育現場視察とヒアリング

大野市内にある、こども園～高校までの保育・教育機関や学童、民間施設など「子ども」の文脈がつく場所に足を運び、現場視察と子どもを取り巻く環境にいる大人たちへのヒアリングを実施しています。「大野だからこそ」の良さと課題を収集し、自治体に伝えたり、協力隊の活動に反映したりしています。



●若者の居場所づくり

福井県内各地に展開している、若者の居場所の運営メンバーに参画しています。大野支部の運営を中心に実施しています。



●SNSを活用した魅力発信

移住してきてからのリアルな生活や、大野の魅力をSNSを活用しながら発信しています。まずは「知ってもらう」ために大野市とのタッチポイントをSNS上で創出しています。

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）koconowa.official@gmail.com(個人)

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
インスタグラム：https://www.instagram.com/iju_musume.ono/
HP：https://koconowa.me/

長野県原村　平林　壮太

教育・文化

～　村のミュージアム・八ヶ岳美術館の魅力発信、企画運営　～

基本情報



【年　齢】
27歳
【出身地】
東京都墨田区
【転出元】
東京都墨田区
【前　職】
大学生
【活動時期】
R5.10～現在

協力隊に応募したきっかけ

大学では美学や博物館学を勉強していたので、学んできたことを活かせる仕事を探していたところ、協力隊の募集を見かけました。八ヶ岳の自然環境、清水多嘉示の彫刻と村野藤吾の建築空間が響き合う八ヶ岳美術館はとても魅力的な職場でした。原村には来たことがなかったのですが、ミュージアムの現場や学芸員の実際の業務を知る貴重な経験ができると期待して応募しました。

今後の抱負･任期後の目標

長野県は全国で最もミュージアムの多い都道府県です。信州の文化芸術の振興に少しずつでも貢献しながら、文化財が暮らしのなかでどういった役割を果たせるのか、自分なりに考え続けたいです。

活動内容

●企画展「村山写真室 生活と遺影」を担当

富士見町在住の写真家で、写真と生活のかかわりを探求している村山写真室さんの制作活動を令和7年度秋の八ヶ岳美術館の企画展でご紹介しました。
村の広報紙や新聞で作品制作の協力者を募集し、地域住民が参加する形での作品展示企画を実施しています。



●村所蔵の民俗資料を高齢者福祉で活用

福祉担当の地域おこし協力隊と共同で、原村の民俗資料を高齢者施設に持っていき、思いだせるお話を聞き取って記録する活動を1年間継続しています。
施設の職員さんから「利用者さんが元気になる」という声をいただけるほか、記録した声は地域住民向けに展示公開しました。



●開館前の美術館内での朝ヨガ教室を企画

企画担当の地域おこし協力隊と共同で、村内のヨガスタジオを経営されている先生をお招きし、開館前の時間の美術館内を活用してもらうイベントを開催しました。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
art@yatsubi.com（八ヶ岳美術館）、hira.sohta@gmail.com（個人）
0266-74-2701（八ヶ岳美術館）、090-5994-0196（個人）

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
@haramura_nagano（原村地域おこし協力隊インスタグラム）

HARAMURA_NAGANO

長野県中野市　ヲン　ジュン　シアン（ノア）

教育・文化

～　誰もが地域の一員として暮らせるまちへ　～

基本情報



【年　齢】
31歳
【出身地】
マレーシア
【転出元】
神奈川県横浜市
【前　職】
国際学校教師
【活動時期】
R6.6～

協力隊に応募したきっかけ

私は、まちで働き、市に貢献しながら中野市の美しさや人々の魅力をもっと知りたいと思っていました。応募のきっかけとなったのは、日本語を学び続けることができる環境と、自分の知識をみなさんと共有したいという思いです。

今後の抱負・任期後の目標

今後は、言語や価値観、活動、そして「幸せを分かち合う」ことなど、文化的な知識を地域の方々に伝えていきたいと考えています。文化交流を通して、お互いの理解を深め、人と人とのつながりを大切にしていきたいです。

活動内容

English de Pokeca

このイベントでは、子どもたちと保護者の方が、日本で人気のあるゲームを一緒に楽しみながら、親子での時間を大切にしつつ、英語を学ぶことができます。中野市のHUBLICで、月に一度開催されます。



●English de Jazz

このイベントは、誰もが持つ芸術的な感性を育むことを目的としており、子どもから大人まで、特に家族で楽しみながら学び、充実した時間を過ごせます。季節に合わせて演奏する音楽を選曲します。



●イベント企画・開催および市内でのイベントサポート

この1か月間、市内のさまざまな関係者と打ち合わせを行い、イベントの企画を進めることができました。また、市内の多くのイベントでは、ホスティングや司会、広報活動、学校訪問、市のPRなどのサポートも担当しました。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人or職場））wong.junxian@isnedu.org
（電話番号（個人or職場））080-9661-8329

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(Instagram): nakanosquadnoah

京都府京丹後市　松村　章

教育・文化

～　高校生と地域を繋ぐ地域コーディネーター　～

基本情報



【年　齢】
48歳
【出身地】
福井県越前市
【転出元】
埼玉県さいたま市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R6.4～R9.3

協力隊に応募したきっかけ

首都圏で仕事をしていた30歳頃より将来の働き方・生活スタイルを考え、50歳までにUターンすることを決意しており、仕事の区切りがよいタイミングでの退職を決意。そんな中、海と山に近い自然豊かな地方で「地域×教育」をキーワードとし、民間企業以外で地域貢献できる仕事に就きたいと転職活動している中で、京丹後市に運命的な出会いを感じたから。

今後の抱負･任期後の目標

地元の個人・企業・行政との繋がりに加え、地元自治会との繋がりを強め、身近な地区レベルの地域課題解決に取り組める環境づくりと単年度内での取組みから、年度を跨いだ取組み（生徒個人としては３年間、高校としては後輩への継承による長期間）へと発展できる持続可能な仕組みづくりをしたい。また、任期終了後は、地元高校OB/OG生が都心部よりUターンした後も、地元で稼ぐ力がレベルアップできる環境・仕組みづくりとともに、10～30代に魅力ある仕事づくりをしたい。

活動内容

●地域とのネットワークづくり

従来の学校教育の視点だけではなく、より多角的な視点で地域資源（ひと・もの・こと）を捉えながら、高校生の意識の変化や興味・気づきを促すために高校と地域の「架け橋」として、高校生・先生と行政や企業、地域の団体や人を適切にマッチングしていくとともに、農・食・観光など高校の学科特性に応じた学びのサポーターづくり

●探求授業における総合的サポート

探究活動・課題研究活動等における教員にない視点からの提案・支援。具体的には、首都圏で仕事をしてきた経験をもとに、先生達が教えたい思い・技術を肉付けする実例紹介や生徒達の困り事・悩み事解決のきっかけ・後押し
となるアドバイスなど。



●ふたつの学舎（網野、久美浜）の連携促進

ふたつの学舎で学ぶ生徒達が連携して行う活動に対する教員にはない視点からの提案・支援。具体的には、商業科と農業科の合同企画におけるアドバイスやマーケティング授業での全校生徒アンケート実施における学舎間調整など

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
京丹後市政策企画課
（メールアドレス）kikaku@city.kyotango.lg.jp
（電話番号）0772-69-0120
【活動拠点】
京都府立丹後緑風高等学校（網野学舎･久美浜学舎）

京都府京丹後市　岡田　実希

教育・文化

～　高校生と地域を繋ぐ地域コーディネーター　～

基本情報



【年　齢】
30歳
【出身地】
京都府綾部市
【転出元】
京都府舞鶴市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R6.4～R9.3

協力隊に応募したきっかけ

京丹後市に引越すことを機に、新しいチャレンジとして地域おこし協力隊の仕事を探しました。「先生ではない大人が高校生と関わることで、どんな化学反応が起こるんだろう？」というワクワクした気持ちから応募しました。地域と高校生をつなぎながら、京丹後市の活性化に貢献したいと思っています。

今後の抱負・任期後の目標

任期中は地域と高校生の架け橋としての役割をさらに強化し、地域資源を活用した新しい学びの場を提供していきたいと考えています。

任期終了後については、京丹後でいきいきと暮らす若い女性を増やしたい。暮らしや生き方に前向きになれるようなきっかけを、この地域で少しずつ、つくっていきたいです。

活動内容

●探求・課題研究活動の支援

総合探究の授業では、京丹後市の伝統文化に触れる機会を積極的に提供。例えば、ちりめんの地元企業とコラボし、地域文化をテーマにしたプロジェクトを実施。タブレットでの調べ学習だけでなく、実際に着物に触れるなどの実体験を重視した活動を実施。

●地域の伝統文化との連携

地域の伝統芸能である「溝谷太鼓」の方々と協力し、活動を積極的に行っていた生徒が1名しかいなかった清新高校太鼓部を支援。直接太鼓の指導を受け、自身も一緒に太鼓を叩き、生徒とともに活動に参加。その成果として、奈具丘祭（生徒の成果発表の場でもある秋の地域解放イベント）では新たに集まったメンバーと共にオープニング演奏を実施。地域文化の継承と活性化につながる取り組みとなった。

●広報活動

従来のFacebookに加えてInstagramを開設し、探究活動や地域連携プロジェクトなどの様子を発信。生徒たちの活動や成果を広く知ってもらうための広報体制づくりに取り組みました



※学校のInstagramより

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
京丹後市政策企画課
（メールアドレス）kikaku@city.kyotango.lg.jp
（電話番号）0772-69-0120
【活動拠点】
京都府立清新高等学校

京都府京丹後市　北川　みなも

教育・文化

～　高校生と地域を繋ぐ地域コーディネーター　～

基本情報



【年　齢】
33歳
【出身地】
滋賀県彦根市
【転出元】
愛知県名古屋市
【前　職】
会社員
【活動時期】
R6.11～R9.10

協力隊に応募したきっかけ

京丹後市に引っ越すことになり、次のステップを考える中で「地域コーディネーター」という職種に出会い、興味を持ちました。
これまで、人とのご縁を通してさまざまな経験や新しい価値観に触れてきたことから、「人と人をつなぐ」という役割に強く魅力を感じ、応募いたしました

今後の抱負･任期後の目標

高校生と地域の架け橋となるコーディネーターの役割に加え、私はこれまでサッカーを通じて学んだ経験やスキルを活かし、若者と地域社会をつなぐ活動に貢献したいと考えています。サッカーは、技術的な成長だけでなく、チームワーク、コミュニケーション、リ ーダーシップといった、人間関係の構築に不可欠な要素を教えてくれました。これらの経験を 地域活動に反映させ、高校生と地域住民が協力して目標を達成できる場を作りたいと思ってい ます。

活動内容

●探求･課題研究活動の支援①

「総合的な探究の時間」の授業では、地域の方々に向けてアサイーボウルを企画・提供したいというグループが、高校の近くにある御旅市場という場所で行われるイベントに地域の方の協力のもと出店しました。



●探求･課題研究活動の支援②

アレルギーを持っている子どもも、みんなと同じお菓子を一緒に食べてほしい！という想いを持ったグループが、地域の人のアドバイスのもと米粉クッキーの試作を繰り返し行い、販売まで実行しました



●情報発信

毎月、峰山高校のホームページに探究学習の記録を投稿しています。生徒たちの活動内容や、探究学習について多くの方に認知していただけるよう取り組んでいます。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
京丹後市政策企画課
（メールアドレス）kikaku@city.kyotango.lg.jp
（電話番号）0772-69-0120
【活動拠点】
京都府立峰山高等学校

和歌山県東牟婁郡串本町　藤岡　さくら

教育・文化

～公営塾「くろしお塾」の運営活動～

基本情報



【年　齢】
24歳
【出身地】
大阪府大阪市
【転出元】
大阪府大阪市
【前　職】
人材紹介会社
【活動時期】
R7.7～

協力隊に応募したきっかけ

私は、単なる受験対策にとどまらない「学び」のあり方に関心を持っており、串本古座高等学校の公営塾「くろしお塾」で実施されている「地域みらい学」に強く惹かれました。豊かな自分づくりのきっかけをつかむ場として、社会情勢・経済・地域課題など、学校の授業では学べないテーマを扱い、新しい価値観を見出し、地域や自分自身の未来を考えるきっかけづくりを行う学び場に魅力を感じ、地域おこし協力隊として応募いたしました。

今後の抱負・任期後の目標

【今年の抱負】
多様な価値観や生き方に触れる機会を提供して、生徒の視野を広げたり、社会や地域、そして自分自身の可能性に目を向けるきっかけをつくっていきたい。
【任期後の目標】
地域と学校をつなぐ学びの場づくりに携わりたいと考えています。地域資源を活かした教育活動を企画・運営したいです。

活動内容

●くろしお塾での学習支援

串本古座高等学校内の公営塾「くろしお塾」の運営を行っている。平日は放課後～21時まで、土日祝は9時～21時まで、生徒は誰でも無料で利用できます。質問対応や小論文/志望理由書の作成など、生徒一人ひとりの学習状況や進路希望に応じた支援を行っています。



●地域みらい学の企画・実施

豊かな自分づくりのきっかけをつかむ場として開講している「地域みらい学」の企画・運営を行っています。地元の方々や大学教授、面白い生き方をしている方々などを招いて交流会を行い、生徒の視野を広げたり、社会や地域、自分自身の未来を考えるきっかけとなる場をつくっています。



●オンライン学校説明会

全国から生徒を募集している本校では、全国の児童生徒向けに実施するオンライン学校説明会を行いました。地域外の者という視点を活かして、くろしお塾の説明や、地域や学校、生徒の印象について説明をしました。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人））kuroshio.fujioka@gmail.com
（電話番号（職場））0735-62-1794

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
instagram

@KUROSHIOKK

島根県知夫村　若宮　柊

教育・文化

～　島留学の魅力を伝える　～

基本情報



【年　齢】
30歳
【出身地】
神奈川県川崎市
【転出元】
埼玉県嵐山町
【前　職】
特別支援学級教員
【活動時期】
R3.4～R6.3

協力隊に応募したきっかけ

私は新しい環境で一からチャレンジしたいという気持ちで参りました。5年間、川崎の特別支援学級で子どもたちの成長を支える中で、環境と人の関わりの大切さを実感してきました。そのため、「子どもの成長を支える環境づくり」を理念とする知夫里島の島留学に、心から共感しています。教育の経験を活かし、島の子どもたちの日々の成長を温かく見守りながら、地域の方々と共に島の魅力を発信してみたいと思い知夫里島の協力隊に応募しました

今後の抱負・任期後の目標

島留学で、子どもたちの自主性や主体性を育む教育の重要性を深く実感しました。任期中は、この経験を活かし、生活指導で子ども一人ひとりに寄り添い、挑戦を支える安心できる環境づくりに尽力いたします。
任期後も、島での貴重な経験を活かし、子どもたちが主体的に行動できる未来の環境づくりに貢献し続けることが目標です

活動内容

●安心できる場所をつくる

日々の生活リズムやルールの確認を行い、自立に向けた習慣づくりを支援するとともに、困った時に相談できる関係づくりを意識し、安心して生活できる環境を整えました。



●地域の方々と一緒に島の魅力をつたえる

地域の方々と協力し、寮生と釣り体験を行いました。自然や人とのつながりの大切さを学ぶ機会とし、その様子をSNSで発信して島の魅力や子どもたちの成長を伝えました。



●寮生の挑戦をサポート

寮生が流しそうめんをしたいという要望から、島留学制度の「100の約束」を活用し、地域の方々と協力して実施しました。その他にも、キャンプや牛の世話など、子どもたちの希望に沿った体験活動を地域の方につなぎながら行いました。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（職場））wakamiya.shu@chibukyouiku.ed.jp
（電話番号（職場））08514-8-2301

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（知夫里島島留学はぐくみ寮）

岡山県高梁市　渡邉　香織

教育・文化

～生徒の心を掴め！学校と地域を繋ぎ、「やりたい」を引き出す教育サポーター～

基本情報



【年　齢】
37歳
【出身地】
岡山県高梁市
【転出元】
京都府京都市
【前　職】
飲食店（店舗責任者）
【活動時期】
R5.4～R8.3

協力隊に応募したきっかけ

地元高梁市で保育士を経験した後、京都で営業職や飲食店経営者を務めました。都市で接した学生の「自分の将来に対する関心の薄さ」が印象的で、かつての教え子たちの未来と重なり、若者の可能性を閉ざしたくないと強く感じていました。コロナ禍を機に自由な働き方を求め、故郷へのUターンを決意。教育の視点と飲食店で培ったコミュニケーション力を活かし、高梁市のワクワクする教育を一緒に盛り上げていきたい、生徒の「やりたい」という挑戦を応援したいと思ったのがきっかけです。

今後の抱負・任期後の目標

任期後も、地域と連携する学校となるようサポートを継続し、これから立ち上がる地域コンソーシアムでも、生徒の「やりたい」実現に向けた交流人材の発掘を担います。
協力隊活動中に身につけた動画・写真制作スキルを活かし、好きな旅行にも行きながら、各地の魅力を発信し、「好き」を仕事にしていきたいと思っています。今後は、地域貢献と自己のキャリアを活用しながら、自身の「やりたい」を実現していきます。

活動内容

●高校の魅力発信

生徒募集のための魅力発信を担っています。学校公式SNS運用や学校紹介チラシの制作を通じて、学校の魅力を発信。また、入学希望者向けに、オンライン説明会や住居の現地案内を実施しています。
大阪で開催された高校留学フェスにも参加し、県外入学生徒のアパートでの暮らしなど具体的な情報を中学生に伝え、募集活動を支援しました。



●県外入学者の暮らしサポート

県外から移住し一人暮らしをする生徒へ、心身のケアと地域交流のためのサポートを実施しています。アパートへの定期訪問で生活上の不安を解消し、土日に地域イベント等へ連れ出し、住民との交流機会を創出することで、高梁市への親しみ促進や関係構築を促しています。



●市内高校の「探究学習」等のサポート

地域とのパイプ役として、生徒の探究活動を支援。高梁市の地域資源に関する情報を提供し、地域人材との繋がりを創出しています。また、フィールドワークの引率や、習得した動画・写真制作スキルを活用して、動画制作のサポートを行うなど、生徒の「やりたい」実現をサポートしています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人））watatani012@gmail.com
（電話番号（個人））090-3745-3598

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（岡山県立高梁城南高校・公式Instagram）

岡山県新見市　造酒　耕平

教育・文化

～　民謡のアーカイブ化と音楽によるまちづくり　～

基本情報



【年　齢】
４１歳
【出身地】
京都府向日市
【転出元】
京都府向日市
【前　職】
介護職、翻訳業、通訳業
【活動時期】
R５.４～R８.３

協力隊に応募したきっかけ

音楽の根をより深く掘りたいと思うようになり、母の実家がある新見市の音楽について調べてみると、労働歌や民謡が豊富に残されていることに気づいた。
まだ唄い手の方がおられるうちに、保存継承をする必要があると思い、市内の知人に相談したところ、協力隊制度を紹介され、自分がしようと決意した。

今後の抱負･任期後の目標

完成した新見民謡アーカイブスをたくさんの方に見てもらえるよう周知活動を行っていく。
また、民謡を含め多彩なジャンルの音楽に触れることができるイベントを開催することで、音楽によるまちづくりを進めていきたい。
将来的には、民俗資料館や音楽広場の設置など、歴史と音楽に触れることのできる場を設けたい。

活動内容

●新見市に残る民謡のアーカイブ化



市内に残る民謡音源のカセットテープなどを借り受け、データ化を行うとともに、市民の方へのインタビューや文献などを参考に、歴史背景などをまとめ、“新見民謡アーカイブス”を完成させた。
これにより、データとして後世に継承できるとともに、いつでも民謡に触れることができるようになった。

●民謡フェスの開催



市街地にある城山公園周辺で民謡Fesを開催。
市内外の民謡グループだけでなく、吹奏楽、ダンスなど幅広いジャンルの団体がパフォーマンスを栗井広げ、若い世代も楽しめる工夫を行っている。
今後も、定期的に実施する予定。

●“新見音泉”の開催



多彩なジャンルの音楽に触れることができるイベントを随時開催している。内容は、ジャズやフォーク、海外の民族音楽などさまざま。市内で働く技能実習生などにも声をかけ、国際交流にも積極的に取り組んでいる。写真は、アフリカの楽器「親指ピアノ」の演奏家を招いたときのもの。

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（職場））iju213@city.niimi.lg.jp
（電話番号（職場））0867-72-6114

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（Instagram）niimionsen

岡山県和気町　　新宮 なつみ

教育・文化

～　子どもたちの未来と世界を、和気からつなぐ　～

基本情報



【年　齢】
３７歳
【出身地】
大阪府東大阪市
【転出元】
同上
【前　職】
語学学校駐在員
（フィリピン セブ島）
【活動時期】
R６.１～R８.１２

協力隊に応募したきっかけ

コロナ禍をきっかけに日本の安心感や暮らしやすさを再認識し、和気町への移住を検討していました。将来、地域に根ざした活動をしたい一方で、新しい環境になじめるか不安もありましたが、自然に地域に関わりながら、これまでの教育経験を活かして子どもたちの学びを支えられる公営塾の取り組みに魅力を感じ、協力隊に応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

公営塾での教育の質が隊員の入れ替わりで大きく左右されないよう、英語教材や運営ノウハウを体系化し、持続可能な形に整えていきたいと考えています。任期終了後は、町に根ざした飲食店の開業を目指しつつ、町のみなさんが魅力を感じられる地域づくりに引き続き関わり、協力隊の枠を超えて活動の幅を広げていきたいと思っています。

活動内容

●藤まつりでの公営塾ブース出展・英会話体験

和気町の一大イベント「藤まつり」にドリンクブースを出展し、公営塾のPRと英会話体験を実施。
子どもたちが店員役となり、英語で注文すると商品が半額になる仕組みで、地域の方々と交流しながら実践的な英会話に挑戦できる場をつくっています。



●国際交流イベント「イングリッシュフェス」

英語学習だけでなく、多文化理解を重視した体験型プログラムを企画・運営。外国人参加者との交流や各国の文化紹介を通じて、子どもたちが国際的な視野と多様性を尊重する姿勢を育める場づくりに取り組んでいます。



●実践的な英会話と学力向上の両立

和気町在住の外国人ゲストを定期的に招いたり、ゲームを活用した英語実践を取り入れることで、英語へのハードルを下げています。一方で、塾での指導経験を活かし、成績向上や英検対策にも力を入れています。授業内容は現在も継続的に見直し、実用性と学力向上の両立を図っています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人））natsumishingu@gmail.com
（電話番号（個人））070-8944-0876

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（公営塾HP）https://www.town.wake.lg.jp/koeijuku/index.html

広島県廿日市市　下村　祐介

教育・文化

～　伝統を未来へ。宮島細工の新しいかたち　～

基本情報



【年　齢】
29歳
【出身地】
三重県多気郡明和町
【転出元】
広島県広島市
【前　職】
教師
【活動時期】
R6.4～

協力隊に応募したきっかけ

大学でデザインや木工、漆芸を専門に学び、その中で宮島ろくろと出会い、作品制作をはじめ、伝統を活かしながら現代の暮らしにあったデザインを模索したり、ブランディングを研究したり、他の漆器産地の調査などを行なっていました。また、前職では高校で非常勤講師として、木工実習やデザインの授業を受け持ち、ものづくりの楽しさやデザインの面白さを生徒たちに伝えていました。これらの経験を最大限活かし、宮島ろくろをはじめとする宮島細工の発展に貢献できると考え、応募しました。

今後の抱負･任期後の目標

今後の抱負は、宮島細工の魅力を多くの人に知ってもらい、宮島細工を求めて宮島を訪れる人を増やしたいと考えております。また実技面では、ロクロの一人前の職人になれるよう刃物作りや作品制作に励み、技術を高めていきたいと考えております。
任期後の目標は、宮島でろくろの工房とワークショップのお店を開き、たくさんの方にロクロの作る楽しさや作品を届けていきたいと思います。

活動内容

●宮島細工の技術習得、技術の伝承

宮島細工 伝統工芸士であり現役のロクロの職人の藤本悟氏の協力のもと、技術を学び、宮島ロクロの後継者として一人前になれるよう技術習得に取り組む。
また、市立大学の学生などにロクロの専門的な技術指導や、一般向けに宮島ロクロを中心にワークショップや体験を通じて技術を伝える活動を行なっている。



●宮島細工の普及促進、周知活動

インスタグラム等で宮島細工についての情報発信をおこなったり、宮島細工を紹介する企画展などの開催。さまざまな手法で広く宮島細工についての周知を行う。2024年11月「宮島細工の匠展」では宮島町商工会と協力し、先人たちの古い作品を島内在住者や作り手のご遺族の方に呼びかけ収集。また現役の作り手にも作品の提供を呼びかけ、新旧の宮島細工を一同に見ることのできる企画展を実施した。



●伝統工芸に関する情報収集、記録。

宮島細工の作品や製品、道具を調査し記録を行う。
それらをSNSや図録などの形で発信する。
また、宮島以外の工芸産地の伝統産業会館等の施設や後継者育成の取り組みについて現地調査を行い、宮島で活かせる点を研究する。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（職場））sangyo@city.hatsukaichi.lg.jp
（電話番号（職場））0829-30-9140
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
地域支援員ホームページ　https://201community-supporters.com/
インスタグラム　miyajima_zaiku

長崎県五島市　野田　隆喜

教育・文化

～地域に寄り添う伴走型支援！ひきこもりサポーター～

基本情報



【年　齢】
67歳
【出身地】
福岡県飯塚市
【転出元】
福岡県県桂川町
【前　職】
青少年育成団体主宰
【活動時期】
R５.４～R8.3

協力隊に応募したきっかけ

２０年余りひきこもり・不登校や青少年支援に関わってきました。一昨年（２０２３年）で一区切りつきました。幾つかの自治体や団体からお誘いをいただきましたが自分のやってきた活動を「知らない土地」でやってみたいとの思いから年齢制限がない募集の五島市を受験した結果採用いただきました。

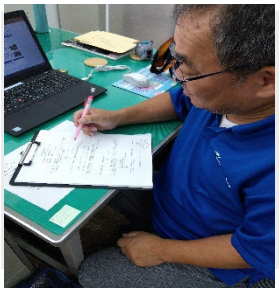
今後の抱負･任期後の目標

使命は３年の任期では終わりません。精々基礎工事程度です。任期後「民間活動」の立場で五島市の活用できる資源やこのままでは消滅する貴重な資源を整備のうえ体系化をしたうえで「事業収益」を目指します。その収益を私の使命である「ひきこもり等」活動にあてます。それが最初から「委託金・補助金ありき」でなく、まずは努力を次世代に形として残したい。NPOの王道を歩きたいです。同様に「就労前の準備」ができる場を作りたい。

活動内容

●ひきこもりの実態把握（特に８０５０）

全国の市町村でも実態把握をできている自治体はわずかであり推計値が大半です。五島市は各関係施設・民生委員・保護司等可能な限り市民に近い関係にアンケート・戸別訪問調査中。



●ひきこもり当事者や近親者の方への訪問等

長く社会とは疎遠だった方やその近親者より連絡あれば訪問を実施。その相手の状態や事情に合わせて対応中。「困ることがわからない」「困ってもいけない」など　まずは心をほぐす努力中



●市民への啓蒙活動・サポーター養成講座

「自己責任・親が甘い」との考えが支配しがちが現状です。その考え方を少しでも変えていただける啓蒙活動とより促進できるよう「出前講座」で対応中。次年度は核を育てるためにサポーター養成講座を立案・実施準備中。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（職場））noda-t@city.goto.lg.jp
（電話番号（職場））0959-72-6121(直通)

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】工事中

宮崎県えびの市　武井　恒介

教育・文化

～　地域教育魅力化コーディネーター　～

基本情報



【年　齢】
28歳
【出身地】
山形県米沢市
【転出元】
山形県米沢市
【前　職】
酪農・畜産
【活動時期】
R5.3～R8.2

協力隊に応募したきっかけ

大学時代を過ごした宮崎県で仕事を探していたところ、縁あってえびの市からお声がけいただいた。大学の専攻と前職が農業・畜産で、特に直近の仕事はアメリカにてヤギ酪農とバギーで放牧牛を追いかける毎日を過ごしていた。大変豊かな時間を過ごすことができたが、この選択や考え方を今後の社会の担い手たちに伝え、魅力ある人材を育て、その人材と共に社会活動をすることはできないかと考えていた。そんな中、えびの市が探究コーディネーターを募集すると連絡を頂き、教員ではない立場で教育業界に参加できることに魅力を感じ即決で応募をした。

今後の抱負･任期後の目標

任期は残りわずかだが、常日頃から良くしていただいている地域の方や仲間に感謝を忘れず日々の業務に励んでいきたい。今後は、引き続き教育事業を中心にえびの市を拠点に活動をしていくので、地域の方々とのご縁を大切に、教育を軸とした街づくりに微力ながら携わっていきたいと考えている。えびの市には、お手本とする事業者の方が多く、先輩方のお知恵を頂きながら、自身の事業も広げていきたい。

活動内容

●活動内容：宮崎県立飯野高等学校魅力化



えびの市唯一の公立高校である飯野高校の魅力化のため、中高連携事業や「地域みらい留学」を活用し県外生徒募集を行い、高校の生徒数増加を目指している。高校生が主体性を持ち、地域を学びの場とするPBL型学習の伴走も行う。生徒の学びが深まることが、結果的に高校魅力化となる。
例）京町温泉郷活性化プロジェクト・スプラッシュフェス
～温泉水をぶっ放せ！～

●活動内容：越境プログラムの創出



えびの市内の学生に一歩踏み出して他地域へ自ら学びに行くことができるプログラムの開発・運営を行った。参加した中高生はえびの市では想像していなかった知見を得て、その経験を地元にどう還元していくかを考え行動していく様子が見られた。
例1）えびの市×マダガスカル共和国
例2）飯野高校×台湾

●活動内容：地域教育魅力化コーディネーター



変化の激しい社会で生き抜く力を育むために、中等教育段階で生徒の探究的な学びを深めることを求められている。教員ではない立場から、生徒たちに多様な価値観や、人との出会いを届ける活動をしている。実際に飯野高校の「総合的な探究の時間」や、中学校の「えびの学」に入り、生徒や学校の伴走をしている。さらに、教育現場と地域社会の接続のために各方面の地域人材との橋渡し役となっている。

連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人）6021_teacher019@g.miyazaki-c.ed.jp
（電話番号（職場）　）0984-35-3713

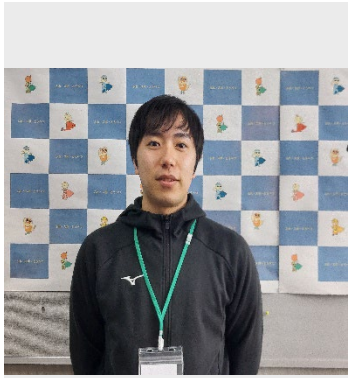
12 スポーツ

北海道当別町　鎌田　晃徳

スポーツ

～　スポーツの素晴らしさを伝えたい！　～

基本情報



【年　齢】
25歳
【出身地】
北海道枝幸町
【転出元】
北海道札幌市
【前　職】
大学院（札幌国際大学）
【活動時期】
R７.４～R10.３

協力隊に応募したきっかけ

大学の在学中に契約社員として所属していた一般社団法人アルテミス北海道にご紹介いただき、「スポーツに関わる仕事」に憧れていたので大学で行っていた学部生への教育補助やアルテミス北海道の契約社員の経験を生かし、スポーツを通じて、当別町の地域活性化につながる活動を展開し、地域のみなさんに貢献できるよう精進していきたいと考えておりました。

今後の抱負・任期後の目標

老若男女のコミュニケーション能力の向上や専門スポーツ分野での指導者資格の取得を目標として今後の活動を幅広く、行える体制づくりをかためてからクラブ育成や地域貢献に力を入れていきたいと思います。

また、小学・中学における部活動の地域移行に関わり、運動部と文化部の指導者の確保や指導方法を試行錯誤をしながら子供たちが楽しめる環境づくりを心がけていきたいと考えております。

活動内容

●初めての部活動地域展開事業

初めての部活動地域展開事業は剣道部の練習場所と指導者の確保の確認、クラブ活動の日程調整を目的とした連絡ツールの活用を主にし、体制づくりを行っています。子どもや保護者にヒアリングをして、今後の課題を見つけて活動しています。



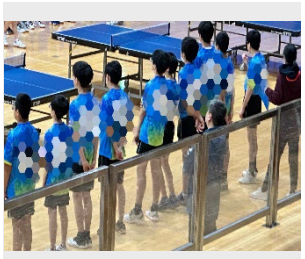
●専門スポーツである卓球指導を開始

小学5年生～中学3年生を対象に指導をおこない、クラブ指導者としてアドバイスを一言伝えるなどを意識して活動しています。初心者から1～2年の経験者がおり、中体連やカデット、選抜に向けた練習を考え、言葉や体の動きを通して伝えることが一番難しく、それが日々の学びであります。



●地域クラブ活動のPR

練習や試合の様子を撮影し、クラブ活動の状況をHP等で定期に情報発信しPRしています。大会は、土日祝日中心なので、勤務時間を調整しながら活動し、できるだけ多くの子ども達の様子を発信できるよう努めています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（職場））syakai7@outlook.jp
（電話番号（職場））0133-22-3834

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（ホームページ）https://tobetsu-gym.jp

長野県原村　秋山　道之輔

スポーツ

～　スポーツを通じて地域創生を目指す　～

基本情報



【年　齢】
29歳
【出身地】
埼玉県草加市
【転出元】
埼玉県草加市
【前　職】
総合商社
【活動時期】
R7.3～

協力隊に応募したきっかけ

趣味が登山やトレイルランということもあり、スポーツのイベントや観光を通じて地域創生を実施したい思いがあり協力隊に応募しました。原村を選んだ理由は八ヶ岳の大自然を一番感じられる場所が原村にあると思い、このポテンシャルを活かして地域創生を目指すことに決めました。そして、この原村を支える「人」にも感銘を受け、原村の皆様と一緒に地域を盛り上げることで村外の方へ原村の魅力を発信しようと思いました。

今後の抱負・任期後の目標

今後はスポーツのイベントや原村の魅力を発信できるイベントやサービスを提供していきます。そのうえで、原村の課題を村民の方とコミュニケーションを図りきちんと理解したうえで、村民が本当に求めている事業やサービスを展開していきます。
任期後に関してはスポーツイベントの運営や観光事業、また村民が求めている事業やサービスを行い地域に貢献していきます。

活動内容

●観光事業

村民や村外の方と一緒に毎月登山イベントに参加しています。登山ガイドの方に同行し登山ツアーにサブガイドとして同行してます。山の魅力や地域の魅力を参加者に発信しています。
また、原村の自然豊かな魅力を日々のイベントなどで通じて発信しています。



●マラソンイベントの実施

秋の季節にマラソン大会「八ヶ岳ズームラインマラソン」を実施しました。多くの方に参加頂き、マラソン大会を通じて原村の魅力を発信し、地元の産業も盛り上げることができました。また、イベントを通じて地元の方の新たな交流の場として提供できました。



●イベント実施（美術館の活用）

入園者数が少なく美術館として新たな活用方法が必要となり、美術館でヨガを行うイベントを実施しました。美術館とヨガを掛け合わせることで、参加者の興味をかきたて結果的に満員での実施となりました。あまり使用されていない施設は村内に多くあるので今後もうまく活用して貢献していきます。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）michi14567@gmail.com

鳥取県湯梨浜町　宮前　鼓

スポーツ

～健康づくりでまちづくり～

基本情報



【年　齢】
24歳
【出身地】
岐阜県高山市
【転出元】
岐阜県高山市
【前　職】
大学生
【活動時期】
R6.4～

協力隊に応募したきっかけ

大学生の頃に幾度か鳥取に訪れたことがあり、きれいな海が身近にある生活、山もあり自然豊かな場所で地域の野菜や果物美味しいお魚を食べながら暮らしてみたい、と想像が膨らみ鳥取の移住を決断しました。
オンラインで開催された「鳥取県移住相談会」にて、“地域おこし協力隊”について知り、自分が学んだ知識や培ってきた経験を地域活性化と掛け合わせながら活かすことができることに魅力を感じたのと、“暮らし”を体験しながら地域を知ることができると考え応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

自分自身のスキルアップをしながら、地域を知り、地域住民の「やってみたい、こんな地域にしたい」という声を形に近づけるために“健康づくり”という観点からバックアップをし、地域活性化につなげる活動をする。そして、町内で活動している方々と地域連携をとり、楽しくカラダを動かせるような仕掛けを創造し、湯梨浜町の健康活動を活発にしていきたいと思います。

活動内容

●健康づくり×町の施設

公民館の中にあるトレーニング施設「湯梨浜みんなのげんき館」で、資格を取得しながら運動指導やストレッチ教室、エクササイズのインストラクターをしています。



●健康づくり×地域

地域活性化推進員の方々と連携を図りながら、公民館などの町民が集まるような場所でストレッチ教室を開催しています。
また、親子を対象とした運動教室「あそいく」を定期的に開催しています。陸上教室や地域の子供会、学校行事に出向き、その時の参加人数や年齢に合わせながら、楽しく運動することや運動のきっかけづくりを目指して取り組んでいます。



●健康づくり×イベント

【2024年8月11日「スポーツマルシェ」の開催】
湯梨浜町の東郷湖上スポーツ「ドラゴンカヌー」とコラボしたスポーツイベントを開催！
【2025年10月11日「スポーツマルシェⅡ」の開催】
恐竜がいる公園「潮風の丘とまり」で、ティラノサウルスレースを開催！
町民の方と連携し、様々なイベントを実施しています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）miyamaet@yurihama.jp（職場）
（電話番号）0858-34-3011（職場：湯梨浜町中央公民館泊分館）

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

岡山県笠岡市　山根　颯太

スポーツ

～　グラウンド・ゴルフ大会で笠岡に新しい風を　～

基本情報



【年　齢】
25歳
【出身地】
鳥取県鳥取市
【転出元】
岡山県岡山市
【前　職】
専門学生
【活動時期】
R６.12～

協力隊に応募したきっかけ

笠岡市地域おこし協力隊の方に紹介いただき、インターンに参加させていただきました。
インターン活動を通じて、地域住民やさまざまな関係者の方の温かさに触れ、この場所であれば自分の力を活かして活動できると感じ、本隊への応募を決意しました。

今後の抱負･任期後の目標

グラウンド・ゴルフに留まらず、笠岡市外や岡山県外の方々・知見を積極的に笠岡へ呼び込み、地域の新たな発展につなげていきたいと考えています。
また、退任後はグラウンド・ゴルフツアーを通じて地域活性化を図りながら、運営面でも持続的に利益を生み出せる仕組みを追求し、自身としても笠岡に根ざして活動を続けられる体制を構築していくことを目指します。

活動内容

●経済性のあるグラウンドゴルフツアーの設立

岡山マラソンのように経済効果を生み出すグラウンド・ゴルフ年間大会を開催し、地域の方々の生きがいや健康増進に貢献するとともに、笠岡市全体の経済活性化を目指しています。



●高齢者のデジタルデバイドの解消

スマホ教室を開催することで、高齢者のITリテラシーを向上させ、デジタルデバイドの解消を目指します。さらに、日々のスコア管理をアプリで行ったり、簡単な大会運営をスコアアプリ「ぐらごる」でサポートすることで、スマートフォンを活用する機会を増やし、抵抗感を軽減することでIT化の促進も進めていきます。



●世代間交流、関係人口の創出

グラウンド・ゴルフ大会やスマホ教室のスタッフに岡山市や県外の大学生を誘致することで、自然な世代間交流や関係人口の増加を目指します。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メール）yamanesota1031@gmail.com

note|山根颯太｜老後が楽しみになる世界を創る

youtube|ぐらごるTV

沖縄県石垣市　新見　弘基

スポーツ

～『美ら海に浮かぶ南ぬ島』沖縄県石垣市でスポーツを活用して地域活性化に取り組む～

基本情報



【年　齢】
27歳
【出身地】
東京都世田谷区
【転出元】
東京都狛江市
【前　職】
サッカーコーチ
【活動時期】
R6.4～R9.3

協力隊に応募したきっかけ

大学時代に沖縄に進学し、そこで出会った人たちの影響で『沖縄に恩返しをしたい』と思うようになり、小さいころから続けていたサッカーを大学を卒業してからもコーチという立場でサッカーイベントの企画や運営を行っていたので、スポーツで何か沖縄へ貢献したいと思い石垣島の募集を見つけ応募しました。
また「地域おこし協力隊になりたい」という夢もあり、やりたいこととなりたいものが一致し応募しました！

今後の抱負・任期後の目標

今後の目標は現在活動している石垣島スポーツコミッションを法人化させることです。
団体を独立化させ、より石垣島でスポーツを活用した地域貢献事業を展開させていきたいです。さらに「スポーツでも稼げる」というモデルケースも作っていきたいと思います。
また、現在サッカーコーチも続けているので石垣島から初のJリーガーを出すことも大きな目標です！

活動内容

●『アルバイト×合宿』事業

石垣島には高等教育機関が無い為、若い人の働き手不足という地域課題があります。
一方石垣島に合宿で来たいが、渡航費や宿泊費の高騰でなかなか足が延ばせない学生も多くいることも課題です。
そんな両者の課題を解決すべく、石垣島で合宿を行いながらアルバイトもするという事業を進めています！






● AIカメラを活用した遠隔指導

石垣島では部活動の顧問の先生などが異動により数年で沖縄本島に戻ってしまう、子どもの卒業と同時に保護者指導者がやめてしまうという『指導者不足』に悩まされています。
そんな「離島のハンディ」を現在石垣島のスポーツ施設に導入しているAIカメラを活用して遠隔から指導を行う事業を進めています！





●スポーツフェスティバル×産業まつり

令和5.6.7年の３年間連続で様々なスポーツが体験できるスポーツフェスティバルを実施しています！
新体力テストやパラスポーツ体験といった普段あまり触れることのできないスポーツを体験できることに加え、地元商工会と協働し産業まつりを同時開催することで普段スポーツに触れない市民にもスポーツに関わる機械の創出を図っています！






連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス　88-6666@city.ishigaki.okinawa.jp（個人）
（電話番号）0980-88-6666（職場）/080-2565-7065（個人）

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（HP）https://ishigakijima-sports-commission.com/

@ISHIGAKIJIMA_SC

13 事業承継

北海道美瑛町　新實　秀隆

事業承継

～ 受け継いだ工場で美瑛に新しい豆腐屋を ～

基本情報



【年　齢】
29歳
【出身地】
京都府亀岡市
【転出元】
京都府亀岡市
【前　職】
会社員、農作業スタッフ
【活動時期】
R６.12～R7.10

協力隊に応募したきっかけ

約３年間、北海道内の農業法人で農作業スタッフとして勤務していました。農業に携わる中で、地域の食や大豆の関心が高まり、地域の豆腐屋さんに通うようになりました。通ううちに店主の方と親しくなり、「豆腐屋さんになってみないか」と声をかけていただいことから豆腐づくりを学ぶきっかけとなりました。その後、美瑛の農家さんと交流を重ねる中で、美瑛産大豆の魅力を豆腐として届けたいと思い、美瑛町の地域おこし協力隊に応募しました。

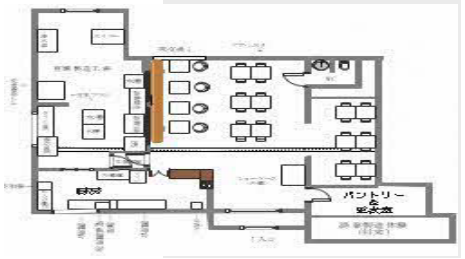
今後の抱負･任期後の目標

商工業承継支援事業のもと、空き店舗を活用し、豆腐の試作や販売体制の構築を進めています。さらに、美瑛産大豆を使用した豆腐づくりを中心に、関連メニュー開発や地域内での流通体制づくりに取り組みながら、開業に向けた準備を進めます。

活動内容

●レイアウト設計

図面を引きながら作業の導線を検討し、お客様が楽しめる店づくりを進めています。製造ラインが見える配置とし、出来立ての豆腐を味わえる席を設けるなど、販売までの来店導線を考慮した店舗設計を行っています。



●技術の継承と製造環境の整備

現役の豆腐屋さんや元豆腐屋さんを訪問し、製造工程について学んでいます。その中で、豆腐製造機器を譲り受け、店舗に搬入しました。開業に向けて、必要な機器や備品等を集め、製造環境を整えていきます。



●試作･メニュー開発

豆腐の試作に加えて、店舗で提供するメニューの試作にも取り組み、提供方法や味の調整を進めています。地域の食材を組み合わせたメニューや豆腐や豆乳を使ったデザートやドリンクの試作を重ねていきます。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人） biei-tofuten@outlook.jp
（電話番号（個人 ）090-4761-1443

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://www.instagram.com/bieitofuten/

福島県会津美里町　大友　悟

事業承継

～　東北最古の陶磁器産地 “会津本郷焼”の技術継承　～

基本情報



【年　齢】
32歳
【出身地】
千葉県八街市
【転出元】
大阪府寝屋川市
【前　職】
化学メーカー研究職
【活動時期】
R6.4～

協力隊に応募したきっかけ

陶芸家になりたいという思いが強くなり、協力隊への応募を決めました。会津美里町には、400年以上の歴史を持つ“会津本郷焼”があります。陶器と磁器の両方の原料が採れる、全国的にも珍しい産地で、多彩な作風の作家さんたちが活躍しています。そんな環境で陶芸を基礎から学び、自身の表現を深めたいと思ったことがきっかけです。

今後の抱負・任期後の目標

陶芸作家としての独立を目指しています。
また、会津本郷焼の認知度向上や新たに作る協力隊工房にも関わっていきたいです。

活動内容

●陶芸の修業

会津本郷焼の窯元の1つである流紋焼で陶芸の修業を行っています。土作りからロクロや鋳込み、焼成や作品作りに対する姿勢など、陶芸に関するあらゆることを学んでいます。



●ふるさと納税のリブランディング

会津本郷焼のPRを目的に、ふるさと納税のリブランディングを行っています。各窯元さんとお話しながら商品の選定や写真、文章などを改良し、現代のニーズに合った形で掲載しています。



●協力隊工房の作成

現役協力隊の学びの場、卒隊後の作品作りの場、地域の交流の場を目的に、協力隊工房作りに取り組んでいます。また地域内外の飲食店や茶道家さんと一緒に試行錯誤を重ねながらの作品作りも進めています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（職場））kumiai@hongoyaki.or.jp
（電話番号（職場））0242-56-3007

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Instagram：otomosatoru_30

OTOMOSATORU_30

岡山県美作市　鶴谷　晃徳

事業承継

～和紙の原料「みつまた」。集落唯一の農家の担い手に ～

基本情報



【年　齢】
３５歳
【出身地】
京都府相楽郡精華町
【転出元】
京都府相楽郡精華町
【前　職】
地方公務員、
ソフトウェア開発会社
【活動時期】
R６.４～

協力隊に応募したきっかけ

コロナ期間に、自分自身の生活について現状のままで良いのかと考えるようになり、その一環として地方移住を検討していました。移住先の候補地や物件、その地での仕事を探していた際、継業バンクに掲載されていた美作市右手地区におけるみつまたの事業承継を見つけ、何度か現地に通っていました。事業承継をするにあたり、協力隊として着任できないか相談したところ、ミッション型で枠組みを用意していただき、応募するに至りました。

今後の抱負・任期後の目標

三椏の仕事はなかなか機械化することが難しい工程が多く、根気のいる作業が多いです。私が今いる右手地区では１名だけがこの仕事をなんとか続けておられていた状態で、収穫できる三椏の量は非常に少ないです。
まずは収穫量を増やすために山や畑を整備してほ場を拡大していくことを目指しています。現状は厳しいですが、三椏の事業だけで生計を立てられればと思っています。

活動内容

●三椏の収穫

鎌を使って１本１本刈り取って収穫します。
山林の傾斜地での作業が多く、刃物を使いつつ、しっかり力も入れる必要がある繊細さと大胆さが求められます。
収穫した幹は釜で蒸すため束ねます。



●加工・出荷作業

収穫して束ねた三椏を釜で蒸します。
蒸した三椏は靭皮を引っ張って剥き、乾燥させます。
剥いた靭皮は表皮がある状態で乾燥させたものが「黒皮」、しじりという表皮と甘皮を取除く処理をしたものが「白皮」と呼ばれます。
乾燥させた皮を規定の大きさにして出荷します。



●ゲストハウス運営のサポート、農泊事業の推進

地域にあるゲストハウス「久米屋」の運営サポートをしています。地域住民の有志で役割分担して運営しているゲストハウスで、協力隊OBの丸山氏が手がけた蔵を改装したサウナが全国的に有名です。
また、国交付金事業に採択され、地域資源を活かした新たな農泊事業の推進にも取り組んでいます。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス）nakautemitsumata@gmail.com
（電話番号）090-2054-5150

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（instagram）https://www.instagram.com/tsurutani_nakaute

TSURUTANI_NAKAUTE

福岡県八女市　モリッツ・サンドロ

事業承継

～　八女の魅力を世界に発信！石工マイスター　～

基本情報



【年　齢】
４６歳
【出身地】
ドイツ連邦共和国
【転出元】
福岡県久留米市
【前　職】
ドイツ石工マイスター
八女石灯籠職人
【活動時期】
R６.２～R９.１

協力隊に応募したきっかけ

八女石灯籠に出会い、その魅力に心を奪われたのが20年前のこと。その後、石工マイスターとしてドイツで八女石灯籠の魅力を広めてきました。
日本への移住を機に八女市で地域おこし協力隊として活動し、八女石灯籠の新たな可能性を発信したいと思いました。

今後の抱負・任期後の目標

ドイツ人で八女石灯籠職人という珍しさを活かし、より多くの人に八女石灯籠の魅力を伝えていきます。工房での制作や個展の開催に加え、SNSやイベントを通じて、自身の八女石灯籠との特別な絆を広く知ってもらえるよう努めていきます。退任後の目標は、サンちゃん石工房を拠点に「YAME ISHIDOUROU」をブランド化し世界に広めることを目指します。八女石灯籠の制作・展示・販売を通じて、地域の伝統工芸を守り、次世代の職人育成や地域活性化にも貢献したいです。

活動内容

●八女石灯籠のPR、製作と継承活動



• 令和7年9月には八女伝統工芸館にて個展「サンちゃんSTONE EXPO」を開催しました。
• 石工房の見学やセミナーを実施し、石灯籠の制作過程や独自性を直接伝える場を提供。訪問者との交流を深めています。
• 小中学校でのワークショップを通じて、八女石灯籠の魅力を伝え、未来の職人を育成する活動も展開中です。

●八女茶（やべ茶）のPRと学び



八女茶の中でも、奥八女で生産される「やべ茶」。標高の高い矢部村で育まれるお茶の特別な魅力を広めたいという思いと、「担い手の減少」という課題もあり、この大切な地域資源が途切れてしまわないよう、原嶋製茶園で研修をしています。矢部茶の魅力を学びながら未来へ、そして世界へ届けたいです。

●地域イベントのサポート



『奥八女の南ドイツ』をテーマに、矢部杉でドイツ屋台を制作し、市内のイベントに参加しています。令和7年は矢部村クリスマスマーケットの開催を目標に掲げ、冬の名物イベントにしたいと考えています。さらに、矢部清流学園の行事や地域講座にも携わって一家で体験を楽しみながら、季節ごとのイベントをサポートしています。

連絡先

【サンドロモリッツ石灯籠HP】
https://www.tourotaku.de
【メデイア紹介記事】
NHKニュース
西日本新聞社①　西日本新聞社②　読売新聞社
FUKUOKA IS　OPEN

@YAME.STONELANTERN